令和８年度

# 農作物病害虫防除指針

（含　除草剤・植物成長調整剤）

## 利　用　上　の　注　意

本書は、農薬取締法に基づき登録された農薬のうち、農薬メーカーの農薬登録時の試験結果、県内の実証圃、試験研究機関の調査結果等を参考にして、本県の病害虫および雑草の発生状況に適合しているものを掲載しています。

また、本資料の農薬使用基準は、農林水産省が公開している令和７年１１月１日現在の農薬登録情報等をもとに作成しました。

なお、利用の際は、下記に注意してください。

・登録内容の変更がないか、必ず最新の情報を確認する
・使用の際は、ラベルの注意事項を必ず確認し、適切に使用する
・本書に記載の使用回数は、当該農薬のみを使用するときの基準を記載しており、
　同一成分を含有する農薬を併用する場合は、成分の総使用回数に従う

＊登録情報

(1)「農薬登録情報提供システム」（農林水産省）
https://pesticide.maff.go.jp/

(2)「農薬登録における適用作物名について」((独)農林水産消費安全技術センター)
https://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf

# 目　　次

病害虫雑草防除推進方針 …… 6
耕種的防除技術、農薬使用者への重点指導内容、防護衣・防護具、農薬中毒の対処法、
残留農薬基準値の超過防止、農薬の保管、使用済み農薬および空容器などの処理 …… 8
福井県病害虫総合防除計画 …… 17

Ⅰ イ　ネ
１ 水稲病害虫
水稲病害虫重点防除指導方針 …… 18
（１）種子消毒・育苗管理
・種子消毒薬剤一覧 …… 19
・育苗期間の防除薬剤一覧 …… 21
・水稲種子消毒の手順と育苗管理 …… 23
・育苗箱施薬による病害虫防除 …… 27
（２）湛水直播栽培における防除 …… 30
（３）本田期の防除 …… 31
・本田防除の注意事項 …… 34
（４）いもち病の総合的管理 …… 37
（５）斑点米カメムシ類と総合的管理 …… 41
（６）成果情報
・積雪前の除草剤散布で斑点米が激減 …… 45
・育苗箱施薬でカメムシ防除 …… 46
・秋の田起こしと冬の湛水によるニカメイガの防除法 …… 47
（７）病害虫の要防除水準 …… 48
（８）福井県稲奨励品種等病害虫抵抗性一覧 …… 50
（９）農業資材の消毒 …… 50
２ 水稲除草剤
（１）使用上の注意事項 …… 51
（２）除草剤の使用法 …… 51
（３）田植同時処理剤の使用法 …… 51
（４）少量散布粒剤の使用法 …… 52
（５）フロアブル剤の使用法 …… 52
（６）ジャンボ剤の使用法 …… 52
（７）本田除草剤の使用方法
・移植 …… 53
・直播 …… 61
（８）本田除草剤の成分および使用回数 …… 67
（９）刈取後、畦畔等除草剤使用基準
①刈取後除草剤 …… 75
②水田畦畔除草剤（雑草発生前処理） …… 76
③水田畦畔除草剤（雑草生育期処理） …… 76
(10) 除草剤体系（例）
①移植栽培田 …… 79
②直播栽培田 …… 81
③スルホニルウレア系（ＳＵ）抵抗性雑草に対する除草体系 …… 82
④多年生雑草（ウリカワ、ホタルイ、オモダカ、ミズガヤツリ）多発田の場合 83
⑤ノビエ取りこぼし田 …… 83
⑥ノビエも広葉雑草も目立つ田 …… 83
⑦ウキクサ、藻類多発田 …… 84
⑧ヒレタゴボウが中干し終了後に残草した場合 …… 84
⑨中後期剤を使用する場合 …… 84
⑩稲刈取後の雑草防除 …… 84
３ 水稲植物成長調整剤 …… 85

Ⅱ 大麦（小麦）、だいず・そば・あずき
１ 麦類病害虫
麦類病害虫重点防除指導方針 …… 86
（１）大麦・小麦薬剤一覧 …… 87

（２）大麦赤かび病の体系防除 …… 89
（３）麦類注意事項 …… 90
**２ だいず・そば・あずき病害虫**
だいず・そば・あずき病害虫重点防除指導方針 …… 92
（１）だいず病害虫の要防除水準 …… 93
（２）だいず薬剤一覧 …… 94
（３）だいず注意事項 …… 96
（４）そば薬剤一覧 …… 97
（５）あずき薬剤一覧 …… 97
**３ 大麦（小麦）、だいず、そば除草剤**
（１）使用上の注意事項 …… 98
（２）使用方法 …… 98
（３）大豆バサグラン液剤の使用について …… 105
（４）ラウンドアップマックスロード（だいずの落葉終期）の使用について …… 105
（５）大麦（小麦）の圃場内の周縁部における除草剤使用について …… 106
（６）水田転換畑の麦類・だいず等の畦畔で除草剤を使用する際の注意点 …… 106
（７）除草剤体系（例）
①大麦の除草 …… 106
②だいずの除草 …… 107

**Ⅲ 野菜・いも類**
**１ 野菜・いも類病害虫**
野菜・いも類病害虫重点防除指導方針 …… 108
（１）トマト …… 109
・トマト黄化葉巻病対策 …… 112
・トマト灰色かび病、葉かび病、すすかび病防除対策 …… 115
・トマトキバガ防除対策 …… 116
（２）ミニトマト …… 118
（３）なす …… 120
（４）ピーマン …… 122
（５）すいか …… 123
・すいか炭疽病対策 …… 125
（６）メロン …… 126
（７）きゅうり …… 128
（８）かぼちゃ …… 130
（９）いちご …… 131
(10) キャベツ …… 132
・キャベツ コナガ防除対策 …… 139
・土壌ｐＨ補正によるキャベツの生育促進と根こぶ病の軽減 …… 140
(11) ブロッコリー …… 141
(12) かぶ …… 143
(13) だいこん …… 144
(14) はくさい …… 146
(15) 非結球あぶらな科葉菜類 …… 148
(16) ほうれんそう …… 149
・ホウレンソウケナガコナダニの総合的防除 …… 150
(17) ねぎ …… 151
(18) たまねぎ …… 155
(19) らっきょう …… 156
・かき殻石灰でラッキョウのネダニを防除 …… 157
(20) にんにく …… 158
(21) レタス・非結球レタス …… 159
(22) にんじん …… 160
(23) 未成熟そらまめ …… 161
(24) えだまめ …… 162
(25) とうもろこし …… 163
(26) ばれいしょ …… 164
(27) かんしょ …… 165
(28) さといも …… 166
(29) やまのいも …… 167
(30) 野菜類 …… 168

＜参考１＞土壌病害虫 …… 170
①焼土による土壌消毒法 …… 182
②太陽熱利用による土壌消毒法 …… 182
③土壌還元消毒法 …… 182
④熱水土壌消毒 …… 182
⑤低濃度エタノールを利用した土壌還元作用による土壌消毒法 …… 183
＜参考２＞ウイルス病 …… 184
＜参考３＞野そ …… 186
＜参考４＞器具、資材消毒 …… 186
＜参考５＞コオロギ、カタツムリ類、ナメクジ類、ケラ …… 186
＜参考６＞主要野菜のチョウ目害虫の防除薬剤 …… 187
＜参考７＞チョウ目害虫殺虫剤の特性と使用上のポイント …… 192
＜参考８＞フェロモン剤による防除法 …… 193
＜参考９－１＞微生物由来の薬剤（殺菌剤） …… 194
＜参考９－２＞微生物由来の薬剤（ＢＴ）（殺虫剤） …… 195
＜参考９－３＞微生物由来の薬剤（殺虫剤） …… 196
＜参考１０＞天敵昆虫剤 …… 197
＜参考１１＞展着剤 …… 198
＜参考１２＞発生予察用資材 …… 199
**２ 野菜・いも類除草剤** …… 200

**Ⅳ 果　　樹**
**１ 果樹病害虫**
果樹病害虫重点防除指導方針 …… 201
（１）ウメ …… 202
（２）ナシ …… 208
（３）カキ …… 214
（４）ブドウ …… 217
（５）ミカン …… 221
（６）イチジク …… 225
（７）キウイフルーツ …… 229
（８）モモ …… 232
（９）スモモ …… 239
(10) リンゴ …… 243
(11) クリ …… 251
(12) 休眠期防除 …… 255
**２ 果樹除草剤** …… 256
**３ 果樹植物成長調整剤** …… 257

**Ⅴ 花　　き**
**１ 花き病害虫**
花き病害虫重点防除指導方針 …… 264
（１）キク …… 265
（２）ストック …… 268
（３）トルコギキョウ …… 268
（４）スターチス …… 268
（５）スイセン …… 269
（６）ユリ …… 269
（７）サクラ …… 269
（８）花き類（草本植物）・観葉植物 …… 270
（９）樹木類（木本植物） …… 274
＜参考１＞花きのアブラムシ類の防除薬剤 …… 275
＜参考２＞キクのハダニ類の防除薬剤 …… 276
＜参考３＞キクのアザミウマ類の防除薬剤 …… 277
＜参考４＞花き類の灰色かび病の系統別薬剤 …… 278
＜参考５＞キク白さび病の防除薬剤 …… 278
＜参考６＞殺菌・殺虫剤使用時の注意事項 …… 279

＜参考７＞ウイルス一覧表 …… 280
２ 花き除草剤 …… 281
３ 花き植物成長調整剤 …… 283

Ⅵ 飼料作物
１ 飼料作物病害虫
飼料作物病害虫重点防除指導方針 …… 285
（１）イタリアンライグラス、フェスク類 …… 286
（２）子実トウモロコシ …… 286
（３）ソルガム …… 286
（４）イネ科牧草…… 287
（５）レンゲ …… 287
（６）稲発酵粗飼料 …… 287
（７）飼料用米 …… 291
２ 飼料作物・牧草除草剤 …… 292

Ⅶ 参 考
掲載農薬一覧 …… 296
福井県特別栽培農産物栽培基準において使用回数にカウントしない農薬 …… 307
ＦＲＡＣコード、ＩＲＡＣコード一覧 …… 309

# 病害虫・雑草防除推進方針

農産物の安全性確保や農業生産にともなう環境への負荷低減が社会的課題となっているなか、農薬の適正使用や環境にやさしい農業の推進が求められています。一方で、近年温暖化をはじめとする気象変動の農業生産への影響が大きくなっており、化学合成農薬の連用による農薬抵抗性（耐性）の発達や化学合成農薬だけでは抑えきれない難防除病害虫の発生なども生産現場で問題になっています。

このため、病害虫および雑草防除においては、これらが発生しにくい環境づくりを重視し、発生状況に応じた防除時期や方法の選択、化学的防除のみに頼らない耕種的防除、生物的防除、物理的防除を積極的に導入した総合的な防除いわゆる「総合防除」を推進する必要があります。

また、農薬の使用に当たっては、関係機関等と連携し、農産物や農薬使用者、周辺環境への安全性を確保した上で、効率的な防除が実施できるよう推進します。

## １　的確な発生予察情報の提供

病害虫の将来の発生程度や発生量を推測した予察情報を提供し、その活用の推進に努めます。

（１）病害虫発生実態の把握と将来予測

（２）BLASTAM 等、発生予測シミュレーションの活用

（３）インターネット等による迅速な情報伝達

（４）侵入病害虫の蔓延防止と未発生病害虫の侵入把握

## ２　総合防除（ＩＰＭ）の推進

化学的防除に耕種的防除や物理的防除、生物的防除を組み合わせた「総合防除」を推進するとともに、要防除水準を活用した効率的な防除指導に努めます。

（１）総合防除の推進

全ての作物・病害虫に、以下の対策を行うことを基本とします。

① 病害虫が発生しにくい健全な農作物の生育を基本とした耕種的防除の励行

② 圃場での病害虫の発生や予察情報を踏まえた防除要否および時期の判断

③ 化学合成農薬のみに依存しない環境に配慮した以下の防除方法の選択の検討、天敵等や農薬抵抗性（耐性）に配慮した化学合成農薬の選択

・物理的防除（熱、光、囲いの利用）

・生物的防除（天敵、微生物農薬、フェロモン剤の利用）

（２）要防除水準の活用

要防除水準を活用し、病害虫による被害が経済的に許容できるレベル以下に抑える。

## ３　農薬適正使用の普及推進

農薬使用にあたっては、農薬取締法に基づく「農薬を使用するものが遵守すべき基準を定める省令」を遵守した農薬適正使用の徹底に努め、事故のないよう安全使用を推進します。

（１）適正な使用方法の厳守

・農薬取締法に基づいて登録された農薬の使用

・使用上の注意や被害防止方法等、ラベル表示記載事項の遵守

・農薬使用記録の記帳推進
・農薬容器等の適正な処分

（2）農薬使用者の安全確保
・適切な防護具の着用と適正な農薬散布技術の励行

（3）周辺環境への配慮
・周辺居住者等への周知の徹底および被害防止
・河川への流失等、環境汚染防止
・人畜毒性および魚毒性の低い低毒性農薬の使用
・ミツバチ、魚介類、鳥類、家畜等への事故防止

（4）周辺作物への配慮
・ドリフトによる飛散防止対策
・周辺農産物にも登録のある農薬の優先使用
・農薬散布器具等の十分な洗浄
・農薬使用者相互の連絡

## 4　農薬耐性菌および抵抗性害虫等の発現防止

農薬耐性菌および抵抗性害虫・雑草の拡大防止を図るとともに、同一系統薬剤の連用を避ける等、将来において病害虫等の薬剤感受性低下を招かないよう指導します。

（1）耐性菌、抵抗性害虫、抵抗性雑草の実態把握および対象薬剤の使用に関する指導の徹底
（2）同一系統薬剤の連用防止、異なる系統薬剤によるローテーション防除の推進

## 5　無人航空機による防除

水稲を中心に利用されている無人航空機は、散布面積が推計で延べ2万haを超えており、病害虫防除の重要な手段となっています。しかし、無人航空機については高度な技術等を必要とするところであり、操作ミスや連携ミス等が、重大な事故につながることから、その利用には細心の注意を払う必要があります。

このため、実施に当たっては、国の「無人ヘリコプターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」・「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」および県の「無人航空機利用空中散布等作業実施要領」に基づく危被害防止対策を講じるよう指導を強化します。

（1）公共施設や居住者に対する事前周知の徹底
（2）危被害防止の徹底
・散布区域およびその周辺の危険箇所(構築物等)の事前点検
・作業員の適切な配置と連携確認
・関係者以外の散布実施区域内への侵入防止
・通学時間や通勤時間帯の作業休止

（3）危機対策の徹底
・関係機関との連絡調整
・緊急時の連絡確認

# 耕種的・物理的防除技術

## １　病害虫全般

＜耕種的防除＞

（１）地域に適応した農作物の栽培（適地適作の推進）および栽培暦などに基づいた適正な栽培管理（葉かきや摘心などを含む）を行う。

（２）良質完熟堆肥の施用など土づくりを行い、土壌の物理性、化学性、生物性の改善を図る。

（３）連作を避け、輪作・緑肥栽培を行う。

（４）窒素肥料の過多や欠乏は病害虫の発生を助長することがあるので、適正な肥培管理を行う。

（５）密植を避け、風通しを良くする。

（６）圃場内や周辺の雑草が病害虫の発生源となることがあるので、除草を徹底する。

（７）圃場周辺部に栽培されている野菜や花き類の病害虫が、発生源になることもあるので、注意する。

＜物理的防除＞

（１）近紫外線カットフィルムでハウスを被覆する（灰色かび病の被害の軽減、アブラムシ類やアザミウマ類の飛来阻止）。

## ２　病害

＜耕種的防除＞

（１）耐病性（抵抗性）品種の栽培、抵抗性台木を活用した接ぎ木栽培を行う。

（２）無病の苗や親株・母株を厳選して、健全苗を定植する。

（３）断根や植え傷みによる根の傷害が感染を助長するので、傷害を受けやすい老化苗にならないようにする。

（４）排水不良や地下水位が高い圃場では、耐病性が低下するので、排水対策を徹底する。

（５）未熟堆肥は、病原菌の栄養源となるため良質完熟堆肥を施用する。

（６）水管理は、土壌の過湿を招かないようにし、ハウス内では適宜換気を図り室内の多湿環境を改善する。

（７）栽培終了後の残渣は根こそぎ除去し、圃場周辺以外の場所で堆肥化するか焼却処分する。

（８）ビャクシン類は、赤星病を媒介する中間宿主となるため、ナシ生産地付近での植栽を避ける。

＜物理的防除＞

（１）発病した株、葉、葉柄、花弁は摘み取り、圃場外に出して病原菌の密度を下げる。

（２）農作物の栽培前に太陽熱消毒や土壌還元消毒などを行う。

（３）土壌伝染性の病原菌が、降雨時にはね上がるのを防ぐため、敷きわら等によるマルチを行う。

## ３　虫害

＜耕種的防除＞

（１）ハダニ類は、密植、乾燥が増殖に好適な環境となるので、適正な管理を行う。

（2）施設の出入口や開口部を寒冷紗で覆って成虫の侵入を防ぐ。

（3）センチュウ類の防除には、マリーゴールド、クロタラリア、ギニアグラスなどの対抗植物を栽培する。

（4）タバコガ類は、寄生植物が限定されるため、ナス、トマト、ピーマン、キク、タバコなどを隣接して、栽培しない。

＜物理的防除＞

（1）害虫を捕殺して、圃場内の密度を下げる。

（2）ダニ類では、施設の開口部にビニールによる折り返し（通称ダニがえし）を設け、這い上がってくるダニを遮断する。

（3）黄色の粘着テープを施設内に吊り下げて、成虫を捕殺する（コナジラミ類、アブラムシ類、ハモグリバエ類）。

（4）青色の粘着テープを施設内に吊り下げて、成虫を捕殺する（ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ）。

（5）アブラムシ類は白色系色彩に忌避反応を示すものが多いので、反射資材等で飛来を防ぐ。

（6）果樹のハダニ類は、９月中旬に太い枝に紙バンドを巻き、越冬成虫を誘殺する。また、越冬期には粗皮削りを行う。

（7）ナシ、モモ、リンゴなどではネット被覆、防蛾灯の設置、袋かけ等により、吸汁夜蛾類、鳥類の被害を防止する。

# 農薬使用者への重点指導内容

## １　農薬を購入するとき

### （１）必要な農薬をよく検討する

・栽培している農作物、発生している病害虫から、必要な農薬を選定する。

・なるべく多くの種類の農作物に適用のある薬剤を選ぶことも検討する。

### （２）ラベルをよく確認する

・ラベルに登録番号等の記載があるかをよく確認する。

・特に、ラベルが日本語で書かれていないものは、無登録農薬の可能性が高いので注意する。

### （３）必要な量だけ購入する

・使用面積、使用回数等から農薬の必要量を算出して、必要な量だけを購入するようにする（最終有効年月を過ぎた農薬は使用しないよう努めなければならない）。

## ２　農薬を使用するとき

### （１）収穫する日を見込んで使用する

・あらかじめ収穫する日を見込んで（計画して）農薬を使用する（農薬には、使用時期が「収穫○○日前」と決められているものもある）。

### （２）ラベルに書かれている使用方法を必ず確認する

・使い慣れた農薬でも、登録内容に変更があるので、使用前には必ずラベルを読むことを習慣にする。また、常に最新の情報を入手して確認する。

### （３）農薬名、散布日などを記録する

・使用した農薬名、使用月日、使用量などを記録することにより、誤って使用基準に違反することを未然に防ぐ。

# 防護衣・防護具

安全装備の基本として、右図のように、皮膚が薬液に触れないよう防水性のある保護衣をはじめ、防護マスク、皮膚の露出を防ぐために帽子、保護メガネ、手袋、ゴム長靴を付ける。

また、とくに注意を要する農薬には、ラベルにマスクやメガネなどの注意喚起マークが付けられている。必ず確認し、注意喚起マークに従う。

# 農薬中毒の対処法

農薬の使用にあたっては、毒性に注意し事故のないように気をつけることが必要であるが、万一中毒になった場合は、まず、すべての毒物中毒に共通する応急手当を行い、すみやかに医師に連絡して処置してもらうことが大切である。

農薬による中毒は、作用が急激に現れるものが多いので、中毒者の早期発見が第一である。

## 中毒を発見した場合の対処法

（１）中毒者に対して応急処置を行う。

（２）中毒者に意識があれば中毒した農薬名と中毒の経過を聞き出しておく。

（３）医師に連絡する。この時、大人、子供の区別、中毒した農薬の名称、中毒の経過、症状なども一緒に知らせる。もし、中毒者の吐物、ふん尿などがあれば保存しておき、あわせて提示する。

## 応急処置

○皮膚からの中毒の場合は、直ちに着衣を脱がせ、皮膚を大量の水または石けんでよく洗う。

○汚れた衣服を取り除き保温に注意する。

○皮膚の障害、皮膚炎が起きたら、軽症の場合は水でよく洗い、オリーブ油などの植物性油を塗る。

○吸入による中毒の場合は、すみやかに空気のきれいな日陰に運び、衣服をゆるめて呼吸を楽にさせ安静にさせる。

○誤って飲みこんだ場合は、直ちに水を多量に飲ませて、指やサジなどの柄で、のどの奥を刺激して胃中のものをくりかえし吐かせる。なお、この場合、食塩水を飲ませてはならない。

○患者が意識不明の時およびけいれんを起こしている時などは吐かせてはならない。

○排尿は寝たままで行わせる。

○心肺停止した場合には、救急車が来るまで心臓マッサージを行う。

○安静と体温保持につとめる。

中毒患者には精神的にも肉体的にも安静を保たせる。

医師のところへ連れていく場合にも、患者の体力を消耗させないようにするため、タンカ等に乗せて静かに運ぶ。

○眼に薬剤が入ったときには、ただちに流水で眼を開閉しながらよく洗うこと。

## 問い合わせ先

（公財）日本中毒情報センター

中毒１１０番（大　阪）０７２－７２７－２４９９　３６５日２４時間対応

（つくば）０２９－８５２－９９９９　３６５日２４時間対応

化学物質（タバコ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性の中毒について情報提供している。異物誤飲（石ころ、ビー玉など）や食中毒、慢性の中毒（アルコール中毒、シンナー中毒など）や常用量での医薬品の副作用は受け付けていない。

# 残留農薬基準値の超過防止

## ◎ 基準を超える農薬が検出される例

### 1　農薬散布時の飛散（ドリフト）防止対策が不十分で起こる例

**［ケース１］隣接圃場の作物に登録のない農薬が飛散した場合**

例）①水稲に散布した殺菌剤（ナスには登録がない）が、ナスに飛散したため、収穫されたナスから基準を超える農薬が検出された

例）②水稲に散布したピーマンに登録のない殺菌剤が、ピーマン圃場に飛散

例）③大麦に散布した一寸ソラマメやキャベツに登録のない殺菌剤が、一寸ソラマメや春キャベツ圃場に飛散

**［ケース２］隣接圃場の収穫直前の作物に農薬が飛散した場合**

例）①大豆に散布した殺菌剤が、隣接している収穫直前の水稲に飛散したため、収穫された米から基準を超える農薬が検出された

例）②水稲に散布した殺虫剤が、収穫中のナスやピーマンに飛散

例）③キャベツの定植後に全面土壌散布した除草剤が、隣接する収穫期の水稲に飛散

**［ケース３］隣接圃場に残留しやすい作物があった場合**

例）ナスに散布した殺菌剤が、軽量・小型の葉菜であるネギに飛散したため、収穫したネギから基準を超える農薬が検出された。

### 2　不注意

例）①防除機のホースの先端に、前回別の作物に使用した農薬が残っており、洗わずにそのまま使ってしまい基準を超える農薬が検出された。

例）②水稲の育苗箱施薬剤を使用した育苗残土を育苗施設に廃棄し、その後に栽培した野菜から箱施薬剤の成分が基準を超えて検出された。

## ◎対策

### 1　農薬の使用に関する基本的な対策

（1）使用基準の確認

○農薬（瓶、袋）に書かれている「使用基準」を確認し、散布できる作物、使用時期、使用量、総使用回数を遵守する。

（2）適正量の散布

○散布量は作物の形態や生育ステージなどによる目安を守り、散布量が必要以上に多くならないようにする。葉面が濡れたらそれ以上散布しても付着せず流れ落ちてしまう。

（3）風に注意

○飛散の最大の要因は風であるため、風のない時か弱いとき（風速３m/秒以下を目安）に注意して散布する。散布中でも風が強まったら、ただちに農薬散布をやめる。

（4）散布の位置と方向、ノズル

○散布ノズルの位置や角度により、遠くまで飛び散ることがあるので、対象作物に近づけて散布し、対象作物のみにかかるようにする。

○隣接圃場や用排水路にかからないように、圃場の内側に向かって散布する。

○ドリフト低減ノズルを使用する。

（5）散布器具の使用後の洗浄

○タンクに薬剤が残らないように、散布する分だけ調製し、圃場内で全て使い切る。

○先に散布した農薬が、次に散布する作物に残留する場合があるので、使用後のタンクやホースに残液が残らないようにきれいに洗浄する。（散布中に薬剤を替える時も、必ず洗浄する。）

（6）使用した農薬等の記帳

○適正に農薬を使用したことを証明するため、産地で統一した記帳日誌に農薬等の使用状況を必ず記入する。

## 2　ドリフト（農薬飛散）の低減

（1）地域一体となった対応

○周辺作物、立地条件、農薬の種類など、多くの要因がドリフトに関係しているため、地域単位でリスクを減らす対策を考えていく必要がある。

・集落等で、できるだけ同一作物となるように作付け計画を立てる。

・広範囲に農薬が飛び散るような大型防除機を使用する集団は、事前に協議し、特に周辺作物に気をつけて農薬を散布する。

（2）隣接圃場の農家との連絡・調整

○隣接圃場の農家とお互いに連絡をとり、散布する日の調整を行う。

・お互いの収穫日を考慮し、散布時期を計画する。

・散布日が隣接圃場の収穫日と重なった場合は、日を改めて散布する。

○農薬を散布する場合は、隣接圃場の農家に連絡し、注意を促す。

・ハウスの窓等を閉めてもらう。

（3）飛散しにくい農薬等や影響のない農薬を使用

○粉剤や液剤は粒子が小さく飛散しやすいため、周辺の状況にあわせて飛散しにくい粒剤（育苗箱施用剤等）に変更する。

○隣接圃場の作物を確認し、隣接圃場の作物にも適用のある農薬を使用する（一律基準が設定されていることが少ない）。

○飛散しても影響の少ない性フェロモン剤、生物農薬、特定農薬等を選定する。

（4）総合的病害虫防除により農薬の散布回数を低減

○耕種的、生物的、化学的、物理的な防除法をうまく組合わせ、経済的な被害が生じるレベル以下に病害虫の発生を少なくし、農薬の散布回数を減らす。

・天敵やフェロモン剤等を導入し、病害虫の発生密度を減らす。

・耕種的防除（病気で枯れた株の除去、圃場内外の雑草除去など）により病害虫の発生源を減らす。

○病害虫発生予察情報や圃場での病害虫の発生状況を確認し、必要以上の散布を行わない。

（5）散布する上での工夫

○微細な粒子ほど少しの風でも飛散しやすくなる。一般的なノズルは平均粒径が 0.1㎜ 以下と細かいため、使用目的に合わせ、粒径の大きいノズル（ドリフト低減ノズル）を選ぶ。

○散布圧力を上げすぎると風圧により薬液が飛散しやすくなるので、適正に調節する（圧力を上げす

ぎない)。

○除草剤の散布時には、フードの装着などで飛散を軽減する。

（6）遮蔽シート・ネット等の設置

○隣接圃場の境界域から距離を空けて散布する（緩衝地帯を設ける）ことが好ましいが、境界域寸前まで防除が必要な場合は、遮蔽物等を設置する。

・隣接圃場の境界域に防風ネットの設置や緩衝作物（ソルゴーやライ麦）を栽培する。

## ＊隣接作物による残留リスクの違い

**作物の種類や形態によって、飛散を受けた場合の残留リスクが異なる。**

・軽量・小型のものはリスクが大きい（ホウレンソウ、ネギ、ウメなど）

・外皮や莢を剥くものや可食部が地下にあるものはリスクが小さい（ソラマメ、ダイコン、サトイモなど）

| リスクの程度 | 作物の種類や形態 | 代表的な作物 |
|---|---|---|
| 大 | 軽量・小型の葉菜類 | コマツナ、ホウレンソウ、みずな、ネギなど |
| | 根菜類の葉 | ダイコンの葉、カブの葉など |
| | 莢ごと食べる豆類 | サヤエンドウ、サヤインゲン、エダマメなど |
| | 小型果実 | ウメなど |
| | 軽量な野菜類 | ピーマン、シシトウなど |
| | 果菜類 | ナス、トマト、キュウリなど |
| | 重量のある葉菜類 | キャベツ、ハクサイなど |
| | 花蕾を食べる野菜 | ブロッコリー、カリフラワーなど |
| | 果実（皮を剥かないで分析するもの） | カキ、ナシ、ブドウなど |
| | 果実（皮を剥いて分析するもの） | スイカ、メロン、温州みかん、モモなど |
| | 外皮・莢を除いた種子を食べる作物 | 一寸ソラマメ、スイートコーンなど |
| | 穀類 | 稲、大麦、大豆など |
| 小 | 可食部が地下にある作物 | ダイコン、カブ、タマネギ、ラッキョウ、サトイモ、サツマイモ、バレイショなど |

## ＊ポジティブリスト制度

すべての農薬について食品中の残留基準を設定し、残留基準を超過した食品の販売等を原則禁止する制度（食品衛生法 2003 年改正)。基準値、暫定基準値（コーデックス基準・外国の基準などを考慮した基準）が設定されていない農薬の残留基準値は一律 0.01ppm。

# 農薬の保管

農薬は長期間貯蔵しておくと、貯蔵中に変化して薬効が低下したり、薬害が出やすくなったりすることがある。また、保管管理も不注意になり、事故が起こりやすいので必ず計画的に購入し、長時間貯蔵しないようにする。また、地震対策についても十分留意し、農薬事故を起こさないようにする。

**(1) 農薬を保管するときは、次のことを厳守する。**

ア　薬剤は密栓して、必ず保管庫などの保管場所にしまう。

イ　保管場所には必ず鍵をかけ、盗難や紛失の防止、その他誤用のないようにする。

ウ　保管場所は、薬剤が飛散したり、地下にしみ込んだり、または流れ出るおそれのない場所とする。

エ　毒物および劇物に該当する農薬の保管場所に「医薬用外」の文字および毒物については「毒物」、劇物については「劇物」の文字を所定どおり書いておく。

オ　薬剤を他の容器へ入れてはならない。特に飲食物の容器には入れないこと。

カ　薬剤は、温度の高いところ、日光を受けるところ、湿気の多いところに長く置かないようにする。

キ　薬剤を大量に保管する場合には、消防法に定める危険物の規制を受けるので、所轄の消防本部の許可または届出が必要。

**(2) 地震対策として次の点に留意し保管すること。**

ア　保管庫を固定、補強する。

イ　保管庫等が低地にある場合は安全な高い所に移す。

ウ　転倒時に破損しやすいものや液剤等はトレイに入れ保管庫内の下段に置く。

エ　農薬が流失・飛散した場合に備え、農薬専用の掃除用具や土・砂・ベントナイト等を常備する。

# 使用済み農薬および空容器などの処理

## １　基本的考え方

〇農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使いきる。
〇使用済み容器の洗浄液等は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理する。
〇洗浄済み空容器は他の用途には絶対に使わず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
〇容器は圃場などに放置することなく安全な場所に収納する。

## ２　容器中の付着農薬の除去法

〇農薬は、薬液が余ることがないよう調製を行い、使いきる。
〇散布に使用した器具・容器の洗浄水は河川などに流さない。
〇空容器、空袋等は、環境や水産動物に影響を与えないよう、適切に処理する。

### (1) 瓶や缶状の容器（ガラスビン、プラスチックボトル、アルミなどの洗える袋）

中身の薬液がボタ落ちしなくなるまで容器を逆さまにして、薬液を散布機や希釈容器に移し替える。

容器に約１／４の水を加えてよく振り、散布液調製に使用する。

この操作を３回繰り返し、目に見えるような付着分がないことを確認したら、容器内の水をよく切って保管する。

### (2) 袋状の容器

袋を軽く叩いて中身を散布機等に入れ、目に見えるような付着分がないことを確認したら、たたんで保管する。また、袋は作業中に風などで飛ばされないよう小石などで押さえ、作業終了後に放置することなく、必ず回収する。

## ３　付着農薬を除去した空容器の処分方法

付着農薬を除去した空容器は他の用途には絶対に使わず、以下のように適切に処理する。

・農家等農薬空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。
・ＪＡや市町が回収・処分しているところでは、定められた方法に従う。

# 福井県病害虫総合防除計画

近年、温暖化などによる気候変動や、人やモノの国境を越えた移動の増加に伴い、有害動植物の侵入・まん延リスクが高まっています。一方で、化学農薬の低減による環境負荷の軽減が国際的な課題となっていることに加え、国内では化学農薬に依存した防除によって薬剤抵抗性が発達した有害動植物が発生するなど、発生の予防を含めた防除の普及を図ることが急務となっています。

このような状況を踏まえ、国ではこれらに対応して植物防疫を的確に実施するため、植物防疫法（昭和25年法律第151号。以下「法」といいます。）の一部を改正する法律を令和4年5月2日に公布し、令和5年4月1日に施行しました。

このため、本県においても状況の変化に適切に対応し、総合防除の普及・推進を図る必要があることから、指定有害動植物のうち本県で対応が必要な118種（別表1）について、法第22条の3第1項の規定に基づき、令和6年3月に「福井県病害虫総合防除計画」を策定しました。

なお、国では持続可能な食料システムの構築に向け、令和3年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。本県においても、県内17市町と連名で令和5年3月に「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」第16条第1項に基づく「福井県農林漁業における環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画」を公表し、2030年までに化学合成農薬の使用回数を削減する目標を掲げています。

詳細は下記をご覧ください。

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/ekonougyou/fukui_sougouboujo_keikaku.html

# Ⅰ　イ　ネ
## 1　水稲病害虫

## 水稲病害虫重点防除指導方針

福井米のレベルアップを積極的に推進し、消費者ニーズに応じた品質・食味に優れ、かつ安全で安心な福井米を生産するために、稲作栽培環境の改善を図るとともに病害虫の適切な防除を推進する。

### 1　安全で安心な福井米の生産
(1) 農薬の使用時期、使用回数、散布量・濃度などの使用基準の遵守を推進する。
(2) 生産履歴記帳を推進する。

### 2　発生予察に基づく防除の推進
(1) 病害虫防除室および病害虫防除員等による発生予察を実施し、その発生予察情報を指導機関および生産者へ迅速に提供する。
(2) 要防除水準に基づく総合的な病害虫防除を推進する。

### 3　防除体制の整備
(1) 地域における病害虫の発生動向を的確に把握するため、圃場内をよく調査する。防除にあたっては、広域、請負、共同防除、大型防除機を利用し、適期に効率的な防除を推進する。
(2) 無人航空機による防除は、危被害防止を万全にするため、国の「無人ヘリコプターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」または「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」および県の「福井県無人航空機利用空中散布等作業実施要領」に基づき適正に実施する。

### 4　水稲主要病害虫の防除技術
(1) 種子消毒と育苗期の病害虫
ア　指定採種圃から採種された健全な種子を用いるとともに、種子消毒の徹底により育苗期の病害虫発生の防止に努める。
イ　育苗器材の清浄、育苗施設での温度管理と苗立枯病の体系防除を推進する。
(2) 本田初期病害虫
育苗箱施薬による予防を基本とし、併せて中干し等による耕種的防除を推進する。
(3) 収量、品質低下の影響が大きい病害虫
ア　穂いもち防除は出穂直前と穂揃直後の２回の薬剤散布を基本とし、多発が予想される場合は傾穂期にさらにもう１回の薬剤散布を実施する。
イ　紋枯病は近年の水稲生育期の気温上昇により多発傾向にあるので、箱粒剤等予防散布で発生を抑制するなど要防除水準に基づき薬剤散布を推進する。
ウ　斑点米カメムシ類の防除は、出穂１０日前までに圃場周辺の草刈を行い、穂揃期～乳熟期と糊熟初期の２回の薬剤散布を基本とし、多発が予想される場合は、さらにもう１回薬剤を散布する。
(4) 移植時期が遅い栽培、直播栽培での病害虫
いもち病、紋枯病、イネツトムシ、ニカメイチュウ、イネヒメハモグリバエ、イネアオムシの発生が多くなりやすいので、特に注意する。

### 5　環境に配慮した防除の推進
(1) 住宅周辺では飛散の少ない粒剤・微粒剤等の使用を推進する。
(2) 農薬散布時は排水路等への流出を防止するため、排水口を止水板（高さ 10 ㎝程度）などで閉じ、落水やかけ流しはしないなど、十分な止水管理を推進する。
(3) 要防除水準に基づき適正に薬剤散布することで、環境負荷の少ない防除を推進する。
(4) 種子消毒後の廃液および使用済み農薬等は、関係法令に基づき適正な処理を推進する。

## （1）種子消毒・育苗管理

### 種子消毒

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| いもち病 | ﾀﾌﾌﾞﾛｯｸ | BM2 | | 200倍 | 催芽時 | 24時間種子浸漬 | - |
| | | | | 200倍 | 催芽前 | 24～48時間種子浸漬 | - |
| | ﾃｸﾘｰﾄﾞCﾌﾛｱﾌﾞﾙ | M1,3 | | 7.5倍､使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | M3,1 | | 乾燥種籾重量の0.5～1% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | | | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾎｰﾏｲ水和剤 | M3,1 | | 乾燥種もみ重量の0.5～1.0% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | | | | 20～30倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC･DF | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | M1,12,3 | | 乾燥種籾重量の0.5% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | ﾙｰﾁﾝｼｰﾄﾞFS | P3 | | 乾燥種もみ1kg当り原液6～12mL(原液71mL/10aまで) | は種前(浸種後) | ｺｰﾃｨﾝｸﾞ中又はｺｰﾃｨﾝｸﾞ後の種もみに塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 乾燥種もみ1kg当り原液6～12mL(原液71mL/10aまで) | は種前(浸種前) | 塗沫処理(種子被覆剤を加用) | 1回 |
| ごま葉枯病 | ﾃｸﾘｰﾄﾞCﾌﾛｱﾌﾞﾙ | M1,3 | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | | | | 7.5倍､使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理 | 1回 |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | M3,1 | | 乾燥種籾重量の0.5～1% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | | | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾎｰﾏｲ水和剤 | M3,1 | | 20～30倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | | | | 乾燥種もみ重量の0.5～1.0% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC･DF | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 乾燥種籾重量の0.5% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| ばか苗病 | ﾀﾌﾌﾞﾛｯｸ | BM2 | | 200倍 | 催芽時 | 24時間種子浸漬 | - |
| | | | | 200倍 | 催芽前 | 24～48時間種子浸漬 | - |
| | ﾃｸﾘｰﾄﾞCﾌﾛｱﾌﾞﾙ | M1,3 | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | | | | 7.5倍､使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理 | 1回 |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | M3,1 | | 乾燥種籾重量の0.5～1% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | | | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | | | | 7.5倍､使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 200倍 | 浸種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 |
| | | | | 400倍 | 浸種前 | 24～48時間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾎｰﾏｲ水和剤 | M3,1 | | 乾燥種もみ重量の0.5～1.0% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | | | | 20～30倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC･DF | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 乾燥種籾重量の0.5% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| もみ枯細菌病 | ﾀﾌﾌﾞﾛｯｸ | BM2 | | 200倍 | 催芽時 | 24時間種子浸漬 | - |
| | | | | 200倍 | 催芽前 | 24～48時間種子浸漬 | - |
| | ﾃｸﾘｰﾄﾞCﾌﾛｱﾌﾞﾙ | M1,3 | | 7.5倍､使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC･DF | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 乾燥種籾重量の0.5% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |

| 病害虫名 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 褐条病 | ﾀﾌﾌﾞﾛｯｸ | BM2 | | 200倍 | 催芽時 | 24時間種子浸漬 | - |
| | ﾃｸﾘｰﾄﾞCﾌﾛｱﾌﾞﾙ | M1,3 | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | | | | 7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC・DF | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | M1,12,3 | | 乾燥種籾重量の0.5% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| | | | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| 苗立枯細菌病 | ﾀﾌﾌﾞﾛｯｸ | BM2 | | 200倍 | 催芽前 | 24～48時間種子浸漬 | - |
| | | | | 200倍 | 催芽時 | 24時間種子浸漬 | - |
| | ﾃｸﾘｰﾄﾞCﾌﾛｱﾌﾞﾙ | M1,3 | | 7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL | 浸種前 | 種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 20倍 | 浸種前 | 10分間種子浸漬 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC・DF | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | M1,12,3 | | 7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30mL) | 浸種前 | 吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | 1回 |
| | | | | 乾燥種籾重量の0.5% | 浸種前 | 種子粉衣(湿粉衣) | 1回 |
| 紋枯病 | ｴﾊﾞｰｺﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 7 | | 乾燥種もみ1kg当り原液10mL(原液44mL/10aまで) | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| ｲﾈｼﾝｶﾞﾚﾝﾁｭｳ | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | 1B | | 1000倍 | は種前 | 6～72時間浸漬 | 1回 |
| | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | 14 | 劇 | 1500～3000倍 | 浸種前 | 24時間種もみ浸漬 | 1回 |
| ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液55mL/10aまで) | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | ﾙﾐﾋﾞｱFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液4～7mL | は種前(浸種前) | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液10～11mL(原液55mL/10aまで) | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | ﾙﾐﾋﾞｱFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液4～7mL | は種前(浸種前) | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| ﾆｶﾒｲﾁｭｳ | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液10～11mL(原液55mL/10aまで) | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | ﾙﾐﾋﾞｱFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液4～7mL | は種前(浸種前) | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |

**育苗期間の防除**

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾑﾚ苗防止 | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM液剤 | 32,4 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注 | 1回 |
| | | | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り6～8g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和 | 1回 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ液剤 | 32 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注又は灌注 | 2回以内 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ粉剤 | 32 | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り4～8g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和する。 | 1回 |
| 褐条病 | ｶｽﾐﾝ液剤 | 24 | | 4～8倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り希釈液50mL | 覆土前 | は種した種籾の上から均一に散布する。 | 1回 |
| | ｶｽﾐﾝ粒剤 | 24 | | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り15～20g | | 覆土前 | 育苗箱には種した種籾の上から均一に散布する。 | 1回 |
| | | | | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り30g | | は種前 | 育苗培土に均一に混和する。 | 1回 |
| 根の生育促進 | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM液剤 | 32,4 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注 | 1回 |
| | | | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り6～8g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和 | 1回 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ液剤 | 32 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注又は灌注 | 2回以内 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ粉剤 | 32 | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り4～8g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和する。 | 1回 |
| 苗立枯細菌病 | ｶｽﾐﾝ液剤 | 24 | | 4～8倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り希釈液50mL | 覆土前 | は種した種籾の上から均一に散布する。 | 1回 |
| | ｶｽﾐﾝ粒剤 | 24 | | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り30g | | は種前 | 育苗培土に均一に混和する。 | 1回 |
| | | | | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り15～20g | | 覆土前 | 育苗箱には種した種籾の上から均一に散布する。 | 1回 |
| 苗立枯病(ﾄﾘｺﾃﾞﾙﾏ菌) | ﾀﾞｺﾚｰﾄ水和剤 | M5,1 | | 400～600倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後まで | 灌注 | 2回以内 |
| | | | | 800～1200倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り1ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後まで | 灌注 | 2回以内 |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | 1 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時1回又はは種時とは種7日後頃の2回 | 灌注 | 2回以内 |
| 苗立枯病(ﾋﾞｼｳﾑ菌) | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM液剤 | 32,4 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注 | 1回 |
| | | | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り6～8g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和 | 1回 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ液剤 | 32 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注又は灌注 | 2回以内 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ粉剤 | 32 | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り3～6g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和する。 | 1回 |
| | ﾅｴﾌｧｲﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U17 | | 2000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5～1ﾘｯﾄﾙ | は種時 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| | | | | 1000～2000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| 苗立枯病(ﾌｻﾞﾘｳﾑ菌) | ﾀﾞｺﾚｰﾄ水和剤 | M5,1 | | 400～600倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後ま | 灌注 | 2回以内 |
| | | | | 800～1200倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り1ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後ま | 灌注 | 2回以内 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM液剤 | 32,4 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注 | 1回 |

| 病害虫名 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 苗立枯病(ﾌｻﾞﾘｳﾑ菌) | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM粉剤 | 32,4 | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り6～8g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和 | 1回 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ液剤 | 32 | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時又は発芽後 | 土壌灌注又は灌注 | 2回以内 |
| | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ粉剤 | 32 | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り3～6g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和する。 | 1回 |
| | ﾅｴﾌｧｲﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U17 | | 1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5ﾘｯﾄﾙ | は種時 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| | | | | 2000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5～1ﾘｯﾄﾙ | は種時 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｰﾌﾞｽ菌) | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | M5 | | 1000～2000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り1ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後まで | 土壌灌注 | 2回以内 |
| | | | | 500～1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り500mL | は種時から緑化期但し､は種14日後まで | 土壌灌注 | 2回以内 |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ粉剤 | M5 | | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り15～20g | | は種前 | 育苗箱土壌に均一に混和する。 | 1回 |
| | ﾀﾞｺﾚｰﾄ水和剤 | M5,1 | | 400～600倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後まで | 灌注 | 2回以内 |
| | | | | 800～1200倍 | 育苗箱(30×60×3cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り1ﾘｯﾄﾙ | は種時から緑化期但し､は種14日後まで | 灌注 | 2回以内 |
| | ﾅｴﾌｧｲﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U17 | | 1000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5ﾘｯﾄﾙ | は種時 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| | | | | 2000倍 | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り0.5～1ﾘｯﾄﾙ | は種時 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| 幼苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) | ｶｽﾐﾝ粒剤 | 24 | | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り30g | | は種前 | 育苗培土に均一に混和する。 | 1回 |
| | | | | 育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)1箱当り15～20g | | 覆土前 | 育苗箱には種した種籾の上から均一に散布する。 | 1回 |

## 水稲種子消毒の手順と育苗管理

**種子選定**

・採種圃産種子を使用する。
・傷籾や脱ぷ籾が混入していないものを使用する。

**比重選**

・重症感染籾の除去に有効。
・水と硫安の量はおよそ次のとおりであるが、必ず比重計で比重を調整する。

| | 比重 | 水 | 硫安 |
|---|---|---|---|
| うるち | 1.13 | 10 ℓ | 2.64kg |
| もち | 1.08 | 10 ℓ | 1.50kg |

**消毒**

**薬剤処理**

【湿粉衣処理】
・適度の湿り気を与えた籾（種子重の約 3%の水分量）に所定量の薬剤を少しずつ加え粉衣する。
・胴回転式ミキサー利用の場合は、粉衣後に左右それぞれ 3 分間計 6 分間程度回転する。

【浸漬処理】
・液温は**１０℃以上**とする。
・浸漬薬液の量は種子容量と等量（籾１８ ℓ＝１０kg、薬液１８ℓ）くらいで消毒を行う。なお、同一薬液で何回も消毒を繰り返す場合は、最初の容量比を籾１：薬液 1.2 の割合にすれば浸漬ごとに薬液を追加しなくても８回まで使用できる。
・浸漬中に２～３回袋を上下、または攪拌する。

【吹き付け処理】
・専用の種子消毒器を用いて、乾燥種子 1kg 当たり３０ml の希釈液を種籾に吹き付ける。

【塗沫処理】
・適当な容器内で種籾を攪拌しながら、希釈液を滴下し、種籾に均一に付着させる。

**温湯処理**

・温湯処理専用の機械を使用する。
・処理条件として、**６０℃１０分**または**５８℃１５分**が妥当である。
・対象病害はいもち病、ばか苗病、苗立枯細菌病である。
・褐条病には効果が不十分であるが、温湯処理に加え、催芽時に食酢 200 倍液浸漬処理することで防除効果が得られる。
・温湯処理は乾燥籾で行い、**処理温度と時間を厳守**する。濡れた種籾で行うと発芽不良の原因となり、温度・時間が不適切だと発芽不良を起こしたり消毒効果が十分に得られない。特に温度が高い場合や消毒時間が長い場合には発芽率が低下するので注意する。
・処理後は速やかに水で冷却し、直ぐに浸種を行う。
・防除効果が高い新技術(事前乾燥＋65℃10 分)には専用設備使用が望ましい。

**風乾**

・十分風乾し、籾に薬剤を固着させる。

【湿粉衣籾、塗沫籾】
・サラン袋詰めの場合は風通しのよい日陰に２～４日間おく。
・シートの上に薄く広げる場合は日陰に３～６時間おく。

【浸漬籾】
・シートの上に薄く広げ、日陰に２日間おく。
・袋詰めによる風乾はしない。

## 浸　　種

・防除効果の低下を防ぐため、停滞水中で行い、浸種開始から３日間は換水しない。
・病原菌の感染防止のため、河川、湖沼、ため池等の水は使わない。
・病原菌の増殖・感染防止のため、**２０℃以上**で浸種しない。

| 温度 | 浸種日数 |
|---|---|
| **１０℃** | １０日間 |
| **１５℃** | ７日間 |

## 催　　芽

・**３０℃**で１～２日間行い、催芽揃いのよい状態にする。
・病原菌の増殖を防ぐため、**３０℃**を超えないようにする。
・特にテクリードＣフロアブル、モミガードＣ水和剤・ＤＦを使用したときは、初期生育が遅延することがあるので、十分にはとむね状態にする。
※モミガードＣ水和剤、モミガードＣ･ＤＦで、循環式の浸種水槽・催芽器を使用する場合は、循環水に空気が混じると泡が発生するので、給水口を水面下に入れる。また、泡は汚れた水でも発生するので、催芽にあたって、水を１回ごとに交換する。

### はとむね催芽器使用上の留意点

・はとむね催芽器を使用すると、細菌病が増加しやすいのでなるべく使用しない。
・使用する場合は次の手順で行うとよい。

消毒籾
↓
停滞水（水温**１０℃**で４日間）で浸種
↓
水（水温**１５℃**）を循環させて２日間浸種
↓
水温を高めて（水温**３０℃**）循環させ、１日間催芽
↓
は種

その他の注意事項
・消毒後の籾は有害であるから食用や飼料には用いない。
・使用済みの薬液や浸種液は河川や池等に流さず適正に処理する。

## は　　種

・床土のｐＨは 4.5～5.1 程度とする。ｐＨが高いともみ枯細菌病やムレ苗が、低いと苗立枯細菌病が発生しやすい（くんたんはｐＨが高いため、床土に混ぜる場合はｐＨが上がりすぎないように注意）。
・苗立枯病防除のため、薬剤の混和・灌注を行う（苗立枯病の種類によって薬剤が異なる。
・育苗資材の洗浄・消毒。
・厚播き、多肥を避ける。

## 出　　芽

・病原菌の増殖・蔓延防止のため、**３０℃**を超えないように管理する。
・出芽を揃える。

## 育　　苗

・温度：夜間**５℃**以下、昼間**２５℃**以上にならないように管理する。温度が高いと細菌病蔓延のリスクが爆発的に高まる。
・水管理：過灌水、乾燥を避ける（天気の良い日の早朝に行い、灌水量は必要最小限とする）。
・病原菌感染防止のため、池や川の水は使用せず水道水を使う。
・防除：苗立枯病の発生をみたら薬剤を灌注する。細菌病には発病後の対策はない。

## 種子消毒剤の適用病害虫一覧（◎防除指針に採用、○登録のあるもの、×登録のないもの）

| 薬剤名 | 処理法 | ばか苗病 | いもち病 | ごま葉枯病 | もみ枯細菌病 | 褐条病 | 苗立枯細菌病 | 苗立枯病 | | | | イネシンガレセンチュウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | リゾープス菌 | フザリウム菌 | トリコデルマ菌 | ピシウム菌 | |
| ベンレートT水和剤 20 | 粉衣 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | × | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 浸漬 | ◎ | ◎ | ◎ | × | ○ | × | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 吹き付け | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | × | × | | × | × | × | × | ○ |
| ホーマイ水和剤 | 粉衣 | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | × | ○ | － | － | － | － | ○ |
| | 浸漬 | ◎ | ◎ | ◎ | × | × | × | ○ | － | － | － | － | × |
| スターナ水和剤 | 粉衣 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | － | － | － | － | × |
| | 浸漬 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | － | － | － | － | × |
| テクリードCフロアブル | 浸漬 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | × | ○ | × | × |
| | 吹き付け | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | × | ○ | × | × |
| モミガードC水和剤 | 粉衣 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| | 浸漬 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| | 吹き付け | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| モミガードC・DF | 浸漬 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| | 吹き付け | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| タフブロック | 粉衣 | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| | 浸漬 | ◎ | ◎ | × | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | ○ | × | × |
| ルーチンシード FS | 塗沫 | × | ◎ | × | ○ | × | × | × | － | － | － | － | × |

吹き付け：塗沫処理を含む。
タフブロックの褐条病は催芽時処理。

## 苗立枯病、褐条病、もみ枯細菌病等適用農薬一覧（◎防除指針に採用、○登録のあるもの）

| 薬剤名 | 対象病原菌等 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | トリコデルマ菌 | ピシウム菌 | リゾープス菌 | フザリウム菌 | 褐条病 | 幼苗腐敗症（もみ枯細菌病菌） | 苗立枯細菌病 | ムレ苗防止 根の生育促進 | 根の伸長および発根促進 | いもち病 |
| タチガレエースM粉剤 | | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | | |
| タチガレエースM液剤 | | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | | |
| タチガレン粉剤 | | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | | |
| タチガレン液剤 | | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | | |
| ダコニール粉剤 | | | ◎ | | | | | | | |
| ダコニール1000 | | | ◎ | | | | | | | |
| ダコレート水和剤 | ◎ | | ◎ | ◎ | | | | | | ○（苗いもち） |
| ベンレート水和剤 | ◎ | | | ○ | | | | | | ○ |
| ナエファインフロアブル | | ◎ | ◎ | ◎ | | | | ○ | | |
| カスミン粒剤 | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| カスミン液剤 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | | | ○（苗いもち） |
| フジワン粒剤 | | | | | | | | ○ ムレ苗防止 | ◎ | ○ |

※育苗期間に登録のある農薬について記載

## ☆糸状菌による苗立枯病

・フザリウム、ピシウム、リゾープス、トリコデルマ、リゾクトニア菌などによって発生する。
・育苗環境の不良や急変により、苗が不健康なときに発生しやすい。

**フザリウム菌**

局部的に発生し、地際部に白いかびが見られるほか、籾を中心に白色～紅色のかびが認められる。

床土のｐＨが５．５以上の場合や緑化期以降に１０℃以下の低温にあうと発生しやすい。また、苗の活力、特に根の活力を低下させ、根を傷つけるような管理（床土の乾燥・過湿を繰り返すなど）は発病を助長する。

**ピシウム菌**

フザリウム菌による被害と似て坪状に発生するが、地際にかびは見られない。なお、ムレ苗は本菌による場合が多い。

床土のｐＨが高い（５．５以上）と発病しやすく、緑化期に低温（５℃以下）にあうと発病しやすい。畑土を床土に用いたり、河川や池の水を灌水に利用すると発生しやすい。

**リゾープス菌**

出芽期に箱全体、または一部が白いかびに覆われる。床土の表面や籾のまわりによく発生し、菌糸の層を形成する。根は短く、先端が異常にふくらんだりする。

床土のｐＨが高いと発病しやすく、出芽時に３２℃を超す高温や、緑化開始１０日頃までの低温は発病を多くする。

**トリコデルマ菌**

出芽時に床土表面・籾のまわりに白いかびが生え、しばらくするとかびは青緑色となる。

床土のｐＨは４．０以下で発生しやすく、土壌水分が少ない場合に発生しやすい。

**リゾクトニア菌**

下葉や葉鞘が灰色となり、葉腐れ症状を示す。葉鞘には菌糸がくもの巣状になり、初め白色、後に褐色の小さな菌核を作る。

本菌は野菜なども侵すので、畑土を床土として用いると発生しやすい。

## ☆細菌による苗立枯病

・いったん発生すると効果のある防除薬剤がないため予防を徹底する。

**もみ枯細菌病**

坪枯れ状に発生し、腐敗した苗の芯葉を引っ張ると容易に抜ける。腐敗した苗は悪臭を放つ。

浸漬中に保菌籾から健全籾へ感染する。水温が１０℃の場合感染は少ないが、水温が高くなるほど感染が進む。また、催芽温度も２０℃～３３℃では、温度・出芽温度が高いほど（２５＜３０＜３５℃）発病が激しくなる。土壌は粘土質で水持ちがよいほど、ｐＨが高いほど発病が多くなる。透水性がよく、ｐＨが５．１以下では発病は少なくなる。は種密度が高くなるほど、窒素肥料の施用が多いほど発病が多くなる。

**褐条病**

出芽中に激しく発病すると腐敗枯死する。病気の進展が遅い場合は、２～３葉期に達した苗の葉鞘に暗褐色の条斑が現れる。条斑は葉身にも見られる。発病苗は育苗箱内に均一に分散して発生することが多く、坪枯れとはならない。

はとむね催芽器を使用すると多発しやすい。出芽および緑化期の高温は発生を多くする。出芽温度が３２℃より低い温度では発病が少ない。

**苗立枯細菌病**

普通坪状に発生するが、ひどいときは箱全体の苗が枯死する。通常葉芯は腐敗しないため、引っ張っても抜けにくく、枯死した苗は先端がロール状に巻き、赤茶けた状態で乾枯する。病原菌は催芽時に急激に増加し、緑化期あるいは硬化期に発病する。

出芽および緑化期の高温、土壌の乾湿は発生を助長する。人工培土で発生しやすい。

# 育苗箱施薬による病害虫防除

| | 使用時期 | 薬剤名 | いもち病 | 紋枯病 | 白葉枯病 | もみ枯細菌病 | 内頴褐変病 | 穂枯れ（ごま葉枯れ病菌） | イネハモグリバエ | イネヒメハモグリバエ | イネゾウムシ | イネミズゾウムシ | イネドロオイムシ | ニカメイチュウ | イナゴ類 | ツマグロヨコバイ | ウンカ類 | ヒメトビウンカ | セジロウンカ | フタオビコヤガ | イネツトムシ | コブノメイガ | イネクロカメムシ | カメムシ類 | イネシンガレセンチュウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 殺菌剤 | 緑化期～移植当日 | Ｄｒ．オリゼ箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〃（高密度に播種する場合） | | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100（当日） | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 殺虫剤 | は種前、移植当日 | パダン粒剤4 | | | | | | | 50～100 | | 幼虫80～100 | 60～100 | 50～100 | 80～100 | | 50～100 | | | | | | 50～100 | | | |
| | は種前、又は種時（覆土前）～移植当日 | ゼロカウント粒剤 | | | | | | | | 50（当日） | | 幼虫50（当日） | 50 | 50（２日前～） | | | | | | 50（は種時～） | 50（2日前～） | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | | | | | | | | 50～100（当日） | | 幼虫50～100（当日） | 50～100 | 50～100（２日前～） | | | | | | 50～100（は種時～） | 50～100（2日前～） | | | | |
| | | プリンス粒剤 | | | | | | | | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | | 50 | 50（は種前） | 50 | 50 | | 50（は種時） |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | | | | | | | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | | 50～100（は種時～） | 50～100（は種前） | 50～100 | 50～100（は種時～） | | 50～100（は種時） |
| | | フェルテラ箱粒剤 | | | | | | | | 50（当日） | | 50 | 50 | 50 | | 50（当日） | | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | | | | | | | | 50～100（当日） | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100（当日） | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | 移植３日前～移植当日 | オンコル粒剤5 | | | | | | | 30～60 | 30～60 | | 30～60 | 30～60 | | | 50～160 | | 50～80 | 50～80 | | | | | | 60 |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | | | | | | | 30～120（当日） | 50～120（当日） | | 50～120（当日） | 30～120（当日） | | | 50～160（当日） | | 50～160（当日） | 50～160（当日） | | | | | | 60～120（当日） |
| | | リディア箱粒剤 | | | | | | | | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | 50 | | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | | | | | | | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | | | | | |
| 殺菌・殺虫剤 | は種前、は種時（覆土前） | ファーストオリゼリディア粒剤 | 50 | | | | | | | | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | 50 | | | | | |
| | | ファーストオリゼフェルテラ粒剤 | 50（は種前～） | | 50（は種時） | 50（は種時） | | | | 50（は種時） | | 50 | 50（は種前～） | 50 | | 50 | | | | 50 | 50 | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100g（は種時） | | 50～100g（は種時） | 50～100g（は種時） | | | | 50～100g（は種時） | | 50～100g（は種時） | 50～100g（は種時） | 50～100g（は種時） | | 50～100g（は種時） | | | | 50～100g（は種時） | 50～100g（は種時） | | | | |
| | は種前、は種時（覆土前）～移植当日 | プーンパディート箱粒剤 | 50（は種前～） | | 50（当日） | 50（当日） | 50（当日） | 50（当日） | | 50（当日） | | 50（は種前～） | 50（は種前～） | 50（は種時～） | 50（当日） | 50（当日） | | 50（は種時～） | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（当日） | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（は種時） | | 50～100（当日） | 50～100（播種時） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | 50～100（当日） | | 50～100（は種前） | 50～100（は種前） | 50～100（は種時～） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | 50～100（当日） | | 50～100（は種時～） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | | |
| | | ヨーバルトップ箱粒剤 | 50～75 | | 50～75 | 50～75 | 50～75 | 50～75（3日前～） | | 50～75（3日前～） | | 50～75 | 50～75 | 50～75 | 50～75 | 50～75 | | | | 50～75 | 50～75 | 50～75 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | ヨーバルプライムＥＶ箱粒剤 | 50（は種前～） | 50 | 50 | 50（3日前～） | 50（3日前～） | 50（3日前～） | | 50 | | 50（は種前～） | 50 | 50 | 50 | 50 | | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | ヨーバルパワーＥＶ箱粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50（3日前～） | 50（3日前～） | 50（3日前～） | | 50 | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | ヨーバルＵＧ箱粒剤 | 50 | | 50 | 50（3日前～） | 50（3日前～） | 50（3日前～） | | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | エバーゴルワイド箱粒剤 | 50 | 50 | 50（播種時） | 50（当日） | 50（播種時） | 50（播種時） | | | | 50 | 50 | 50 | 50（は種前） | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（当日） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（は種前） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | |
| | | スタウトアレス箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | スタウトアレスモンガレス箱粒剤 | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | | | | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | | | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | | | |
| | | スタウトダントツ箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | | | | | |
| | | スタウトパディート箱粒剤<br>ツインパディート箱粒剤<br>ルーチンデュオ箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |

## 育苗箱施薬による病害虫防除

| | 使用時期 | 薬剤名 | いもち病 | 紋枯病 | 白葉枯病 | もみ枯細菌病 | 内頴褐変病 | 穂枯れ（ごま葉枯れ病菌） | イネハモグリバエ | イネヒメハモグリバエ | イネゾウムシ | イネミズゾウムシ | イネドロオイムシ | ニカメイチュウ | イナゴ類 | ツマグロヨコバイ | ウンカ類 | ヒメトビウンカ | セジロウンカ | フタオビコヤガ | イネツトムシ | コブノメイガ | イネクロカメムシ | カメムシ類 | イネシンガレセンチュウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 殺菌・殺虫剤 | は種前、は種時（覆土前）～移植当日 | スタウトパディートDX箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | | | 50 | 50 | 50 | 50（3日前～） | 50 | 50 | | | 50 | 50 | | | | |
| | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100（3日前～） | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | | | | |
| | | スタウトダントツ箱粒剤08<br>ツインターボ箱粒剤08 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | 50 | | | | | | 50（当日） | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | | | | | | 50（当日） | | |
| | | ブーンアレス箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50（当日） | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100（当日） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | ブーンレパード箱粒剤 | 50 | 50 | 50（当日） | 50（当日） | 50（当日） | 50（当日） | | | | 50 | 50 | 50（は種時～） | | 50（当日） | | | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | | | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | | 50～100（当日） | | | | 50～100（は種時～） | 50～100（は種時～） | | | | |
| | | ブーンリガードパディート箱粒剤 | 50（は種前） | 50 | 50（は種前） | 50（は種前） | 50（は種前） | 50（は種前） | | 50（当日） | | 50（は種前） | 50（は種前） | 50（は種前） | 50（当日） | 50（当日） | | 50（当日） | | 50（当日） | 50（は種前） | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（は種前） | 50～100 | 50～100（は種前） | 50～100（は種前） | 50～100（は種前） | 50～100（は種前） | | 50～100（当日） | | 50～100（は種前） | 50～100（は種前） | 50～100（は種前） | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | 50～100（当日） | | 50～100（当日） | 50～100（は種前） | | | | |
| | | ルーチンエキスパート箱粒剤 | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（当日） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | 50（は種時～） | 50（は種時～） | 50（は種時～） | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | |
| | | レシードプラス箱粒剤 | 50 | | 50 | | 50 | | | | | 50 | 50 | 50 | 50（3日前～） | 50 | | | | 50 | 50 | | | | |
| | | リョーガフェルテラ粒剤 | 50 | | | | | | | | 50 | | 50 | 50 | | | | | | | | | | | |
| | | リョーガパディート粒剤 | 50（は種前） | | | | | | | | | 50 | 50 | 50（当日） | 50（当日） | | | | | 50（当日） | | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（は種前） | | | | | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | | | | 50～100（当日） | | | | | |
| | 緑化期～移植当日 | ブイゲットハコレンジャーL粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50（3日前～） | | | | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100（3日前～） | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | ブイゲットパディート粒剤 | 50 | | 50 | 50 | | | | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50（3日前～） | | 50 | 50（3日前～） | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100（3日前～） | | 50～100 | 50～100（3日前～） | 50～100 | | | |
| | | ブイゲットフェルテラ粒剤 | 50 | | 50 | 50（3日前～） | | | | 50（3日前～） | | 50 | 50 | 50 | | 50 | | | | 50 | 50（当日） | 50（当日） | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100（3日前～） | | | | 50～100（3日前～） | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100（当日） | 50～100（当日） | | | |
| | | ブイゲットプリンスリンパーL粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50（3日前～） | 50（当日） | | | | | 50 | 50 | 50 | | | 50 | | | | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100（3日前～） | 50～100（当日） | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | Cs.オリゼパディート箱粒剤 | 50 | | | | | | | | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | | | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（3日前～） | | | | | | | | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | | | | | | | |
| | | Dr.オリゼパディート粒剤 | 50 | | | | | | | 50（当日） | | 50 | 50 | 50（3日前～） | 50（当日） | 50 | | 50 | | 50（3日前～） | 50（3日前～） | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（3日前～） | | | | | | | 50～100（当日） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（当日） | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | | |
| | | Dr.オリゼフェルテラ粒剤 | 50 | | 50（3日前～） | 50（3日前～） | 50（3日前～） | | | 50（3日前～） | | 50 | 50 | 50 | | 50 | | | | 50 | 50 | 50（当日） | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | | 50～100（3日前～） | | | | 50～100（3日前～） | 50～100（3日前～） | 50～100（当日） | | | |
| | 移植１０日前～移植当日 | ブイゲットバリアード粒剤 | 50 | | 50 | 50（3日前～） | | | | | | 50 | 50 | 50（当日） | | 50 | | | | | | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100（3日前～） | | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100（当日） | | 50～100 | | | | | | | | | |
| | 移植７日前～移植当日 | 箱いり娘粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | 箱大臣粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | | | | | |
| | | 〃（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | | | | | |

## 育苗箱施薬による病害虫防除

| | 使用時期 | 薬剤名 | いもち病 | 紋枯病 | 白葉枯病 | もみ枯細菌病 | 内頴褐変病 | 穂枯れ（ごま葉枯れ病菌） | イネハモグリバエ | イネヒメハモグリバエ | イネゾウムシ | イネミズゾウムシ | イネドロオイムシ | ニカメイチュウ | イナゴ類 | ツマグロヨコバイ | ウンカ類 | ヒメトビウンカ | セジロウンカ | フタオビコヤガ | イネツトムシ | コブノメイガ | イネクロカメムシ | カメムシ類 | イネシンガレセンチュウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 殺菌・殺虫剤 | 移植７日前～移植当日 | Ｃｓ．オリゼリディアＥＶ箱粒剤 | 50 | 50 | | | | | | | | 50 | 50 | 50<br>(3日前～) | | | 50 | | | | | | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | | | | | | | | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | | | 50～100<br>(3日前～) | | | | | | | | |
| | | Dr．オリゼリディア箱粒剤 | 50 | | 50 | 50<br>(3日前～) | 50<br>(3日前～) | 50<br>(当日) | | 50<br>(3日前～) | | 50 | 50 | 50<br>(3日前～) | 50<br>(3日前～) | 50 | 50 | | | 50<br>(3日前～) | 50<br>(3日前～) | | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100<br>(3日前～) | | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(当日) | | 50～100<br>(3日前～) | | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | | | 50～100<br>(3日前～) | 50～100<br>(3日前～) | | | | |
| | 移植３日前～移植当日 | サンエース箱粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | |
| | | サントリプル箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | | | | | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | 50 | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | |
| | | ジャッジ箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | | | | 50 | | 50 | 50 | 第1世代<br>50 | | 50 | | 50 | 50 | | | | | | 50 |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100<br>(当日) | | 50～100<br>(当日) | 50～100<br>(当日) | | | | 50～100<br>(当日) | | 50～100<br>(当日) | 50～100<br>(当日) | 第1世代<br>50～100<br>(当日) | | 50～100<br>(当日) | | 50～100<br>(当日) | 50～100<br>(当日) | | | | | | 50～100<br>(当日) |
| | | ツインキック箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | | | | 50<br>(当日) | | 50 | 50 | 50 | 50<br>(当日) | | | | | 50 | 50 | | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | | | | 50～100<br>(当日) | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100<br>(当日) | | | | | 50～100 | 50～100 | | | | |
| | | デジタルコラトップアクタラ箱粒剤 | 50 | | | | | | | | | 50 | 50 | 50<br>(当日) | | 50 | 50 | | | | | | 50（当日） | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | | | | | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100<br>(当日) | | 50～100 | 50～100 | | | | | | 50～100<br>(当日) | | |
| | | デジタルメガフレア箱粒剤 | 50 | | | | | | | | | 50 | 50 | 50(当日) | | 50（当日） | 50 | | | | | | | 50 | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | | | | | | | | | 50～100 | 50～100 | 50～100<br>(当日) | | 50～100<br>(当日) | 50～100 | | | | | | | 50～100 | |
| | | トリプルキック箱粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50<br>(当日) | | 50 | 50 | 50 | 50<br>(当日) | | | | | 50 | 50 | | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100<br>(当日) | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100<br>(当日) | | | | | 50～100 | 50～100 | | | | |
| | | ルーチンコア箱粒剤 | 50 | | 50 | 50 | 50 | 50 | | 50 | | 50 | 50 | 50 | | 50 | | | | | | | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | 50～100 | | | | | | | | | |
| | | Dr．オリゼフェルテラグレータム粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50 | | | | | | 50 | 50 | | | 50 | | | | 50 | | | | | |
| | | 〃　（高密度に播種する場合） | 50～100 | 50～100 | 50～100 | 50～100 | | | | | | 50～100 | 50～100 | | | 50～100 | | | | 50～100 | | | | | |
| | 移植２日前～移植当日 | ルーチンアドスピノＧＴ箱粒剤 | 50 | 50 | 50 | 50<br>(当日) | 50<br>(当日) | | | | | 50 | 50 | 50 | | 50 | 50 | | | 50 | 50 | 50 | | | |

**（２）湛水直播栽培における防除**

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| いもち病 | ﾙｰﾁﾝｼｰﾄﾞFS | P3 | | 乾燥種もみ1kg当り原液6～12mL(原液71mL/10aまで) | | は種前(浸種前) | 塗沫処理(種子被覆剤を加用) | 1回 |
| | | | | 乾燥種もみ1kg当り原液6～12mL(原液71mL/10aまで) | | は種前(浸種後) | ｺｰﾃｨﾝｸﾞ中又はｺｰﾃｨﾝｸﾞ後の種もみに塗沫処理 | 1回 |
| | Dr.ｵﾘｾﾞﾌｪﾙﾃﾗ粒剤 | P2,28 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| 紋枯病 | ｴﾊﾞｰｺﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 7 | | 乾燥種もみ1kg当り原液10mL(原液44mL/10aまで) | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| 苗腐病(ピシウム菌) | ｽｸｰﾃﾞﾘｱES | 4 | | 乾燥種もみ1kg当り原液5mL | | は種前 | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| ｳﾝｶ類 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | 4A | 劇 | 種もみ3kg当り150～200g(200g/10aまで) | | は種前 | 過酸化ｶﾙｼｳﾑ剤との同時湿粉衣 | 1回 |
| ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | 4A | 劇 | 種もみ3kg当り150～200g(200g/10aまで) | | は種前 | 過酸化ｶﾙｼｳﾑ剤との同時湿粉衣 | 1回 |
| ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ | ﾀﾞﾝﾄﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4A | | 原液 | 種もみ3kg当り75mL/10a | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液10～11mL(原液55mL/10aまで) | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | Dr.ｵﾘｾﾞﾌｪﾙﾃﾗ粒剤 | P2,28 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ | ﾌｫﾙﾃﾝｻﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液8～10mL | | は種前 | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| | ﾙﾐﾋﾞｱFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液4～7mL | | は種前 | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液55mL/10aまで) | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | Dr.ｵﾘｾﾞﾌｪﾙﾃﾗ粒剤 | P2,28 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| | ﾙﾐﾋﾞｱFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液4～7mL | | は種前 | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| | ﾌｫﾙﾃﾝｻﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液8～10mL | | は種前 | 種子吹き付け処理又は塗沫処理 | 1回 |
| ｷﾘｳｼﾞｶﾞｶﾞﾝﾎﾞ | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| ﾆｶﾒｲﾁｭｳ | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液10～11mL(原液55mL/10aまで) | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |
| ｲﾈﾂﾄﾑｼ | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 28 | | 乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液55mL/10aまで) | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 |
| | 箱いり娘粒剤 | P3,4A,5,7 | | 1kg/10a | | は種時 | は種同時施薬機を用いて土中施用する。 | 1回 |

**（3）本田期の防除**

RPA

| 病害虫名 | 防除時期 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 葉いもち | 6月下旬～7月上旬 | ﾌﾞﾗｼﾝ粉剤DL | U14,16.1 | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ﾌﾞﾗｼﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U14,16.1 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ﾄﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U16 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | 初発の10日前～初発時 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ1ｷﾛ粒剤 | P02 | | 1～1.3kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | P02 | | 3～4kg/10a | | 葉いもちには初発の10日前～初発時穂いもちには出穂3～4週間前<br>収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤20 | P02 | | 1kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ｺﾗﾄｯﾌﾟ1ｷﾛ粒剤12 | 16.1 | | 1～1.5kg/10a | | 葉いもちに対しては初発10日前～初発時 穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | 初発の10日前～10日後 | ｵﾘﾌﾞﾗｲﾄ250G | 11 | | 250g/10a | | 出穂10日前まで ただし､収穫45日前まで | 散布 | 1回 |
| 穂いもち病 | 第2回目穂揃直後 | ﾗﾌﾞｻｲﾄﾞﾀﾞﾝﾄﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4A,16.1 | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫7日前まで | 無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 3回以内 |
| | | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | 3A,11 | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫14日前まで | 空中散布 | 3回以内 |
| | | | | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U16 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | ﾌﾞﾗｼﾝ粉剤DL | U14,16.1 | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ﾌﾞﾗｼﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | U14,16.1 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄEXｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | | | | 250倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| 穂いもち病 | 第2回目穂揃直後 | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄｴｸｼｰﾄﾞｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | | | | 250倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｽﾀｰｸﾙ粉剤5DL | 4A,16.1 | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄﾓﾝｶｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 16.1,7 | | 5～8倍 | 800mL/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | 出穂3～4週間前 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | P02 | | 3～4kg/10a | | 葉いもちには初発の10日前～初発時穂いもちには出穂3～4週間前<br>収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | 出穂10日前頃 | ﾜｲﾄﾞﾊﾞﾝﾁ豆つぶ | 2B,11 | | 250g/10a | | 収穫35日前まで | 散布 | 1回 |
| 紋枯病 | 第1回目穂ばらみ期 | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5 | U18 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 5回以内 |
| | | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ粉剤DL | U18 | | 3～4kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 5回以内 |
| | （垂直進展初期）<br>第2回目穂揃期 | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | 11,3A | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫14日前まで | 空中散布 | 3回以内 |
| | | | | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄﾓﾝｶｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 16.1,7 | | 5～8倍 | 800mL/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | 出穂30日前～出穂期 | ﾘﾝﾊﾞｰ粒剤 | 7 | | 3～4kg/10a | | 収穫30日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | 出穂30～10日前 | ﾓﾝｶｯﾄ粒剤 | 7 | | 3～4kg/10a | | 出穂30～10日前 但し､収穫14日前まで | 湛水散布 | 4回以内 |
| 白葉枯病 | 移植活着後及び出穂3～4週間前 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | P02 | | 3～4kg/10a | | 移植活着後及び出穂3～4週間前<br>収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ごま葉枯病 | 第1回目穂ばらみ期 | ﾌﾞﾗｼﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 16.1,U14 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | 第2回目穂揃期 | ﾌﾞﾗｼﾝ粉剤DL | 16.1,U14 | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| 稲こうじ病 | 出穂10日前まで | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ粉剤DL | M1 | | 3～4kg/10a | | 出穂10日前まで | 散布 | - |
| | 穂ばらみ期 | ﾌﾞﾗｼﾝ粉剤DL | 16.1,U14 | | 4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| もみ枯細菌病 | 出穂3～4週間前 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ1ｷﾛ粒剤 | P02 | | 1～1.3kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | P02 | | 3～4kg/10a | | 移植活着後及び出穂3～4週間前<br>収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｲﾈﾋﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | 5月中旬～6月上旬（幼虫発生初期） | ｴﾙｻﾝ乳剤 | 1B | 劇 | 1500～2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ｴﾙｻﾝ粉剤2 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ｲﾈｿﾞｳﾑｼ成虫 | 5月中旬 | ｴﾙｻﾝ粉剤2 | 1B | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ | 5月下旬（越冬成虫） | ﾄﾚﾎﾞﾝ粒剤 | 3A | | 2～3kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ﾆｶﾒｲﾁｭｳ第1世代 | 第1世代<br>粉液剤：発が最盛期後15～20日頃（6/15～20頃） | ｴﾙｻﾝ乳剤 | 1B | 劇 | 1000～1500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ﾆｶﾒｲﾁｭｳ第2世代 | | ｴﾙｻﾝ乳剤 | 1B | 劇 | 800～1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ﾆｶﾒｲﾁｭｳ | 粒剤：発が最盛期10日後頃（6/10頃） | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 6回以内 |
| | | ﾊﾞﾀﾞﾝ粒剤4 | 14 | 劇 | 3～4kg/10a | | 収穫30日前まで | 散布 | 6回以内 |
| ｲﾅｺﾞ類 | 6月下旬～7月下旬 | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 3A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ | 7月下旬～8月上旬（第2世代幼虫発生初期）<br>8月中旬～8月下旬（第3世代幼虫発生初期） | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粉剤DL | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | 4A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 3A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粒剤 | 3A | | 2～3kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ｳﾝｶ類 | 7月下旬～8月上旬（幼虫発生初期） | ｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粉剤DL | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｽﾀｰｸﾙ粉剤5DL | 4A,16.1 | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | 4A,1 | | 3～4kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | 4A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 3A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粒剤 | 3A | | 2～3kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ｳﾝｶ類 | 7月下旬～8月上旬（幼虫発生初期） | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | 3A,11 | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫14日前まで | 空中散布 | 3回以内 |
| | | | | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄEXｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 250倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄｴｸｼｰﾄﾞｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 250倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | ｴｸｼｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4C | | 16倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | | | | 2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｴｸｼｰﾄﾞ粉剤DL | 4C | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｴﾐﾘｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4F | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | 出穂7～10日後 | ｽﾀｰｸﾙ豆つぶ | 4A | | 250～500g/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ﾌﾀｵﾋﾞﾖﾔｶﾞ | 6月下旬～7月上旬（第1世代幼虫発生初期）<br>7月下旬～8月上旬（第2世代幼虫発生初期） | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | 1B | | 2000～4000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ｲﾈﾂﾄﾑｼ | 6月下旬（第1世代）<br>7月下旬～8月上旬（第2世代）<br>各世代とも若齢幼虫発生初期 | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 6回以内 |
| ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ | 7月中旬～8月中旬（成虫飛来盛期～幼虫ふ化期） | ｽﾐﾁｵﾝ粉剤3DL | 1B | | 3～4kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内（但し、出穂前は1 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 薬剤名 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｶﾒﾑｼ類 | 早生・中生<br>第1回目：穂揃期<br>第2回目：糊熟初期<br><br>晩成は糊熟初期に1回のみ | ｽﾐﾁｵﾝ粉剤3DL | 1B | | 3～4kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内<br>(但し､出穂前は1 |
| | | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | 1B | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫21日前まで | 空中散布 | 2回以内 |
| | | | | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | ｴｸｼｰﾄﾞ 粉剤DL | 4C | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｴｸｼｰﾄﾞ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4C | | 2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 16倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 3A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 3A,4A | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | ﾄﾗｲﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 3A,U16 | | 3～4kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | 3A,11 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | ｴﾐﾘｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4F | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | ｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粒剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | 4A,1 | | 3～4kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｽﾀｰｸﾙ粉剤5DL | 4A,16 | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄｽﾀｰｸﾙｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 3回以内 |
| | | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄEXｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | | | | 250倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ｶﾒﾑｼ類 | 早生・中生<br>第1回目：穂揃期<br>第2回目：糊熟初期<br>晩成は糊熟初期に1回のみ | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄｴｸｼｰﾄﾞｿﾞﾙ | 4C,16.1 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 250倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | 4A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ﾗﾌﾞｻｲﾄﾞﾀﾞﾝﾄﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 4A,16.1 | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫7日前まで | 空中散布 | 3回以内 |
| | | | | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫7日前まで | 無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 3回以内 |
| | 出穂10日前頃 | ｷﾗｯﾌﾟ粒剤 | 2B | | 3kg/10a | | 収穫14日前まで | 湛水散布 | 2回以内 |
| | | ﾜｲﾄﾞﾊﾞﾝﾁ豆つぶ | 2B,11 | | 250g/10a | | 収穫35日前まで | 散布 | 1回 |
| | 出穂期 | ﾀﾞﾝﾄﾂ粒剤 | 4A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | 出穂7日後 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粒剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｽﾀｰｸﾙ粒剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | | ｽﾀｰｸﾙ豆つぶ | 4A | | 250g/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | 出穂直前 | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 3A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |

## 本田防除の注意事項

### 葉いもち

・圃場をよく見まわり早期発見につとめ、初期防除を徹底する。
・予防粒剤の適期は６月上旬頃、散布剤は初発の１週間後である。
・薬剤を施用した圃場でも、新たな病斑が発生したら、散布 10 日後に追加防除する。
・降雨が続いても、雨のやみ間を見て防除する。
・直播田や遅植田は、多発する可能性があるので注意する。
・粒剤は水深３～４㎝、パック剤は水深５～６㎝で止水、散布し、施用後１週間程度はかけ流しをしない。
・パック剤は、藻や浮草が多発している場合や風の強い日は拡散が劣る。
稲が繁茂してからは使用しない。
・オリブライト１キロ粒剤は、葉に褐点が出ることがある。
〔耕種的防除〕
・保菌種子や被害わらが第一次伝染源となるので、健全種子を使用し、種子消毒する。
育苗施設周辺から、わら、籾殻などを除去する。
・覆土時に種籾を露出させない。
・育苗ハウスに紫外線カットフィルムを使用すると胞子形成が阻害される。
・伝染源をなくすため、補植用苗は早急に取り除く。
・窒素肥料を多用すると稲体が軟弱に生育し、発病を助長する。
・珪酸質肥料を秋起時に施用し、イネの抵抗力を高める。
秋に施用しない場合は、出穂の２週間前までに本田施用する。

### 穂いもち

・葉いもちが多発した圃場や葉色の濃い圃場、出穂期以降の連続降雨で多発しやすい。
・多発が予想されるときは、傾穂期　（穂揃い７～10 日後）に追加防除する。
・使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種の穂揃後に使用しない。
・ブラシン粉剤ＤＬ、ブラシンフロアブルは、変色米に有効である。

### 紋枯病

・前年の罹病残渣が伝染源であるので、前年多発した圃場では箱粒剤、種子塗抹剤等を使用し、初期防除を徹底する。
・粒剤施用後、１週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。
・薬剤が稲の下部に付着するように散布する。
・晩生種、直播田でも７月下旬には防除する。
・使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種の穂揃後に使用しない。
・初期防除を行っていても、後期に多発生が予想されるときは追加防除する。

**小粒菌核病**

・粒剤施用後、１週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。

〔耕種的防除〕

・発生地域では、早期落水をしない。

・灌排水に注意し、根腐れを起こさないようにする。

**白葉枯病**

・常発地や多発が予想されるときは、予防散布を行う。

・散布後、１週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。

**ごま葉枯病**

・発生が多い場合は、傾穂期にも防除する。

〔耕種的防除〕

・「秋落ち」など肥切れしやすい圃場で発生しやすいため、土壌改良資材を投与し土づくりを行う。

・適切な中干しを行い、稲体の消耗を防ぐ。

**もみ枯細菌病**

・健全種子を使用し、正しく種子消毒を行う。催芽～育苗時に 30℃以上の高温になると感染が広がるため温度管理に気を付ける。

・出穂期頃の最低気温が 22℃以上の高温状態で、降雨が続くと多発する。

・粒剤散布後、１週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。

・使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種では穂揃期までとする。

**イネヒメハモグリバエ**

・幼虫加害初期に防除する。

・直播栽培など生育が遅いほど発生が多くなる。

**イネミズゾウムシ**

・山間部や雑草地の近くで発生が多い。

・穴あき米（穿孔米）は割れ籾（開えい籾）が多いと発生も多くなる。

・粉剤は浅水にして夕方散布すると効果が高い。

・６月上旬はニカメイチュウ、イネドロオイムシと同時に防除できる。

**ニカメイチュウ**

・遅植、直播、多肥栽培で発生しやすい。

〔耕種的防除〕

・幼虫が収穫後の刈り株で越冬するので、刈り株の早期すき込みと湛水管理を行う。

**イナゴ類**

・幼虫発生初期の６月下旬～７月上旬の防除が効果的である。
・畦畔沿いを重点に散布する。

**ツマグロヨコバイ**

・防除時期および防除要否は、予察情報または地域ごとの調査で判断する。
・早生品種の収穫後は、中晩生品種に集中加害することがあるので注意する。
・収穫期近くの防除は、農薬使用基準に従い薬剤を選ぶ。
　特に、使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種での使用に注意する。
・トレボン粒剤は湛水して施用し、施用後１週間程度はかけ流ししない。

**ウンカ類（セジロウンカ、トビイロウンカ）**

・防除時期および防除要否は、予察情報または地域ごとの調査で判断する。
・薬剤が株元にかかるように散布する。
・トレボン粒剤は湛水条件で使用し、施用後１週間程度はかけ流ししない。
・使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種での使用に注意する。
・収穫期近くの防除は使用時期に注意する。

**フタオビコヤガ（イネアオムシ）**

・使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種での使用に注意する。
・遅植や直播田に発生が多い。

**イネツトムシ（イチモンジセセリ）**

・葉色の濃い品種で被害がひどくなる。
・遅植や直播田に発生が多い。

**コブノメイガ**

・防除適期は、幼虫ふ化初期となる成虫最盛期３～５日後である。
・葉色が濃いイネは被害が出やすい。

**カメムシ類**

・ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、カスミカメムシ類の発生が多いときは、収穫 14～７日前に追加防除する。
・粒剤は湛水深３㎝程度で散布し、施用後１週間程度はかけ流しをしない。

**イネクロカメムシ**

・越冬場所に近い山際などで、６月下旬に葉が萎縮するなどの被害を確認したら７月上旬までに防除する。
・若齢幼虫は下部の葉鞘に多いため、下部に葉剤がかかるようにする。

## （４）いもち病の総合的管理

### ・基本的ないもち病の防除対策

**育苗期防除**

**種　子　消　毒**

・いもち病の発生がなかった圃場の健全種子を用いる。
・塩水選を励行する。
・種子消毒は必ず行う。

**播　　種　　時**

・厚播きせずに、種籾が露出しないように、覆土をしっかり行う。

**育苗施設管理**

・屋内で保管した籾殻や稲わらは、第一次伝染源となるので育苗施設内には置かない。
・換気に気をつけ、過湿にならないようにする（育苗期の気温が高い場合）。

**葉いもち防除**

**育苗箱施用**

・本田葉いもちの防除ができる。
・残効期間は薬剤によって差があるので注意する。
・薬剤によって播種時、緑化期から使用出来るものがある。
・広域で行うと防除効果が高い。
・散布ムラによる効果のばらつき、薬害に注意する。
・箱施用量を守る。

**補　　植　　苗**

・補植用取り置き苗は感染源になりやすいので、移植後１週間以内に取り除く。

**水面施用（粒剤）**

・予防効果のある薬剤は、感染好適条件出現までに施用する。
・治療効果のある薬剤は、葉いもち初発時までに施用する。
・湛水状態（粒剤：水深３～５㎝、パック剤：水深５～６㎝）にし、自然落水させる。施用後７日間は落水・かけ流しをしない。
・本田初発は６月２０日頃。

**散布（粉・液剤）**

・全般発生開始期から１週間以内に薬剤散布を行う。
・病斑が急増したあとでは十分な効果が得られない。
・薬剤散布後、病斑が増加するなら７～１０日後に追加防除する。
・直播田や遅植え田では葉いもちの発生が多くなりやすいので、防除を徹底する。
・降雨が続く場合は、雨のやみ間をみてでも適期防除を行う。

**穂いもち防除**

**水面施用（粒剤）**

・粒剤による場合は、湛水状態で施用し、施用後７日間は落水・かけ流しをしない。
・葉いもちが発生していると効果が劣るので、葉いもち発生量が多い場合や穂いもちの多発年においては粉・液剤を併用する。

**散布（粉・液剤）**

・穂ばらみ期と穂揃期の２回散布を行う。
・出穂がばらつき、遅延する場合は穂揃期の７～１０日後に追加防除を行う。
・葉いもちが多発した圃場や、葉色の濃い圃場では多発しやすいので注意する。
・窒素肥料の多施用は発病を助長するので、適正な肥培管理を行う。
・早期落水はイネの抵抗力を弱めるので、収穫期まで適正な水管理を行う。

・いもち病の薬剤防除体系例

| | 5月 | | | 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 |
| | ←移植期→ | | | ←分げつ期→ | | | ←穂ばらみ期→ | | | ←登 熟 期→ | | |
| | | | | | | | | | （出穂期） | | | |
| | 移植直前 | | | 全般発生開始前 | 全般発生開始 | 全般発生開始後一週間以内 | | 出穂前 | | 出穂直前 | 穂揃期 | 傾穂期 |
| | ←葉 い も ち 防 除→ | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | ←穂いもち防除→ | | | | | |
| | 箱施用 | | | 水面施用(粒剤) | | 散布(粉液剤等) | 追加散布(粉液剤等) | 水面施用(粒剤) | | 散布(粉液剤等) | 散布(粉液剤等) | 散布(粉液剤等) |
| 体系1 | | | | | | ◎ | △ | | ○ | ◎ | △ | |
| 体系2 | | | | ◎ | | | | | ○ | ◎ | △ | |
| 体系3 | | | | ◎ | | | | ◎ | | △ | | |
| 体系4 | ◎ | | | | | | △ | | ○ | ◎ | △ | |
| 体系5 | ◎ | | | | | | △ | ◎ | | △ | | |

◎:必要防除　○:少発条件の場合省略可能　△:臨機防除

## ・いもち病防除薬剤の特性

| 分類 | 耐性菌発生のリスク | FRAC ｺｰﾄﾞ/有効成分名 | 商品名（含まれる名称） | 効果 | | 作用特性 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 予防 | 治療 | |
| ベンズイミダゾール系 | 高 | 1/チオファネートメチル | トップジン | ○ | ○ | 感染防止効果は強く、また、病斑の拡大を阻止する。 |
| ジチオラン | 中 | 6/イソプロチオラン | フジワン | ○ | | いもち病菌の胞子発芽にはほとんど影響がなく、付着器形成以後の進入菌糸伸展の生育を強く阻害。 |
| ストロビルリン系（QoI 殺菌剤） | 高 | 11/アゾキシストロビン | アミスター | ○ | ○ | 浸透移行性があり、胞子形成、胞子柄形成、胞子飛散を抑える。 |
| | | 11/メトミノストロビン | オリブライト,ワイドパンチ | ○ | ○ | 水面施用により根からイネ体にすばやく吸収される。持続期間が長い。 |
| メラニン生合成阻害 ＭＢＩ－Ｒ | 未発生 | 16.1/フサライド | ラブサイド | ○ | | 予防効果が高く、胞子のイネへの侵入阻害効果、胞子飛散抑制効果がある。効果持続期間が長い。浸透移行性は乏しい。 |
| | | 16.1/ピロキロン | コラトップ,デジタルメガフレア | ○ | | 菌糸のイネ体への侵入が阻止され、また、すでに形成された病斑上の胞子形成も阻害される。浸透移行性及び残効性を有する。 |
| | | 16.1/トリシクラゾール | ビーム | ○ | | 浸透移行性があり、イネのあらゆる部分から吸収されて体内に分布し、いもち病菌の侵入を防ぐ。また、胞子形成を抑制し、胞子の病原力を低下させ、二次感染を抑止する。効果持続期間が長い。 |
| メラニン生合成阻害 ＭＢＩ－Ｐ | 未発生 | 16.3/トルプロカルブ | サンエース,サントリプル,トリプルキック,ツインキック | ○ | | イネいもち病菌の付着器でのメラニン生合成阻害作用、それに伴う感染阻害活性を持つ。 |
| 抗生物質 | 高 | 24/カスガマイシン | カスミン | ○ | ○ | 治療効果が高く潜伏中の病斑治療、病斑拡大阻害効果がある。残効は短い。耐性菌が発生している。 |
| ピリミジン系 | 未発生 | U14/フェリムゾン | ブラシン | ○ | ○ | 治療効果が高く潜伏中の病斑治療、病斑の拡大阻止、病斑上の胞子形成阻害を有する。 |
| アシルオキシキノリン系 | 未発生 | U16/テブフロキン | トライ | ○ | ○ | 病斑形成や伸長、病斑上の胞子形成を強く阻害する。 |
| 抵抗性誘導剤 | 未発生 | P2/プロベナゾール | オリゼメート,ファーストオリゼ,Ｄｒ．オリゼ,ジャッジ | ○ | | 根から吸収され、いもち病菌に対し、侵入阻害作用、菌糸生育阻止作用、病斑拡大阻止作用、胞子形成阻止作用を示す。効果が現れるまで期間がかかる。持続期間が長い。 |
| | | P3/チアジニル | ブイゲット | ○ | | 稲が本来持っている病害防御機能を高めることにより、いもち病菌の稲体内での菌糸の伸展を強く阻害する。浸透移行性に優れ、根部から稲体へ速やかに吸収移行されることにより、防除効果を示す。 |
| | | P3/イソチアニル | ルーチン,スタウト,エバーゴルワイド,ツインパディート,ツインターボ,箱いり娘,箱大臣,ヨーバルトップ,ヨーバルプライム EV | ○ | | 浸透移行性があり、感染した細胞が過敏感細胞死を起こすことで他の細胞への拡大を防ぐ。 |
| | | P8/ジクロベンチアゾクス | ブーン | ○ | | 感染した細胞は活性酵素、抗菌性物質を産生し菌糸の伸展を阻害、さらに過敏感細胞死を起こして他の細胞への感染拡大を防ぐ。 |

## ・QoI 剤耐性いもち病対策

1　QoI 剤耐性いもち病菌の発生状況

2012 年度から現在まで、福井県の近隣を含めた 21 府県で QoI 剤※耐性のイネいもち病菌が確認されている。

※QoI 剤（ストロビルリン系殺菌剤）

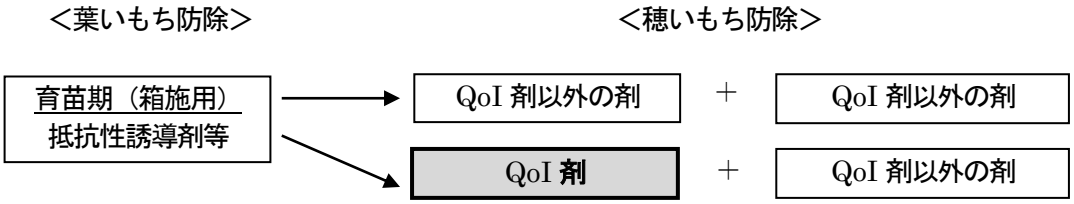
| 成分名 | 農薬名（防除指針掲載薬剤） |
|---|---|
| アゾキシストロビン | アミスタートレボン SE |
| メトミノストロビン | オリブライト 1 キロ粒剤、オリブライト 250G、ワイドパンチ豆つぶ |

2　QoI 剤耐性いもち病菌の発生を抑えるための対策

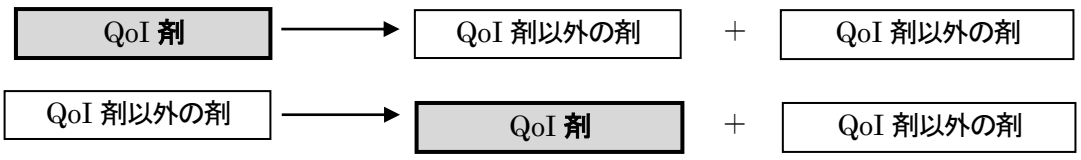
1）採種圃では、種子流通に伴って広範囲で耐性菌を広める恐れがあるため、QoI 剤の使用を避ける。
2）QoI 剤の使用回数は、最大年１回とする。
3）育苗箱施用で QoI 剤を使用した場合には、本田では QoI 剤を使用しない。
4）種子消毒は、種子消毒の使用方法を遵守して、必ず実施する。
5）耕種的防除（補植用苗を早期に除去する、種子更新による健全種子を使用する、伝染源である稲わら・籾を育苗ハウス内に置かない）を実施する。
6）薬剤は規定の施用量を均一に散布し、防除効果が低下しないようにする。
7）育苗時に苗いもちの発生が確認された場合には、本田への移植を行なわない。
8）連年、QoI 剤を使用している圃場では、可能な限り１年もしくは２年ごとに QoI 剤と作用機構が異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクが低い薬剤を使用することが望ましい。

3　一般圃場で QoI 剤を利用する場合の防除体系例　　※薬剤については参照

**1）育苗箱施用により葉いもち防除する場合**




**2）育苗箱施用を行わず、本田防除を行う場合（直播栽培等）**

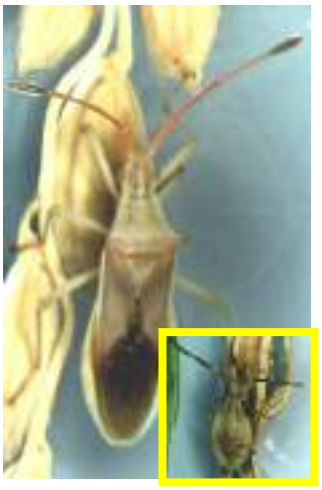



◎QoI 剤の連年使用は避け、可能な限り１年または２年おきに作用機構の異なる薬剤とローテーションで使用する（イネいもち病防除における QoI 剤及びＭＢＩ-D剤耐性菌対策ガイドラインより）。

## （５）斑点米カメムシ類と総合的管理

・斑点米をひきおこすカメムシの種類　※小枠内は幼虫

### 飛翔性カメムシ



ホソハリカメムシ

アカスジカスミカメ

ｱｶﾋｹﾞﾎｿﾐﾄﾞﾘｶｽﾐｶﾒ

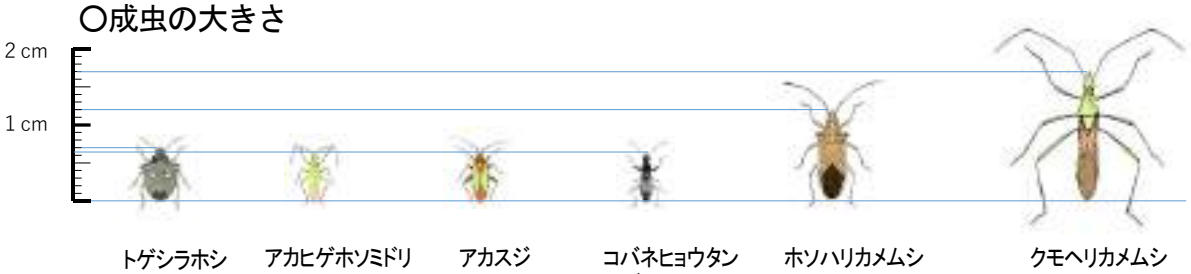
### 歩行性カメムシ

クモヘリカメムシ

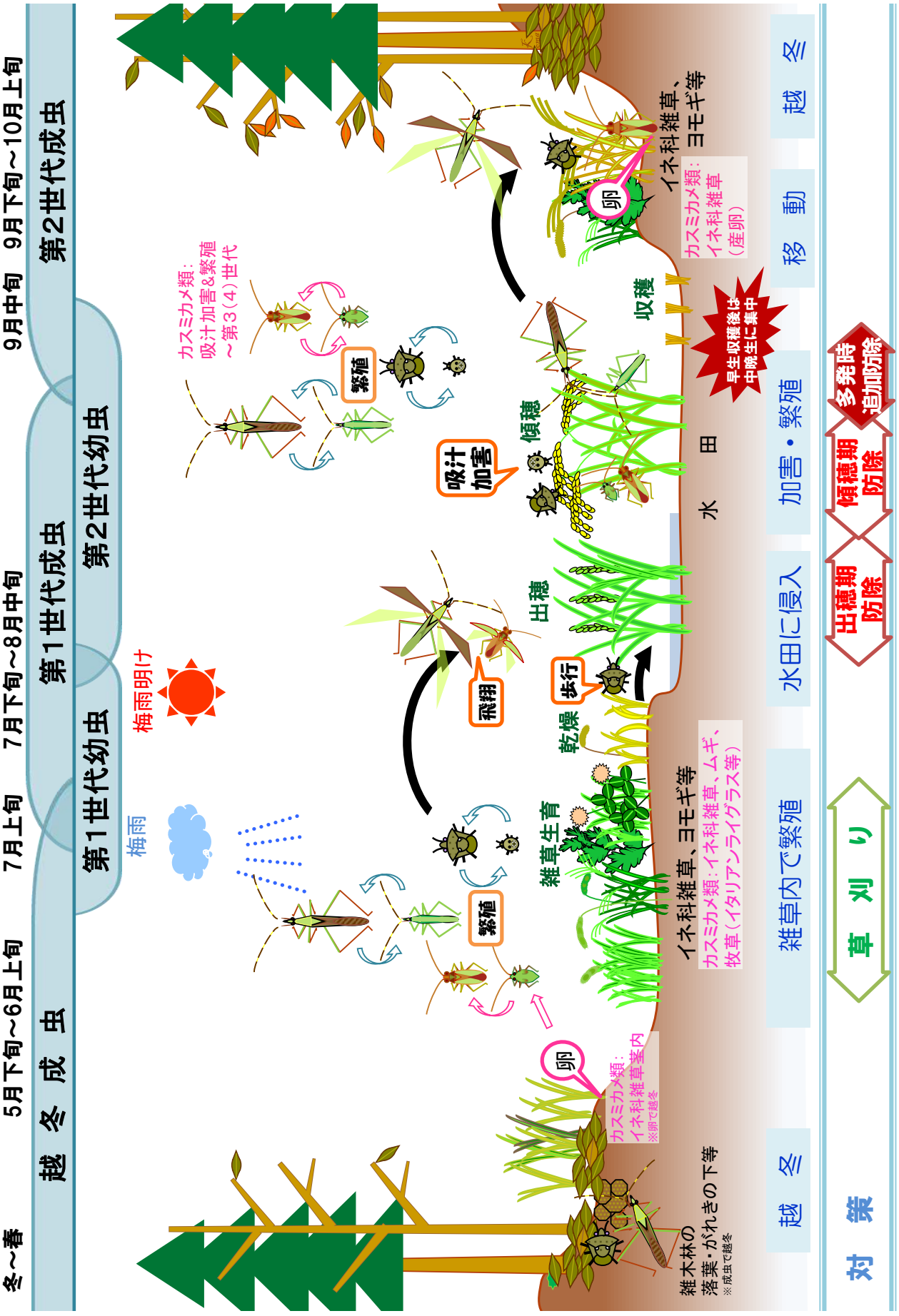
ｺﾊﾞﾈﾋｮｳﾀﾝﾅｶﾞｶﾒﾑｼ

トゲシラホシカメムシ

○成虫の大きさ



・斑点米カメムシ類の生活史



## 斑点米カメムシ類の総合的管理方法

### 品種の団地化

・出穂が早い品種、圃場ほど斑点米の発生が多くなる。
・品種の団地化を行うことで、カメムシ類による集中加害を防ぎ、加害を軽減する。

### 雑草の管理

・出穂するまでカメムシ類は、主に畦畔、農道、休耕田などの雑草地で生息している。
・**草刈りを出穂１０日前までに**こまめに行い、イネ科雑草の種子がつかないように管理し、カメムシ類の繁殖を抑える。
・出穂後の草刈りは、カメムシ類の水田への侵入を助長するので、行わない方がよい。
・休耕田におけるカメムシ防除薬剤は、次ページを参照する。
・草刈りは、地域で一斉に行うとカメムシ類の避難場所をなくし、防除効果が高くなる。
・水田内の雑草は、カメムシ類の本田侵入を助長するので早めに取り除く。

### 出穂以降の管理

・水田内でカメムシ類が１頭以上すくい取られると、1,000 粒に１粒以上の斑点米が混入する可能性が大きい。
・すくい取り調査方法：捕虫網を用いて、出穂始めと穂揃期の２回、２５回往復（５０回振り）で、水田内の畦畔沿いをすくい取る。捕獲率が高い早朝、または午後４時以降に行うとよい。

### 薬剤防除

〈粉剤・液剤による防除〉
・**薬剤防除は、穂揃期と糊熟初期の２回**防除が基本。多発生が予想される場合は３回目の防除を収穫１４～７日前に行う。
・薬剤散布は、**地域で一斉に行うと、より効果が高くなる**。
・収穫期に近い防除は、特に農薬使用基準に注意する。
・カメムシの種類によって、効果の高い薬剤が異なる。
・圃場の周辺部は斑点米の発生が多いので、別刈り・別仕分けする。

| IRAC | 1B | 2B | 3A | 4A | | 4C | 4F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 系 統 | 有機リン | フェニルピラゾール | ピレスロイド | ネオニコチノイド | | スルホキシイミン | ピリジリデン |
| 成 分 | MEP | エチプロール | エトフェンプロックス | ジノテフラン | クロチアニジン | スルホキサフロル | フルピリミン |
| 薬 剤 | スミチオン | キラップ | トレボン | スタークル<br>アルバリン | ダントツ | エクシード | エミリア |

## 〈粒剤を基幹とした防除事例〉

（スタークル／アルバリンを用いた事例）

**粒剤散布時の注意事項**

・スタークル／アルバリン粒剤は水溶性が高く流亡しやすいため、水深３㎝ 程度の湛水状態で散布し、その後自然落水するまで、水を落とさない。
・スタークル／アルバリン粒剤・粉剤ＤＬともに、使用量は１０ａ当たり３kg とする。
・額縁防除を行う場合は、水田内幅３ｍの額縁部のみ１０ａ当たり３kg 相当を散布し、過剰散布にならないよう、注意する。
・斑点米多発米地域では、粒剤だけの防除では効果が不十分であるため、粒剤散布７日後頃に必ず粉剤による補完防除を行う。

※　粒剤、粉剤とも防除時期が遅れると、効果が著しく低下するので、注意する。

| 例年の斑点米発生状況 | 薬　剤　名 | 散布時期・量 | 散布方法 |
|---|---|---|---|
| **少発生地域**<br>斑点米率　0.2%未満<br>粒剤の額縁散布 | スタークル粒剤<br>アルバリン粒剤 | 出穂７日後頃<br>3m×100m＝3a<br>当たり 0.9 kg | 水田内周辺部、幅３ｍのみ額縁散布する。 |
| **中発生地域**<br>斑点米率　0.2%～0.4%<br>粒剤の全面散布 | スタークル粒剤<br>アルバリン粒剤 | 出穂７日後頃<br>10a 当たり 3 kg | 水田内全面散布する。 |
| **多発生地域**<br>斑点米率　0.4%～0.7%<br>粒剤の全面散布と<br>粉剤散布の体系防除 | スタークル粒剤<br>アルバリン粒剤<br><br>スタークル粉剤 DL<br>アルバリン粉剤 DL | 出穂７日後頃<br>10a 当たり 3kg<br><br>粒剤散布７日後頃<br>10a 当たり 3kg | 水田内全面散布する。<br><br>水田内全面散布する。 |

福井農試調べ

## 休耕田におけるカメムシ防除

| 薬　剤　名 | 使用濃度 | １０アール当たり使用量 | 注　意　事　項 |
|---|---|---|---|
| アルバリン粉剤DL | | 3 kg | ・ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田。 |
| スタークル粉剤DL | | 3 kg | |
| アルバリン顆粒水溶剤 | 2,000 倍 | 60～150 ℓ | ・茎葉に薬剤が十分かかるように散布する。 |
| スタークル顆粒水溶剤 | 2,000 倍 | 60～150 ℓ | ・越冬後の増殖を抑えるために、6～7月に防除する。 |
| スミチオン粉剤3DL | | 3～4 kg | |
| スミチオン乳剤 | 1,000 倍 | 60～150 ℓ | |
| ダントツ粉剤DL | | 3～4 kg | |
| ダントツH粉剤DL | | 3～4 kg | |
| ダントツ水溶剤 | 4,000 倍 | 60～150 ℓ | |
| トレボン粉剤DL | | 3～4 kg | |
| トレボン乳剤 | 2,000 倍 | 60～150 ℓ | |
| キラップ粉剤 DL | | 4 kg | |
| キラップフロアブル | 2,000 倍 | 60～200 ℓ | |
| エクシードフロアブル | 2,000 倍 | 60～150 ℓ | |

（６）成果情報

# 積雪前の除草剤散布で斑点米が激減

## １ はじめに

これまでの斑点米の防除は、水稲の生育期間中にカメムシ類の住み家となる畦畔雑草の除草や水田内の殺虫剤散布によるものでした。しかし、これらの作業は、田植えなどの作業と競合したり、梅雨や高温の時期と重なり、重労働となっています。そこで、斑点米を減らすだけではなく、水稲生育期間中の防除作業も軽減できる新たな防除技術を開発しました。

## ２ 技術の効果

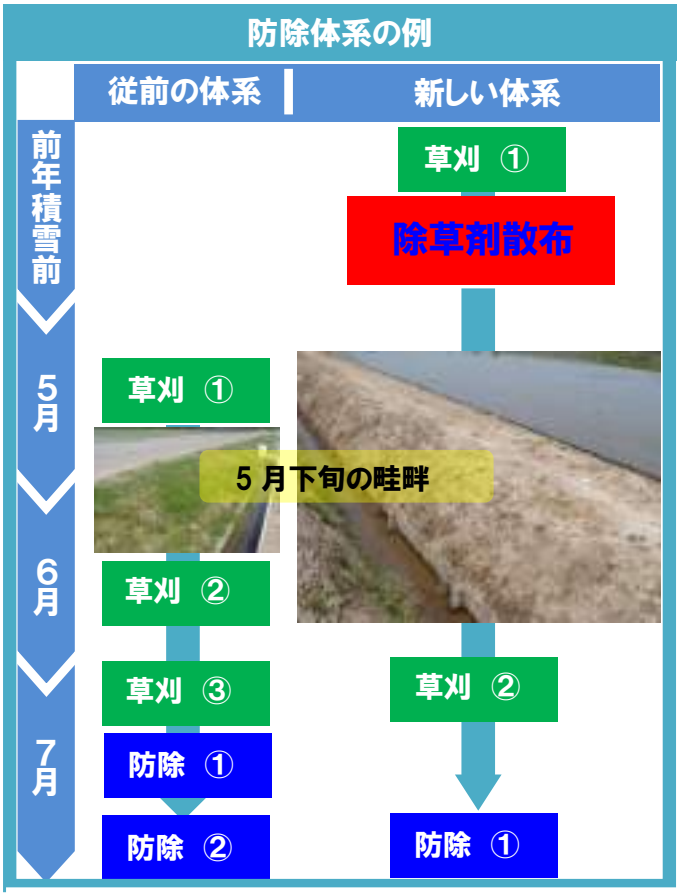
①斑点米の発生抑制
②防除コストの低減
③防除作業の分散と省力化
④農薬の使用回数の削減などの効果

慣行防除体系（除草作業３回＋殺虫剤散布２回）の防除コストが 10 アール当り約 4,500 円に比べ、この新防除体系は、10 アール当り約 3,000 円と、コストが約 30%削減できます。

## ３ 薬剤散布の方法

①薬剤名：カソロン粒剤４． ５
②散布時期：11 月下旬～積雪前
③散布量：8kg/10a

ムラ散布のないよう均一に散布
連続圃場で広域的に散布すると効果大




## ４ 積雪前のカソロン粒剤散布によるカメムシ類の発生抑制効果

積雪前にＤＢＮ粒剤を散布した畦畔では、６月下旬に雑草が再生してきても、カスミカメムシ類（第１世代）発生がみられず、高い発生抑制効果があります（表）。

表 カソロン粒剤散布とカメムシ類の発生調査結果（2012 福井農試）

| 調査地 | DBN 剤散布 | ｶｽﾐｶﾒﾑｼ類（頭） | |
|---|---|---|---|
| | 12 月上旬 | 成虫 | 幼虫 |
| N地区 | 有 | 0 | 0 |
| | 無 | 157 | 0 |

調査月日：平成 24 年６月 25 日
調査方法：20 回往復すくい取り調査

## ５ 積雪前のカソロン粒剤散布を基幹とした防除体系事例の斑点米の発生と防除コスト

| 防除方法 | 畦畔除草（草刈り） | | | 水田での殺虫剤散布 | | 斑点米発生率 | 防除ｺｽﾄ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ５月中旬 | ６月中旬 | ７月上旬 | 穂揃期 | 傾穂期 | （%） | （円/10a） |
| **新しい体系** | ― | ― | ○ | ― | ○ | **0.073** | **3,000** |
| 従来の体系 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 0.084 | 4,500 |
| 無　防　除 | ― | ― | ― | ― | ― | 0.349 | ― |

# 育苗箱施薬でカメムシ防除！

## １　はじめに

近年、殺虫成分の溶出を制御するなどの製剤の改良により、従来の育苗箱施薬剤に比べ効果が持続し、初期害虫だけでなく、斑点米カメムシ類にも防除効果が期待できる新しい育苗箱施薬剤が開発されています。しかし、本県ではこれらの溶出調整型育苗箱施薬剤の使用事例は少ないため、本県で発生の多い斑点米カメムシ類に対する防除効果を検証しました。

## ２　溶出調整型育苗箱施薬剤（デジタルメガフレア箱粒剤）の特長

（１）箱処理剤で斑点米カメムシ類も防除が可能
（２）防除回数が減り省力化を実現
（３）本田散布に比べ、天候の影響を受けず効果が安定
（４）ヤゴなどの水生動物に対する影響が少ない

図１　アカスジカスミカメ成虫

## ３　斑点米の発生抑制効果

ハナエチゼンの斑点米の発生量は、溶出調整型育苗箱施薬剤のデジタルメガフレア箱粒剤は、慣行の無人ヘリによるダントツフロアブルの２回散布よりも発生が少なく、高い防除効果が検証されました（表１）。

いちほまれでもデジタルメガフレア箱粒剤は、高い防除効果が確認されました（表２）

以上のことから、溶出調整型育苗箱施薬剤であるデジタルメガフレア箱粒剤の斑点米の発生抑制効果は、防除時期の降雨などの気象条件による影響もなく、安定した効果が得られることが実証されました。また、早生品種のハナエチゼンから熟期の遅いいちほまれまで、県内で栽培されている主要な品種について、幅広い作型に対応可能であることがわかりました。

表１　溶出調整型育苗箱施薬の斑点米発生抑制効果　　品種：ハナエチゼン

| 薬剤名 | 調査粒数 | 斑点米粒数 | | | | 斑点米発生率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 頂部 | 側部しみ状 | 斑点 | 合計 | |
| デジタルメガフレア箱粒剤 | 24004 | 4 | 2 | 1 | 7 | 0.03 |
| ファーストオリゼプリンス箱粒剤 | 22760 | 12 | 8 | 5 | 25 | 0.11 |
| 無　処　理 | 18790 | 9 | 6 | 4 | 19 | 0.10 |

注）出穂期：７月１６日　収穫期：８月２０日
無人ヘリ防除：ファーストオリゼプリンス箱粒剤、無処理は7月22日、７月30日にダントツフロアブル24倍液を800ml/10a散布

図２　側部しみ状の斑点米

表２　溶出調整型育苗箱施薬の斑点米発生抑制効果　　品種：いちほまれ

| 薬剤名 | 調査粒数 | 斑点米粒数 | | | | 斑点米発生率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 頂部 | 側部しみ状 | 斑点 | 合計 | |
| デジタルメガフレア箱粒剤 | 26531 | 6 | 7 | 1 | 14 | 0.05 |
| Dr.オリゼフェルテラグレータム箱粒剤 | 24119 | 16 | 11 | 2 | 29 | 0.12 |
| 無　処　理 | 27575 | 14 | 10 | 3 | 27 | 0.10 |

注）出穂期：８月５日　収穫期：９月８日
すべての処理区において生育期間中は無防除で行った。

**本技術導入の際は、生育期の防除も含め、広域的な防除計画を立てて行ってください。**

# 秋の田起こしと冬の湛水によるニカメイガの防除法

## 1　はじめに

ニカメイガは、イネの茎を食害し、収量・品質を低下させる害虫です（写真 1、2）。県北部で発生が多く、被害を受けています。

そこで、秋の田起こし（耕起）と湛水により、翌年の発生源となる越冬幼虫を防除します。

写真 1　幼虫

写真 2　被害（白穂）

## 2　秋の田起こしと冬の湛水で越冬幼虫を減らす

秋の田起こし（耕起）と冬の湛水により、幼虫の越冬場所である刈り株や稲わらを埋没させることで、越冬幼虫を減らすことができます（表 1）。

（１）田起こし（耕起）　［10 月］

刈り株を細かく粉砕し、稲わらを十分にすき込むため、ゆっくり深く耕うんします。（深さ 15cm、速度 1km）

（２）湛水　［11 月下旬から 2 月末まで］

冬期間に降雨をためて稲わら等を水没させるため、暗きょを閉めます。湛水の目安は、土壌表面の半分が見え隠れする程度です（写真 3）。湛水は幼虫が休眠して動かなくなる 11 月下旬に実施し、2 月末まで続けます。

## 3　コンバイン収穫時に幼虫を減らす

収穫時にコンバインの排わら長を短く（8cm 以下）設定したり、地際部から刈り取ると、田起こし前に幼虫を少なくすることができ、より効果的です。

写真 3　水田の湛水状況

## 4　作業時間

10a あたりの作業時間は、土づくりのために従来より行っている「田起こし」（25 分）に加え、「暗きょの開閉」（2 分）のみです。

表 1　田起こし（耕起）および湛水による越冬幼虫の防除効果

| 処理区 | 1 ㎡あたりの幼虫数（頭） | | 生存率 3) | 無処理比 |
|---|---|---|---|---|
| | 処理前（10 月） | 処理後（3 月） | （%） | |
| 耕起 1)＋湛水 2) | 8.3 | 0.7 | 8.4 | 12 |
| 耕起 1) | 11.1 | 2.3 | 20.7 | 31 |
| 無処理 | 9.9 | 6.7 | 67.7 | 100 |

1)10 月下旬に通常ロータリーで耕起
2)11 月下旬から 2 月末まで暗きょを閉める
3)処理後の幼虫数/処理前の幼虫数×100

## （７）病害虫の要防除水準

圃場内での調査を行い、病害虫の発生状況を的確に把握した上で、要防除水準に基づく、効率的な防除を実施し、環境負荷の少ない防除を推進する。

### 紋枯病

１　要防除水準

早生（７月下旬出穂ハナエチゼン）では穂ばらみ期（７月中旬頃）の発病株率が１０％以上であれば、中生（８月上旬出穂コシヒカリ）では７月下旬の発病株率が２０％以上であれば５％減収するので防除を行う。

２　調査方法

穂ばらみ期に、１圃場あたり１００株の発病株率を調査する。

### イネミズゾウムシ

１　要防除水準

（１）前年の発生密度が１００株あたり成虫５０頭以上の場合は、育苗箱施薬を実施する。

（２）育苗箱施薬を行った場合

５月２０日頃（本田侵入期）の成虫数が１００株あたり８０頭以上の場合は、薬剤を散布する。

（３）育苗箱施薬を行わなかった場合

５月２０日頃（本田侵入期）の成虫数が１００株あたり３０頭以上の場合は、薬剤を散布する。また、漏水田や砂質土壌田では同時期に成虫数が１００株あたり２０頭以上の場合は粉剤を散布し、５０頭以上の場合はさらに７日後にも粉剤を散布する。

２　調査方法

本田侵入期の５月２０～２５日に、畦畔から１ｍ内部に入った所の株を見とり調査する。

### セジロウンカ

１　要防除水準

６月末～７月中旬に飛来成虫数で１株あたり４頭以上、７月下旬～８月上旬（幼虫加害盛期）に幼虫数で１株あたり３０～４０頭以上の場合は、薬剤を散布する。

２　調査方法

６月末～７月中旬と７月下旬～８月上旬に水田内部の３か所以上で株の払い落とし、または見とり調査を行う。

### トビイロウンカ

１　要防除水準

８月初めに短翅成虫数で１株あたり０．１頭以上、８月中旬に成幼虫数で１頭以上、９月中旬に幼虫数で４０頭以上の場合は、薬剤を散布する。

２　調査方法

８月初めと８月中旬に１水田あたり３か所以上で株の払い落とし、または見とり調査を行う。

**イチモンジセセリ（イネツトムシ）**

１　要防除水準（直播栽培）

７月下旬（若齢幼虫期）の若齢幼虫数で、１㎡あたり４．４頭以上の場合は防除する。

２　調査方法

７月下旬に、１水田あたり１㎡（１ｍ×１ｍ）を５か所程度の見とり調査を行う。

**イネアザミウマ（黒点米）**

１　要防除水準

出穂前のすくいとり調査で、成虫が１００頭以上すくいとられた場合は防除する。

２　調査方法

早生品種の出穂７日前頃に、水田内の畦畔沿いを２０回往復すくいとり調査を行う。

## （８）福井県稲奨励品種等病害虫抵抗性一覧

| 品種名 | | 病害虫名 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 葉いもち | 穂いもち | 白葉枯病 | 紋枯病 | イネカラバエ |
| うるち米 | ハナエチゼン | 中 | 中 | やや弱 | 中 | 中 |
| | コシヒカリ | 弱 | やや弱 | やや弱 | 中 | 強 |
| | イクヒカリ | 中 | 中 | 中 | やや弱 | 強 |
| | キヌヒカリ | 中 | 中 | 中 | 中 | 強 |
| | シャインパール | やや弱 | やや弱 | やや弱 | － | － |
| | あきさかり | やや弱 | 中 | 弱 | やや弱 | － |
| | いちほまれ | 強 | 強 | 弱 | 中 | － |
| | 日本晴 | 中 | やや強 | 中 | 中 | 強 |
| 酒米 | 五百万石 | 中 | 中 | 中 | 中 | 強 |
| | さかほまれ | 弱 | 弱 | — | — | — |
| もち米 | カグラモチ | 中 | 中 | 中 | 中 | 強 |
| | タンチョウモチ | 強 | 中 | 中 | 中 | 強 |

## （９）農業資材の消毒

| 薬剤名 | 使用方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|
| | 対象 | 希釈倍数 | 使用方法 | |
| イチバン | 育苗箱<br>（木箱、プラスチック箱）<br>育苗用ポット<br>支柱等資材 | 500～1,000倍 | 瞬時浸漬<br>または<br>ジョロ散布 | ・湿熱で60℃60分間、65℃30分間消毒してもよい。<br>・イチバンは水稲育苗箱消毒後の水洗、乾燥は不要。<br>・ケミクロンGは農業資材消毒後はきれいな水で水洗し、水切り乾燥する。<br>金属類や木箱に使用した場合、必ずその後水洗する。<br>・消毒後の液は河川、用排水路、池などに流さず、適正に処理する。 |
| ケミクロンG | 催芽箱、育苗箱、育苗トレイ・ポット、植木鉢、果実類貯蔵箱、温室用資材、収穫用かご等農具の消毒 | 1,000倍 | 10分間<br>浸漬 | |
| | | 500倍 | 瞬時浸漬<br>または<br>ジョウロ散布 | |

# ２　水稲除草剤

## (1) 使用上の注意事項

① 土壌条件に応じた安全な除草剤の選定

除草剤ごとに定められた適用地帯、適用土壌の範囲で使用する。特に極端に減水深の大きい圃場や強還元田などでは薬害が発生しやすいので、土壌条件に合った安全な除草剤を選ぶ。

② 適期・適量で均一に散布

イネの生育状況と雑草の発生実態に合わせ、適期、適量散布を基本とする。

除草剤の散布時期の誤りや多量散布、むらまきなどは、効果が劣ったり薬害発生の原因となるので、処理時期を見定め、基準量を守って均一に散布する。

③ 除草剤の排水路等への流出防止

散布後は水田表面の土が露出しないよう処理後７日間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。

畦畔の野生動物が破損した箇所や小動物が開けた穴を補修したり、畦畔シートを使うなど、畦畔整備で畦畔からの漏水をなくす。水田外への農薬流出防止のためにも、畦畔や水尻からオーバーフローさせない。

散布後の水管理では、止水管理の実施も考慮する。

④ 薬剤や成分ごとの使用回数の厳守

薬剤だけでなく成分ごとにも使用回数の上限が定められているので､それを確認し､絶対に守る。

⑤ 健苗の育成と適正な植付け

軟弱徒長苗は活着および初期生育が悪く、除草剤の薬害を受け易いので健苗育成につとめる。また極端な深植、浅植も活着の遅れや薬害を受け易いので適正な植付けを行なう。

⑥ 水管理の徹底と生育の健全化

田面の均平化につとめ、極端な深水にならないよう注意する。また活着後の初期生育を促進するため、地温を高めるように水管理を行い、生育の健全化を図る。

⑦ 生育障害の発生防止

極端な漏水田、強還元田、未熟有機物の多用田などでは薬量を減量するか、もしくは使用を避ける。

⑧ 散布作業における安全確保

人体への毒性が強い薬剤もあるので、体調が十分の時を選んで作業し、取扱いや散布作業の際は手袋、マスク、防塵めがね等を着用する。また、作業中の転倒、落下等の事故にも注意する。

⑨ 環境の保全

除草剤の散布はできるだけ風の弱い日に行い、付近の作物、動物への飛散や流失による危被害及び使用時の事故を防止する。さらにできるだけ飛散しにくい剤型の除草剤を選択するとともに、液剤や水和剤を散布する場合には、飛散低減ノズルを使用する。

## (2) 除草剤の使用法

同一成分（系列）薬剤の数年間の連続施用により、特定雑草の優占化や抵抗性雑草の発生を助長することがあるので、適宜体系処理（初期剤＋中期剤）も組み合わせるなどして特定雑草の優占化等を予防する。

## (3) 田植え同時処理剤の使用法

① 「移植時」登録のある除草剤を使用し、除草剤の剤型と散布機との適合性を作業前に確認する。

使用時期が「移植直後」となっている除草剤は、田植え同時処理に使用できず、「移植時」として登録のある除草剤でなければ田植え同時処理に使用することはできない。使用に当たっては、必ずラベルを確認するなど、十分注意する。

② 除草効果を高め薬害を軽減するために、田植え時に落水しても土壌表面の土を固めすぎないようにする。（根が露出したり、転び苗となると薬害発生につながる。）

③　散布にあたっては、基準量を守って散布するよう、散布前に必ず機器の調整を行う。作業中にも散布量や散布幅等が適正かを確認する。雨天時作業では、水分や湿気で薬剤が固まることがあるので避ける。
④　移植後は速やかに入水を開始し、移植後２４時間以内には目標の水深となるようにする（急激な入水では水口付近の効果が劣ることもあるので注意)。散布後７日程度は落水やかけ流しは絶対に行わない。
⑤　除草剤散布後の補植は、極力行わない。
⑥　苗箱施薬用殺虫殺菌剤散布機も付いている田植機では、薬剤とそれを入れる散布機の組み合わせを絶対に間違えないように注意する。

## (4) 少量散布粒剤の使用法

少量散布粒剤の処理方法には、手持ちの散布器具を使用しての簡便散布や畦畔からの周辺散布、または無人航空機による散布がある。
①　散布に当っては、水の出入りを止めて湛水し、湛水散布の場合は水田全面に行きわたるよう、また周辺散布の場合は水田周辺部に沿って帯状に散布する。
②　藻類の発生等により、剤の拡散が不十分になることが予想される場合には、周辺散布を避け、本田内で水田全面に散布する。

## (5) フロアブル剤の使用法

フロアブル剤の使用方法には、手振り散布、田植同時滴下処理（「移植時」登録のある除草剤に限る、田植同時散布機を用いる）または水口流入処理（登録のある除草剤に限る）がある。
①　田面の均平にあたっては粒剤を使用するとき以上に均平化に心がける（しろの掻き過ぎに注意)。
②　散布前に容器を軽く振り、原液のまま散布する。散布にあたっては水深を十分確保し、散布後３日間は湛水する。
③　表層剥離やアオミドロの発生田は、水稲の生育が抑制され、除草効果が劣るので使用を控える。
④　強風時の処理は、除草効果にムラを生じやすいので行わない。
⑤　散布後２日以内に大雨が予想される時は、使用を避ける。
⑥　幅３０ｍまでの水田の場合は、畦から散布する。幅 40ｍの水田では畦畔からの散布に加え、水田中央に１列散布する。
⑦　水口流入処理は、パイプ灌漑を原則とし、５時間以内に４～５㎝の湛水深が確保できる圃場に限る。
⑧　顆粒剤については、専用容器に規定量を清澄な水で希釈しムラなく散布する。

## (6) ジャンボ剤の使用法

①　ジャンボ剤の投げ込みについては、田面が露出しないように５～６㎝の湛水止水として下手投げで均等に拡散するように投下する。
②　表層剥離やアオミドロがすでに発生している場合は、成分の拡散が阻害され、水稲に生育抑制が生じ、除草効果が得られない危険があるので、使用を控える。
③　パックは、濡れた手で扱わない。
④　強風時や大雨時の使用も避ける。その他の注意事項は、他の剤型に準ずる。

**（７）本田除草剤の使用方法（移植）**

RPA

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植初期剤 | ｱｰｸｴｰｽ1ｷﾛ粒剤 | 0,15 | 1kg/10a | 植代後～移植7日前または移植直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | かねつぐ1ｷﾛ粒剤 | 15,2 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ｼﾝｸﾞ 乳剤 | "18(F*),1 | 300mL/10a(少量散布) | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ｿﾙﾈｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 15 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾋﾟﾗｸﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14 | 500mL/10a | 植代後～移植7日前又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 ただし移植後30日まで | 原液湛水散布又は水口施用 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾍﾞｸｻｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14 | 500mL/10a | 植代後～移植前7日または移植直後～ﾉﾋﾞｴ発生始期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布又は水口施用 | 2回以内 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 2回以内 |
| | ﾏｰｼｪｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 植代後～移植前7日または移植後1日～ﾉﾋﾞｴ1葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾒﾃｵ1ｷﾛ粒剤 | 14 | 1kg/10a | 植代後～移植前7日又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布 | 2回以内 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 2回以内 |
| | ﾒﾃｵｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 植代後～移植前７日又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 但し、移植後30日まで | 水口施用又は水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾒﾃｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14 | 500mL/10a | 植代後～移植前7日又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 但し、移植後30日まで | 原液湛水散布又は水口施用 | 2回以内 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 2回以内 |
| | 先陣1ｷﾛ粒剤 | 14,5 | 1kg/10a | 植代後～移植7日前又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | 兆ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14 | 500mL/10a | 植代後～移植7日前又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 ただし移植後30日まで | 原液湛水散布又は水口施用 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| 移植一発処理剤 | ｱｶﾂｷ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｶﾂｷｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱｶﾂｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｱｸｼｽﾞ MX1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ｱｸｼｽﾞ MXｴｱｰ粒剤 | 2,27 | 300g/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｸｼｽﾞ MXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗ400FG | 14,2,27 | 400g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｱﾈｼｽ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植一発処理剤 | ｱﾋﾞﾛｸﾞﾛｳMX1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｲﾈｷﾝｸﾞ1ｷﾛ粒剤 | 14,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｲﾈｾﾞｯﾄEW | 14,15 | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 植代後～移植前7日または移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ｲﾈﾋｰﾛｰ1ｷﾛ粒剤 | 0,14,2 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｲﾈﾋｰﾛｰｴｱｰ粒剤 | 0,14,2 | 400g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｲﾈﾋｰﾛｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 0,14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期　ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｲﾈﾘｰｸﾞ1ｷﾛ粒剤 | 15,27,4 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｳｨﾆﾝｸﾞﾗﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｳﾙﾃｨﾓZ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｳﾙﾃｨﾓZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,33 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(350g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｳﾙﾃｨﾓZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,33 | 500mL/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰ豆つぶ250 | 14,2,27 | 250g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｶｸｼﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶｸｼﾝ楽粒 | 15,27 | 250g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶﾁﾄﾞｷZ楽粒 | 2,4 | 250g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶﾞﾝｶﾞﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15,2 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ｶﾞﾝｶﾞﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植<br>一発処理剤 | ｷﾗﾘ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｷﾗﾘ400FG | 14,2,27 | 400g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､移植後30日まで | 湛水散布､湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｷﾗﾘﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､移植後30日まで | 原液湛水散布､水口施用又は無人航空機 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｸﾗｰﾙEW | 15,5 | 500mL/10a | 植代後～移植7日前又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 但し､移植後30日まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ｺﾞｴﾓﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,30 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ｺﾞｴﾓﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｺﾞｴﾓﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,30 | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､移植後30日まで | 原液湛水散布又は水口施用 | 1回 |
| | ｺﾒｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｺﾒｯﾄ顆粒 | 14,2,27 | 80g/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､収穫60日前まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | ｻｷｶﾞｹ楽粒 | 15,27,4 | 250g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し､移植後30日まで | 湛水散布､湛水周縁散布､水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼﾞｪｲｿｳﾙ1ｷﾛ粒剤 | 15,27,33 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼﾞｪｲｿｳﾙｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,27,33 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(450g)/10a | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｼﾞｪｲｿｳﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,27,33 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､移植後30日まで | 原液湛水散布､水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｼｸﾞﾅｽ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼｸﾞﾅｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｼｸﾞﾅｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、 移植後30日まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾞｬｽﾀ1ｷﾛ粒剤<br>ｸｻｳｪﾎﾟﾝ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｼﾞｬﾝﾀﾞﾙﾑMX1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期ただし､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｼｭﾅｲﾃﾞﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで | 原液湛水散布､水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾝｹﾞｷ1ｷﾛ粒剤 | 15,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し､移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｼﾝｹﾞｷｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し､移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｼﾝｹﾞｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,27 | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し､移植後30日まで | 原液湛水散布､水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾝｽﾞｲZ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼﾝｽﾞｲZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,30 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し､移植後30日まで | 原液湛水散布又は水口施用 | 1回 |
| | ｼﾝｽﾞｲZ豆つぶ250 | 2,27,30 | 250g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し､移植後30日まで | 湛水散布､湛水周縁散布､水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｽﾀﾒﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し､移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植 | ｽﾀﾒﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15 | 500mL/10a | 植代後～移植前7日又は移植当日～ﾉﾋﾞｴ1葉期 但し、移植後30日まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| 一発処理剤 | ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,4 | 1kg/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｾﾞｱｽ1ｷﾛ粒剤 | 14,15,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｾﾞｱｽ顆粒 | 14,15,30 | 60g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | | | 60g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｾｲﾃﾝ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30,5 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｾｲﾃﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,30,5 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰ300FG | 14,2,30 | 300g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,30 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 水口施用又は水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｾﾝﾒﾂZ1ｷﾛ粒剤 | 14,15,2 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｾﾝﾒﾂZ200FG | 14,15,2 | 200g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｽﾀｰSB顆粒 | 15,2,27 | 80g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾀﾞﾝｸｼｮｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ SD | 15,27,4 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾀﾞﾝｸｼｮｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,27,4 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾂﾙｷﾞ250粒剤 | 15,2,27 | 250g/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,30 | 500mL/10a | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚ顆粒 | 2,27,30 | 80g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | ﾃｯｼﾝ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植<br>一発処理剤 | ﾄﾞﾆﾁS1ｷﾛ粒剤 | 15,2,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾄﾘﾆﾃｨ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾄﾘﾆﾃｨｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾄﾘﾆﾃｨﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾄﾞﾘﾌ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,4 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾉｯｸｱｳﾄ楽粒 | 15,2,27,5 | 250g/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾉﾌﾞﾚｸﾄ乳剤 | 1,4 | 250mL/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 落水散布、ごく浅く湛水して散布、又は湛水散布 | 2回以内 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘLX1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘLX400FG | 14,2,30 | 400g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘLXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾄｳZ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾄｳZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、 移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾋﾞｸﾄﾘｰZ400FG | 14,2 | 400g/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫60日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾋﾞｸﾄﾘｰZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | ﾋﾞｸﾄﾘｰZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2 | 500mL/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる滴下 | 1回 |
| | ﾋｯｻﾂ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | 14,2,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾋｯｻﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,30 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ﾌﾙｲﾆﾝｸﾞｽｶｲ500ｸﾞﾗﾑ粒剤 | 14,15,2,27 | 500g/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期但し収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾌﾙｽｺｱZ1ｷﾛ粒剤 | 「-」,2 | 1kg/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期但し収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾌﾙｽｺｱZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 「-」,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期但し収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾌﾙﾁｬｰｼﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾌﾙﾊﾟﾜｰMXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ) 10個 | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期但し収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾍﾞｯｶｸ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾍﾞｯｶｸｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾍﾞｯｶｸ豆つぶ250 | 15,2,27 | 250g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植<br><br>一発処理剤 | ﾍﾞﾙｰｶﾞ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期但し、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾍﾞﾙｰｶﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾍﾞﾙｰｶﾞ豆つぶ250 | 2,27 | 250g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、収穫75日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾎｯﾄｺﾝﾋﾞ200粒剤 | 15,27 | 200g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾎｯﾄｺﾝﾋﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2葉期ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾎﾞﾃﾞｰｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾛ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾎﾞﾃﾞｰｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾛｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾏｽﾗｵ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾏｽﾗｵｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾏｽﾗｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀ1ｷﾛ粒剤 | 14,2 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 2回以内 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀ400FG | 14,2 | 400g/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫60日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2 | 500mL/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる滴下 | 1回 |
| | ﾗｲｼﾞﾝﾊﾟﾜｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,15,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾗｵｳ1ｷﾛ粒剤 | 0,15,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾚｵｾﾞｰﾀ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾚｵｾﾞｰﾀ300FG | 2,27,30 | 300g/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾚｵｾﾞｰﾀｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾚｵｾﾞｰﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,30 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ﾜｻﾞｱﾘ楽粒 | 15,27 | 250g/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 銀河1ｷﾛ粒剤 | 0,14,2 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | 銀河α1ｷﾛ粒剤 | 14,15,2 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 銀河ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 0,14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後5日～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 先陣200FG | 14,5 | 200g/10a | 植代後～移植7日前又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 先陣ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,5 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 植代後～移植7日前又は移植直後～ﾉﾋﾞｴ1葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植一発処理剤 | 天空1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | 天空ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 移植後1日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 天空ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | 忍1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 忍ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 忍ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | | | 500mL/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | 流星1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、移植後30日まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植時 | 田植同時散布機で施用 | 1回 |
| | 流星ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 流星ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 移植後3日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、移植後30日まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| 移植中期剤 | ｱﾄｶﾗSｼﾞｬﾝﾎﾞ MX | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)20個(500g)/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱﾄﾄﾘ1ｷﾛ粒剤 | 2 | 1kg/10a | 移植後14日(稲5葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、 収穫45日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱﾄﾄﾘ豆つぶ250 | 2 | 250g/10a | 移植後14日(稲5葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、 収穫45日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱﾚｲﾙSC | 2 | 500mL/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布又は落水散布 | 1回 |
| | ｳｨｰﾄﾞｺｱ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,4 | 1kg/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｳｨｰﾄﾞｺｱ200SD粒剤 | 2,27,4 | 200g/10a | 移植後10日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｳｨｰﾄﾞｺｱｼﾞｬﾝﾎﾞ SD | 2,27,4 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 移植後10日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | ｸﾞﾗﾝｸﾛｽSｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,33,5 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)20個(500g)/10a | 移植後14日(稲4葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｸﾞﾗﾝｸﾛｽZ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33,5 | 1kg/10a | 移植後14日(稲4葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞ1ｷﾛ粒剤 | 0,14,2,27 | 1kg/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞｷﾞｱ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 0,14,2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｼｱｹﾞ MF1ｷﾛ粒剤 | 1,2,4 | 1kg/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ4.5葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｾｶﾝﾄﾞｼｮｯﾄSｼﾞｬﾝﾎﾞ MX | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)20個(500g)/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾂｲｹﾞｷ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,5 | 1kg/10a | 移植後14日(稲5葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾂｲｹﾞｷ豆つぶ250 | 2,27,5 | 250g/10a | 移植後14日(稲5葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃｯｹﾝ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、 収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃｯｹﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾆﾄｳﾘｭｳ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、 収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾆﾄｳﾘｭｳｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾊﾞｲｽｺｰﾌﾟ 1ｷﾛ粒剤 | 27,33 | 1kg/10a | 移植後14～60日 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移植中期剤 | ﾋｴｸｯﾊﾟｴｰｽ1ｷﾛ粒剤 | 2 | 1kg/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ5葉期但し収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | ﾋｴｸﾘｰﾝﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ粒剤 | 2,6 | 3kg/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫45日前まで | ごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾌﾞｲｺﾞｰﾙSM1ｷﾛ粒剤 | 2,4,5 | 1kg/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾚﾌﾞﾗｽ1ｷﾛ粒剤 | 0,2,27,5 | 1kg/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾚﾌﾞﾗｽｷﾞｱ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾚﾌﾞﾗｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 0,2,27,5 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾜｲﾄﾞｱﾀｯｸSC | 2 | 100mL/10a | 移植後20日(稲5葉期以降)～ﾉﾋﾞｴ6葉期 但し、収穫30日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | ﾜｲﾄﾞﾊﾞﾜｰ粒剤 | 2,6 | 3kg/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| 移植その他 | ｶｳﾝｼﾙﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2 | 10mL/10a | 移植直後～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 2回以内 |
| | ｸﾘﾝﾁｬｰ1ｷﾛ粒剤 | 1 | 1kg/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫30日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | | | 1.5kg/10a | 移植後25日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫30日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | ｸﾘﾝﾁｬｰEW | 1 | 100mL/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ4.5葉期 但し、収穫30日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | | 100mL/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ6葉期 但し、収穫30日前まで | 湛水散布又は落水散布 | 2回以内 |
| | ｸﾘﾝﾁｬｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 1 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)30個(1.5kg)/10a | 移植後25日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫30日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | | | 小包装(ﾊﾟｯｸ)20個(1kg)/10a | 移植後7日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫30日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | ｸﾘﾝﾁｬｰﾊﾞｽME液剤 | 1,6 | 1000mL/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫50日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | ﾄﾄﾞﾒMF1ｷﾛ粒剤 | 1 | 1kg/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ5葉期まで 但し、収穫50日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | ﾄﾄﾞﾒMF乳剤 | 1 | 200mﾘｯﾄﾙ/10a | 移植後14日～ﾉﾋﾞｴ7葉期まで 但し、収穫50日前まで | 湛水散布又は落水散布 | 2回以内 |
| | ﾄﾄﾞﾒﾊﾞｽMF液剤 | 1,6 | 1000mL/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ6葉期 但し、収穫50日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | ﾉﾐﾆｰ液剤 | 2 | 50～100mL/10a | 移植後30日～ｲﾎﾞｸｻの茎長30cmまで 但し、収穫60日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | | | 50～100mL/10a | 移植後30日～ｸｻﾈﾑの草丈40cmまで 但し、収穫60日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ・ｴｱｰ1ｷﾛ粒剤 | 6 | 1kg/10a | 移植後15日～収穫45日前まで | 落水又はごく浅く湛水して無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 移植後15日～収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ液剤(ﾅﾄﾘｳﾑ塩) | 6 | 500～700mL/10a | 移植後15日～収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ粒剤(ﾅﾄﾘｳﾑ塩) | 6 | 3～4kg/10a | 移植後15日～収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾋｴｸﾘｰﾝ1ｷﾛ粒剤 | 2 | 1kg/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ﾏｲﾃｨｰﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 27 | 100mL/10a | 移植直後～ﾎﾀﾙｲ3葉期 ただし、移植後30日まで | 湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 2回以内 |
| | ﾓｹﾞﾄﾝ粒剤 | 0 | 1～2kg/10a | 藻類・表層はく離の発生時 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 3回以内 |
| | | | 2～3kg/10a | ｳｷｸｻ類、藻類の発生始～発生盛期 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 3回以内 |
| | ﾛｲﾔﾝﾄ乳剤 | 4 | 200mL/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | | | 200mL/10a | 移植後20日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 落水散布、ごく浅く湛水して散布又は湛水散布 | 2回以内 |
| | ﾜﾝｽﾃｰｼﾞ1ｷﾛ粒剤 | 2 | 1kg/10a | 移植後15日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |

**（７）本田除草剤の使用方法（直播）**

RPA

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 直播<br>一発処理剤 | ｱｶﾂｷ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｶﾂｷｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱｶﾂｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｱｸｼｽﾞMX1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ｱｸｼｽﾞMXｴｱｰ粒剤 | 2,27 | 300g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｸｼｽﾞMXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗ400FG | 14,2,27 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱｼｭﾗﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｱﾋﾞﾛﾌｧｰｽﾄ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 湛水直播のは種直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 湛水直播のは種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｲﾈｷﾝｸﾞ1ｷﾛ粒剤 | 14,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｲﾈﾘｰｸﾞ1ｷﾛ粒剤 | 15,27,4 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｲﾈﾘｰｸﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,27,4 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｲﾈﾘｰｸﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,27,4 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｳﾙﾃｨﾓZ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｳﾙﾃｨﾓZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,33 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(350g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｳﾙﾃｨﾓZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,33 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲出芽揃期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 稲出芽揃期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫75日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲出芽揃期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｴﾝﾍﾟﾗｰ豆つぶ250 | 14,2,27 | 250g/10a | 稲出芽揃期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶｲｼMF1ｷﾛ粒剤 | 1,27 | 1kg/10a | 湛水直播のは種直後～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、収穫60 | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｶﾗｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 直播<br>一発処理剤 | ｶﾗｯﾄ400FG | 14,2,27 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｶﾗｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｶﾞﾝｶﾞﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15,2 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ｶﾞﾝｶﾞﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｷﾗﾘ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｷﾗﾘ400FG | 14,2,27 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｷﾗﾘﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞｷﾞｱ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 0,14,2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｺﾞｴﾓﾝ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ｺﾞｴﾓﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｺﾞｴﾓﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,30 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ｺﾒｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｺﾒｯﾄ顆粒 | 14,2, | 80g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫60日前まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGO1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGO400FG | 14,2,30 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGOｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGOﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,30 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾞｪｲｿｳﾙ1ｷﾛ粒剤 | 15,27,33 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼﾞｪｲｿｳﾙｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,27,33 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(450g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｼﾞｪｲｿｳﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,27,33 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾞｶﾏｯｸ500ｸﾞﾗﾑ粒剤 | 2,27 | 500g/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 500g/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼｸﾞﾅｽ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼｸﾞﾅｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｼｸﾞﾅｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾞｬｽﾀ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 0.5～1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 0.5～1kg/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ1.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼｭﾅｲﾃﾞﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｼﾝｽﾞｲZ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 直播<br>一発処理剤 | ｼﾝｽﾞｲZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,30 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、収穫90日前まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ｼﾝｽﾞｲZ豆つぶ250 | 2,27,30 | 250g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,4 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｾﾞｱｽ1ｷﾛ粒剤 | 14,15,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾞｱｽ顆粒 | 14,15,30 | 60g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | | | 60g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞ-1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞ-300FG | 14,2,30 | 300g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,30 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾞﾗｽ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾞﾗｽ200FG | 2,27 | 200g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫75日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾞﾗｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫75日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｾﾞｰﾀﾌﾞﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ｾﾝﾒﾂZ1ｷﾛ粒剤 | 14,15,2 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｾﾝﾒﾂZ200FG | 14,15,2 | 200g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｽﾀｰSB顆粒 | 15,2,27 | 80g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾀﾞﾝｸｼｮｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ SD | 15,27,4 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾀﾞﾝｸｼｮｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,27,4 | 500mL/10a | 湛水直播の稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾂﾙｷﾞ250粒剤 | 15,2,27 | 250g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し、収穫90日前まで | 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,30 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾃﾞｨｵｰﾚ顆粒 | 2,27,30 | 80g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 顆粒水口施用 | 1回 |
| | | | 80g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾄﾞﾆﾁS1ｷﾛ粒剤 | 15,2,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | ﾄﾞﾘﾌ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,4 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾉｯｸｱｳﾄ楽粒 | 15,2,27,5 | 250g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 但し、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 直播 | ﾊﾞｯﾁﾘ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 稲出芽始期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| 一発処理剤 | ﾊﾞｯﾁﾘLX1ｷﾛ粒剤 | 14,2,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘLX400FG | 14,2,30 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 湛水散布､湛水周縁散布､水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘLXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾁﾘｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,30 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾄｳZ1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾄｳZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、 収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾊﾞｯﾄｳZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、 収穫90日前まで | 原液湛水散布､水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾋﾞｸﾄﾘｰZ400FG | 14,2 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､収穫60日前まで | 湛水散布､湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾋﾞｸﾄﾘｰZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | ﾋﾞｸﾄﾘｰZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､収穫60日前まで | 原液湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる滴下 | 1回 |
| | ﾋｯｻﾂ1ｷﾛ粒剤 | 14,2, | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾋｯｻﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2, | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ﾌﾙﾁｬｰｼﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾌﾙﾊﾟﾜｰMXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ) 10個 (500g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期但し収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾍﾞｯｶｸ1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し､収穫75日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾍﾞｯｶｸｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し､収穫75日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾍﾞﾙｰｶﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期　但し､収穫75日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | | | 0.5～1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 0.5～1kg/10a | は種直後 | ごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾍﾞﾙｰｶﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(250g)/10a | 稲出芽揃期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し､収穫75日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾍﾞﾙｰｶﾞ 豆つぶ250 | 2,27 | 250g/10a | 稲出芽揃期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し､収穫75日前まで | 湛水散布､水口施用又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾎﾞﾃﾞｰｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾛ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ3.5葉期 ただし､収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾎﾞﾃﾞｰｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾛｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾏｽﾗｵ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | は種直後～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､収穫90日前まで | 湛水散布､ごく浅く湛水して散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | ﾏｽﾗｵｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾏｽﾗｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀ1ｷﾛ粒剤 | 14,2 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､収穫60日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀ400FG | 14,2 | 400g/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし､収穫60日前まで | 湛水散布､湛水周縁散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 2回以内 |
| | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし､収穫60日前まで | 原液湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる滴下 | 1回 |
| | ﾗｲｼﾞﾝﾊﾟﾜｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,15,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし､収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾗｵｳ1ｷﾛ粒剤 | 0,15,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 但し､収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 直播<br>一発処理剤 | ﾚｵｾﾞｰﾀ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,30 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布 | 1回 |
| | ﾚｵｾﾞｰﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 2,27,30 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布 | 1回 |
| | ﾚﾌﾞﾗｽｷﾞｱ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,33 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾚﾌﾞﾗｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 0,2,27,5 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期ただし、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 銀河α1ｷﾛ粒剤 | 14,15,2 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 天空1ｷﾛ粒剤 | 15,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 天空ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 15,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(300g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 天空ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 15,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | 忍1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 忍ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(200g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 忍ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ2.5葉期ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| | 流星1ｷﾛ粒剤 | 14,2,27 | 1kg/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期ただし、収穫90日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | 流星ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 14,2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)10個(400g)/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | 流星ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 14,2,27 | 500mL/10a | 稲1葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫90日前まで | 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 | 1回 |
| 直播<br>稲2葉期以降処理剤 | ｱﾄｶﾗSｼﾞｬﾝﾎﾞ MX | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)20個(500g)/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ｱﾚｲﾙSC | 2 | 500mL/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布又は落水散布 | 1回 |
| | ｳｨｰﾄﾞｺｱ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,4 | 1kg/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、 収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞ1ｷﾛ粒剤 | 0,14,2,27 | 1kg/10a | 稲2葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ｼｱｹﾞMF1ｷﾛ粒剤 | 1,2,4 | 1kg/10a | 稲3.5葉期～ﾉﾋﾞｴ4.5葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | ｾｶﾝﾄﾞｼｮｯﾄSｼﾞｬﾝﾎﾞ MX | 2,27 | 小包装(ﾊﾟｯｸ)20個(500g)/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 ただし、収穫45日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾂｲｹﾞｷ1ｷﾛ粒剤 | 2,27,5 | 1kg/10a | 稲5葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾂｲｹﾞｷ豆つぶ250 | 2,27,5 | 250g/10a | 稲5葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃｯｹﾝ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、 収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾃｯｹﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾄﾄﾞﾒMF1ｷﾛ粒剤 | 1 | 1kg/10a | 稲3.5葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期まで 但し、収穫50日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 3回以内 |
| | ﾄﾄﾞﾒMF乳剤 | 1 | 200mﾘｯﾄﾙ/10a | は種後10日～ﾉﾋﾞｴ6葉期まで 但し、収穫50日前まで | 雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | ﾄﾄﾞﾒﾊﾞｽMF液剤 | 1,6 | 1000mL/10a | は種後10日～ﾉﾋﾞｴ6葉期 但し、収穫50日前まで | 乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | ﾆﾄｳﾘｭｳ1ｷﾛ粒剤 | 2,27 | 1kg/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、 収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾆﾄｳﾘｭｳｼﾞｬﾝﾎﾞ | 2,27 | 小包装 (ﾊﾟｯｸ)10個(500g)/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期但し、収穫60日前まで | 水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる。 | 1回 |
| | ﾉﾌﾞﾚｸﾄ乳剤 | 1,4 | 250mL/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | ﾊﾞｲｽｺｰﾌﾟ1ｷﾛ粒剤 | 27,33 | 1kg/10a | 稲3葉期～出芽後60日 ただし、収穫45日前まで | 湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾋｴｸﾘｰﾝﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ粒剤 | 2,6 | 3kg/10a | 稲3葉期～ノピエ4葉期 但し、 収穫45日前まで | ごく浅く湛水して散布 | 1回 |

| 区分 | 薬剤名 | RAC | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 直播<br><br>稲２葉期以降処理剤 | ﾚﾌﾞﾗｽ1ｷﾛ粒剤 | 0,2,27,5 | 1kg/10a | 稲2葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| | ﾛｲﾔﾝﾄ乳剤 | 4 | 200mL/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ5葉期 ただし、収穫45日前まで | 乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | ﾜｲﾄﾞｱﾀｯｸSC | 2 | 100mL/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫30日前まで | 雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | | | 100mL/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫30日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾜｰ粒剤 | 2,6 | 3kg/10a | 稲4葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | 銀河1ｷﾛ粒剤 | 0,14,2 | 1kg/10a | 稲2葉期～ﾉﾋﾞｴ3葉期 ただし、収穫60日前まで | 湛水散布又は無人航空機による散布 | 1回 |
| 直播<br><br>その他 | ｸﾘﾝﾁｬｰ1ｷﾛ粒剤 | 1 | 1.5kg/10a | は種後25日～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫30日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | | | 1kg/10a | は種後10日～ﾉﾋﾞｴ3葉期 但し、収穫30日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 2回以内 |
| | ｸﾘﾝﾁｬｰEW | 1 | 100mL/10a | は種後10日～ﾉﾋﾞｴ4.5葉期 但し、収穫30日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | | 100mL/10a | は種後10日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫30日前まで | 雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | ｸﾘﾝﾁｬｰﾊﾞｽME液剤 | 1,6 | 1000mL/10a | は種後10日～ﾉﾋﾞｴ5葉期 但し、収穫50日前まで | 乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布 | 2回以内 |
| | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ液剤(ﾅﾄﾘｳﾑ塩) | 6 | 500～700mL/10a | は種後35日～収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 |
| | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ粒剤(ﾅﾄﾘｳﾑ塩) | 6 | 3kg/10a | 稲3葉期～収穫45日前まで | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾋｴｸﾘｰﾝ1ｷﾛ粒剤 | 2 | 0.5～1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種直後～稲出芽前 | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |
| | ﾓｹﾞﾄﾝ粒剤 | 0 | 1.5～2kg/10a | 稲1葉期以降、ｱｵﾐﾄﾞﾛ、表層はく離発生時 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 3回以内 |
| | ﾜﾝｽﾃｰｼﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 2 | 1kg/10a | 稲3葉期～ﾉﾋﾞｴ4葉期 但し、収穫45日前まで | 湛水散布又は無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 | 1回 |
| | | | 0.5～1kg/10a | は種時 | は種同時散布機で施用 | 1回 |
| | | | 1kg/10a | は種直後～稲出芽前 | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 1回 |

## （８）本田除草剤の成分および使用回数

＊33作用：ホモゲンチジン酸ソラネシルトランスフェラーゼ阻害

| | | RAC | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | 6 | 14 | | 15 | | | | | | | | | | | | | | 27 | | | | | | | | | 33 | 0 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 作用 | ACCase阻害 | | ALS阻害 | | | | | | | | | | | | | | | | インドール酢酸様活性 | | | 光合成阻害 | | | PPO阻害 | | VLCFAs阻害 | | | | | | | | | | | | | | 白化 | | | | | | | | | ＊ | 不明 | | | | | |
| | | ｸﾞﾙｰﾌﾟ | ｱﾘｰﾙｵｷｼﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ | | ｽﾙﾎﾆﾙｳﾚｱ | | | | | | | | | | ﾋﾟﾘﾐｼﾞﾆﾙﾍﾞﾝｿﾞｴｰﾄ | | | ｽﾙﾎﾝｱﾆﾘﾄﾞ | | ﾄﾘｱｿﾞﾛﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ | ﾌｪﾉｷｼｶﾙﾎﾞﾝ酸 | | | ﾄﾘｱｼﾞﾝ | | ﾍﾟﾝｿﾞﾁｱｼﾞｱｿﾞﾝ | N-ﾌｪﾆﾙｲﾐﾄﾞ | N-ﾌｪﾆﾙﾄﾘｱｿﾞﾘﾝ | その他 | ｱｿﾞﾘﾙｶﾙﾎﾞｷｼｱﾐﾄﾞ | ｱﾙﾌｧｸﾛﾛｱｾﾄｱﾐﾄﾞ | ｱﾙｷｼｱｾﾄｱﾐﾄﾞ | ﾍﾞﾝｿﾞﾌﾗﾝ | ｱｿﾞﾘﾙｶﾙﾎﾞｷｼｱﾐﾄﾞ | ｲｿｷｻｿﾞﾘﾝ | ｵｷｼﾗﾝ | ｽﾙﾎﾝｱﾆﾘﾄﾞ | ﾄﾘｹﾄﾝ | | | | | | ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ | ｼｸﾛﾋﾟﾘﾓﾚｰﾄ | - | | | | | |
| | | 成分 | シハロホップブチル | メタミホップ | アジムスルフロン | ベンスルフロンメチル | シクロスルファムロン | エトキシスルフロン | フルセトスルフロン | ハロスルフロンメチル | イマゾスルフロン | メタゾスルフロン | プロピリスルフロン | ピラゾスルフロンエチル | ビスピリバックナトリウム塩 | ピリミノバックメチル | ピリフタリド | ピリミスルファン | トリアファモン | ベノキスラム | クロメプロップ | フロルピラウキシフェンベンジル | MCPB | ジメタメトリン | シメトリン | ベンタゾン | ベントキサゾン | カルフェントラゾンエチル | ピラクロニル | カフェンストロール | ブタクロール | プレチラクロール | テニルクロール | ベンフレセート | アニロホス | フェントラザミド | イプフェンカルバゾン | フェノキサスルホン | インダノファン | ジメスルファゼット | フェンキノトリオン | メソトリオン | テフリルトリオン | ベンゾビシクロン | ランコトリオンナトリウム塩 | ピラゾレート | シクロピリモレート | C | オキサジクロメホン | ダイムロン | プロモブチド | ピリブチカルブ |
| 成分ごとの使用回数（回以内） | | | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 移植初期剤 | アークエース1キロ粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9.00 | | | | | |
| | イネゼットEW | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4.00 | | | 12.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | かねつぐ1キロ粒剤 | 2 | | | | | 0.40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 兆フロアブル<br>ピラクロンフロアブル | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | シング乳剤 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12.00 |
| | 先陣1キロ粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.30 | | | | 1.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ソルネット1キロ粒剤 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベクサーフロアブル | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | マーシェットジャンボ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 20.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メテオ1キロ粒剤 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メテオフロアブル | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メテオジャンボ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8.30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 移植一発処理剤 | アカツキ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 1.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | 3.00 | | | | | | | | | | | |
| | アカツキジャンボ | 3 | | | | | | | | | | 4.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8.00 | | | 12.00 | | | | | | | | | | | |
| | アカツキフロアブル | 3 | | | | | | | | | | 1.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.80 | | | 5.70 | | | | | | | | | | | |
| | アクシズMX1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 0.80 | | | | | 2.40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | |
| | アクシズMXジャンボ | 3 | | | | | | | | | | 2.70 | | | | | 8.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | |
| | アクシズMXエアー粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 2.70 | | | | | 8.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | |
| | アシュラ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.50 | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | |
| | アシュラフロアブル | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.96 | | | | | | | | | | 3.80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.80 | | | | | | |
| | アシュラジャンボ | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 1.25 | | | | | | | | | | 5.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5.00 | | | | | | |
| | アシュラ400FG | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 1.25 | | | | | | | | | | 5.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5.00 | | | | | | |
| | アネシス1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | 0.30 | | | | | | | | | | | | | | | | 10.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | |
| | アピログロウMX1キロ粒剤 | 4 | | | | | | | | | | | | 0.30 | | | 1.50 | | | | | | | | | | | | | | 4.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | イネキング1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | 10.00 | | | | |
| | イネヒーロー1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 1.00 | | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10.00 | | | |
| | イネヒーロージャンボ | 3 | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | | | | | | | | | | | 7.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25.00 | | | |
| | イネヒーローエアー粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | | | | | | | | | | | 7.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25.00 | | | |
| | イネリーグ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4.50 | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | |
| | イネリーグフロアブル | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8.50 | | | | | | | | | | | | | | 5.70 | | | | | | | | | 5.70 | | | | | | | | |
| | イネリージャンボ | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11.20 | | | | | | | | | | | | | | 7.50 | | | | | | | | | 7.50 | | | | | | | | |
| | ウィニングラン1キロ粒剤 | 3 | | | | 0.75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | | | | | | | | | 9.00 | | |
| | ウルティモZ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6.00 | 3.00 | | | | |
| | ウルティモZフロアブル | 3 | | | | | | | | | | | 1.65 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11.00 | 5.50 | | | | |
| | ウルティモZジャンボ | 3 | | | | | | | | | | | 2.57 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 17.10 | 8.60 | | | | |
| | エンペラー1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | 0.75 | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エンペラー豆つぶ250 | 3 | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | 8.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エンペラーフロアブル | 3 | | | | | | | | | | | | | | 1.40 | | | | | | | | | | | | 3.70 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エンペラージャンボ | 3 | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | 8.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カウンシルエナジー1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カウンシルエナジージャンボ | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 1.20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カウンシルエナジーフロアブル | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.95 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5.70 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カウンシルコンプリート1キロ粒剤<br>ボデーガードプロ1キロ粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カウンシルコンプリートジャンボ<br>ボデーガードプロジャンボ | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 1.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カウンシルコンプリートフロアブル | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.97 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カクシン1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | 1.50 | | | | | | | | | | | |
| | カクシン楽粒 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10.00 | | | | | 6.00 | | | | | | | | | | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | 6 | 14 | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 | | | | | | | | 33 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | 6 | 14 | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | 6 | 14 | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 | | | | | | | | | | | | 33 | 0 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 作用 | ACCase阻害 | | ALS阻害 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | インドール酢酸様活性 | | | 光合成阻害 | | | PPO阻害 | | VLCFAs阻害 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 白化 | | | | | | | | | | | | ＊ | 不明 | | | | | |
| | | ｸﾞﾙｰﾌﾟ | ｱﾘｰﾙｵｷｼﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ | | スルホニルウレア | | | | | | | | | | | | ピリミジニルベンゾエート | | | スルホンアニリド | | ﾄﾘｱｿﾞﾛﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ | フェノキシカルボン酸 | | | トリアジン | | ﾍﾞﾝｿﾞﾁｱｼﾞｱｼﾞﾉﾝ | N−フェニルイミド | N−フェニルトリアゾリン | その他 | ｱｿﾞﾘﾙｶﾙﾎﾞｷｼｱﾐﾄﾞ | α−クロロアセトアミド | | α−オキソアセトアミド | ベンゾフラン | アゾリルカルボキシアミド | | ｲｿｷｻｿﾞﾘﾝ | オキシラン | スルホンアニリド | トリケトン | | | | ビラゾレート | ピリダジノン | - | | | | | |
| | | 成分 | シハロホップブチル | メタミホップ | アジムスルフロン | ベンスルフロンメチル | シクロスルファムロン | エトキシスルフロン | フルセトスルフロン | ハロスルフロンメチル | イマゾスルフロン | メタゾスルフロン | プロピリスルフロン | ビラゾスルフロンエチル | ビスピリバックナトリウム塩 | ピリミノバックメチル | ピリフタリド | ピリミスルファン | トリアファモン | ペノキススラム | クロメプロップ | フロルピラウキシフェンベンジル | MCPB | ジメタメトリン | シメトリン | ベンタゾン | ベントキサゾン | カルフェントラゾンエチル | ピラクロニル | カフェンストロール | ブタクロール | プレチラクロール | テニルクロール | ベンフレセート | フェントラザミド | イプフェンカルバゾン | フェノキサスルホン | インダノファン | ジメスルファゼット | フェンキノトリオン | メソトリオン | テフリルトリオン | ベンゾビシクロン | ランコトリオンナトリウム塩 | ビラゾレート | シクロピリモレート | A C N | オキサジクロメホン | ダイムロン | プロモブチド | ピリブチカルブ |
| 成分ごとの使用回数（回以内） | | | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 移植一発処理剤 | ホットコンビ200粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ホットコンビジャンボ | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | 6 | 14 | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | 6 | 14 | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 | | | | | | | | 33 | 0 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 作用 | ACCase阻害 | | ALS阻害 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | インドール酢酸様活性 | | | 光合成阻害 | | | PPO阻害 | | VLCFAs阻害 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 白化 | | | | | | | | * | 不明 | | | | | | | | |
| | | ｸﾞﾙｰﾌﾟ | ｱﾘｰﾙｵｷｼﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ | | スルホニルウレア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | フェノキシカルボン酸 | | | トリアジン | | | N–フェニルイミド | N–フェニルトリアゾリン | その他 | ｱｼﾞﾘﾙｶﾙﾎﾞｷｼｱﾐﾄﾞ | α–クロロアセトアミド | | α–オキソアミド | ベンゾフラン | アゾリルカルボキシアミド | カルシアゾール | ｲｿｷｻｿﾞﾘﾝ | オキシラン | スルホンアミド | トリケトン | | | | | ピラゾール | ピリダジノン | - | | | | | | |
| | | 成分 | シハロホップブチル | メタミホップ | アジムスルフロン | ベンスルフロンメチル | シクロスルファムロン | エトキシスルフロン | フルセトスルフロン | ハロスルフロンメチル | イマゾスルフロン | メタゾスルフロン | プロピリスルフロン | ピラゾスルフロンエチル | ビスピリバックナトリウム塩 | ピリミノバックメチル | ピリフタリド | ピリミスルファン | トリアファモン | ベノキスラム | クロメプロップ | フロルピラウキシフェンベンジル | MCPB | ジメタメトリン | シメトリン | ベンタゾン | ベントキサゾン | カルフェントラゾンエチル | ピラクロニル | カフェンストロール | ブタクロール | プレチラクロール | テニルクロール | ベンフレセート | フェントラザミド | イプフェンカルバゾン | フェノキサスルホン | インダノファン | ジメスルファゼット | フェンキノトリオン | メソトリオン | テフリルトリオン | ベンゾビシクロン | ランコトリオンナトリウム塩 | ピラゾレート | シクロピリモレート | A | オキサジクロメホン | ダイムロン | プロモブチド | ピリブチカルブ |
| 成分ごとの使用回数（回以内） | | | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 直播一発処理剤 | ゼータタイガージャンボ | 3 | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | | | | | 6.67 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 30.00 | |
| | ゼータプラス1キロ粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ゼータプラスプロアブル | 2 | | | | | | | | | | | 1.70 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5.80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ゼータプラスジャンボ | 2 | | | | | | | | | | | 4.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ゼータプラス200FG | 2 | | | | | | | | | | | 4.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ダブルスターSB顆粒 | 3 | | | | | | | | | | | | 2.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ダンクショットフロアブル | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ダンクショットジャンボSD | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ツルギ250粒剤 | 3 | | | | | | | | | 3.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ディオーレ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 1.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ディオーレフロアブル | 3 | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ディオーレジャンボ | 3 | | | | | | | | | | 2.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ディオーレ顆粒 | 3 | | | | | | | | | | 12.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | テッシン1キロ粒剤 | 3 | | | | 0.75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天空1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 0.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天空ジャンボ | 3 | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天空フロアブル | 3 | | | | | | | | | | 1.20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ドニチS1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ドリフ1キロ粒剤 | 4 | | | | | | 0.17 | | | | | | | | | | | 0.40 | | 4.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ノックアウト楽粒 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | 6.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バッチリ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バッチリジャンボ | 3 | | | | | | | | | 2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バッチリLX1キロ粒剤 | 4 | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バッチリLXジャンボ | 4 | | | | | | | | | 2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バッチリLX400FG | 4 | | | | | | | | | 2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バットウZ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バットウZフロアブル | 3 | | | | | | | | | | 1.70 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バットウZジャンボ | 3 | | | | | | | | | | 2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ヒッサツ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ヒッサツフロアブル | 3 | | | | | | | | | 1.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フルチャージジャンボ | 2 | | | | | | | 0.44 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フルパワーMXジャンボ | 3 | | | | | | | 0.40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベッカク1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベッカクジャンボ | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベルーガ1キロ粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベルーガジャンボ | 2 | | | | | | | | | | | | | | 3.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベルーガ豆つぶ250 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 3.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | マスラオ1キロ粒剤 | 3 | | | | | | | | | 0.90 | | | | | 0.60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | マスラオジャンボ | 3 | | | | | | | | | 4.50 | | | | | 3.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | マスラオフロアブル | 3 | | | | | | | | | 1.70 | | | | | 1.20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メガゼータ1キロ粒剤 | 2 | | | | | | | | | | | 0.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メガゼータ400FG<br>ビクトリーZ400FG | 2 | | | | | | | | | | | 2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メガゼータジャンボ<br>ビクトリーZジャンボ | 2 | | | | | | | | | | | 2.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | メガゼータフロアブル<br>ビクトリーZフロアブル | 2 | | | | | | | | | | | 1.70 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ライジンパワージャンボ | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | RAC | 1 | | 2 | | |

## （９）刈取後、畦畔等除草剤使用基準

### ①　刈取後除草剤

| 除　草　剤　名 | 10アール当たり使用量 | 使　用　時　期 | 使　用　方　法 | 注　意　事　項 |
|---|---|---|---|---|
| プリグロックスL<br>ジクワット 7%<br>パラコート 5% | 800～1000mℓ<br>(移植水稲)<br>600～1000mℓ<br>(直播水稲) | 稲刈取後または春期水田耕起1か月前～直前まで | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 100～150 ℓに溶かして散布 | ・毒物につき、取扱注意。<br>(保管、安全使用)<br>・ミスト機での散布はしない。<br>・隣接の作物、水源地・養殖池等へ飛散、流入させない。 |
| ラウンドアップ<br>マックスロード<br>グリホサートカリウム塩　48% | 200～500mℓ<br>(一年生雑草)<br>500～1000mℓ<br>(多年生雑草) | 稲刈取後<br>雑草生育期 | 雑草茎葉散布<br>10a当たり<br>通常散布で 50～100ℓ、少量散布で5～50ℓに溶かして散布 | ・散布後2時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。<br>・専用ノズルを使用する。<br>・養魚田およびその付近では使用しない。<br>・眼に入らないよう注意する。<br>・皮膚に付着しないよう注意する。 |
| ザクサ液剤<br>グルホシネートＰナトリウム塩<br>11.5% | 300～500mℓ | 水田刈跡 | 雑草茎葉散布<br>10aあたり100～150ℓ | ・一年生雑草<br>雑草生育期 |
| クサトールＦＰ水溶剤<br>クロレートＳＬ<br>塩素酸ナトリウム 60% | 10～13kg<br>(マツバイ) | 刈取後10日以内 | 雑草茎葉散布<br>10a当たり80～100ℓに溶かして散布 | ・消防法の適用を受けるので取扱いには十分注意する。<br>・<br>(厳重保管、安全使用)<br>・火気・衝撃を避ける。<br>・衣類などに付着すると着火することがあるので火気を避けるとともに、作業終了後薬剤の付着した衣類や地下足袋はよく水で洗う。<br>・隣接の作物、水源地・養殖池等へ飛散、流入させない。<br>・散布前後に石灰や木炭を施用しない。 |
| | 13kg<br>(ミズカヤツリ) | 刈取後～ミズカヤツリの塊茎形成前まで | | |
| クロレートS<br>塩素酸ナトリウム 40% | 20～25kg<br>30～40kg<br>(オモダカ) | 水稲刈取跡 | 水稲刈取跡に全面土壌散布 | ・一年生雑草および多年生イネ科雑草防除に使用する場合は、水稲刈取後、秋期雑草生育期に使用する<br>・オモダカに使用する場合は、水稲刈取後なるべく早く使用する<br>・降雨時、降雨の予想される場合、積雪時及び土壌凍結時は、使用をさける |

## ② 水田畦畔除草剤（雑草発生前処理）

| 除草剤名 | 10アール当たり使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|
| カソロン粒剤4.5<br>DBN 4.5% | 6～12 kg | 秋冬期～春期<br>（雑草発生前～発生始期） | 全面土壌散布 | ・対象は、一年生雑草（マメ科を除く）、多年生広葉雑草（マメ科を除く）、スギナ。<br>・水源池、養殖池等に飛散・流入しないように注意する。<br>・眼に対して刺激性あり。 |
| | 6～15 kg（スギナ） | | | |
| カーメックスD<br>DCMU 80.0% | 150～300g | 雑草発生前～雑草生育初期 | 茎葉兼土壌処理<br>10a当たり70～100ℓの水に溶かして散布 | ・気温20℃以上で高湿度の条件下で効果的。 |
| ダイロンゾル<br>DCMU 50.0% | 200～250mℓ | 雑草発生前～生育初期（草丈15cm以下） | 雑草茎葉散布又は全面土壌散布<br>10a 当たり 100ℓに溶かして散布 | |
| カーメックス顆粒水和剤<br>DCMU 80.0% | 150～300g | 雑草発生前、雑草発生始期～雑草発生揃期<br>（草丈20cm以下） | 雑草茎葉散布又は全面土壌散布<br>10a当たり25～300ℓの水に溶かして散布 | |

## ③ 水田畦畔除草剤（雑草生育期処理）

| 除草剤名 | 10アール当たり使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|
| プリグロックスL<br>ジクワット 7%<br>パラコート 5% | 600～1,000mℓ（一年生雑草）<br>1,000～2,000mℓ（多年生雑草） | 雑草生育期 | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 100～150 ℓに溶かして散布 | ・前頁注意事項参照<br>・毒物 |
| クサトールFP水溶剤<br>クロレートSL<br>塩素酸ナトリウム 60% | 7.5～15 kg | 雑草生育期 | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 100～200 ℓに溶かして散布 | ・前頁注意事項参照<br>・ |

| 除草剤名 | 10アール当たり使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|
| ラウンドアップ<br>マックスロード<br>**グリホサートカリウム塩 48%** | 200～500mℓ<br>(一年生雑草)<br>200～1,000mℓ<br>(多年生雑草)<br>1,500～2,000mℓ<br>(スギナ) | 雑草生育期<br>稲収穫前日まで | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 50～100ℓ(通常散布)に溶かして散布 | ・草種によって、薬量が異なることがあるので、ラベルに記載された使用方法をよく読んでから使用する。<br>・ラウンドアップマックスロードは散布後2時間、バスタ液剤は6時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。<br>・散布後2～3週間は刈取りをしない。<br>・専用ノズルを使用する。<br>・周囲の作物に飛散させない。<br>・養魚田およびその付近では使用しない。<br>・眼に入らないよう注意する。<br>・皮膚に付着しないよう注意する。 |
| | 200～1000mℓ<br>(一年生及び多年生雑草)<br>500～1,000mℓ<br>(一年生雑草及び多年生広葉雑草)) | | 10a当たり(少量散布)5～25ℓに溶かして散布<br>(ULV5ノズル使用) | |
| バスタ液剤<br>**グルホシネート 18.5%** | 500～<br>1,000mℓ | 稲収穫7日前まで<br>(雑草生育期:<br>草丈30cm以下) | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 100～150 ℓに溶かして散布<br>少量散布は30～40l/10a | |
| ザクサ液剤<br>**グルホシネートPナトリウム塩 11.5%** | 500～<br>1,000mℓ | 稲収穫7日前まで<br>(雑草生育期:<br>草丈30cm以下) | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 100～150 ℓに溶かして散布 | ・養魚田およびその付近では使用しない。 |
| タッチダウンiQ<br>**グリホサートカリウム塩 44.7%** | 250～500mℓ<br>(一年生雑草)<br>500～1000mℓ<br>(多年生雑草)<br>1,500～2,000mℓ<br>(スギナ) | 稲収穫14日前まで<br>(雑草生育期:<br>草丈30cm以下) | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 50 ～100ℓ に溶かして散布 | ・散布後2時間以内に降雨が予想されるときは使用を避ける。<br>・飛散防止のためキリナシノズルを使用して低圧で散布する。 |
| (草枯らしMIC<br>シンノングリスター<br>**グリホサートイソプロピルアミン塩 41%** | 250～500mℓ<br>(一年生雑草)<br>500～1000mℓ<br>(多年生雑草) | 稲収穫14日前まで<br>(雑草生育期:<br>草丈30cm以下) | 雑草茎葉散布<br>通常散布では100ℓに溶かして使用 | ・散布後6時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。<br>・散布後2～3週間は刈取りや耕耘をしない。<br>・専用ノズルを使用する。<br>・養魚田およびその付近では使用しない。<br>・眼に入らないよう注意する。<br>・皮膚に付着しないよう注意する。<br>・ジェネリック除草剤としてエイトアップ液剤、クサトローゼがある。 |
| サンダーボルト007<br>**グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0%**<br>**ピラフルフェンエチル 0.16%** | 400～<br>600mℓ | 稲収穫14日前まで<br>(雑草生育期:<br>草丈30cm以下) | 雑草茎葉散布<br>10a当たり100ℓに溶かして散布 | ・激しい降雨が予想される場合は使用を避ける。<br>・付近の有用作物にかからないように散布する。 |

| 除　草　剤　名 | 10アール当たり使用量 | 使　用　時　期 | 使　用　方　法 | 注　意　事　項 |
|---|---|---|---|---|
| グラスショート液剤<br>ビスピリバックナトリウム塩<br>3.0% | 300～<br>500 mℓ | 雑草生育初期(草丈10cm)及び草刈り後 10～20 日の雑草再生期(収穫前日まで) | 雑草茎葉散布<br>10a当たり 50 ～100ℓ に溶かして散布 | ・草丈抑制による刈り取り軽減。<br>・畦畔のイボクサに効果あり。 |

## （10）除草剤体系　（例）

### ①　移植栽培田

**除草剤を使用する場合、使用時期が「移植後△日～ノビエ○葉期（ただし移植後□日まで)」というように規定されている。**

**また、移植後◇日以内、または収穫前◎日以前という規定もあるので、使用時期には十分注意する。**

**同一圃場で除草剤を複数回使用するときは、各薬剤の使用回数だけでなく、薬剤の成分ごとの使用回数を超えないこと。**

稚苗の機械移植の場合は苗の素質、活着状態、浅植えなどの条件により薬害の出る恐れがあるので、次のことを留意のうえ使用する。

- 健苗で活着良好であること。
- 田面の整地が丁寧で均平が良く、水深は３～５㎝であること。
- 極端な浅植えは避け、水稲根が地表に露出しないようにする。

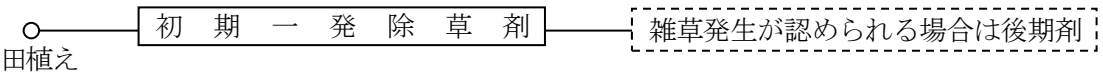
（ア）一発除草剤を使用する場合

通常、一発除草剤を適正に処理すれば十分に雑草防除が可能である。

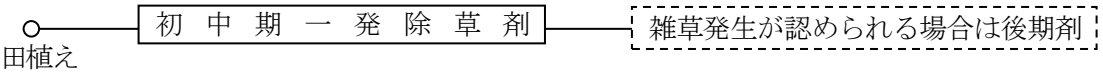
一般的に「初期一発剤」と呼ばれるもの、一般的に「初中期一発剤」と呼ばれるものが、適期処理が労力的に困難な場合、もしくは雑草多発田である場合は、初期剤を併用する。

・散布後７日間は湛水を保ち、落水や掛け流しはしない。水尻や畦畔からの漏水、オーバーフローもさせない。
・減水深２㎝以上の圃場では、薬害の恐れがあるので使用しない。
・多年生雑草発生田では、使用時期のうちで早めに処理する。
・残草が目立つ場合は、後期剤を処理する。

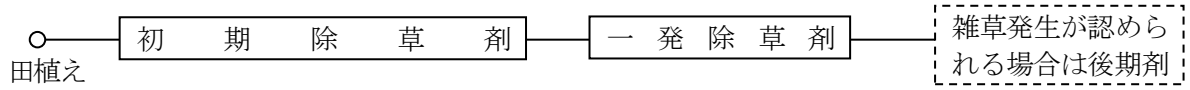
ａ）初期一発剤を用いる場合




ｂ）初中期一発剤を用いる場合



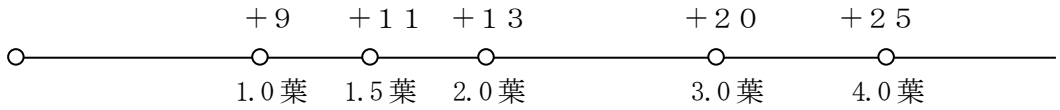

ｃ）初期剤との体系で用いる場合



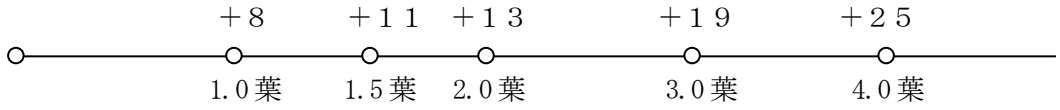

・初期剤の抑草期間は、およそ２０～２５日。
・一発除草剤の使用時期（田植後日数など）を守る。
・初期剤にプレチラクロールを含む剤を使用する場合、同一成分（プレチラクロール）を含む一発剤の使用は避ける。また、各除草剤に含まれる成分ごとの使用回数も確認し、その回数を超えないように薬剤を選択する。

＜ノビエの葉齢の進み方（福井県嶺北地方平坦地での例）＞
代かき日を＋０日とした場合（移植時期や播種時期が５月１０日頃の場合、移植や播種は代かき後３～５日）

・移植栽培（移植時以外は湛水条件）

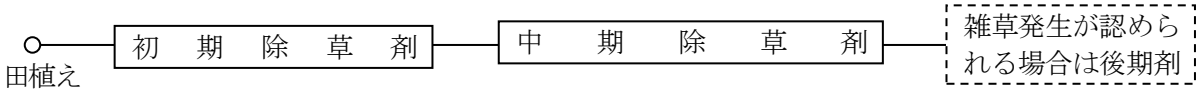



・湛水直播栽培（播種直前～播種後１０日程度は落水条件）

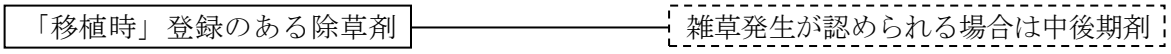



（気温が高い時は葉齢の進展はこれより早まる）

（イ）一発除草剤を使用しない場合（初期剤＋中期剤の体系）




（ウ）田植同時処理（「移植時」（田植同時処理）の登録のある薬剤のみ）




・田植機にセットした散布機械で散布するが、作業前に散布量をよく調節してから使用する。
・薬剤によっては、砂壌土では登録がないものもあるので注意する。
・田植えと同時に散布できなかった場合は本田に散布する（使用時期は薬剤により異なる）。
・後期に残草が目立った場合は、体系処理とする。
・軟弱苗となった場合、浅植えの場合は使用しない。
・田植え時の土壌表面を硬くし過ぎない（根が露出しないようにする）。

## ② 直播栽培田

**使用時期について、稲の葉齢やノビエの葉齢、収穫前日数の規定があるので、これらを遵守する。**
**同一圃場で除草剤を複数回使用するときは、各薬剤の使用回数だけでなく、薬剤の成分ごとの使用回数を超えないこと。**

（ア）湛水直播

除草剤散布は、体系処理を基本とする。

出芽安定のため播種後は落水管理を原則としているが、これは除草剤の効果確保の面からすれば望ましくない。田面に大きな亀裂が入らないよう、また黒ボク土などでは特に土が乾きすぎないよう適宜入水する。

播種 ― 直播水稲に登録のある一発除草剤 ― 一発除草剤もしくは直播に登録のある中後期剤

- 直播水稲に登録のある一発除草剤
  - ・イネ１葉以降に散布（播種後１０日前後）。
  - ・これより前に散布可能である除草剤は(7)-⑭参照。イネの出芽・苗立ちが遅れ生育初期の除草で失敗が多い場合にも使用する。
- 一発除草剤もしくは直播に登録のある中後期剤
  - ・播種後２０～３０日に散布。
  - ・後発雑草発生の懸念が小さい圃場では、２回目の散布を省略してもよい。

［注意事項］

・同一除草剤の２回使用は避ける。
・使用する薬剤の成分ごとの使用回数にも留意し、薬剤を選択する。
・SU抵抗性雑草の発生に注意する。

（イ）乾田直播

播種 ― クリンチャーバスME液剤 ― 入水 ― ９０日タイプの一発除草剤

- クリンチャーバスME液剤
  - ・＋１０日～ノビエ５葉期
  - ・クリンチャーバスME液剤の希釈は散布当日に行う。
- 入水
  - ＋２３～＋２５日
  - イネ２葉期
- ９０日タイプの一発除草剤
  - ・湛水後５～７日
  - ・減水深が2㎝/日以下になった時点で散布。

・雑草が多い場合は、播種後２０日（入水前）に茎葉処理剤を散布する。

〔Ｖ字直播（愛知県の栽培指針を参照）〕

茎葉処理剤 土中発芽率５０%時 ― 選択性除草剤（クリンチャーEW） ― 入水 イネ２葉期 ― ９０日タイプの一発除草剤

### ③　スルホニルウレア系（ＳＵ）抵抗性雑草に対する除草体系

ＳＵ剤は少量で効果的で、多くの一発剤に混合されてきたところだが、ＳＵ剤に抵抗性のあるアゼナ、ホタルイ、コナギ等の発生が認められている。残草が多く、ＳＵ剤を連用してきたところはその疑いがある。

ＳＵ抵抗性雑草であることを確認した場合は、以下の除草体系により防除する。

栽培期間の途中からＳＵ抵抗性雑草を防除する場合は、後期剤で対応する。

（ア）体系除草

田植え ― 初期除草剤 ― 中期除草剤　または　ＳＵ抵抗性雑草に効果のある成分を含む一発除草剤 ― 雑草発生が認められる場合は後期剤

（イ）一発除草剤

田植え ― ＳＵ抵抗性雑草に効果のある成分を含む一発除草剤 ― 雑草発生が認められる場合は後期剤

（注）ＳＵ抵抗性雑草を抑えるためには、初期剤と中期剤の体系処理が最も効果的である。一発除草剤を使う場合は、雑草の葉齢が進んでいない、できるだけ早い使用時期（適用範囲）に使用する。

**＜参考１＞**

**ホタルイが多発する水田での対応について**

近年のホタルイの葉齢進展は、ノビエとほとんど同じである（下図）。

初中期一発除草剤のホタルイの限界葉齢は 2 葉期のものが多いため、ノビエの葉齢だけを見て除草剤を使用すると、ホタルイが限界葉齢を超えており、枯殺できないことがある。ホタルイの防除可能な葉齢は除草剤のラベルに記載されているので、よく確認してから散布を行うようにする。

また、5 月中の気温が高いと雑草の生育が早く進み、限界葉齢で処理を行うと取りこぼすことがあるため、葉齢に余裕を持って散布を行うと効果が高まる。

ホタルイが水田内で目立つようになるのは花茎が伸びだしてからであり、その時には一発除草剤はほとんど効果が見られないので、すみやかに中後期剤を処理する。

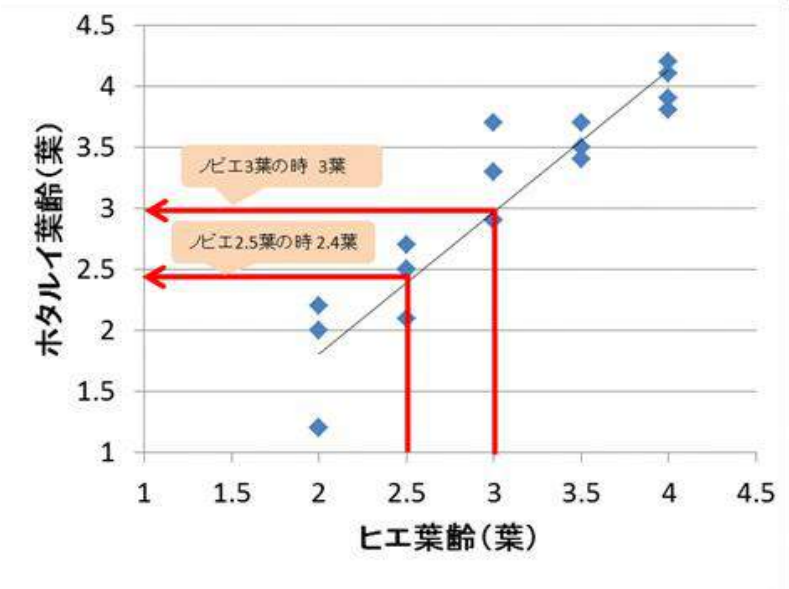



図　ヒエとホタルイの葉齢進展の関係

（福井県農業試験場、H25～29 適 2 試験の平均、移植栽培）

### ④　多年生雑草（ウリカワ、ホタルイ、オモダカ、ミズガヤツリ）多発田の場合

初　期　剤 ― 一発除草剤 ― バサグラン粒剤（Ｎａ塩）
バサグラン液剤（Ｎａ塩）
バサグラン・エアー１キロ粒剤

多年生雑草に対する除草有効期間は非常に狭いので、適期に散布する。
⑩と組み合わせることでさらに高い効果がある。

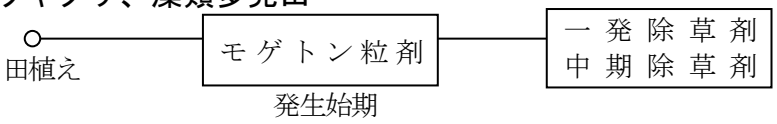
### ⑤　ノビエ取りこぼし田

| | |
|---|---|
| クリンチャー１キロ粒剤 | 移植:ノビエ４葉期まで、直播:ノビエ３葉期まで |
| ヒエクリーン１キロ粒剤 | 移植:ノビエ４葉期まで、直播:ノビエ４葉期まで |
| ワンステージ１キロ粒剤 | |
| ヒエクッパエース１キロ粒剤 | 移植:ノビエ５葉期まで、直播:ノビエ５葉期まで |
| クリンチャーＥＷ | 移植:ノビエ６葉期まで、直播:ノビエ５葉期まで |
| トドメＭＦ１キロ粒剤 | 移植:ノビエ５葉期まで、直播:ノビエ４葉期まで |
| トドメＭＦ乳剤 | 移植:ノビエ７葉期まで、直播:ノビエ６葉期まで |

### ⑥　ノビエも広葉雑草も目立つ田

| | |
|---|---|
| クリンチャーバスＭＥ液剤 | 移植：移植後１５日～ノビエ５葉期、収穫５０日前まで<br>直播：播種１０日後～ノビエ５葉期、収穫５０日前まで |
| ヒエクリーンバサグラン粒剤 | 移植：移植後１５日～ノビエ４葉期、収穫６０日前まで<br>直播：イネ３葉期～ノビエ４葉期、収穫６０日前まで |
| ワイドアタックＳＣ | 移植：移植後２０日（稲５葉期以降）～ノビエ６葉期まで<br>収穫３０日前まで）<br>直播：イネ３葉期～ノビエ５葉期、収穫３０日前まで |
| アレイルＳＣ | 移植：移植後２０日～ノビエ５葉期、収穫４５日前まで<br>出穂始期１５日前まで<br>直播：稲４葉期～ノビエ５葉期、収穫４５日前まで<br>出穂始期１５日前まで |
| ワイドパワー粒剤 | 移植：移植後２０日～ノビエ５葉期、収穫６０日前まで<br>直播：稲４葉期～ノビエ４葉期、収穫６０日前まで |
| ロイヤント乳剤 | 移植：移植後２０日～ノビエ５葉期、収穫４５日前まで<br>直播：稲３葉期～ノビエ５葉期、収穫４５日前まで<br>ホタルイは適用雑草ではない |
| シアゲＭＦ１キロ粒剤 | 移植：移植後２０日～ノビエ４．５葉期、収穫６０日前まで<br>直播：稲３．５葉期～ノビエ４．５葉期、収穫６０日前まで |

### ⑦　ウキクサ、藻類多発田




ウキクサ、藻類の多発田のみ使用する。
トリアジン系中期除草剤を直ちに散布するときは、使用する必要はない。

### ⑧　ヒレタゴボウが中干し終了後に残草した場合

他県事例では、下記の除草剤（中後期剤体系）がヒレタゴボウに有効とされるデータがある

| | |
|---|---|
| バサグラン液剤（Ｎａ塩） | 落水散布・収穫４５日前まで |
| ツイゲキ１キロ粒剤 | 湛水散布・収穫６０日前まで |
| ウィードコア１キロ粒剤 | 湛水散布・収穫６０日前まで |

### ⑨　中後期剤を使用する場合

中後期剤は、対象草種の葉齢等にあった除草剤を選択し、適量を散布する。ただし、それ以前に散布した除草剤と同じ成分の入ったものの使用は避ける。

### ⑩　稲刈取後の雑草防除

ミズガヤツリ、クログワイ、セリ、オモダカなど難防除雑草の多い圃場で使用する。

ア）刈取後なるべく早めに除草剤を散布し、地上部を枯死させ、地下茎の形成を阻害する。
イ）塊茎形成時期はかなり幅があり、早いものは９月中～下旬にすでに塊茎の形成がみられる。
ウ）散布時期が遅れるほど塊茎の数が多くなるので除草効果が劣る（９月中下旬まで)。
エ）２年連続で秋散布をすると、ほぼ根絶が可能となる。

（散布上の注意）

○　散布前後に降雨があると効果が落ちるので、天候をよく見極めて散布すること。
○　田面がワラで覆われているときは、雑草が発生してから散布し、茎葉に薬剤をよく付着させる。
○　散布する場合、圃場周辺の作物の薬害防止に細心の注意を払う。

＊薬剤は例
上記以外の薬剤は、（７）本田除草剤の使用方法を参照すること。

# 3　水稲植物成長調整剤

## （1）湛水直播栽培の発芽率向上、苗立歩合の安定

| 薬　剤　名 | 使用時期 | 処　理　量 | 処理方法 | 回数 | 注　　意　　事　　項 |
|---|---|---|---|---|---|
| カルパー粉粒剤16<br>過酸化カルシウム　16% | は　種　前<br>浸　種　後 | 乾燥籾重量の等倍～２倍量 | 湿　粉　衣 | 1 | ・は種前日に粉衣する。<br>・発芽した籾は使用しない。<br>・陰干しし、薬剤が固化してから播種する。<br>・眼に強い刺激性があるので、眼に入らないように注意する。<br>・直射日光を避け、酸類と隔離し乾燥した場所に密封して保管する。<br>・無人ヘリコプターによる散播時にも使用可。 |
| タチガレエースM粉剤<br>ヒドロキシイソキサゾール　4%<br>メタラキシルM　0.25% | は　種　前 | 乾籾重量の　３　% | 過酸化カルシウム剤に添加して種籾に粉衣する | 1 | ・根の生育促進による苗立の安定 |
| オクソスDS<br>過酸化カルシウム　19% | は　種　前 | 乾燥種籾重量の0.5倍～等倍量 | 種子粉衣（湿粉衣） | 1 | ・苗立の安定 |

## （2）節間短縮による倒伏軽減

| 薬　剤　名 | 使用時期 | 10a当たり処　理　量 | 処理方法 | 回数 | 注　　意　　事　　項 |
|---|---|---|---|---|---|
| スマレクト粒剤<br>パクロブトラゾール　0.6% | 出穂15～10日前<br>（登録は出穂20～7日前） | 2～3kg | 湛水散布 | 1 | ・均一散布<br>・散布後7日間は落水やかけ流しをしない。<br>・砂壌土では2kg／10a施用とする。<br>・本剤を使用した水田土を野菜類の育苗用床土に使用しない。 |
| ビビフル粉剤DL<br>プロヘキサジオンカルシウム塩　0.12% | 出穂10～5日前 | 3～4kg | 散　　布 | 1 | ・均一散布<br>・散布の際はマスクを着用し、作業後はうがいをする。 |
| ロミカ粒剤<br>ウニコナゾールP　0.04% | 出穂25～10日前 | 2～3kg | 湛水散布 | 1 | ・均一散布<br>・黒ボク土壌では効果が劣る場合がある。<br>・散布後7日間は落水やかけ流しをしない。<br>・スマレクト粒剤の注意事項を参照。 |

# Ⅱ　大麦（小麦）、だいず・そば・あずき

## １　麦類病害虫

## 麦類病害虫重点防除指導方針

大麦（小麦）は、水田営農の活性化を図る基幹作物として位置付けられている。

生産安定および品質向上を図るため、耕種的防除対策に努めるとともに、病害虫の発生動向に注意して適正な薬剤防除を推進する。

### １　耕種的防除の推進

大麦（小麦）の栽培にあたり排水対策を十分に行うとともに、融雪促進を推進する。

### ２　主要病害虫の防除技術

種子伝染性の病害を防ぐため、健全種子への更新および種子消毒を推進する。

赤かび病の発生は、品質を低下させ商品価値をなくすので、穂揃期（開花期）とその７～１０日後の２回防除を基本とする。多発が予想される場合には、使用時期を厳守しながらもう１回の薬剤散布を実施する。

**1　麦類病害虫**

**（1）オオムギ・コムギ薬剤一覧**

RPA

| 病害虫名 | | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 斑葉病 | 播種前 | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | |
| | | ﾍﾞﾝﾚｰﾄTｺｰﾄ | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ粉剤 | 1,M3 | | 乾燥種子重量の0.5% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,M3 | | 乾燥種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | | | | | | 20倍 | - | は種前 | 10～20分間種子浸漬 | 1回 | |
| | | | | | | 200倍 | - | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | |
| | | ﾎｰﾏｲ水和剤 | ﾁｳﾗﾑ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,M3 | | 種子重量の0.5～1.0% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 麦類(小麦を除く) |
| | | | | | | 200倍 | | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | 麦類(小麦を除く) |
| | | | | | | 種子重量の0.5～1.0% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦 |
| | | | | | | 200倍 | | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | 小麦 |
| なまぐさ黒穂病 | 播種前 | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | |
| | | ﾍﾞﾝﾚｰﾄTｺｰﾄ | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ粉剤 | 1,M3 | | 乾燥種子重量の0.5% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,M3 | | 乾燥種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | | | | | | 20倍 | - | は種前 | 10～20分間種子浸漬 | 1回 | |
| | | | | | | 200倍 | - | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | |
| | | ﾎｰﾏｲ水和剤 | ﾁｳﾗﾑ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,M3 | | 種子重量の0.5～1.0% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 麦類(小麦を除く) |
| | | | | | | 200倍 | | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | 麦類(小麦を除く) |
| | | | | | | 種子重量の0.5～1.0% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦 |
| | | | | | | 200倍 | | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | 小麦 |
| 裸黒穂病 | 播種前 | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | |
| | | ﾍﾞﾝﾚｰﾄTｺｰﾄ | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ粉剤 | 1,M3 | | 乾燥種子重量の0.5% | | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,M3 | | 乾燥種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | | | | | | 20倍 | - | は種前 | 10～20分間種子浸漬 | 1回 | |
| | | | | | | 200倍 | - | は種前 | 6～24時間種子浸漬 | 1回 | |
| 雲形病 | 播種前 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | | | 乾燥種子重量の0.5% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | 小麦、大麦 |
| | 3月下旬～4月上旬 | ﾁﾙﾄ乳剤25 | ﾌﾟﾛﾋﾟｺﾅｿﾞｰﾙ乳剤 | 3 | | 1000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 1回 | 大麦 |
| 雪腐病 | 根雪前 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000～2500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 根雪前 | 散布 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) | 小麦 |
| | | | | | | 1000～2500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 根雪前 | 散布 | 3回以内(出穂期以降は1回以内) | 麦類(小麦を除く) |
| うどんこ病 | 発生初期 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000～2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) | 小麦 |
| | | | | | | 1000～2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 3回以内(出穂期以降は1回以内) | 麦類(小麦を除く) |
| 赤かび病 | 1回目<br>開花期（穂揃期）<br>2回目<br>1回目の7～10日後 | ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | 小麦 |
| | | | | | | 2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | 大麦 |
| | | | | | | 16倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | 大麦 |
| | | | | | | 16倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | 小麦 |
| | | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | 麦類(小麦を除く) |
| | | | | | | 2000～3000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | 小麦 |
| | | ﾁﾙﾄ乳剤25 | ﾌﾟﾛﾋﾟｺﾅｿﾞｰﾙ乳剤 | 3 | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 1回 | 大麦 |
| | | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | 小麦 |
| | | | | | | 1000～2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 1回 | 大麦 |
| | | | | | | 1000～2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | 小麦 |
| | | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMｿﾞﾙ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) | 小麦 |
| | | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内(出穂期以降は1回以内) | 麦類(小麦を除く) |
| | | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000～1500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) | 小麦 |
| | | | | | | 1000～1500倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 3回以内(出穂期以降は1回以内) | 麦類(小麦を除く) |
| | | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM粉剤DL | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ粉剤 | 1 | | 3～4kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内(出穂期以降は2回以内) | 小麦 |
| | | | | | | 4kg/10a | | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内(出穂期以降は1回以内) | 麦類(小麦を除く) |
| | | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 1000～2000倍 | 60～150ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | |

| 病害虫名 | | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 赤かび病 | 1回目<br>開花期（穂揃期）<br>2回目<br>1回目の7～10日後 | ﾐﾗﾋﾞｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞｼﾞﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 7 | | 8～16倍 | 0.8㎏/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | 大麦 |
| | | | | | | 1500～2000倍 | 60～150㎏/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | 大麦 |
| | | ﾜｰｸｱｯﾌﾟ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾄｺﾅﾌﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 10～24倍 | 0.8㎏/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | |
| | | | | | | 2000～3000倍 | 60～150㎏/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾜｰｸｱｯﾌﾟ 粉剤DL | ﾒﾄｺﾅﾌﾞｰﾙ粉剤 | 3 | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |

## （２）大麦赤かび病の体系防除

大麦の赤かび病は、穂揃期（開花期）とその７～１０日後に防除するのが最も防除効果が高い。
このため、２回防除を基本とする。

### 〔防除体系と防除効果〕

| 防除体系 | | １回目：穂揃期（開花期） | ２回目：１回目の7～10日後 | 防除効果 |
|---|---|---|---|---|
| 体系１ | 液剤＋液剤 | 動　　噴 | 動　　噴 | ◎ |
| | | 動　　噴 | 無人航空機 | ◎ |
| | | 無人航空機 | 無人航空機 | ◎ |
| 体系２ | 粉剤＋液剤 | 動　　散 | 動　　噴 | ○ |
| | | 動　　散 | 無人航空機 | ○ |
| 体系３ | 粉剤＋粉剤 | 動　　散 | 動　　散 | ○ |

### 〔体系１〕

**液剤（噴霧機）＋液剤（噴霧機 or 無人航空機）**

| １回目＝穂揃期（開花期） | 散布方法 |
|---|---|
| トップジンM水和剤<br>シルバキュアフロアブル<br>ミラビスフロアブル | 噴霧機 |

＋

| ２回目<br>＝１回目防除の７～１０日後 | 散布方法 |
|---|---|
| ストロビーフロアブル<br>トリフミン水和剤 | 噴霧機 |
| チルト乳剤２５ | 無人航空機 |

**液剤（無人航空機）＋液剤（無人航空機）**

| １回目＝穂揃期（開花期） | 散布方法 |
|---|---|
| トップジンMゾル<br>シルバキュアフロアブル<br>ワークアップフロアブル<br>ミラビスフロアブル | 無人<br>航空機 |

＋

| ２回目<br>＝１回目防除の７～１０日後 | 散布方法 |
|---|---|
| チルト乳剤２５ | 無人航空機 |

### 〔体系２〕

**粉剤（動散） ＋ 液剤（噴霧機 or 無人航空機）**

| １回目＝穂揃期（開花期） | 散布方法 |
|---|---|
| トップジンM粉剤ＤＬ<br>ワークアップ粉剤ＤＬ | 動散 |

＋

| ２回目<br>＝１回目防除の７～１０日後 | 散布方法 |
|---|---|
| ストロビーフロアブル<br>トリフミン水和剤 | 噴霧機 |
| チルト乳剤２５<br>ミラビスフロアブル | 無人航空機 |

### 〔体系３〕

**粉剤（動散）＋ 粉剤（動散）**

| １回目＝穂揃期（開花期） | 散布方法 |
|---|---|
| トップジンM粉剤ＤＬ | 動散 |

＋

| ２回目<br>＝１回目防除の７～１０日後 | 散布方法 |
|---|---|
| ワークアップ粉剤ＤＬ | 動散 |

## （３）麦類注意事項

### なまぐさ黒穂病、裸黒穂病、雲形病

〔種子消毒〕

・浸漬薬液の量は種子容量と同等以上とし、液温は10℃以上で消毒する。

・浸漬消毒は、浸漬中に２～３回袋を上下するか種子を撹拌する。

〔耕種的防除〕

・採種圃産種子を使用する。

・発病株は、抜き取って処分する。

### 裸黒穂病

・黒穂株は健全株よりやや早く出穂するため、早期に抜き取り周辺株への伝染を防ぐ。

### 雲形病

〔耕種的防除〕

・播種期が早いと秋期の感染、発病が多くなるので、適期に播種する。

・厚撒き、窒素肥料過多で、発病が多くなる。

・発病跡地の刈り株、こぼれ麦は放置せず、地中にすき込むなどして処分する。

### 雪腐病

・紅色雪腐病は、排水の良い軽しょう土（火山灰土）や施肥量の少ない場合、発生しやすい。

・紅色雪腐病は、種子伝染する。

・褐色雪腐病は、排水不良など重粘土や融雪時に停滞水が多い場合に発生しやすい。

・雪腐小粒菌核病は、褐色雪腐病との併発が多い。病原力が弱く、被害は比較的少ないが、根雪の期間が長くなる山間、山沿い地帯に多い。

〔耕種的防除〕

・圃場の排水をはかる（うね立て時だけでなく、根雪前にも排水溝を整備する）。

・播種期が遅れると被害を受けやすくなるので、必ず適期に播種する。

・根雪前の窒素肥料の多用を避ける。

・前作に多発生した圃場は、作付けを避ける。

### うどんこ病

・下葉から発生する。

・発病したら、早期に薬剤を散布する。

・薬剤は下葉にも十分にかかるよう散布する。

**赤かび病**

・出穂後、開花時に平均気温が 15℃以上で、降雨が続くとき多発する。
・本病発病麦は別仕分けを行い、食用や飼料用に使用しない。
・薬剤を選ぶ際は RAC コードを確認し、同一成分の薬剤連用は避ける。
・使用時期が「収穫 30 日前まで」の薬剤は、２回目の使用を避ける。
・トリフミン水和剤は出穂期から使用できるが、穂揃期での使用が効果的である。

**株腐病**

・暖冬年に発生が多い。
〔耕種的防除〕
・播種前に、消石灰などを 100～150kg/10a 施用する。
・播種期が早いと秋期の感染が多くなるため、適期に播種する。
・春の発病を減らすため、厚播きを避ける。
・発病が多い場合は、連作を避ける。
・被害麦稈を取り除く。

# ２　だいず・そば・あずき病害虫

## だいず・そば・あずき病害虫重点防除指導方針

だいず、そば等は、大麦のあとの周年型作物として位置付けられている。
特に、そばは中山間地域等における地域特産物として生産されている。
収量・品質の高位安定化を図るため、耕種的防除対策に努めるとともに、病害虫の発生動向に注意して適正な防除を推進する。

### １　耕種的防除の推進

だいず、そばの栽培にあたり、排水対策を十分に行うとともに圃場および圃場周辺の雑草の刈り取りを推進する。

### ２　主要病害虫の防除技術

紫斑病等種子伝染性病害を防ぐため、健全種子への更新および種子消毒を推進する。
葉焼病、ウコンノメイガは発生状況を確認し、遅れずに防除（臨機）を行う。
カメムシ類、シロイチモジマダラメイガ、フタスジヒメハムシを防除するため、子実肥大期を中心に３回（基幹）防除を推進する。

## （１） だいず病害虫の要防除水準

### カメムシ類の要防除水準

圃場内での調査を行い、カメムシ類の発生状況を的確に把握した上で、要防除水準に基づく効率的な防除を実施し、環境負荷の少ない防除を推進する。

１　要防除水準

８月下旬（圃場侵入期）は 100 茎あたり 0.3 頭以上、９月中旬（発生最盛期）は 100 茎あたり 4.0 頭以上の場合は防除する。

２　調査方法

８月下旬と９月中旬に、１圃場あたり 100 茎ずつ３か所の見とり調査を行う。

### フタスジヒメハムシの要防除水準

１　要防除水準

８月下旬（第２世代成虫発生最盛期）に払い落としを行い、1.5m、２条当たり約 70 頭以上の場合は直ちに防除する。

２　調査方法

長さ 150 ㎝、幅 80 ㎝の払い落とし用シートを条間に広げてシートの両端から２人で両側の株をたたき、成虫をシート上に落とす。１圃場につき、３か所行う。

### 葉焼病の要防除水準

１　要防除水準

開花期に発病葉率 16.5%以上は、ただちに防除する。

２　調査方法

開花期に圃場内で発生が多い場所を選び、10 株以上の全葉数および発病葉数を調べ、発病葉率を求める。

**（2）大豆薬剤一覧**

RPA

| 病害虫名 | 防除時期 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 紫斑病 | 播種前 | ｷﾋﾀﾞﾝR-2ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 乾燥種子1kg当り原液20mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 4A,12,4 | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | 開花後<br>20～30日 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | | | | | 16倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | |
| | | ﾌｾｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞｸﾛﾒﾁﾙ水和剤 | 53 | | 24～32倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | |
| | | | | | | 3000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ・ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 3A,11 | | 1000倍 | 100～400ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | ﾄﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞﾌﾛｷﾝ水和剤 | U16 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | 開花期後<br>15～30日 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ粉剤DL | 銅粉剤 | M1 | | 3kg/10a | | - | 散布 | - | |
| 葉焼病 | 初発時<br>（7月下旬頃） | ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙC水和剤 | ｼﾞﾒﾄﾓﾙﾌ・銅水和剤 | 40,M1 | | 600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| 茎疫病 | 播種前 | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | 播種前 | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | 生育期 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | ﾏﾗｿﾝ粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | 播種前 | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | 播種前 | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| ｶﾒﾑｼ類 | 若莢～子実肥大期<br>8～9月 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粉剤DL | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粉剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 32倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｽﾀｰｸﾙ液剤10 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ液剤 | 4A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 空中散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | ｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粉剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｽﾐﾁｵﾝ粉剤3DL | MEP粉剤 | 1B | | 4kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 4回以内 | |
| | | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ粉剤 | 4A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ粉剤 | 3A | | - | 4kg/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | 豆類(種実) |
| | | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ・ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 3A,11 | | 1000倍 | 100～400ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | 若莢～子実肥大期　8月 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾝ粒剤5 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾝ粒剤 | 1B | | 4～6kg/10a | | 収穫30日前まで | 散布 | 4回以内 | |
| | | ﾐﾈｸﾄｴｸｽﾄﾗSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾙﾌｪﾇﾛﾝ水和剤 | 28,15 | | 10000～12000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 40～80倍 | 0.8L/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 80～160倍 | 1.6L/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |

| 病害虫名 | 防除時期 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ | 若莢伸長期 | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤5 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 4～6kg/10a | | 収穫30日前まで | 散布 | 4回以内 | |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾊﾞｰﾏﾁｵﾝ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚｰﾄ・MEP水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ粉剤 | 3A | | - | 4kg/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | 豆類(種実) |
| ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ | 子実肥大初期<br>8月 | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾐﾈｸﾄｴｸｽﾄﾗSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾙﾌｪﾇﾛﾝ水和剤 | 28,15 | | 10000～12000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 40～80倍 | 0.8L/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 80～160倍 | 1.6L/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ | 開花終期～子実肥大初期<br>8月上旬～中旬 | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 4回以内 | |
| | | | | | | 8倍 | 800mL/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 4回以内 | |
| | | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤5 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 4～6kg/10a | | 収穫30日前まで | 散布 | 4回以内 | |
| ｳｺﾝﾉﾒｲｶﾞ | 7月下旬～8月はじめ | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ粉剤 | 4A | | 4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 16～32倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾖｰﾊﾞﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 50倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | 生育期<br>若齢幼虫期 | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ粉剤 | 3A | | - | 4kg/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | 豆類(種実) |
| | | ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 16～32倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | |
| | | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | | | | | 8～16倍 | 800mL/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | 生育期 | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | ﾏﾗｿﾝ粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ | 播種前 | ｸﾙｰｻﾞ-FS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | | ｸﾙｰｻﾞ-MAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | |
| | 8月下旬<br>第2世代発生期 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |
| | | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粉剤DL | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粉剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｽﾀｰｸﾙ液剤10 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ液剤 | 4A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粉剤 | 4A | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | |
| | | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ粉剤 | 4A | | 3～4kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | |

## （３）だいず注意事項

**紫斑病**

・子実肥大期に雨が多いと多発する。
・種子伝染するので、優良種子を使用しクルーザーＭＡＸＸによる種子消毒を行う。
・耐性菌が発生している。
・耐性菌の発生を抑制するために、系統の異なる２剤を選択し、開花後 20 日目とその 10 日後（開花後 30 日目）に体系で散布する。
・アミスター20 フロアブルは、開花後２０～３０日目の１回散布でも効果がある。

**葉焼病**

・初発時に効果の高いフェスティバルＣ水和剤を施用し、病害の蔓延を防ぐ。
・発生が多いほど小粒比率が高くなり、減収する。
・里のほほえみで発生が多い。

**黒根腐病**

・排水不良田での発生が多く、一度発生すると根絶することが困難。
・立枯れした株を抜くとゴボウ根になっており、手応え無く抜ける。株元に赤い子嚢殻が発生することがあり、発生が広がると減収する。
・発生した圃場は 3 年以上水稲を作付けし、菌の密度を下げる。

**カメムシ**

・8 月 20 日頃と 9 月 10 日頃の２回防除すると効果が高い。
〔耕種的防除〕
・圃場周辺を除草する。

**ダイズサヤタマバエ**

・山間、山沿いで発生が多い。

**ウコンノメイガ**

・葉が巻きはじめる若齢幼虫期に防除する。
・山間、山沿いで発生が多い。

**ハスモンヨトウ**

・早期発見に努め、早めに防除する。
・白変葉が見え始めた時に、分散前に防除する。

**（4）そば薬剤一覧**

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～6000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | ﾛﾑﾀﾞﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 |
| | ﾛﾑﾀﾞﾝ粉剤DL | ﾃﾌﾞﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ粉剤 | 18 | | 4kg/10a | | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ雄成虫 | ﾌｪﾛﾃﾞｨﾝSL | ﾘﾄﾙｱ剤 | | | | 2～4個/ha | 成虫発生初期から発生終期まで | 本剤をﾄﾗｯﾌﾟ1台当り1個を取付けて配置する。取付けた薬剤は1.5～2ヵ月間隔で更新する。 | |

**（5）あずき薬剤一覧**

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱｽﾞｷﾉﾒｲｶﾞ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | ﾏﾗｿﾝ粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |
| | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | ﾏﾗｿﾝ粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 |

# ３　大麦（小麦)、だいず、そば除草剤

## （１）使用上の注意事項

畑作では水田作に比べて効果の幅が大きいので、使用する場合は圃場条件の確保、気象条件、各薬剤の作用特性などを十分に配慮する。

① は種後の土壌処理については、砂質土、低湿地などでは薬害が生じるほか殺草効果も劣るので使用を避ける（薬剤によっては、適用土壌が「壌土～埴土」となっているものもあるので注意する)。
② 土壌処理剤は、覆土後、雑草の発生期前までに、土壌表面に均一散布する。
③ 土壌処理の場合、砕土率を高めて覆土はやや厚めとする。
また、は種は浅まきとならないように注意する（薬害防止のため)。
④ 薬剤の土壌表面処理の場合、薬剤が土中深く入り、作物の種子や根に直接薬剤が作用することがないように十分注意する。
⑤ 土壌が乾燥して極端に水分の少ない場合は効果が劣るので、散布水量を多めにしたり（薬剤使用量は基準どおり）降雨後に散布する。
⑥ 処理直後に激しい降雨にあうと薬害が発生し出芽および根その他の生育を抑えるので、処理後１～２日間は降雨にあわないよう天気予報等に注意し散布する。
⑦ 排水不良田では薬害が生ずるおそれがあるため、使用を避ける。
⑧ 生育期処理は、作物の生育を考慮して雑草発生～初期に散布する。
散布の際に、付近の作物にかからないよう注意する。

## （２）使用方法

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | １０アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大麦（小麦） | は種直後（雑草発生前） | クリアターン細粒剤F<br>ベンチオカーブ 8.0%<br>ペンディメタリン 0.80%<br>リニュロン 1.2% | 1<br>(1)<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>4～5kg | 土壌全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草。ただし、トレファノサイド乳剤、トレファノサイド粒剤2.5 はツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く。<br>・サターンバアロの適用土壌は、壌土～埴土である。<br>・散播栽培等覆土を行わない場合は散布しない。<br>・砂土、わらだけの覆土、芽だしまきのときは散布を行わない。<br>・覆土が浅いと薬害が出やすいので、覆土は細かく砕き、やや厚めとする。<br>・(トレファノサイド乳剤) |
| | は種直後（雑草発生前） | クリアターン乳剤<br>ベンチオカーブ 50%<br>ペンディメタリン 5%<br>リニュロン 7.5% | 1<br>(1)<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>500～700mℓ | 70～100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | は種後～発芽前（雑草発生前） | サターンバアロ粒剤<br>ベンチオカーブ 8%<br>プロメトリン 0.8% | 1<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>3～5kg | 土壌全面均一に散布する。 | |
| | は種直後～麦出芽前 | サターンバアロ乳剤<br>ベンチオカーブ 50%<br>プロメトリン 5% | 1<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>500～750mℓ | 70～100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前 | トレファノサイド粒剤2.5<br>トリフルラリン 2.5% | 2<br>(2) | 全面土壌散布<br>4～5kg | 土壌全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前（雑草発生前） | トレファノサイド乳剤<br>トリフルラリン44.5% | 2<br>(2) | 全面土壌散布<br>200～300mℓ | 100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前（雑草発生前） | キックボクサー細粒剤F<br>プロスルホカルブ 7%<br>リニュロン 1.75% | 1<br>(2)<br>(1) | 全面土壌散布<br>3～4kg | 土壌全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前（雑草発生前） | ムギレンジャー乳剤<br>プロスルホカルブ46%<br>リニュロン11.5% | 1<br>(2)<br>(1) | 全面土壌散布<br>300～600mℓ | 50～100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | |

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | 10アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大麦（小麦） | は種後出芽前～出芽揃期（雑草発生前） | バンバン細粒剤F<br>エスプロカルブ6.0%<br>ジフルフェニカン0.15% | 1<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>3～5kg | 土壌全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草。<br>・その他注意事項は前頁参照。<br>・砂土を除く。 |
| | は種後出芽前（雑草発生前） | バンバン乳剤<br>エスプロカルブ60%<br>ジフルフェニカン1.5% | 1<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>300～500 mℓ | 100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前（雑草発生前） | ガレース乳剤<br>ジフルフェニカン 3.7%<br>トリフルラリン 37% | 1<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>200～250mℓ | 100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | 生育期処理は種後～麦2(小麦4)葉期（雑草発生前～発生始期） | ボクサー<br>プロスルホカルブ 78.4% | 2<br>(2) | 雑草茎葉散布<br>又は<br>全面土壌散布<br>400～500mℓ | 70～100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草。<br>・その他注意事項は前頁参照。 |
| | 生育期処理は種後～麦2葉期（雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで） | リベレーターG<br>ジフルフェニカン<br>0.2%<br>フルフェナセット<br>0.6% | 1<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>4～5 kg | 土壌全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草。<br>・砂土を除く。 |
| | 生育期処理は種後～麦3葉期（雑草発生前～発生始期） | ハーモニー細粒剤F<br>チフェンスルフロンメチル<br>0.15% | 1<br>(1) | 全面土壌散布<br>4～5 kg | 土壌全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生広葉雑草およびスズメノテッポウ。<br>・砕土、整地、覆土を丁寧に行い、均一に散布する。<br>・発生前から発生始期のスズメノテッポウや多くの一年生雑草に優れた除草効果を発揮する。<br>・周辺の作物に飛散する恐れがある場合は散布しない。<br>・砂土を除く。 |
| | 生育期処理は種後～麦3葉期（雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで） | リベレーターフロアブル<br>ジフルフェニカン<br>8.4%<br>フルフェナセット<br>33.6% | 1<br>(1)<br>(1) | 雑草茎葉散布<br>又は全面土壌散布<br>60～80 mℓ | 100 ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草。<br>・砂土を除く。 |

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | 10アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大麦（小麦） | 生育期処理は種後～節間伸長前（但し、スズメノテッポウ5葉期まで） | ハーモニー75DF水和剤<br>チフェンスルフロンメチル 75% | 1<br>(1) | 雑草茎葉散布<br>又は<br>全面土壌散布<br>5～10g | 50～100ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生広葉雑草およびスズメノテッポウ。<br>・生育期のスズメノテッポウや多くの一年生広葉雑草に優れた除草効果を発揮する。<br>・周辺の作物に飛散する恐れがある場合は散布しない（ドリフトレスノズルの使用が望ましい）。<br>・タンク及び使用器具は使用後すみやかに消石灰を用いて洗浄する。 |
| | 穂ばらみ期まで（雑草生育初期） | アクチノール乳剤<br>アイオキシニル 30.0% | 2<br>(2) | 雑草茎葉散布<br>100～200mℓ | 70～100ℓの水に希釈して散布する。 | ・対象雑草は畑地一年生雑草 |

※使用回数については農薬の使用回数、および成分毎の使用回数（成分名の記載と同じ行に記載される括弧書きの数字）を記載した。

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | 10アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| だいず | は種直後(雑草発生前) | クリアターン細粒剤F<br>ベンチオカーブ 8%<br>ペンディメタリン 0.8%<br>リニュロン 1.2% | 1<br>(1)<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>4～5 kg | 土壌全面均一に散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草。また、トレファノサイド乳剤および同粒剤2.5はツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く。<br>・覆土は細かく砕いた土を用い3㎝位丁寧に行い、土壌表面をなるべく均平にする。<br>・散布直後に多量の降雨が予想される場合は散布を延期する。<br>・土壌が極端に乾燥していると効果が劣るので散布水量を多めにするか降雨後に散布する。<br>・直径2㎝以下の土塊重量が全体の60%以上になるよう砕土する。<br>・雑草発生前(は種後日数を置かない)に土壌表面にムラなく均一に散布する。<br>・粒剤は乳剤よりも効果が変動するので注意する。<br>・(トレファノサイド乳剤、プロールプラス乳剤)<br>・エコトップP細粒剤F、エコトップ P 乳剤、プロールプラス乳剤は砂土を除く全土壌。 |
| | | クリアターン乳剤<br>ベンチオカーブ 50%<br>ペンディメタリン 5%<br>リニュロン 7.5% | 1<br>(1)<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>500～800mℓ | 70～100 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | は種後～出芽前(雑草発生前) | サターンバアロ粒剤<br>ベンチオカーブ 8%<br>プロメトリン 0.8% | 1<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>4～6 kg | 土壌全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前 | サターンバアロ乳剤<br>ベンチオカーブ 50%<br>プロメトリン 5% | 1<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>600～1000<br>mℓ | 70～100 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | | トレファノサイド粒剤2.5<br>トリフルラリン 2.5% | 1<br>(2) | 全面土壌散布<br>4～6 kg | 土壌全面均一に散布する。 | |
| | | トレファノサイド乳剤<br>トリフルラリン 44.5% | 1<br>(2) | 全面土壌散布<br>200～300mℓ | 100 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | は種後出芽前(雑草発生前) | エコトップP細粒剤F<br>ジメテナミドP 1%<br>リニュロン 1.4% | 1<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>4～6 kg | 土壌全面均一に散布する。 | |
| | | エコトップP乳剤<br>ジメテナミドP 8.5%<br>リニュロン 12% | 1<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>400～600mℓ | 100 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | | プロールプラス乳剤<br>ジメテナミドP 6.7%<br>ペンディメタリン 6.5%<br>リニュロン 11.4% | 1<br>(1)<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>400～600mℓ | 70～150 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | |
| | | フルミオWDG<br>フルミオキサジン 50% | 1<br>(1) | 土壌全面散布<br>5～10g | 100 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | ・散布後は散布器のタンクやホース・ノズル十分に洗浄する。<br>・対象雑草は1年生広葉雑草 |
| | | モーティブ乳剤<br>ジメテナミドP 19.7%<br>ペンディメタリン 23.1% | 1<br>(1)<br>(1) | 全面土壌散布<br>150～170mℓ | 70～150 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する | |
| | | ラクサー乳剤<br>アラクロール 30.0%<br>リニュロン 12.0% | 1<br>(1)<br>(2) | 全面土壌散布<br>400～800mℓ | 100 ℓ の水に溶かして全面均一に散布する。 | |

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | 10アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| だいず | 出芽直前～3葉期まで(雑草発生始期～2葉期) | パワーガイザー液剤<br>イマザモックスアンモニウム塩<br>0.85% | 1<br>(2) | 雑草茎葉散布又は全面土壌散布<br>200～300mℓ | 100ℓの水に溶かして全面均一に散布する。 | ・前処理として土壌処理剤を使用。<br>・砂土では使用しない。<br>・展着剤を加用しない。<br>・周辺作物に影響を与える可能性があるので飛散に注意する。 |
| | 雑草生育期<br>イネ科雑草<br>3～5葉期<br>(収穫60日前まで) | ワンサイドP乳剤<br>フルアジホップP 17.5% | 1<br>(1) | 雑草茎葉散布<br>75～100mℓ | 25～100ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)。<br>・ワンサイドP乳剤はシバムギ、レッドトップにも登録がある。<br>・イネ科雑草に優れた効果があるが、広葉雑草およびカヤツリグサには効果がない。<br>・遅効性のため、枯殺するまで日数を要する。<br>・周辺のイネ科作物にかからないように散布する。 |
| | 雑草生育期<br>イネ科雑草<br>3～5葉期<br>(収穫30日前まで) | ナブ乳剤<br>セトキシジム 20% | 1<br>(1) | 雑草茎葉散布<br>150～200mℓ | 100～150ℓの水に溶かして散布する。 | |
| | 雑草生育期<br>イネ科雑草<br>6～8葉期<br>(収穫30日前まで) | | | 雑草茎葉散布<br>200mℓ | 100ℓの水に溶かして散布する。 | |
| | 耕起前または出芽前まで | ラウンドアップマックスロード<br>グリホサートカリウム塩<br>48% | 2<br>(4) | 雑草茎葉散布<br>200～500mℓ | 50～100ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象は1年生雑草。 |
| | 雑草生育期:畦間処理収穫前日まで | | 2<br>(4) | 200～500mℓ | | |
| | 雑草生育期<br>落葉終期～収穫14日前まで | | 1<br>(4) | 雑草茎葉散布<br>500mℓ | | |
| | 雑草生育期<br>イネ科雑草<br>3～10葉期<br>(収穫30日前まで) | ポルトフロアブル<br>キザロホップエチル 7% | 1<br>(1) | 雑草茎葉散布または<br>全面散布<br>200～300mℓ | 50～100ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)。 |
| | 雑草生育初期～6葉期<br>(大豆2葉期～開花前まで)<br>(収穫45日前まで) | 大豆バサグラン液剤<br>(ナトリウム塩)<br>ベンタゾン 40% | 1<br>(2) | 雑草茎葉散布<br>100～150mℓ | 100ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は1年生雑草(イネ科を除く)<br>・広葉雑草に効果を示すが，効果がない雑草草種もあるので注意する。(3)-1 参照。<br>・大豆に薬害が生じる場合があるので(3)-1 注意事項を遵守する。 |

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | 10アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| だいず | 本葉2葉期～開花前(雑草生育期)(収穫45日前まで) | アタックショット乳剤 フルチアセットメチル 2.0% | 1(1) | 雑草茎葉散布または全面散布 30～50mℓ | 100ℓの水に溶かして散布する。 | ・土壌処理剤との体系で使用する。<br>・他の除草剤との混用、展着剤の加用はしない。<br>・処理後6時間以内の降雨があると効果が劣る場合があるので注意する。 |
| | 大豆本葉3葉期以降雑草生育期(収穫30日前まで) | ロロックス リニュロン 50% | 1(1) | 雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理) 100～200g | 70～150ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生雑草。<br>・専用ノズルを使用し、噴口をなるべく低くして作物の葉にかからないようにする(作物の成長点付近に薬剤を付着させない)。<br>・イネ科雑草には効果が劣る場合がある。 |
| | 雑草生育期・は種後出芽前・畦間処理(収穫28日前まで) | バスタ液剤 グルホシネート 18.5% | 3(3) | 雑草茎葉散布 300～500mℓ | 100～150ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生雑草。<br>・作物に飛散しないようになるべくドリフトレスノズルを使用し、雑草の茎葉全体に付着するように散布する。<br>・風のない日に散布する。 |
| | 雑草生育期畦間処理(収穫28日前まで) | ザクサ液剤 グルホシネートPナトリウム塩 11.5% | 3(3) | 雑草茎葉散布 300～500mℓ | 100～150ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生雑草。<br>・作物に飛散しないようになるべくドリフトレスノズルを使用し、雑草の茎葉全体に付着するように散布する。<br>・風のない日に散布する。 |
| | 雑草生育期畦間処理(本葉5葉期以降)(収穫30日前まで) | ダイロンゾル DCMU 50% | 1(1) | 雑草茎葉散布又は全面土壌散布 100～200mℓ | 100ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生雑草。<br>・作物に飛散しないようになるべくドリフトレスノズルを使用し、雑草の茎葉全体に付着するように散布する。<br>・風のない日に散布する。 |
| | 雑草生育期畦間処理(雑草の草丈30cm以下)(収穫3日前まで) | プリグロックスL ジクワット 7% パラコート 5% | 4(4)(4) | 雑草茎葉散布 600～1000mℓ | 100～150ℓの水に溶かして散布する。 | ・対象雑草は一年生雑草。<br>・作物に飛散させない。<br>・毒物。 |

※ 使用回数については農薬の使用回数、および成分毎の使用回数(成分名の記載と同じ行に記載される括弧書きの数字)を記載した

| 作物名 | 使用時期 | 除草剤名 | 使用回数 | 10アール当たり使用量 | 使用方法 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| そば | 播種前<br>(雑草生育期) | ザクサ液剤<br>グルホシネートPナトリウム塩<br>11.5% | 3<br>(3) | 300～500mℓ | 100～150ℓの水に溶かして散布する(雑草茎葉散布)。 | ・対象雑草は一年生雑草。<br>・養魚田およびその付近では使用しない。 |
| | 耕起前または播種前<br>(雑草生育期) | ラウンドアップマックスロード<br>グリホサートカリウム塩<br>48% | 2<br>(2) | 200～500mℓ | 50～100ℓの水に溶かして散布する(雑草茎葉散布)。 | ・対象雑草は一年生および多年生雑草。<br>・散布後2時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。<br>・専用ノズルを使用する。<br>・排水溝および排水溝まで飛散する恐れがある所では使用しない。<br>・養魚田およびその付近では使用しない。<br>・眼に入らないよう注意する。<br>・皮膚に付着しないよう注意する。 |

※使用回数については農薬の使用回数、および成分毎の使用回数(成分名の記載と同じ行に記載される括弧書きの数字)を記載した。

## （３）大豆バサグラン液剤の使用について

### ①　使用方法

| 作物名 | 対象雑草名 | 使　用　時　期 | 除　　草　　剤　　名 | 10アール当たり使用量 | 使 用 方 法 | 使 用 回 数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| だいず | 一年生雑草（イネ科を除く） | 一年生広葉雑草の生育初期～6葉期（ダイズの2葉期～開花前まで、但し収穫45日前まで） | 大豆バサグラン液剤(Na 塩)<br>ベンタゾン　40% | 100～<br>150mℓ | 100 ℓ の水に溶かして散布する（雑草茎葉散布）。 | 1 回 |

### ②　使用上の注意事項

だいずの除草対策は、は種覆土直後の除草剤散布と中耕・培土２回による雑草の発生抑制を基本とする。

中耕・培土が適正に実施できず畑地一年生広葉雑草が問題となる圃場で、開花前の早い時期に散布する。

ア　だいずの品種によっては薬害（葉に斑点、色抜け、黄変、縮葉症状等の一過性のもの）により減収する場合があるので、本剤の使用にあたっては指導機関に相談するなど十分注意する。また、使用者の責任において事前に使用品種における薬害の程度を十分確認してから使用する。

イ　適用雑草は一年生広葉雑草であるが、アカザ科、ヒユ科、トウダイグサ科の雑草には効果が劣る。

ウ　本県では、「エンレイ」および「里のほほえみ」に使用可能である。「あやこがね」は薬害が強く出ることがあるため使用を避ける。

エ　除草効果を高め、薬害の発生および助長を防ぐため、薬液が雑草全体によく付着し、だいずへの付着量が極力少なくなるように散布する。また、薬害を助長するので重複散布はしない。

オ　①著しい高温が続く場合、②日射が強く蒸散が盛んな場合、③低温、湿害、肥料不足等によりだいずが生育不良の場合は薬害を助長することがあるので、使用を避ける。

カ　降雨後の土壌が湿潤な状態（溝に停滞水がある）で散布すると、散布薬剤がだいずに吸収され、株全体が黄化等の薬害を起すため、このような状態では使用を避ける。

キ　他剤との混用は避ける。

ク　散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので留意する。

ケ　周辺作物にかからないように注意する。

コ　本剤を使用した場合は、えだまめ用途としない（えだまめでは登録がない）。

## （４）ラウンドアップマックスロード（だいずの落葉終期）の使用について

1)　落葉終期とは、だいずの葉の大部分が落葉した時期とする。

2)　薬液がだいずにかからないように散布する。

3)　水分含量の高い果実をつけた雑草では、茎葉が枯れても果実が残る場合があり、汚損粒の原因となるので収穫前に除去等を行うこと。また、雑草の茎水分含量が高い場合も汚損粒の原因になるので、収穫前に除去等を行うこと。

4)　気温が低下する条件での処理であり、効果の完成まで 2 週間以上の期間を要するので、収穫時期は処理後 3 週間を目安とする。

## （５）大麦（小麦）の圃場内の周縁部における除草剤使用について

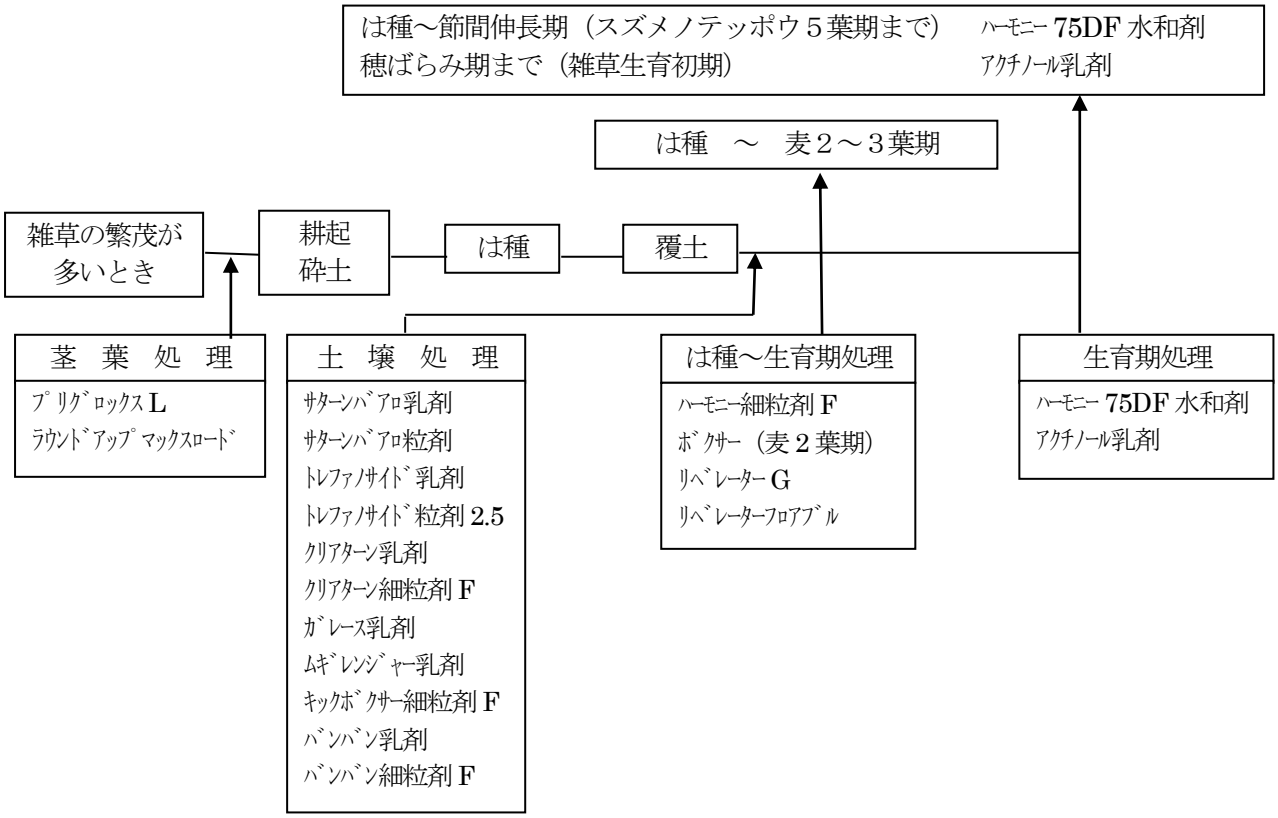
「圃場内の周縁部」とは、圃場内であって作物が植えられていない周縁部分を示す。排水溝内に農薬を散布すると水を介して河川等へ飛散、流入する可能性がある場合は、排水溝内への散布は控える。

## （６）水田転換畑の麦類・だいず等の畦畔で除草剤を使用する際の注意点

除草剤の中で適用場所が「水田畦畔」と限定されているものについては、その水田で「水稲」が栽培されている場合に限って使用できる。麦類・だいず等の水稲以外の作物が栽培されている水田の畦畔には、「水田畦畔」で登録がある除草剤でも使用できない。水田畦畔には、水田で栽培されている作物（麦類やだいず）に適用がある除草剤を、登録内容を遵守して使用しなければならない。

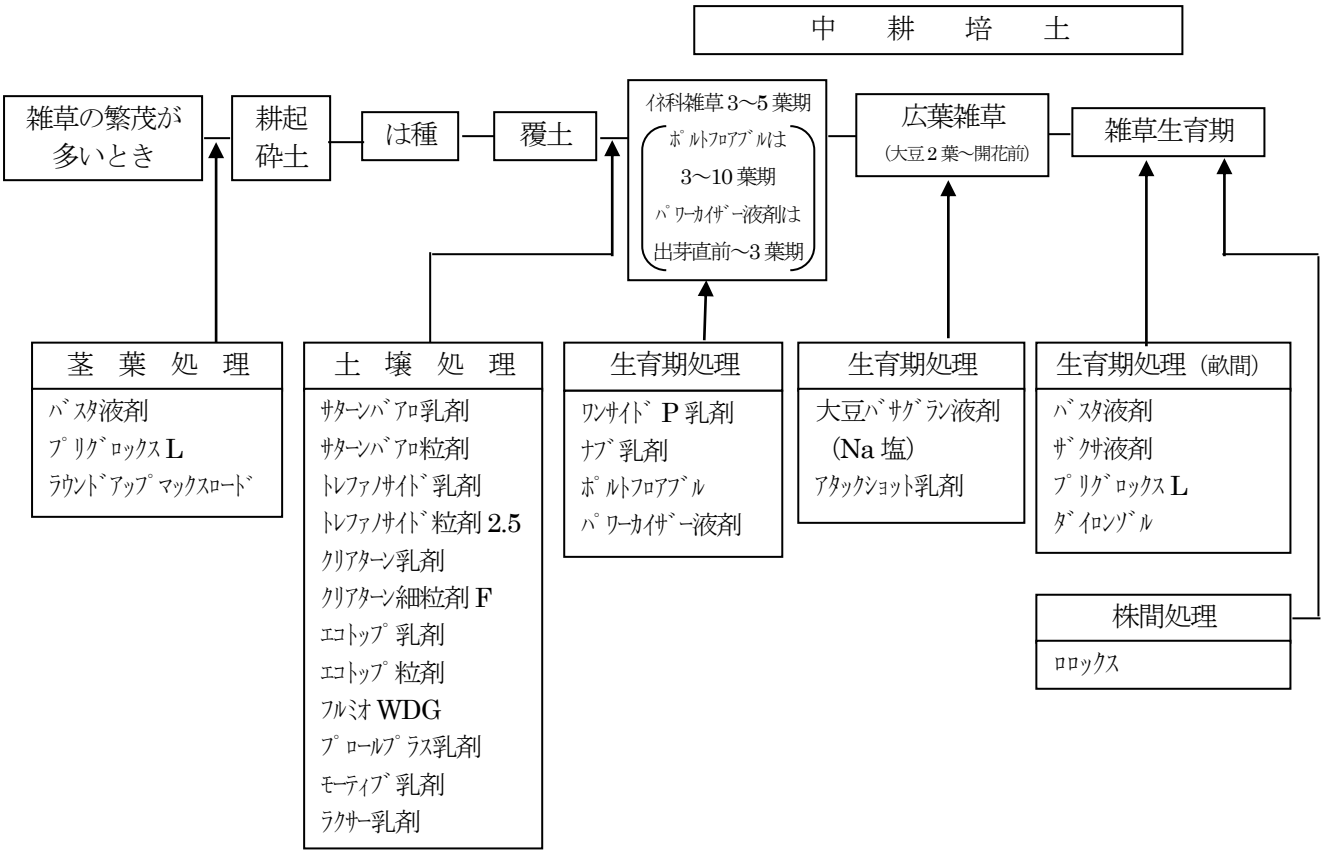
## （７）除草剤体系　（例）

### ①　大麦の除草




・サターンバアロ乳剤・粒剤とクリアターン乳剤・細粒剤Ｆは、いずれか一つを１回だけ使用できる。
・クリアターン乳剤・細粒剤Ｆとムギレンジャー乳剤、キックボクサー細粒剤Ｆは、いずれか一つを１回だけ使用できる。
・ガレース乳剤とバンバン乳剤・細粒剤Ｆとリベレーター G・フロアブルは、いずれか一つを１回だけ使用できる。
・ハーモニー細粒剤Ｆとハーモニー７５ＤＦ水和剤は、いずれか一つを１回だけ使用できる。
・早まきは、温暖なため雑草の出芽や再生にも好適なことから、雑草が多発しやすい。
・春、雑草が目立ってからでは除草できないので、越冬前の除草に努める。

## ② だいずの除草




・生育期処理の除草剤は、使用できる時期（収穫前日数）に制限があるので、処理の際に注意する。
・だいずの生育量を確保し、抑草効果を高める。
・排水対策の徹底に努め、砕土、は種、覆土を丁寧に行い、特にだいずの出芽および初期生育を促す。
・中耕・砕土を早めに丁寧に実施し、雑草の小さいうちに確実に覆う。
・収穫期に残った大きな雑草は、コンバイン収穫すると汚損粒の原因となるので、手で抜き取る。

# Ⅲ　野菜・いも類

## １　野菜・いも類病害虫

## 野菜・いも類病害虫重点防除指導方針

本県農業の活性化および農業所得の向上を図るためには、これまで以上に野菜振興への取り組みが重要であり、収量・品質の高位安定化が必要である。

防除の指導に当たっては、それぞれの病害虫の生態等を熟知して耕種的防除対策に努めるとともに、病害虫の発生動向を的確に把握して、環境に配慮しながら、薬剤の性質を生かした適正な防除を実施する。

### １　耕種的防除の推進

・排水対策を徹底するとともに、有機物の施用や深耕等による土づくりを行う。
・抵抗性品種・台木や無病苗を利用する。
・作型に応じた品種を使う。
・輪作や整枝・剪定・ハウスの換気など栽培環境の改善を行う。
・近紫外線カットフィルムや防虫ネット等を利用する。
・被害残渣の処理等、圃場衛生を心掛け、圃場の病原菌・害虫の密度を下げる。
・土壌還元消毒法など環境にやさしい手法による、土壌伝染性病害虫の防除を行う。

### ２　農薬による防除技術

・薬剤防除は、予防および発生初期防除を基本とする。
・薬剤の効果を最大限引き出すため、薬剤がかかりやすいよう整枝、剪定を行う。
・耐性菌、抵抗性害虫の発生しやすい病害虫は、同一系統薬剤の連用による効果の低下を防ぐため、RAC コードの異なる他系統の薬剤とのローテーションを図る。
・集団産地の防除組織の育成強化を図り、安全かつ効率的な防除を推進する。

### ３　天敵等による防除技術

・天敵、生物農薬、フェロモン等の有効活用を図る。

## （1）トマト

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ｲﾝﾌﾞﾚｯｼｮﾝｸﾘｱ | ﾊﾞﾁﾙｽｱﾐﾛｷｼｴﾌｧｼｽﾝｽ水和剤 | BM2 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| | ｸﾛｽｱｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾘｵﾌｪﾉﾝ水和剤 | 50 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼﾞｰﾌｧｲﾝ水和剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ・銅水和剤 | M1,NC | | 750～1000倍 | 150～500㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なすを除く) |
| | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾋﾞﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾊｰﾓﾒｲﾄ水溶剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 150～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | 園芸ﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 硫黄・銅水和剤 | "UN(I*),M1 | | 800倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| 疫病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｻﾞﾝﾌﾞﾛDMﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱﾒﾄｸﾄﾗｼﾞﾝ・ｼﾞﾒﾄﾓﾙﾌ水和剤 | 40,45 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| かいよう病 | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| 菌核病 | ｶﾝﾀｽﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｽｸﾚｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾏﾝﾃﾞｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| すすかび病 | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | 園芸ﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 硫黄・銅水和剤 | "UN(I*),M1 | | 500倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| 苗立枯病 | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 800倍 | 2㎏/㎡ | は種後から2～3葉期まで | 灌注 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 種子重量の0.2～0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 3㎏/㎡ | は種時又は活着後 但し、定植14日後まで | 土壌灌注 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾟﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 750～1500倍 | 3㎏/㎡ | は種時～子葉展開時 | 土壌灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 種子重量の0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| 灰色かび病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｲﾝﾌﾞﾚｯｼｮﾝｸﾘｱ | ﾊﾞﾁﾙｽｱﾐﾛｷｼｴﾌｧｼｽﾝｽ水和剤 | BM2 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｶﾝﾀｽﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾟﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｾｲﾋﾞｱｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ20 | ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ水和剤 | 12 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾋﾞｸｵDF | ﾌｪﾝﾋﾟﾗｻﾞﾐﾝ水和剤 | 17 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾌﾙﾋﾞｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾞﾆﾋﾟﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾎﾞﾄﾄﾗｰ水和剤 | ﾊﾞﾁﾙｽｽﾞﾌﾞﾁﾘｽ水和剤 | BM2 | | 1000倍 | 150～300㍑/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | | | | | 300g/10a | 6～10㍑/10a | 発病前～発病初期 | 常温煙霧 | - | 野菜類 |
| | | | | | 10～15g/10a/日 | | 発病前～発病初期 | ダクト内投入 | - | ﾄﾏﾄ |
| | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水和剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*) | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 200g/10a | 5㍑/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| 葉かび病 | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 33倍 | 10㍑/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 葉かび病 | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾄﾞｰｼｬｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾓﾄﾞ・TPN水和剤 | 21,M5 | | 1000倍 | 150～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾆﾏｲﾊﾞｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾋﾞﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | 園芸ﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 硫黄・銅水和剤 | "UN(I*),M1 | | 500倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| 斑点細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| 斑点病 | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| 輪紋病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ｱｻﾞﾐﾏ類 | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤 | 9B | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400株当り25mL | 400株当り10～20㍑(1株当り25～50mL) | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾏｯﾁ乳剤 | ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ幼虫 | ｱﾌﾞﾛｰﾄﾞ水和剤 | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ｱｸﾞﾘﾒｯｸ※ | ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | 劇 | 500～1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｱﾆｷ乳剤※ | ﾚﾋﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤※ | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗トレイ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0㍑)当り0.5㍑ | 鉢上時又は定植時 | 灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ乳剤 | 30 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｺﾙﾄ顆粒水和剤※ | ﾋﾟﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤※ | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗トレイ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0㍑)当り0.5㍑ | 鉢上時又は定植時 | 灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 「-」,5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤 | 9B | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾑﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾙﾎｷｻﾌﾛﾙ水和剤 | 4C | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾌﾟﾘﾛｯｿﾞ粒剤ｵﾒｶﾞ | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28 | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植時 | 株元散布 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 2g/株 | | 鉢上げ時 | 育苗培土混和 | 1回 | ﾄﾏﾄ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 育苗期 | 株元処理 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理土壌混和 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 5g/培土㍑ | | は種時又は鉢上げ時 | 育苗培土混和 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm､使用土壌約1.5～4㍑)当り50g | | 育苗期後半 | 散布 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 10000倍 | 1～3㍑/㎡ | 定植14日後まで | 株元灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4㍑)当り0.5㍑ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 400株当り25mL | 400株当り10～20㍑(1株当り25～50mL) | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | | | | | 400株当り25mL | 400株当り20～200㍑(1株当り50～500mL) | 定植直後 | 株元灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 1500～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾗﾉｰﾃｰﾌﾞ | ﾋﾞﾘﾌﾞﾛｷｼﾌｪﾝ剤 | 7C | | 10～50㎡/10a | | 栽培期間中 | 作物体の付近に設置する。 | 1回 | 野菜類(施設栽培) |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化ﾘﾝ酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ﾄﾏﾄｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｲｵｳﾌﾛｱﾌﾟﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 400倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | - | ﾄﾏﾄ |
| | ﾏｯﾁ乳剤 | ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | ｶﾞｰﾄﾞﾎｰﾌﾞ液剤 | ﾎｽﾁｱﾋﾞｰﾄ液剤 | 1B | 劇 | 4000倍 | 2㍑/㎡ | 収穫前日まで | 土壌灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾏｯﾁ乳剤 | ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤 | 15 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾞﾉｻﾄﾞ水和剤 | 「-」,5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾞﾉｻﾄﾞ水和剤 | 「-」,5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400株当り25mL | 400株当り10～20㍑(1株当り25～50mL) | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾄﾏﾄ |
| ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| ﾐｶﾝｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾄﾏﾄ |
| | ｺﾃｳﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾄﾏﾄ |

※　タバココナジラミバイオタイプQに効果あり（福井県農業試験場調べ）

# トマト黄化葉巻病対策

## 1　トマト黄化葉巻病について

(1) 病原ウイルス

トマト黄化葉巻ウイルス（*Tomato yellow leaf curl virus* ：TYLCV）

(2) 病　徴

発病初期は、新葉が葉縁から退緑しながら葉巻症状となり、後に葉脈間が黄化し縮葉となる。

病勢が進むと頂部が叢生し、茎部の節間が短くなり株全体が黄化萎縮する。

(3) ウイルスの伝染源

罹病しているトマトと考えられる。

(4) ウイルスの伝染方法

タバココナジラミバイオタイプＢおよびＱによって媒介される。汁液伝染、種子伝染、土壌伝染、他の害虫 （オンシツコナジラミなど）による虫媒伝染はしないが、接ぎ木伝染はする。

## 2　診断について

本病に疑いのある株については、原則以下の体制により診断を行い、本病に対する防除対策を講じるものとする。

| 所属 | 対応 |
|---|---|
| 農林総合事務所<br>・嶺南振興局 | ・トマトを栽培しているハウスでコナジラミ類が発生した場合、オンシツコナジラミかタバココナジラミかを判別<br>・タバココナジラミが発生した場合、病害虫防除室で、バイオタイプを検査 |
| | ・簡易検出キット：アグリパレット®トマト黄化葉巻ウイルス((株)ファスマック)を購入<br>・病徴が見られた場合、簡易検出キットで検査を実施<br>・陽性の場合、病害虫防除室に連絡、持ち込み　※高度営農支援課にも連絡 |
| 病害虫防除室 | ・速やかにPCR検査を実施 |

## 3　防除対策

物理的防除

- ハウスに入る前に、ブロアー等により体に付着したコナジラミ類を除去する。（可能であれば）入口付近に大型扇風機を設置する。
- ハウス入口や天窓・側窓などの開口部全てに0.4mm目以下の防虫ネットを展張し、タバココナジラミのハウス内への侵入を防ぐ（換気扇や遮光等施設内の高温対策が必要）。ハウス入口付近には2重で設置する。
- 黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの誘殺、発生消長の把握に用いる（生長点付近に1.5m間隔で設置するほか、ハウス周辺４か所程度設置）。
- 太陽光反射マルチ、ＵＶ除去フィルムを利用し、タバココナジラミの侵入を阻止する。

耕種的防除

- タバココナジラミの防除には、天敵を利用した防除方法を積極的に取り入れるなどし、薬剤感受性の低下を防ぐ。その上で、タバココナジラミが多発しているようであれば、栽培を早めに切り上げるなど、ウイルスの感染拡大が最小限になるように対策を講じる。
- 冬期間中に無栽培期間（60日以上）を設け、伝染源となるトマトを抜き取り除去する。また、ハウス内を寒さにあて、タバココナジラミの越冬を防ぐ。
- 半促成栽培終了時などの気温が高い時期は、株を切断・抜根して枯死させるとともに、施設を密閉して蒸し込み処理を行い、タバココナジラミを死滅させウイルス保毒虫の施設外への流出を防ぐ。枯死させた作物残渣は、土中に埋めるなど適正に処分し、圃場周辺に放置しない。
- 雑草や圃場外にある野良生えトマトはタバココナジラミの繁殖場所となるので、ハウス内外の除草を徹底する。

・発病株は見つけ次第すぐに抜き取る。その際、発病株は伝染源にならないよう土中に埋める、ビニール袋などで密封・枯死させてから廃棄する等して処分し、圃場周辺に放置しない。
・発生圃場と未発生圃場の行き来は原則避ける。やむを得ず入る場合は、発生圃場へは最後に入り、当日中に他圃場には入らないこと。
・トマト黄化葉巻病抵抗性品種を利用する。但し、抵抗性品種については発病が抑制されるものの感染することがあり、感受性品種同様の対策を徹底する。
・接ぎ木伝染を避けるため、接ぎ木に使用するナイフやハサミなどは、作業前後に消毒する。

化学的防除

・自家育苗の場合、は種時にベストガード粒剤を育苗培土に混和する、もしくは育苗期後半や定植時に粒剤を施用する。購入苗は納入後すぐに粒剤を散布し、タバココナジラミの密度抑制に努める（育苗期間の防除薬剤を確認しておくこと）。
・タバココナジラミの発生が見られたら、すぐに防除する（葉裏や生長点付近に十分薬剤がかかるようにする）。タバココナジラミバイオタイプＢおよびＱに効果のある薬剤を用いて防除する。
・タバココナジラミが増殖しにくい 11～3 月は、マルハナバチへの影響を考慮せず、長期間残効が期待でき、かつタバココナジラミバイオタイプＢおよびＱに効果のある薬剤（ベストガード水溶剤、モベントフロアブル等）で防除する。
・散布時は、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。（次頁表参考）

**【参考】トマトのタバココナジラミ（コナジラミ類）防除薬剤の一覧**

| IRAC コード | 防除方法 | | | 農薬使用基準 | | 注意事項 | バイオタイプ | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 薬剤名 | 使用濃度 | 10アール当たり使用量 | 使用時期（収穫何日前まで） | 使用回数 | | B | Q |
| 3A | トレボン乳剤 | 1,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | × |
| 4A | ベストガード粒剤 | 植穴処理土壌混和 1～2g/株 | | 定植時 | 1回 | | ○ | ○ |
| | ベストガード水溶剤 | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | ○ |
| | アドマイヤー水和剤 | 2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | △ |
| | スタークル顆粒水溶剤<br>アルバリン顆粒水溶剤 | 2,000～3,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | ○ |
| | モスピラン顆粒水溶剤 | 2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | △ |
| 4A+28 | アベイル粒剤 | | 2g/株 | 育苗期後半～定植当日 | 1回 | | ○ | △ |
| 4C | トランスフォームﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | ○ |
| 5+未 | ダブルシューターSE | 1,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | ○ |
| 6 | アニキ乳剤 | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | ○ |
| | アグリメック | 500～1,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | ○ |
| 7C | ラノーテープ | | 10～50㎡ | 栽培期間中 | 1回 | 施設栽培に限る | ○ | × |
| 9B | チェス顆粒水和剤 | 5,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | ○ |
| | コルト顆粒水和剤 | 4,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | ○ |
| 15 | ノーモルト乳剤 | 2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | △ |
| 16 | アプロード水和剤 | 1,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | 幼虫のみの登録 | ○ | △ |
| 23 | クリアザールフロアブル | 2,000～4,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | ○ |
| 28 | ベネビアOD | 2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 3回 | | ○ | ○ |
| | プリロッソ粒剤オメガ | | 2ｇ/株 | 育苗期後半～定植時 | 1回 | | ○ | ○ |
| | ベリマークSC | 25㎖/400株 | 10～20ℓ/400株 | 育苗期後半～定植当日 | 1回 | | ○ | ○ |
| 30 | グレーシア乳剤 | 2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 2回 | | ○ | ○ |
| UN | モレスタン水和剤 | 1,500～2,000倍 | 100～300ℓ | 前日まで | 5回 | | ○ | △ |
| 未 | 粘着くん液剤 | 100倍 | 150～300ℓ | 前日まで | — | | ○ | ○ |

※JA全農、福井県農試調べ　○…効果あり　△…効果あるものと劣るものがある　×…効果劣る

# トマト灰色かび病、葉かび病、すすかび病防除対策

## 1 発生生態

灰色かび病…果実、花弁、葉、茎に発生。被害部が褐変して、灰色のかびを生じる。発病適温は 15～23℃（22～23℃で、湿度が 85～90%以上の条件が続くと激発）。胞子の飛散は、曇雨天の時に多い。

葉 か び 病…葉に発生。初め葉裏に灰黄色～緑褐色のビロード状のかびを生じ、その後灰褐色～灰紫色に変わる。多湿条件で発病し、適温は 20～25℃。感染から発病までの期間は約 2 週間。外観ですすかび病との区別は困難。

すすかび病…葉に発生。初め葉裏に不明瞭な淡黄緑色の病斑が生じ、やがて灰褐色粉状のかびを生じ、進展すると円形あるいは葉脈に囲まれた不整形病斑となり灰褐色～黒褐色に変わる。多湿条件で発病し、適温は 26～28℃。

## 2．防除のポイント

1）換気や灌水量に注意。低温時は暖房機や循環扇による通風により植物体への結露を防止し、施設内の湿度低下に努める。
2）マルチを行い、ハウス内の湿度の上昇や土壌からの病原菌の伝染を防止する。
3）整枝、剪定により過繁茂を避け、採光や通風をよくする。また、適切な肥培管理に努め、健全な生育を促す。
4）発病した果実や葉等は伝染源となるため、速やかに除去し圃場外で処分する。
5）発病前から薬剤散布を行い、予防に努める。
6）耐性菌の発生を抑えるため、同一系統および同一薬剤の連用は避け、系統をかえてローテーション散布を行う。

## 【参考】トマトの灰色かび病、葉かび病、すすかび病防除薬剤

| FRAC コード | 農薬の名称 | 使用時期 | 灰色かび病 | 葉かび病 | すすかび病 | うどんこ病 | 輪紋病 | 疫病 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1+10 | ゲッター水和剤 | 収穫前日まで | ○ | ○ | | | | |
| | ニマイバー水和剤 | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 7 | アフェットフロアブル | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | カンタスドライフロアブル | 収穫前日まで | ○ | ○ | | | | |
| | ケンジャフロアブル | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | パレード 20 フロアブル | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | ネクスター―フロアブル | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 7＋11 | シグナム WDG | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 11 | ファンタジスタ顆粒水和剤 | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | | | |
| 21+M5 | ドーシャスフロアブル | 収穫前日まで | | ○ | | | ○ | ○ |
| 9 | フルピカフロアブル | 収穫前日まで | ○ | | | | | |
| 24+M1 | カスミンボルドー | 収穫前日まで | | ○ | | | ○ | ○ |
| 12 | セイビアーフロアブル 20 | 収穫前日まで | ○ | | | | | |
| 2 | スミレックス水和剤 | 収穫前日まで | ○ | | | | | |
| | ロブラール水和剤 | 収穫前日まで | ○ | | | | ○ | |
| 3 | トリフミン水和剤 | 収穫前日まで | | ○ | ○ | ○ | | |
| 3+M3 | テーク水和剤 | 収穫前日まで | | ○ | | ○ | | ○ |
| 17 | ピクシオ DF | 収穫前日まで | ○ | | | | | |
| 19 | ポリオキシン AL 水和剤 | 収穫前日まで | ○ | ○ | | | | |
| NC | カリグリーン | 収穫前日まで | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ハーモメイト水溶剤 | 収穫前日まで | ○ | | | ○ | | |
| M3 | ジマンダイセン水和剤 | 収穫前日まで | | ○ | | | ○ | ○ |
| M5 | ダコニール 1000 | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| M7 | ベルクート水和剤 | 収穫前日まで | ○ | ○ | | | | |
| BM2 | インプレッションクリア | 発病前～発病初期まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | ボトキラー水和剤 | 発病前～発病初期 | ○ | | | ○ | | |

※農薬の使用にあたっては、必ず使用濃度、使用量、使用回数等を確認すること。

注）地域により、灰色かび病、葉かび病に対する N-ﾌｪﾆﾙｶｰﾊﾞﾒｰﾄ系（FRAC コード:10）、ｽﾄﾛﾋﾞﾙﾘﾝ系（同左:7）の薬剤効果が低下しているところがあるので、注意する。

## トマトキバガ対策

海外からの侵入害虫であるトマトギバガが、令和５年 10 月にフェロモントラップによる捕殺、翌年３月に施設トマトでの被害が確認されて以降、徐々に発生地域が拡大している。

### １　トマトキバガとは？

（１）形態的特徴

成虫：体長５～７㎜（前翅長約５㎜、開張時約 10㎜）。
前翅は灰褐色の色地に黒色斑が散在する。後翅は一様に淡黒褐色である。前後翅ともに細い(写真１上)。

幼虫：終齢幼虫で約８㎜、体色は淡緑色～淡赤白色。頭部は淡褐色。
前胸の背面後方に細い黒色横帯がある(写真１下)。

写真１　トマトキバガ成虫※(上)と幼虫(下)
※植物防疫所原図

（２）発生生態

・年間に 10～12 世代発生し、繁殖力が高い。卵～成虫になるまでの期間は 24～38 日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。
・成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多い。飛翔により数 km 移動できる。雌は一生のうちに平均で約 260 個の卵を寄主植物の葉の裏面などに産み付ける。
・越冬は、卵、蛹、成虫で可能で、耐寒性が強く、降雪地域でも施設内での越冬が可能。

### ２　寄主植物と被害

（１）主な寄主植物

トマト、ナス、バレイショなどナス科植物、インゲンマメ
（本県での報告はトマトのみ）

（２）トマトでの被害

葉　：茎葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成される。食害部分は表面のみを残して薄皮状になり、白～褐変し薄皮の中に幼虫や黒い虫糞が見える（写真２）。初発時はハモグリバエ類の線状のせん孔痕と似ているのでよく観察する。また、苗の定植直後の被害が特に大きくなる傾向にある。

写真２　被害葉と加害痕

果実：幼虫がせん孔侵入し内部組織を食害するため、表面に数㎜程度のせん孔痕ができ（写真３）、激しい場合食害部分の腐敗が生じ果実品質が著しく低下する。葉への食害が増えてくると発生する傾向があり、初発時はせん孔痕が小さく見逃しやすいので注意する。

写真３　被害果実とせん孔痕

### ３　防除対策

物理的防除

・施設の入口や天窓・側窓などの開口部全てに防虫ネット（目合い 0.8 ㎜以下）を展張し、成虫の侵入を防ぐ。　※0.4 ㎜以下の目合いの場合、コナジラミ類の侵入抑制効果も期待できる。

耕種的防除

・圃場をよく見回り、発生を確認したら直ちに捕殺するとともに、被害植物および残さは、地中深く埋めるまたは厚手のビニール袋等に一定期間密封して死滅させて処分する。
・圃場外にある野良生えトマトは繁殖場所となるので、抜き取り除去する。
・既に発生している圃場では、無栽培期間にハウスの開口部を全て閉め切る「蒸し込み処理」により駆除する。(夏期間限定)　※コナジラミ類等他の害虫にも駆除効果がある。

**蒸し込み期間の目安：１０日以上（連続晴天日３日以上）**

・発生圃場と未発生圃場の行き来は、極力発生圃場へは最後に入り、当日中に他圃場には入らない。
・被害苗を持ち込まない。

薬剤防除

・発生を確認したら直ちに防除する。但し、同一系統の連用を避ける。
・定植直後の発生は被害が大きくなるため、育苗期後半～定植時の薬剤処理により、初期加害を防ぐ。

○トマトキバガに登録のある農薬

（１）散布剤

| IRAC ｺｰﾄﾞ | 農薬名 | 有効成分 | ﾄﾏﾄ | ﾐﾆﾄﾏﾄ | 希釈倍数 | 散布液量 (L/10a) | 使用時期 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| -,5 | ダブルシューターSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ+ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ | ○ | ○ | 1000 倍 | 100～300 | 収穫前日まで | 2 回以内 |
| 5 | ディアナ SC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ | ○ | ○ | 2500～5000 倍 | | | 2 回以内 |
| 6 | アニキ乳剤 | ﾚﾋﾟﾒｸﾁﾝ | ○ | ○ | 1000 倍 | | | 3 回以内 |
| | アファーム乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩 | ○ | ○ | 2000 倍 | | | 5 回以内 |
| 11A | エスマルク DF | BT(生菌) | ○ | ○ | 1000 倍 | | 発生初期（但し、収穫前日まで） | - |
| | ゼンターリ顆粒水和剤 | | ○ | ○ | 1000 倍 | | | |
| | デルフィン顆粒水和剤 | | ○ | ○ | 1000 倍 | | | |
| | チューンアップ顆粒水和剤 | | ○ | ○ | 2000 倍 | | | |
| 13 | コテツフロアブル | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ | ○ | ○ | 2000 倍 | | 収穫前日まで | 3 回以内 |
| 22A | トルネードエース DF | ｲﾝﾄﾞｷｻｶﾙﾌﾞ | ○ | | 2000 倍 | | | 2 回以内 |
| 22B | アクセルフロアブル | ﾒﾀﾌﾙﾐｿﾞﾝ | ○ | ○ | 1000 倍 | | | 3 回以内 |
| 28 | フェニックス顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ | ○ | ○ | 2000 倍 | | | 2 回以内 |
| | プレバソンフロアブル 5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ | ○ | ○ | 2000 倍 | | | 3 回以内 |
| | ベネビア OD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ | ○ | ○ | 2000 倍 | | | 3 回以内 |
| | ヨーバルフロアブル | ﾃﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ | ○ | ○ | 2500 倍 | | | 3 回以内 |
| 30 | グレーシア乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ | ○ | ○ | 2000 倍 | | | 2 回以内 |
| UN | プレオフロアブル | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ | ○ | ○ | 1000 倍 | | | 2 回以内 |

（２）育苗期後半～定植までに使用できる灌注剤※1・株元散布剤※2

| IRAC ｺｰﾄﾞ | 農薬名 | 有効成分 | ﾄﾏﾄ | ﾐﾆﾄﾏﾄ | 希釈倍数 | 散布液量 (ml/株) | 使用時期 | 本剤の使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 28 | プレバソンフロアブル 5※1 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ | ○ | ○ | 100 倍 | 25ml | 育苗期後半～定植当日 | 1 回 |
| | ベリマーク SC※1 | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ | ○ | ○ | 25ml/400 株 | 10～20L /400 株 (25～50mL) | | |
| | プリロッソ粒剤オメガ※2 | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ | ○ | ○ | 2g/株 | - | | |

【使用上の注意】

ベネビア OD、ベリマーク SC、プリロッソ粒剤オメガは同じ有効成分となるため成分総使用回数に留意して使用する。

シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数:5 回以内(但し、定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計 1 回以内、定植後の株元灌注は 1 回以内、定植後の散布は 3 回以内)

## （2）ミニトマト

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｸﾛｽｱｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘｵﾌｪﾉﾝ水和剤 | 50 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ﾊｰﾓﾒｲﾄ水溶剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 150～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾎﾞﾄｷﾗｰ水和剤 | ﾊﾞﾁﾙｽ ｽﾞﾌﾞﾁﾘｽ水和剤 | BM2 | | 1000倍 | 150～300㍑/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | | | | | 15g/10a/日 | | 発病前～発病初期 | ダクト内投入 | - | 野菜類(トマトを除く) |
| 疫病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｻﾞﾝﾌﾟﾛDMﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱﾒﾄｸﾄﾗｼﾞﾝ・ｼﾞﾒﾄﾓﾙﾌ水和剤 | 40,45 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 菌核病 | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| すすかび病 | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾞﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 750～1500倍 | 3㌘/㎡ | は種時～子葉展開時 | 土壌灌注 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | 種子重量の0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 灰色かび病 | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ﾎﾞﾄｷﾗｰ水和剤 | ﾊﾞﾁﾙｽ ｽﾞﾌﾞﾁﾘｽ水和剤 | BM2 | | 1000倍 | 150～300㍑/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | | | | | 300g/10a | 6～10㍑/10a | 発病前～発病初期 | 常温煙霧 | - | 野菜類 |
| | | | | | 10～15g/10a/日 | | 発病前～発病初期 | ダクト内投入 | - | 野菜類(トマトを除く) |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 葉かび病 | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾌｪﾀﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 斑点細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 輪紋病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤 | 9B | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤 | 9B | | 5000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 育苗期 | 株元処理 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理土壌混和 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | 5g/培土ｋｇ | | は種時又は鉢上げ時 | 育苗培土混和 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm､使用土壌約1.5～4ｋｇ)当り50g | | 育苗期後半 | 散布 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 10000倍 | 1～3ｇ/㎡ | 定植14日後まで | 株元灌注 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ｋｇ)当り0.5ｋｇ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | 400株当り25mL | 400株当り10～20ｇ(1株当り25～50mL) | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | | | | | 400株当り25mL | 400株当り20～200ｇ(1株当り50～500mL) | 定植直後 | 株元灌注 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| ﾄﾏﾄｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| | ｲｵｳﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 400倍 | 100～300ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | - | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | ｶﾞｰﾄﾞﾎｰﾌﾟ液剤 | ﾎｽﾁｱｾﾞｰﾄ液剤 | 1B | 劇 | 4000倍 | 2ｇ/㎡ | 収穫前日まで | 土壌灌注 | 1回 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾐﾆﾄﾏﾄ |

## （3）なす

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ｲﾝﾌﾞﾚｯｼｮﾝｸﾘｱ | ﾊﾞﾁﾙｽ ｱﾐﾛﾘｸｴﾌｧｼｴﾝｽ水和剤 | BM2 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ･ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ﾄﾘﾌﾙﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000～5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | なす |
| | ﾊﾞﾙﾐﾉ | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000倍 | 150～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ﾌﾟﾛﾊﾞﾃｨﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘｵﾌｪﾉﾝ水和剤 | 50 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| 灰色かび病 | ｶﾝﾀｽﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾞﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 6回以内 | なす |
| | | | | | 250g/10a | 5㍑/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 6回以内 | なす |
| | ﾎﾞﾘﾍﾞﾘﾝ水和剤 | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝ酢酸塩･ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*),M7 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | なす |
| 苗立枯病 | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 800倍 | 2㍑/㎡ | は種後から2～3葉期まで | 灌注 | 5回以内 | なす |
| | | | | | 種子重量の0.2～0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | なす |
| ｱｻﾞﾐﾏｲ類 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ1粒剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴又は株元土壌混和 | 1回 | なす |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | なす |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 「-」,5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | なす |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ1粒剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴又は株元土壌混和 | 1回 | なす |
| | | | | | 1g/株 | | 育苗期後半 | 株元散布 | 1回 | なす |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 100g/10a | 5㍑/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 2回以内 | なす |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | なす |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | なす |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | なす |
| | ﾊｸｻｯﾌﾟ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ･ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | なす |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤 | 4A | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 6回以内 | なす |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | | | | | 500倍 | 25～50mL/株 | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | なす |
| | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | なす |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ﾄﾙﾈｰﾄﾞｴｰｽDF | ｲﾝﾄﾞｷｻｶﾙﾌﾟ水和剤 | 22A | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | なす |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | なす |
| | ﾊｸｻｯﾌﾟ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | なす |
| ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ幼虫 | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞ水和剤 | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| ﾃﾝﾄｳﾑｼﾀﾞﾏｼ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | なす |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉剤 | 1B | | 6kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌表面散布土壌混和処理 | 2回以内 | なす |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | なす |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | なす |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | なす |
| | ｺﾛﾏｲﾄ乳剤 | ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ﾀﾞﾆｵｰﾃﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｼﾉﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 33 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | なす |
| | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 2000倍 | 100～350ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 1回 | なす |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化リン酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | なす |

## （4）ピーマン

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ﾄﾘﾌﾙﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | | | | | 20g/100立方ﾒｰﾄﾙ(50㎥×2m) | - | 収穫前日まで | くん煙 | 3回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| 苗立枯病 | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 800倍 | 2ﾘｯﾄﾙ/㎡ | は種後から2～3葉期まで | 灌注 | 2回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | | | | | 種子重量の0.2～0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| 灰色かび病 | ﾛﾌﾟﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| 斑点病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ1粒剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴又は株元土壌混和 | 1回 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ1粒剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴又は株元土壌混和 | 1回 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | | | | | 1g/株 | | 育苗期後半 | 株元散布 | 1回 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| ﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫開始14日前まで | 散布 | 4回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ(露地栽培) |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫開始14日前まで | 散布 | 4回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ(露地栽培) |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |
| | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾋﾟｰﾏﾝ |

## （５）すいか

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 600～800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000～5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | うり類(成熟) |
| | ﾊﾞﾝﾁｮTF顆粒水和剤 | ｼﾌﾙﾌｪﾅﾐﾄﾞ・ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3,U6 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | すいか |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| 疫病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～800倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | すいか |
| 褐色腐敗病 | ﾌｫﾘｵｺﾞｰﾙﾄﾞ | ﾒﾀﾗｷｼﾙM・TPN水和剤 | 4,M5 | | 800～1000倍 | 100～400㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ﾎﾗｲｽﾞﾝﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾓｷｻﾆﾙ・ﾌｧﾓｷｻﾄﾞﾝ水和剤 | 11,27 | | 2500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| 菌核病 | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | うり類(成熟) |
| 炭疽病 | ｱﾝﾄﾗｺｰﾙ顆粒水和剤 | ﾌﾞﾛﾋﾞﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 400～600倍 | 150～200㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | すいか |
| | ｵｷｼﾗﾝ水和剤 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ・有機銅水和剤 | M1,M4 | | 500～600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 7回以内 | すいか |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 700倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 600～800倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ﾆﾏｲﾊﾞｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | すいか |
| つる枯病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ｱﾝﾄﾗｺｰﾙ顆粒水和剤 | ﾌﾞﾛﾋﾞﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 400～600倍 | 150～200㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | すいか |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 7回以内 | すいか |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 700～1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | うり類(成熟) |
| | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | すいか |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | すいか |
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾞﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 750～1500倍 | 3㍑/㎡ | は種時～子葉展開時 | 土壌灌注 | 1回 | すいか |
| | | | | | 種子重量の0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | すいか |
| べと病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 7回以内 | すいか |
| ｱｻﾞﾐﾏ類 | ｱｸﾞﾘﾒｯｸ | ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | 劇 | 500～1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | すいか |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで(ただし､露地栽培については着果後) | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ｳﾗﾗDF | ﾌﾛﾆｶﾐﾄﾞ水和剤 | 29 | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | すいか |
| | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理土壌混和 | 1回 | すいか |
| | | | | | 1g/株 | | 育苗期 | 株元処理 | 1回 | すいか |
| | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | すいか |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 1g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | すいか |
| | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | | | | | 500倍 | 25～50mL/株 | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | すいか |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｳﾘﾉﾒｲｶﾞ | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | すいか |
| ｳﾘﾊﾑｼ | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | | | | | 500倍 | 25～50mL/株 | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | すいか |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 5～8kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | すいか |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | すいか |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ｱｸﾞﾘﾒｯｸ | ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | 劇 | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 1000～1500倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 1回 | すいか |
| | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 2000倍 | 100～350ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | すいか |
| | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |
| | | | | | 500倍 | 50mL/株 | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | すいか |
| ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | すいか |

# すいか炭疽病対策

## １　すいか炭疽病について

すいか炭疽病は、コレトトリカムというカビの一種によって引き起こされる病気である。発病適温は 22～28℃で、湿度が高いと 24 時間以内に胞子が発芽し、48 時間以内に組織に侵入し、１週間以内に発病する。特に、降雨があると病斑状の胞子が飛散し、他の茎葉、果実に伝染し、蔓延する。露地栽培では、トンネルを除去したころから発病しはじめ、気温が低く、雨の多い年に多発する。また、窒素過多でも発生が多くなる。

## ２　防除対策

**育苗期防除対策**

・苗床やハウスでは多発することは少ない。
・苗床では高温多湿を避ける。
・苗床では発病前から予防散布を行い、健全な苗を確保する。
・発病を認めたら治療効果のある薬剤を７日おきに２～３回散布する。

**圃場防除対策**

・連作は避ける。排水の悪い圃場は、排水対策を実施する。
・降雨のはねかえりで感染するので、早めに敷きわらやポリマルチを行う。
・前年、炭疽病が発生した圃場は原則、作付けを避けるが、やむを得ず作付けする場合は、土壌消毒の実施や予防散布に努める。
・トンネル除去後は、感染の好適条件にもなることから、1 週間おきを目安に予防防除を行う。
・**ベンゾイミダゾール系剤（トップジン、ベンレート等）は耐性菌が発生しているので使用しない。**
・不要な側枝は早めに除去し、採光と通風しをよくする。摘果玉は圃場内に放置せず、圃場外に持ち出すか埋設する。
・降雨後は、薬剤散布量を十分取り、果実表面にも十分薬剤が付着するように散布する。
・炭疽病の発生を確認したら、治療効果のある薬剤を３～５日おきに少なくとも２～３回散布する。新しい病斑の形成がなくなったら、予防効果のある薬剤を７日おきに散布する。特に、果実付近の防除を徹底する。
・収穫時に降雨があった場合、果実表面が濡れたり土壌が付着したりしているものは、コンテナに積み込む前に固く絞ったタオルで十分拭き取る。
・収穫終了後、発病株の罹病部位（葉や果実）は圃場外に持ち出し、埋設する。

**【参考】すいか炭疽病防除薬剤一覧**

| FRAC コード | 農薬の名称 | 使用時期（収穫何日前まで） | その他の適用病害虫 | | | | | | | | | 効果 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | つる枯病 | 疫病 | 褐斑細菌病 | べと病 | 菌核病 | うどんこ病 | 褐色腐敗病 | ハダニ類 | 果実汚斑細菌病 | 予防 | 治療 |
| 11 | アミスター20 フロアブル | 前日まで | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ |
| | ストロビーフロアブル | 前日まで | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 3 | スコア顆粒水和剤 | 前日まで | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ |
| M1 | ドキリンフロアブル | 前日まで | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | |
| M3 | アントラコール顆粒水和剤 | 前日まで | ○ | | | | | | | | | ○ | |
| | ジマンダイセン水和剤 | 7日前まで | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | |
| M4 | オーソサイド水和剤 80 | 14日前まで | ○ | | | ○ | | | | | | ○ | |
| M5 | ダコニール 1000 | 3日前まで | ○ | | | | | | | | | ○ | |
| M7 | ベルクート水和剤 | 前日まで | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 4,M5 | フォリオゴールド | 7日前まで | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 1,10 | ゲッター水和剤 | 前日まで | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| | ニマイバー水和剤 | 前日まで | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| 7,11 | シグナム WDG | 前日まで | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 11,M5 | アミスターオプティフロアブル | 3日前まで | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 11,M7 | ファンベル顆粒水和剤 | 前日まで | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| 21,M5 | ドーシャスフロアブル | 3日前まで | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 3,M3 | テーク水和剤 | 7日前まで | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 40,M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 3日前まで | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ |
| M1,M4 | オキシラン水和剤 | 14日前まで | ○ | | | | | | | | | ○ | |

＊使用濃度、使用量、使用回数等は確認すること。

## （6）メロン

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ジーファイン水和剤 | 炭酸水素ナトリウム・銅水和剤 | M1,NC | | 750～1000倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なすを除く) |
| | トリフミン水和剤 | トリフルミゾール水和剤 | 3 | | 3000～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | パレード20フロアブル | ピラジフルミド水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300L/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | うり類(成熟) |
| | パンチョTF顆粒水和剤 | シフルフェナミド・トリフルミゾール水和剤 | 3,U6 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | メロン |
| | フセキワイドフロアブル | イミノクタジンアルベシル酸塩・ピリダクロメチル水和剤 | 53,M7 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | メロン |
| | ベジセイバー | ペンチオピラド・TPN水和剤 | 7,M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | メロン |
| | モレスタン水和剤 | キノキサリン系水和剤 | "UN(I*) | | 100g/10a | 5ｷﾛｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫3日前まで | 常温煙霧 | 10回以内 | メロン |
| | | | | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 10回以内 | メロン |
| 疫病 | ジマンダイセン水和剤 | マンゼブ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| 菌核病 | パレード20フロアブル | ピラジフルミド水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300L/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | うり類(成熟) |
| つる枯病 | ジマンダイセン水和剤 | マンゼブ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | ダコニール1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | トップジンMペースト | チオファネートメチルペースト剤 | 1 | | 原液 | | 発病初期 但し、収穫21日前まで | 塗布 | 1回 | メロン |
| | パレード20フロアブル | ピラジフルミド水和剤 | 7 | | 2000～4000倍 | 100～300L/10a | 収穫前日まで | 3回以内 | 3回以内 | うり類(成熟) |
| | フセキワイドフロアブル | イミノクタジンアルベシル酸塩・ピリダクロメチル水和剤 | 53,M7 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | メロン |
| | ロブラール水和剤 | イプロジオン水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | メロン |
| 斑点細菌病 | Zボルドー | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(キャベツを除く) |
| | カスミンボルドー | カスガマイシン・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | コサイドボルドー | 銅水和剤 | M1 | | 1000倍 | | - | 散布 | - | 野菜類 |
| べと病 | ジマンダイセン水和剤 | マンゼブ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | ダコニール1000 | TPN水和剤 | M5 | | 700～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | ベトファイター顆粒水和剤 | シモキサニル・ペンチアピリカルブイソプロピル水和剤 | 27,40 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | メロン |
| アブラムシ類 | オリオン水和剤40 | アラニカルブ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| | サンマイトフロアブル | ピリダベン水和剤 | 21A | 劇 | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | メロン |
| | ダントツ粒剤 | クロチアニジン粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 育苗期後半 | 株元処理 | 1回 | メロン |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植後 但し、収穫前日まで | 株元散布 | 3回以内 | メロン |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理 土壌混和 | 1回 | メロン |
| | ブリロッソ粒剤オメガ | シアントラニリプロール粒剤 | 28 | | 2g/株 | | 育苗期後半～定植時 | 株元散布 | 1回 | メロン |
| | ベストガード粒剤 | ニテンピラム粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理ヨ | 1回 | メロン |
| | | | | | 1g/株 | | 育苗期 | 株元処理 | 1回 | メロン |
| ウリノメイガ | オリオン水和剤40 | アラニカルブ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | メロン |
| ウリハムシ | マラソン乳剤 | マラソン乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | メロン |
| コナジラミ類 | ダントツ粒剤 | クロチアニジン粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 育苗期後半 | 株元処理 | 1回 | メロン |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理 土壌混和 | 1回 | メロン |
| | ベストガード粒剤 | ニテンピラム粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理 土壌混和 | 1回 | メロン |
| | | | | | 1g/株 | | 育苗期 | 株元処理 | 1回 | メロン |
| タネバエ | ダイアジノン粒剤3 | ダイアジノン粒剤 | 1B | | 5～8kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | メロン |
| トマトハモグリバエ | ダントツ粒剤 | クロチアニジン粒剤 | 4A | | 2g/株 | | 定植時 | 植穴処理 土壌混和 | 1回 | メロン |
| ネコブセンチュウ | ネマキック粒剤 | イミシアホス粒剤 | 1B | | 15～20kg/10a | | 定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | メロン |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ﾀﾞﾝﾄﾂ粒剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ粒剤 | 4A | | 2g/株 | | 定植時 | 植穴処理<br>土壌混和 | 1回 | ﾒﾛﾝ |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴処理<br>土壌混和 | 1回 | ﾒﾛﾝ |

## （7）きゅうり

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 150g/10a | 10㍑/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 3回以内 | きゅうり |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄを除く) |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000～5000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | きゅうり |
| | ﾊｯﾊﾟ乳剤 | なたね油乳剤 | 「-」 | | 200倍 | | - | 散布 | - | きゅうり |
| | ﾊﾞﾝﾁｮTF顆粒水和剤 | ｼﾌﾙﾌｪﾅﾐﾄﾞ・ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3,U6 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | きゅうり |
| | ﾌﾙﾋﾞｶくん煙剤 | ﾒﾊﾟﾆﾋﾞﾘﾑくん煙剤 | 9 | 劇 | くん煙室容積500立方㍍(床面積250㎡×高さ2m)当り50g(1錠) | | 収穫前日まで | くん煙(通常10～15時間) | 4回以内 | きゅうり |
| | ﾍﾞｼﾞｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ・TPN水和剤 | 7,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | | | | | 20g/100立方㍍(50㎡×2m) | - | 収穫前日まで | くん煙 | 3回以内 | きゅうり |
| | | | | | 50～100g/10a | 5㍑/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾗﾘｰ水和剤 | ﾐｸﾛﾌﾞﾀﾆﾙ水和剤 | 3 | | 4000～8000倍 | 150～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | きゅうり |
| 疫病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| 褐斑病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾌﾞﾛﾎﾞｰｽﾞ顆粒水和剤 | ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾟﾙ・TPN水和剤 | 40,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾍﾞｼﾞｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ・TPN水和剤 | 7,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| 菌核病 | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾞﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 6回以内 | きゅうり |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | きゅうり |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | きゅうり |
| 黒星病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 12回以内 | きゅうり |
| 炭疽病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 12回以内 | きゅうり |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| つる枯病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 原液 | | 発病初期 | 塗布 | 5回以内 | きゅうり |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | きゅうり |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| 苗立枯病 | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 800倍 | 2㍑/㎡ | は種後から2～3葉期まで | 灌注 | 5回以内 | きゅうり |
| | | | | | 種子重量の0.2～0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | きゅうり |
| 苗立枯病(ﾋﾞｼｳﾑ菌) | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼｲｿｷｻｿﾞｰﾙ液剤 | 32 | | 500～1000倍 | 3㍑/㎡ | は種直後 | 土壌灌注 | 3回以内 | きゅうり |
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾞﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 750～1500倍 | 3㍑/㎡ | は種時～子葉展開時 | 土壌灌注 | 1回 | きゅうり |
| | | | | | 種子重量の0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | きゅうり |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰色かび病 | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾞﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 6回以内 | きゅうり |
| | | | | | 200g/10a | 10ｷﾛｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 2回以内 | きゅうり |
| | ﾌﾙﾋﾞｶくん煙剤 | ﾒﾊﾟﾆﾋﾞﾘﾑくん煙剤 | 9 | 劇 | くん煙室容積500立方ﾒｰﾄﾙ(床面積250㎡×高さ2m)当り50g(1錠) | | 収穫前日まで | くん煙(通常10～15時間) | 4回以内 | きゅうり |
| | ﾌﾙﾋﾞｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾟﾆﾋﾞﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | きゅうり |
| | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | きゅうり |
| | | | | | 200g/10a | 5ｷﾛｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 4回以内 | きゅうり |
| 斑点細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | きゅうり |
| | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| べと病 | ｻﾞﾝﾌﾞﾛDMﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱﾒﾄｸﾄﾗｼﾞﾝ・ｼﾞﾒﾄﾓﾙﾌ水和剤 | 40,45 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ｿﾞｰﾍﾞｯｸｴﾝﾃｸﾀSE | ｱﾐｽﾙﾌﾞﾛﾑ・ｵｷｻﾁｱﾋﾞﾌﾞﾛﾘﾝ水和剤 | 21,49 | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | きゅうり |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 12回以内 | きゅうり |
| | | | | | 33倍 | 10ｷﾛｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 12回以内 | きゅうり |
| | ﾌﾞﾛﾎﾞｰｽﾞ顆粒水和剤 | ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾟﾙ・TPN水和剤 | 40,M5 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾍﾞﾄﾌｧｲﾀｰ顆粒水和剤 | ｼﾓｷｻﾆﾙ・ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾟﾙ水和剤 | 27,40 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ水和剤 | 21 | | 1000～2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | きゅうり |
| | ﾘﾄﾞﾐﾙｺﾞｰﾙﾄﾞMZ | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | "UN(I*),4 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤 | 4A | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化リン酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾞﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ｳﾘﾊﾑｼ | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | きゅうり |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 作条散布又は植穴処理 | 1回 | きゅうり |
| ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ幼虫 | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞ水和剤 | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | きゅうり |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉剤 | 1B | | 4～6kg/10a | | は種時 | 土壌表面散布土壌混和処理 | 1回 | きゅうり |
| | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 5～8kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | きゅうり |

## （８）かぼちゃ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 疫病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | かぼちゃ |
| うどんこ病 | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | かぼちゃ |
| | ﾊﾞﾝﾁｮTF顆粒水和剤 | ｼﾌﾙﾌｪﾅﾐﾄﾞ・ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3,U6 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | かぼちゃ |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | かぼちゃ |
| べと病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | かぼちゃ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | かぼちゃ |
| | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | ﾏﾗｿﾝ粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | かぼちゃ |
| ｳﾘﾊﾑｼ | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | かぼちゃ |
| ｳﾘﾊﾑｼ幼虫 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | 植付時 | 土壌混和 | 1回 | かぼちゃ |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 5～8kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | かぼちゃ |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | かぼちゃ |
| | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | ﾏﾗｿﾝ粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | かぼちゃ |

## （9）いちご

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 萎黄病 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 500倍 | - | 仮植前 | 1～3時間苗根部浸漬 | 1回 | いちご |
| | | | | | 500倍 | 100mL/株 | 本圃定植後 但し､収穫30日前まで | 灌注 | 1回 | いちご |
| | | | | | 500倍 | 50～100mL/株 | 育苗期 | 灌注 | 3回以内 | いちご |
| うどんこ病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 300～600倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なす､ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ､しゅんぎくを除く) |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ･ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | いちご |
| | ﾌﾙﾋﾟｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | | | | | 100倍 | 10ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 3回以内 | いちご |
| | | | | | 50倍 | 5ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 常温煙霧 | 3回以内 | いちご |
| | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水和剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*) | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫開始14日前まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 3000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | いちご |
| じゃのめ病 | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | いちご |
| 炭疽病 | ｱﾝﾄﾗｺｰﾙ顆粒水和剤 | ﾌﾟﾛﾋﾟﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 500倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 仮植栽培期 | 散布 | 6回以内 | いちご |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ･ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | いちご |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 仮植栽培期 但し収穫76日前まで | 散布 | 6回以内 | いちご |
| | ｾｲﾋﾞｱｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ20 | ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ水和剤 | 12 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| 灰色かび病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ･ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | いちご |
| | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾞﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ｾｲﾋﾞｱｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ20 | ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ水和剤 | 12 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ﾌﾙﾋﾟｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水和剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*) | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫開始14日前まで | 散布 | 3回以内 | いちご |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | いちご |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｴｺﾋﾟﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | いちご |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | いちご |
| ｲﾁｺﾞﾒｾﾝﾁｭｳ | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 育苗期 | 散布 | 4回以内 | いちご |
| | | | | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 定植後生育初期 | 散布 | 4回以内 | いちご |
| ｺｶﾞﾈﾑｼ類幼虫 | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 2～3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 移植活着後(育苗期) | 灌注 | 4回以内 | いちご |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 1000～1500倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 1回 | いちご |
| | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 1000倍 | 100～350ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | いちご |
| | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | いちご |

## （10）キャベツ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 菌核病 | ｵﾙﾌｨﾝﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ水和剤 | "「-」(I*) | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｲﾝﾋﾟﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾋﾟﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱または、ﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 2.0ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 黒腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | ﾌﾞﾛﾍﾞﾅｿﾞｰﾙ粒剤 | P2 | | 6～9kg/10a | | 定植時 | 全面土壌混和又は作条土壌混和 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾖﾈﾎﾞﾝ水和剤 | ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｽﾙﾎﾝ酸銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 軟腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾏｽﾀﾋﾞｰｽ水和剤 | ｼｭｰﾄﾞﾓﾅｽ ﾛﾃﾞｼｱ水和剤 | 「-（生）」 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾖﾈﾎﾞﾝ水和剤 | ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｽﾙﾎﾝ酸銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 根こぶ病 | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ水和剤 | 21 | | 2000倍 | 250mL/株 | 収穫14日前まで | 株元灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(30×60cm、使用土壌約2.5～7ﾘｯﾄﾙ)当り2ﾘｯﾄﾙ | 定植前日～当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| べと病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｱｵﾑｼ | ｱﾆｷ乳剤 | ﾚﾋﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｱﾌｧｰﾑｴｸｾﾗ顆粒水和剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩・ﾙﾌｪﾇﾛﾝ水和剤 | 15,6 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 12倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 16～24倍 | 0.8～1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ乳剤 | 30 | | 2000～3000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | 結球あぶらな科葉菜類 |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱｵﾑｼ | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｭﾘﾎﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 28,4A | | 1000倍 | 苗地床1㎡当り2ﾘｯﾄﾙ | は種時～育苗期後半 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | 苗地床1㎡当り2ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | | | 0.5～1g/株 | | 定植前日～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | 25～50ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | 25～50ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 320倍 | 17～20ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 250倍 | 14～17㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 200倍 | 11～14㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 160倍 | 8.5～11㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 125倍 | 7～8.5㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 100倍 | 5.5～7㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 80倍 | 4.5～5.5㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 64倍 | 3.5～4.5㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 50倍 | 2.8～3.5㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 40倍 | 2～2.8㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 1.7～2㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 1.6～1.7㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤 | | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(30×60cm・使用土壌約3～4㍑)当り0.5㍑ | 育苗期後半 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 2000～3000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍍/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4㍑)当り0.5㍑ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | | | 0.5～1g/株 | | 定植前日～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 株元散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 1g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 2000～4000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | 25～50㍍/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | 25～50㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 320倍 | 17～20㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 250倍 | 14～17㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 200倍 | 11～14㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 160倍 | 8.5～11㍍/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 125倍 | 7～8.5g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 100倍 | 5.5～7g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 80倍 | 4.5～5.5g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 64倍 | 3.5～4.5g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 50倍 | 2.8～3.5g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 40倍 | 2～2.8g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 1.7～2g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 1.6～1.7g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｳﾜﾊﾞ類 | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2g/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱﾆｷ乳剤 | ﾚﾋﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300g/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300g/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2g/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ類 | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｺﾅｶﾞ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300g/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｱﾆｷ乳剤 | ﾚﾋﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300g/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｱﾌｧｰﾑｴｸｾﾗ顆粒水和剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩・ﾙﾌｪﾇﾛﾝ水和剤 | 15,6 | | 1000～1500倍 | 100～300g/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 12倍 | 1.6g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 3.2g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000～4000倍 | 100～300g/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16～24倍 | 0.8～1.6g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 1.6～3.2g/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ乳剤 | 30 | | 2000～3000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | 結球あぶらな科葉菜類 |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾅｶﾞ | ｼﾞｭﾘﾎﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | | | 1000倍 | 苗地床1㎡当り2ｇ | は種時～育苗期後半 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ｋｇ)当り0.5ｇ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300ｇ/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾟｾﾘ、えごま(葉)を除く) |
| | ﾄｸﾁｵﾝ乳剤 | ﾌﾟﾛﾁｵﾎｽ乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000～2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 16倍 | 1.6ｇ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 1.6～3.2ｇ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 48倍 | 3.2ｇ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ｋｇ)当り0.5ｇ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 500倍 | 苗地床1㎡当り2ｇ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ｇ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ｇ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 0.5～1g/株 | | 定植前日～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉剤 | 1B | | 6kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌表面散布土壌混和処理 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | 収穫30日前まで | 土壌混和 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾃﾞﾅﾎﾞﾝ5%ﾍﾞｲﾄ | NAC粒剤 | 1A | | 3～6kg/10a | | 収穫14日前まで | 株元散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾈｷﾘｴｰｽK | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粒剤 | 1B | | 3kg/10a | | は種時又は定植時 | 土壌表面株元処理 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ｱﾌｧｰﾑｴｸｾﾗ顆粒水和剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩・ﾙﾌｪﾇﾛﾝ水和剤 | 15,6 | | 1000～1500倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 12倍 | 1.6ｇ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 3.2ｇ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｭﾘﾎﾞ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 28,4A | | 1000倍 | 苗地床1㎡当り2ﾘｯﾄﾙ | は種時～育苗期後半 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｿﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｱｸｾﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾀﾌﾙﾐｿﾞﾝ水和剤 | 22B | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 10倍 | 2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 8倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｱﾆｷ乳剤 | ﾚﾋﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 48倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 96倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾊｸｻｯﾌﾞ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｿﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌﾞﾛﾌﾚｱSC | ﾌﾞﾛﾌﾗﾆﾘﾄﾞ水和剤 | 30 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾏｯﾁ乳剤 | ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤 | 15 | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｱﾌｧｰﾑｴｸｾﾗ顆粒水和剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩・ﾙﾌｪﾇﾛﾝ水和剤 | 15,6 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 12倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 24倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｼﾞｭﾘﾎﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 28,4A | | 1000倍 | 苗地床1㎡当り2ﾘｯﾄﾙ | は種時～育苗期後半 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾊｳｻｯﾌﾟ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾟﾚﾚｰﾄ・ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｿﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ｷｬﾍﾞﾂ |

# キャベツ コナガ防除対策

防除のポイント

1）育苗時または定植時に薬剤処理を行い、初期防除を徹底する。
2）老齢幼虫や蛹では薬剤の効果が劣るため、早期発見に努め若齢幼虫期に防除を行う。
3）幼虫は葉の裏に生息するので、葉の裏まで薬液がかかるように散布する。
4）薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避け、系統をかえてローテーション散布を行う。

**コナガに対する薬剤感受性　（2015 年、2018 年病害虫防除室調査）　　※【 】内は IRAC コードを示す**
**〇低（ほとんどの地域で防除効果 50%以下）…有機リン系【1B】、カーバメート系【1A】**
**〇地域によって変動するもの…ジアミド系【28】**
**〇高（ほとんどの地域で防除効果 80%以上）…ピリダリル【UN】、ピレスロイド系【3A(成分名ピレトリンを除く)】**

※抵抗性の発達程度は地域により差があるため、効果が不十分であれば、使用を避ける。
（散布２～５日後に幼虫が多数生息している場合は、抵抗性が発達した可能性が高い）

5）性フェロモンでの防除も有効である（→フェロモン剤使用方法を参照）。
6）収穫残さで増殖するため、できるかぎり早く処分する。
7）圃場周辺に自生しているアブラナ科雑草は、本虫の発生源となるため、こまめな除草を心がける。

**【参考】キャベツのコナガ防除薬剤一覧**　※農薬の使用にあたっては、必ず使用濃度、使用量、使用回数等を確認する。

| IRAC コード | 農薬名 | 使用時期 | コナガ | アブラムシ類 | アオムシ | ハスモン ヨトウ | ヨトウムシ | タマナギン ウワバ | ハイマダラノメイガ | オオタバコガ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1B | オルトラン粒剤、ジェイエース粒剤 | 定植時 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| | オルトラン水和剤、ジェイエース水溶剤 | 収穫 30 日前まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | トクチオン乳剤 | 収穫 21 日前まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | | |
| | エルサン乳剤 | 収穫 14 日前まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| 3A | トレボン乳剤 | 収穫 3 日前まで | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| 4A | モスピラン粒剤 | 定植時、定植前日～定植当日 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| 4E | フィールドマストフロアブル | 収穫前日まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | |
| 5 | スピノエース顆粒水和剤 | 収穫 3 日前まで | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| | ディアナ SC | 収穫前日まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| 6 | アニキ乳剤 | 収穫 3 日前まで | ○ | | ○ | ○ | | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| 11A | ゼンターリ顆粒水和剤 | 発生初期（収穫前日まで） | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| | トアロー水和剤 CT | 発生初期（収穫前日まで） | ○ | | ○ | | ○ | | | |
| 13 | コテツフロアブル | 収穫前日まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 | パダン SG 水溶剤 | 収穫 14 日前まで | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | |
| 15 | ノーモルト乳剤 | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | アタブロン乳剤 | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | マッチ乳剤 | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| | カスケード乳剤 | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 22B | アクセルフロアブル | 収穫前日まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| 23 | モベントフロアブル | 収穫 7 日前まで | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 28 | ベネビア OD | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| | プレバソンフロアブル 5 | 育苗期後半～定植当日、収穫前日まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| | ベリマーク SC | 育苗期後半～定植当日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | |
| | フェニックス顆粒水和剤 | 収穫前日まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| 30 | グレーシア乳剤 | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| UN | プレオフロアブル | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ウワバ類 | ○ | ○ |
| 3A, 1B | ハクサップ水和剤 | 収穫前日まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 6, 15 | アファームエクセラ顆粒水和剤 | 収穫 7 日前まで | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28, 4A | ジュリボフロアブル | は種時～育苗期後半 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| | | 育苗期後半～定植当日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| | | 収穫 3 日前まで | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |

# 土壌ｐＨ補正によるキャベツの生育促進と根こぶ病の軽減

## １　はじめに

本県の主要な水田園芸品目である､キャベツやブロッコリーの減収理由の一つに根こぶ病の発生があります｡アブラナ科根こぶ病は土壌伝染性の難防除病害で､年々発生が多くなり､発生後は効果的な薬剤が無く手遅れになるのが現状です｡そこで､耕種的防除により効果的に根こぶ病の発生を抑える技術を紹介します。

根にできたこぶと圃場でのしおれ

## ２　キャベツはｐH7.5 以上でも良好に生育

キャベツ生育の至適ｐＨはｐH6.0～7.0 といわれています｡根こぶ病菌は土壌ｐＨが低いと活性化するので、生理障害をおこさないように、ミネラルを多く含んだミネカルを使用してｐＨを 7.2 以上にするのが良いといわれています。今回、水田で試した結果、キャベツの場合は消石灰（以下、マグエース）を用いてｐH7.5 以上にしても、良好に生育することが分かりました（表 1)。

表１　石灰資材とキャベツの生育

| 石灰資材 | ｐＨ | | 生理 | 収穫調査 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 定植直 | 収穫後 | 障害 | 玉重(g) | 玉幅長軸(cm) | 玉幅短軸(cm) | 高さ(cm) | 球緊度(g/cm²) | 収量(kg/10a) |
| ミネカル6,000kg/10a | 7.6 | 7.6 | 無 | 1,593 | 21.0 | 20.5 | 12.3 | 0.57 | 5,446 |
| マグエース400kg/10a | 7.5 | 6.8 | 無 | 1,612 | 20.8 | 20.6 | 12.3 | 0.58 | 5,394 |
| マグエース100kg/10a(慣行) | 7.1 | 6.5 | 無 | 1,304 | 19.2 | 19.0 | 11.2 | 0.6 | 4,216 |

品種：おきな　R1農試圃場　8/19定植　調査日11/18　畝間1.5m　株間40cm　2条植え　3000株/10a
ユートップ化成30号100kg/10a(側条)　N:18　P:8　K:10　ミネカル、マグエースはpH7.5となるように計算し施用
球緊度=重さ(g)/体積(cm²)　収量：収穫適期(球緊度0.65)で収穫したとして重さを補正

## ３　土壌ｐＨと根こぶ病発生の関係

土壌ｐＨを高くしておくと根こぶ病の新規発生を抑えることができました。すでに多発している圃場では発生してしまいましたが、被害は少なくなり、１玉重も大きくなりました。

## ４　各アルカリ資材と効果の持続

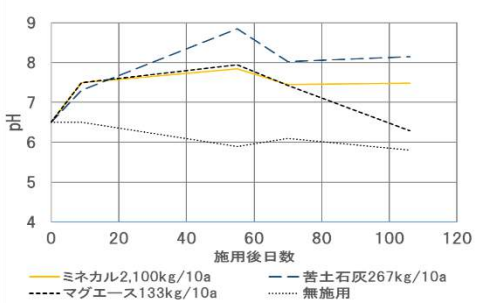



図１　施用後日数とｐＨ変化（R3 キャベツ栽培期間）

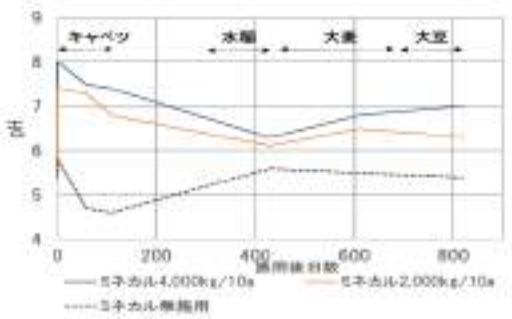



図２施用後日数とｐＨ変化（R1～R3）

水田ではマグエース使用時のｐＨ低下は早く、キャベツの栽培期間中に低下します。ミネカルや苦土石灰のほうが、効果が持続します（図 1、2)。肥効が長い資材は後作でもｐＨが高くなりますが、水稲や大麦に影響は少なく、大豆の収量は高くなりました（表 4)。　アルカリ資材の必要施用量は圃場毎に大きく違います。ｐH7.5 以上にするにはマグエースで慣行より 200～300kg/10a（約 10 千円～15 千円）多く、ミネカルの場合 2～6t/10a（約 50 千円～150 千円）必要です（R3 時点)。しかし根こぶ病予防と同時に収量も 1～2t/10a 多くなるのでｐH7.5 以上になるよう資材を入れて下さい。

表４　ミネカル施用後のキャベツと後作の収量

| | R1キャベツ (ｔ/10a) | R2水稲 (kg/10a) | R3大麦 (kg/10a) | R3大豆 (kg/10a) |
|---|---|---|---|---|
| ミネカル4,000kg/10a | 7.3 | 575 | 269 | 382 |
| ミネカル2,000kg/10a | 7.1 | 566 | 291 | 385 |
| ミネカル無施用 | 5.0 | 547 | 276 | 321 |

R1,R3全ての区にマグエースを施用(120kg/10a)
キャベツ：おきな　水稲：いちほまれ　大麦：ファイバースノウ　大豆：里のほほえみ

（農試　次世代技術研究部　生産環境研究Ｇ）

## （11）ブロッコリー

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 花蕾腐敗病 | ﾏｽﾀﾋﾞｰｽ水和剤 | ｼｭｰﾄﾞﾓﾅｽ ﾛﾃﾞｼｱ水和剤 | 「-（生）」 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 黒腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾖﾈﾎﾞﾝ水和剤 | ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｽﾙﾎﾝ酸銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 4回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 軟腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 根こぶ病 | ｵﾗｸﾙ粉剤 | ｱﾐｽﾙﾌﾞﾛﾑ粉剤 | 21 | | 20kg/10a | | 定植前 | 作条土壌混和 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 30kg/10a | | 定植前 | 全面土壌混和 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ水和剤 | 21 | | 2000倍 | 250mL/株 | 収穫14日前まで | 株元灌注 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 500倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(30×60cm、使用土壌約2.5～7ﾘｯﾄﾙ)当り2ﾘｯﾄﾙ | 定植前日～当日 | 灌注 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ｱｵﾑｼ | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾊｸｻｯﾌﾞ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾞﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾞﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 0.5～1g/株 | | 定植前日～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 1g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾞﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 0.5～1g/株 | | 定植前日～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 1g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ｺﾅｶﾞ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 32倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 64倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾅｶﾞ | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300㍍/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾟｾﾘ、えごま(葉)を除く) |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 100～300㍍/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4㍑)当り0.5㍑ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 0.5～1g/株 | | 定植前日～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 1～2g/株 | | 定植時 | 植穴土壌混和 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | 収穫30日前まで | 土壌混和 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2㍑/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 32倍 | 3.2㍑/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 6kg/10a(2g/株) | | 定植時 | 株元散布 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 6kg/10a(2g/株) | | 定植時 | 株元散布 | 1回 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300㍍/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |

## （12）かぶ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 根こぶ病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ | TPN粉剤 | M5 | | 20～40kg/10a | | は種前 | 作条施用土壌混和 | 1回 | かぶ |
| | ﾈﾋﾞｼﾞﾝ粉剤 | ﾌﾙｽﾙﾌｧﾐﾄﾞ粉剤 | 36 | | 20kg/10a | | は種又は定植前 | 作条土壌混和 | 1回 | かぶ |
| | | | | | 30kg/10a | | は種又は定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | かぶ |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ粉剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ粉剤 | 29 | | 30～40kg/10a | | は種又は定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | かぶ |
| ｱｵﾑｼ | ﾄｱﾛｰﾌﾛｱﾌﾞﾙCT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | | 発生初期 但し 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤50 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | かぶ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | かぶ |
| ｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | かぶ |
| ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ | ﾊﾁﾊﾁ乳剤 | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*) | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 1回 | かぶ |
| | ﾌｫｰｽ粒剤 | ﾃﾌﾙﾄﾘﾝ粒剤 | 3A | 劇 | 4kg/10a | | は種時 | 播溝土壌混和 | 1回 | かぶ |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 1回 | かぶ |
| ｺﾅｶﾞ | ﾄｱﾛｰﾌﾛｱﾌﾞﾙCT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | | 発生初期 但し 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ﾊﾁﾊﾁ乳剤 | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*) | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 1回 | かぶ |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾞｾﾘ、えごま(葉)を除く) |

## （13）だいこん

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 亀裂褐変症(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ﾊﾟｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾟﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ粉剤DL | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ粉剤 | U18 | | 20kg/10a | | 収穫7日前まで | 株元散布 | 4回以内 | だいこん |
| 黒斑細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 白さび病 | ﾋﾟｼﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞｶﾙﾌﾞﾄﾗｿﾞｸｽ水和剤 | U17 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 8倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| 軟腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｽﾀｰﾅ水和剤 | ｵｷｿﾘﾆｯｸ酸水和剤 | 31 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 5回以内 | だいこん |
| | ﾊﾞｲｵｷｰﾊﾞｰ水和剤 | 非病原性ｴﾙﾋﾞﾆｱ ｶﾛﾄﾎﾞｰﾗ水和剤 | 「-（生）」 | | 500～2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類(かぼちゃ、ｽﾞｯｷｰﾆを除く) |
| ﾜｯｶ症 | ﾋﾟｼﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞｶﾙﾌﾞﾄﾗｿﾞｸｽ水和剤 | U17 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 8倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| ｱｵﾑｼ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾊｸｻｯﾌﾞ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ･ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫35日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｿﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～4kg/10a | | は種前 | 作条散布 | 1回 | だいこん |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～4kg/10a | | は種前 | 作条散布 | 1回 | だいこん |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 6回以内 | だいこん |
| ｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｿﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｿﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾌｫｰｽ粒剤 | ﾃﾌﾙﾄﾘﾝ粒剤 | 3A | 劇 | 4～9kg/10a | | は種時 | 播溝土壌混和 | 1回 | だいこん |
| | | | | | 6～9kg/10a | | は種時 | 全面土壌混和 | 1回 | だいこん |
| | | | | | 6kg/10a | | 収穫14日前まで | 株元散布 | 1回 | だいこん |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾅｶﾞ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～1500倍 | 100～300㍉/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾟｾﾘ､えごま(葉)を除く) |
| | ﾄﾙﾈｰﾄﾞｴｰｽDF | ｲﾝﾄﾞｷｻｶﾙﾌﾞ水和剤 | 22A | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 100～300㍉/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾌﾟﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2㍑/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 32倍 | 3.2㍑/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾞﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| ﾀﾞｲｺﾝﾊﾑｼ | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉剤 | 1B | | 6kg/10a | | は種時 | 土壌表面散布土壌混和処理 | 1回 | だいこん |
| | ﾃﾞﾅﾎﾞﾝ5%ﾍﾞｲﾄ | NAC粒剤 | 1A | | 3～6kg/10a | | 収穫30日前まで | 株元散布 | 4回以内 | だいこん |
| | ﾈｷﾘｴｰｽK | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粒剤 | 1B | | 3kg/10a | | は種時又は定植時 | 土壌表面株元処理 | 1回 | だいこん |
| ﾈｸﾞｻﾚｾﾝﾁｭｳ | ﾈﾏｸﾘｰﾝ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "｢-｣(I*) | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | だいこん |
| | ﾋﾞｰﾗﾑ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "｢-｣(I*) | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | だいこん |
| ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | ﾈﾏｸﾘｰﾝ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "｢-｣(I*) | | 20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | だいこん |
| | ﾋﾞｰﾗﾑ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "｢-｣(I*) | | 20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | だいこん |
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾄﾙﾈｰﾄﾞｴｰｽDF | ｲﾝﾄﾞｷｻｶﾙﾌﾞ水和剤 | 22A | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾟﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾞﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | だいこん |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾊｸｻｯﾌﾟ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ･ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫35日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾌｨｰﾙﾄﾞﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞｸﾛﾒｼﾞﾁｱｽﾞ水和剤 | 4E | | 4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | だいこん |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾞﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 4000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |
| | | | | | 20倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | だいこん |
| | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | だいこん |

## （14）はくさい

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **黒斑病** | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| **軟腐病** | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｽﾀｰﾅ水和剤 | ｵｷｿﾘﾆｯｸ酸水和剤 | 31 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| | ﾊﾞｲｵｷｰﾊﾞｰ水和剤 | 非病原性ｴﾙﾋﾞﾆｱ ｶﾛﾄﾎﾞｰﾗ水和剤 | 「-（生）」 | | 500～2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類(かぼちゃ､ｽﾞｯｷｰﾆを除く) |
| | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5 | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ液剤 | U18 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| **根くびれ病** | ﾀﾞｺｿﾞｲﾙ | TPN粉剤 | M5 | | 30～40kg/10a | | は種又は定植前 | 作条施用土壌混和 | 1回 | はくさい |
| **根こぶ病** | ﾀﾞｺｿﾞｲﾙ | TPN粉剤 | M5 | | 10g/植穴1穴 | | は種又は定植前 | 植穴処理土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 30～40kg/10a | | は種又は定植前 | 全面施用土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 30kg/10a | | は種又は定植前 | 作条施用土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | ﾈﾋﾞｼﾞﾝ粉剤 | ﾌﾙｽﾙﾌｧﾐﾄﾞ粉剤 | 36 | | 20～30kg/10a | | は種又は定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 20kg/10a | | は種又は定植前 | 作条土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ粉剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ粉剤 | 29 | | 15～20kg/10a | | は種又は定植前 | 作条土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 30～40kg/10a | | は種又は定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ水和剤 | 21 | | 2000倍 | 250mL/株 | 収穫14日前まで | 株元灌注 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 500倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(30×60cm､使用土壌約2.5～7ﾘｯﾄﾙ)当り2ﾘｯﾄﾙ | 定植前日～当日 | 灌注 | 1回 | はくさい |
| **白斑病** | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 2000～3000倍 | 100～300mL/㎡ | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | | | | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| **べと病** | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| **ｱｵﾑｼ** | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | はくさい |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | はくさい |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | はくさい |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | はくさい |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | はくさい |
| | ﾊｸｻｯﾌﾟ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | はくさい |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | はくさい |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | はくさい |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱｵﾑｼ | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ｸﾞﾗﾑ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | はくさい |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1500～2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | はくさい |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | はくさい |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1500倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | はくさい |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | はくさい |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ｸﾞﾗﾑ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | はくさい |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 1000～3000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | はくさい |
| ｺﾅｶﾞ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | はくさい |
| | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～1500倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | ﾄｱﾛｰﾌﾛｱﾌﾞﾙCT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | | 発生初期 但し 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ｸﾞﾗﾑ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | はくさい |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | はくさい |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉剤 | 1B | | 6kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌表面散布土壌混和 | 1回 | はくさい |
| | ﾃﾞﾅﾎﾞﾝ5%ﾍﾞｲﾄ | NAC粒剤 | 1A | | 3～6kg/10a | | 収穫21日前まで | 株元散布 | 3回以内 | はくさい |
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 | はくさい |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｸﾛﾙﾌﾙｱｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | はくさい |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1500倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | はくさい |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | はくさい |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1500倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 1回 | はくさい |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 定植時 | 植穴処理 | 1回 | はくさい |
| | ﾊｸｻｯﾌﾟ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・ﾏﾗｿﾝ水和剤 | 1B,3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | はくさい |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | はくさい |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | はくさい |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾐﾘﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | はくさい |

## （15）非結球あぶらな科葉菜類

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 白斑病 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 1回 | 非結球あぶらな科葉菜類(みずな､ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| 根こぶ病 | ｵﾗｸﾙ粉剤 | ｱﾐｽﾙﾌﾞﾛﾑ粉剤 | 21 | | 20～30kg/10a | | は種前又は定植前 | 全面土壌混和 | 2回以内 | 非結球あぶらな科葉菜類 |
| ｱｵﾑｼ | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾞｾﾘ､えごま(葉)を除く) |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粒剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粒剤 | 4A | | 6kg/10a | | は種時 | 播溝土壌混和 | 1回 | 非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| | ｽﾀｰｸﾙ粒剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粒剤 | 4A | | 6kg/10a | | は種時 | 播溝土壌混和 | 1回 | 非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粒剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粒剤 | 4A | | 6kg/10a | | は種時 | 播溝土壌混和 | 1回 | 非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| | ｽﾀｰｸﾙ粒剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ粒剤 | 4A | | 6kg/10a | | は種時 | 播溝土壌混和 | 1回 | 非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| | ﾌｫｰｽ粒剤 | ﾃﾌﾙﾄﾘﾝ粒剤 | 3(A) | 劇 | 4kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | 非結球あぶらな科葉菜類(からしなを除く) |
| ｺﾅｶﾞ | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | 非結球あぶらな科葉菜類(こまつな､ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ､なばな類を除く) |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾞｾﾘ､えごま(葉)を除く) |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | 非結球あぶらな科葉菜類(こまつな､ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ､なばな類を除く) |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11(A) | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾞｾﾘ､えごま(葉)を除く) |

## （16）ほうれんそう

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾞﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 1000倍 | - | は種前 | 24時間種子浸漬 | 1回 | ほうれんそう |
| | | | | | 200倍 | - | は種前 | 1時間種子浸漬 | 1回 | ほうれんそう |
| | | | | | 750～1500倍 | 3ｋｇ/㎡ | は種時～子葉展開時 | 土壌灌注 | 1回 | ほうれんそう |
| | | | | | 種子重量の0.4% | - | は種前 | 種子粉衣 | 1回 | ほうれんそう |
| べと病 | ﾋﾞｼﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞｶﾙﾌﾞﾄﾗｿﾞｸｽ水和剤 | U17 | | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ほうれんそう |
| | ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ水和剤 | ｼﾞﾒﾄﾓﾙﾌ水和剤 | 40 | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ほうれんそう |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ほうれんそう |
| ｼﾛｵﾋﾞﾉﾒｲｶﾞ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ほうれんそう |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ほうれんそう |
| ﾎｳﾚﾝｿｳｹﾅｶﾞｺﾅﾀﾞﾆ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ほうれんそう |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 4000～6000倍 | 100～300ｇ/10a | 2葉期まで 但し､収穫14日前まで | 散布 | 1回 | ほうれんそう |
| | ｺﾃﾂﾍﾞｲﾄ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ粒剤 | 13 | | 3～6kg/10a | | は種時～2葉期まで 但し、収穫14日前まで | 全面土壌散布 | 1回 | ほうれんそう |
| ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ほうれんそう |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 1回 | ほうれんそう |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ほうれんそう |

# ホウレンソウケナガコナダニの総合的防除

ホウレンソウケナガコナダニ（以下「コナダニ」）の防除は、化学農薬の散布が一般的であるが、ホウレンソウに登録のある農薬は少なく、生育後半には使用できないため、農薬散布に代わる耕種的防除技術を導入した総合的防除体系を実践する。

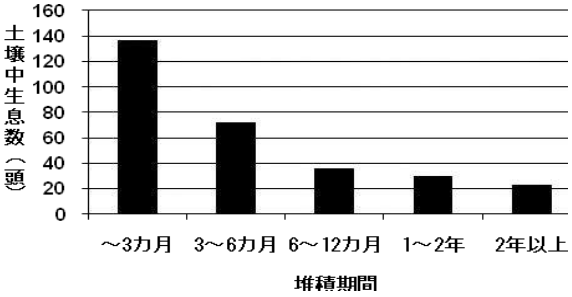



図１　堆肥の堆積期間と施用後のコナダニの生息数

## １　完熟堆肥の施用

１年以上堆積した完熟堆肥は、施用後のコナダニの生息数の増加を低く抑えることができる。

堆積期間が３ヵ月未満の未熟な堆肥を施用するとコナダニの生息数が増加するので使用しない。（図１）

## ２　品種の選定

開張性の品種は株間の湿度が高くなり、コナダニの生育数が増加する。コナダニの被害発生には、品種間差が大きい。

発芽揃いが良く、草姿が立性の品種を使用すると、被害を低く抑えることができる。（表１）

表１　主要品種のコナダニによる被害発生状況

| 品種名 | 草姿 | は種７日後発芽率(%) | 収穫時の被害株率(%) |
|---|---|---|---|
| アクティオン | 開張性 | 37.8 | 23.0 |
| トリトン | 開張性 | 78.6 | 14.2 |
| リード | 半立性 | 45.2 | 20.8 |
| アンナ | 半立性 | 76.4 | 9.4 |
| ミラージュ | 立性 | 82.4 | 4.2 |
| トラッド７ | 立性 | 86.8 | 4.4 |
| クロノス | 立性 | 82.0 | 3.0 |

## ３　水管理による防除

土壌タイプでは、砂壌土の方が水持ちの良い粘質土より被害の発生が多くなる。

コナダニは、土壌が乾燥するとホウレンソウに移動し被害を出す。かん水チューブを２列間隔で下向きに設置し、収穫７日前まで土壌表面だけが湿る程度の少量かん水を続けることで、コナダニの土壌中からホウレンソウ株への移動を減らし、被害を抑制することができる。（表２）

表２　土壌タイプおよび灌水方法とコナダニの被害の発生

| 処理区 | 土壌中の生息密度（頭） | | 収穫時の被害株率(%) | 収穫時の草丈(cm) |
|---|---|---|---|---|
| | は種前 | 収穫期 | | |
| 慣行(砂壌土) | 19.8 | 78.0 | 19.2 | 28.7 |
| 慣行(粘質土) | 18.2 | 39.2 | 8.0 | 32.6 |
| かん水多(砂壌土) | 18.4 | 27.6 | 7.2 | 33.9 |
| かん水チューブ下向き | 19.2 | 24.8 | 5.2 | 31.0 |

## ４　播種直前の土壌中のコナダニの生息密度と防除の目安

福井県農業試験場で開発した簡易な土壌中生息密度計測法（※）による生息密度が５頭以上の場合、収穫時の被害株率は約10%となり化学農薬による防除が必要である（図２）。播種前の土壌中のコナダニの生息密度を調査することによって、防除の要否を判断することができる。

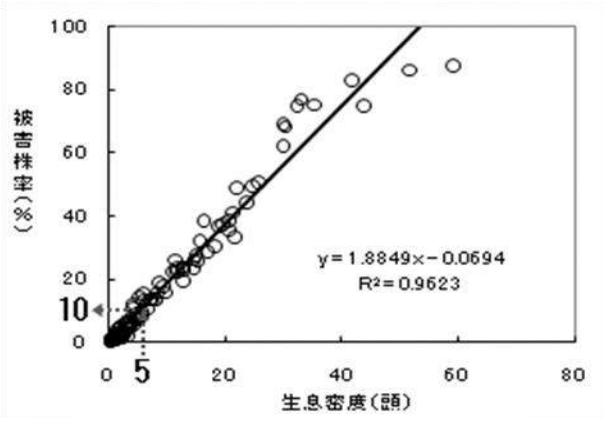



図２　土壌中のコナダニの生息密度と被害の関係

## ５　化学的防除の効果の向上

殺虫剤を散布する際、機能性展着剤であるアプローチＢＩを添加すると土壌中のコナダニの死虫率が高くなり、防除効果が向上する。

### ※コナダニの簡易な土壌中生息密度計測法

１）土200g[注1)]を採取し、チャック式ビニール袋に入れ、平らに広げる。
２）シール式耐水紙（直径５cm の円形に切り取る）の粘着面に乾燥酵母を均一につけ、酵母面が内側になるように二つに折り（トラップ）、図のように土の上に３枚並べる。
３）新聞紙をかけて室温[注2)]で３日間静置し、ルーペでトラップの内側に集まったコナダニの頭数を数える。トラップ一枚あたり５頭以上で要防除水準である。

注１　土はビニール袋の内側が少し曇ってくる程度の軽い湿りをもたせる。湿りすぎは×。
注２　室温は20～25℃　新聞紙は暗くするためにかける。

図

## （17）ねぎ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 萎凋病 | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 100倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ｸﾞﾗﾑ | 定植前 | 苗床灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm､使用土壌約5ﾘｯﾄﾙ)当り1ｸﾞﾗﾑ | 定植前 | 苗床灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 50倍 | - | 定植直前 | 5～30分間苗根部浸漬 | 1回 | ねぎ |
| 黒腐菌核病 | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 1000倍 | 1L/㎡ | 収穫21日前まで | 株元灌注 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 3000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| 黒斑病 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ･ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ･ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 600倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| さび病 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 16倍 | 1.6ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | ｵﾝﾘｰﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 1000倍 | 150～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 16倍 | 2.4～3.2ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 8倍 | 1.6ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｼﾞｵｾﾞｯﾄ水和剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*) | | 1000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ･ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ･ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 600倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 20倍 | 1.6ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 25倍 | 2.0ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 40倍 | 3.2ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞｼﾞｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ･TPN水和剤 | 7,M5 | | 1000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 16倍 | 1.6ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾒｼﾞｬｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟｺｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾗﾘｰ水和剤 | ﾐｸﾛﾌﾞﾀﾆﾙ水和剤 | 3 | | 2000倍 | 150～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| 小菌核病 | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| 小菌核腐敗病 | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 白絹病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 1000～2000倍 | 1㍑/㎡ | 生育期 但し、収穫14日前まで | 株元灌注 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ｼﾞｵｾﾞｯﾄ水和剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*) | | 500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾃﾞｨ・ﾄﾗﾍﾟｯｸｽ油剤 | ﾒﾁﾙｲｿﾁｵｼｱﾈｰﾄ・D-D油剤 | 8A,8F | 劇 | 30～40㍑/10a | | は種又は植付の14日前まで | 圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にｶﾞｽ抜き作業を行う。 | 1回 | ねぎ |
| | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 1000倍 | 1L/㎡ | 収穫21日前まで | 株元灌注 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞｼﾞｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ・TPN水和剤 | 7,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 16倍 | 1.6㍑/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾓﾝｶｯﾄ粒剤 | ﾌﾙﾄﾗﾆﾙ粒剤 | 7 | | 4～6kg/10a | | 土寄せ時 但し、収穫30日前まで | 株元散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | ﾓﾝｶﾞﾘｯﾄ粒剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ粒剤 | 3 | | 4～6kg/10a | | 土寄せ時 但し、収穫14日前まで | 株元散布 | 3回以内 | ねぎ |
| 軟腐病 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | ﾌﾟﾛﾍﾞﾅｿﾞｰﾙ粒剤 | P2 | | 6kg/10a | | 土寄せ時 但し、収穫30日前まで | 株元散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾖﾈﾎﾟﾝ水和剤 | ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｽﾙﾎﾝ酸銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ねぎ |
| 葉枯病 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 16倍 | 1.6㍑/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾌﾞﾛﾎﾞｰｽﾞ顆粒水和剤 | ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾟﾙ・TPN水和剤 | 40,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| べと病 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 16倍 | 1.6㍑/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 600倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾋﾞｼﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞｶﾙﾌﾞﾄﾗｿﾞｸｽ水和剤 | U17 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | 鱗茎類 |
| | ﾌﾞﾛﾎﾞｰｽﾞ顆粒水和剤 | ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾟﾙ・TPN水和剤 | 40,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 16倍 | 1.6㍑/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 32倍 | 3.2㍑/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞｼﾞｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ・TPN水和剤 | 7,M5 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 16倍 | 1.6㍑/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾘﾄﾞﾐﾙｺﾞｰﾙﾄﾞMZ | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | "UN(I*),4 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| ｱｻﾞﾐﾏ類 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤<br>ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 1000倍 | 1㍑/㎡ | 生育期 但し、収穫14日前まで | 株元灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 400倍 | 0.4㍑/㎡ | 生育期 但し、収穫14日前まで | 株元灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 50倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0㍑)当り0.5㍑ | 定植前日～定植時 | 灌注 | 1回 | ねぎ |
| | ｱﾍﾞﾝｼﾞﾔｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ<br>ﾌｧｲﾝｾｰﾌﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾛﾒｷｷﾝ水和剤 | 34 | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ乳剤 | 30 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 700～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 48倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | | | | | 96倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾊﾁﾊﾁ乳剤 | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*) | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾌﾞﾘﾛｯｿ粒剤ｵﾒｶﾞ | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28 | | 6kg/10a | | 収穫前日まで | 株元散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 0.5ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 収穫7日前まで | 株元灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ねぎ |
| ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | ねぎ |
| | ﾌﾞﾘﾛｯｿ粒剤ｵﾒｶﾞ | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28 | | 6kg/10a | | 収穫前日まで | 株元散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 0.5ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 収穫7日前まで | 株元灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ねぎ |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 5～8kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | ねぎ |
| ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り40g | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ねぎ |
| | ｳﾗﾗDF | ﾌﾛﾆｶﾐﾄﾞ水和剤 | 29 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 32倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 64倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 20倍 | 2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | ねぎ |
| | ﾘｰﾌｶﾞｰﾄﾞ顆粒水和剤 | ﾁｵｼｸﾗﾑ水和剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| ﾈｷﾞﾕｶﾞ | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ乳剤 | 30 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾌﾞﾘﾛｯｿ粒剤ｵﾒｶﾞ | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28 | | 6kg/10a | | 収穫前日まで | 株元散布 | 3回以内 | ねぎ |
| ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ・ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28,4A | | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り40g | | 育苗期後半～定植当日 | 株元散布 | 1回 | ねぎ |
| | ｱﾍﾞﾝｼﾞｬｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ ﾌｧｲﾝｾｰﾌﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾛﾒﾄｷﾝ水和剤 | 34 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 32倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 64倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 「-」,5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | 鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く) |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾘｰﾌｶﾞｰﾄﾞ顆粒水和剤 | ﾁｵｼｸﾗﾑ水和剤 | 14 | 劇 | 1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| ﾈｷﾞﾆ類 | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 500～1000倍 | 1～3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 収穫14日前まで | 株元灌注 | 1回 | ねぎ |
| | ﾗｸﾞﾋﾞｰMC粒剤 | ｶｽﾞｻﾎｽﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ剤 | 1B | | 20kg/10a | | 定植前 | 全面処理土壌混和 | 1回 | ねぎ |
| ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | ﾌﾙｷｻﾒﾀﾐﾄﾞ乳剤 | 30 | | 2000～3000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ねぎ |
| | ﾌﾞﾘﾛｯｿ粒剤ｵﾒｶﾞ | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ粒剤 | 28 | | 6kg/10a | | 収穫前日まで | 株元散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 0.5ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 収穫7日前まで | 株元灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ねぎ |
| | ﾐﾈｸﾄﾃﾞｭｵ粒剤 | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ・ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ粒剤 | 28,4A | | 6kg/10a | | 収穫3日前まで | 株元散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 6kg/10a | | 定植時 | 作条散布 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 6kg/10a | | 定植時 | 植溝土壌混和 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り40g | | 育苗期後半 | 散布 | 1回 | ねぎ |
| | ﾖｰﾊﾞﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 200倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm､使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ)当り0.5ﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ねぎ |
| | | | | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | ねぎ |
| | | | | | 25倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | ねぎ |
| 展着剤 | ﾄﾞﾗｲﾊﾟｰ | 展着剤 | | | 2～10mL/散布液10ﾘｯﾄﾙ(1000～5000倍) | | | 添加 | | 野菜類 |

## （18）たまねぎ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒斑病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| 白色疫病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| | ﾍﾞﾄﾌｧｲﾀｰ顆粒水和剤 | ｼﾓｷｻﾆﾙ・ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾞﾙ水和剤 | 27,40 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | たまねぎ |
| | ﾘﾄﾞﾐﾙｺﾞｰﾙﾄﾞMZ | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | "UN(I*),4 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | たまねぎ |
| べと病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| | | | | | 8倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 無人航空機による散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| | ﾍﾞﾄﾌｧｲﾀｰ顆粒水和剤 | ｼﾓｷｻﾆﾙ・ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾞﾙ水和剤 | 27,40 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | たまねぎ |
| | ﾘﾄﾞﾐﾙｺﾞｰﾙﾄﾞMZ | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | "UN(I*),4 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | たまねぎ |
| 灰色かび病 | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾟﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| | | | | | 16倍 | 2.4ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 6回以内 | たまねぎ |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | たまねぎ |
| 軟腐病 | ﾖﾈﾎﾞﾝ水和剤 | ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｽﾙﾎﾝ酸銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | たまねぎ |
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 700～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | たまねぎ |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | たまねぎ |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 5～8kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | たまねぎ |
| ﾀﾏﾈｷﾞﾊﾞｴ | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 3～5kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | たまねぎ |
| ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | たまねぎ |

## （19）らっきょう

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 乾腐病 | ﾃﾞｨ･ﾄﾗﾍﾞｯｸｽ油剤 | ﾒﾁﾙｲｿﾁｵｼｱﾈｰﾄ･D-D油剤 | 8A,8F | 劇 | 30～40ﾘｯﾄﾙ/10a | | は種又は植付の21日前まで | 圃場を耕起･整地した後､所定量を深さ約12～15cmに注入し､直ちに覆土･鎮圧する。薬剤処理7～14日後にｶﾞｽ抜き作業を行う。 | 1回 | らっきょう |
| | ﾄﾘﾌﾙﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 50倍 | - | 植付前 | 5～30分間種球浸漬 | 1回 | らっきょう |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ･ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,M3 | | 200倍 | - | 植付前 | 30分間種球浸漬 | 1回 | らっきょう |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 500倍 | - | 植付直前 | 30分間種球浸漬 | 1回 | らっきょう |
| 白色疫病 | ﾌｫﾘｵｺﾞｰﾙﾄﾞ | ﾒﾀﾗｷｼﾙM･TPN水和剤 | 4,M5 | | 1000倍 | 100～400ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | らっきょう |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ水和剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 5回以内 | らっきょう |
| | ﾍﾞﾄﾌｧｲﾀｰ顆粒水和剤 | ｼﾓｷｻﾆﾙ･ﾍﾟﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾟﾙ水和剤 | 27,40 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | らっきょう |
| さび病 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | らっきょう |
| 灰色かび病 | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ水和剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 5回以内 | らっきょう |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 3回以内 | らっきょう |
| ﾈｷﾞﾆ | ﾈﾏﾄﾘﾝｴｰｽ粒剤 | ﾎｽﾁｱｾﾞｰﾄ粒剤 | 1B | | 15kg/10a | | 植付前 | 植溝土壌混和 | 1回 | らっきょう |
| ﾈｷﾞﾆ類 | ﾄｸﾁｵﾝ細粒剤F | ﾌﾟﾛﾁｵﾎｽ粉粒剤 | 1B | | 6kg/10a | | 定植時 | 植溝土壌混和 | 1回 | らっきょう |
| | ﾌｫｰｽ粒剤 | ﾃﾌﾙﾄﾘﾝ粒剤 | 3A | 劇 | 6～9kg/10a | | 収穫14日前まで | 株元散布 | 1回 | らっきょう |
| | | | | | 9kg/10a | | 定植前 | 植溝土壌混和 | 1回 | らっきょう |
| | | | | | 9kg/10a | | 定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | らっきょう |

# かき殻石灰でラッキョウのネダニを防除

土壌中に生息するネダニ類は、ラッキョウの子球を加害する最も重要な害虫です。本県のラッキョウは栽培期間が３年に及び、被害を受け易いため、化学的防除を補完する耕種的防除法と土壌中の生息数調査法を確立しました。

## １　かき殻石灰施用によるネダニ類の発生抑制

かき殻石灰を基肥に 200kg/10a、追肥時に 100kg/10a 施用すると、慣行（苦土石灰 100kg/10a）に比べ、ネダニ類が増殖しやすい栽培期間後半まで土壌 pH を高く維持できます（図１）。それにより、収穫前の子球に寄生したネダニ類の数は約 30%に減少します。また、初期生育が良くなるうえ、分球数と反収が増加します（表１）。

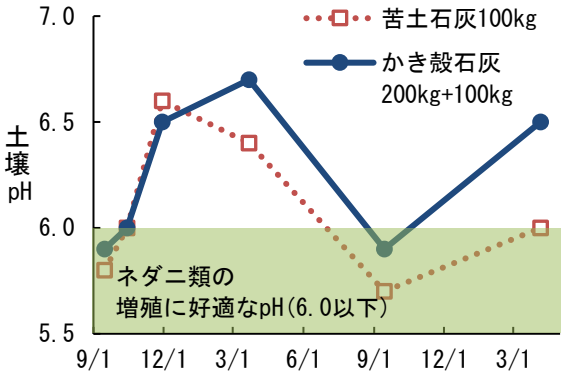



図１　土壌 pH の推移

## ２　ネマキック粒剤の併用による防除効果の向上

越冬後（３月下旬）から収穫前（６月上旬）にかけての土壌中のネダニ類の増殖率は、無処理を 100 とすると、慣行（苦土石灰＋ネマキック粒剤）は 16、かき殻石灰とネマキック粒剤を施用すると５で、無処理に比べ高い防除効果が得られます（図２）。

※ネマキック粒剤は有効期限を遵守して使用してください。

表１　石灰資材と被害・収量の比較

| | 寄生数（頭/球） | 10 球重（g） | 分球数（個/株） | 反収（kg/10a） |
|---|---|---|---|---|
| かき殻石灰 | 0.88 | 46.8 | 30.9 | 2,741 |
| 苦土石灰 | 2.81 | 57.9 | 19.7 | 2,174 |

（栽植密度：19,000 株/10a）

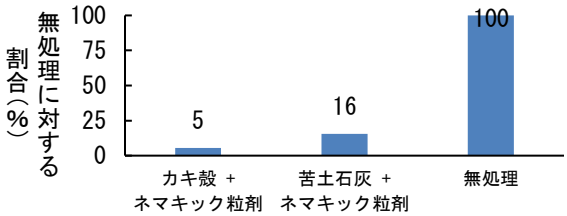



図２　土壌中のネダニ類の増殖率

## ３　簡易なネダニ類生息密度の調査法

土壌を 200g 採取し、耐水紙にオニオンパウダーを付着させたトラップを３枚設置することにより、土壌中のネダニ類の捕獲効率は 71.2%で、従来の調査法（ツルグレン法）での 10～15%に比べ高まりました。越冬後の調査は、収穫前のネダニ類の生息数と高い相関がみられるので、簡易で精度の高い調査法として利用できます（図３）。越冬後に土壌 200g あたり３頭捕獲されると、収穫前の寄生数は１球あたり約２頭になり、約 10%収量が低下する恐れがあるので、防除が必要です。

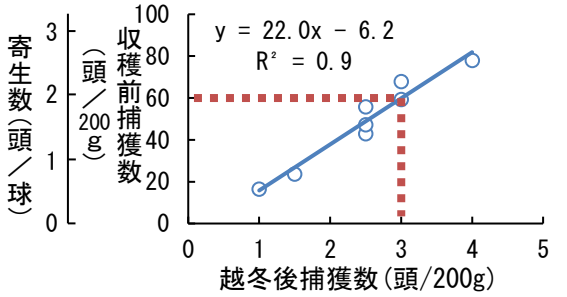



図３　土壌中のネダニ類の生息密度

## 〔技術の効果およびコスト〕

表２　かき殻石灰を施用した場合の収益（10a あたり）

| | かき殻石灰 | 慣行（苦土石灰） | 備考 |
|---|---|---|---|
| 収量 | 1,673 kg | 1,327 kg | ラッキョウ単価 205 円/kg |
| 粗収益 | 343,036 円 | 272,035 円 | |
| 防除薬剤経費 | 27,400 円 | 31,200 円 | ネマキック粒剤施用回数 慣行：2 回、かき殻：1 回 |
| 石灰資材経費 | 13,950 円 | 2,950 円 | かき殻石灰 930 円/20kg、200kg 施用<br>苦土石灰 590 円/20kg、100kg 施用 |
| 粗収益−資材経費 | 301,686 円 | 237,885 円 | |

慣行収量（H25～29 平均）、ラッキョウ単価、石灰資材経費は三里浜特産農協からの聞き取り（R1 実績）

（農試　次世代技術研究部　生産環境研究Ｇ）

## （20）にんにく

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **さび病** | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | にんにく |
| | | | | | 20倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんにく |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 3回以内 | にんにく |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ｸﾞﾗﾑ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | にんにく |
| | | | | | 8倍 | 0.8ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんにく |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんにく |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんにく |
| **葉枯病** | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 6回以内 | にんにく |
| **春腐病** | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | にんにく |

## （21）レタス・非結球レタス

### レタス

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 菌核病 | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾟﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000～2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500～2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| | | | | | 1500倍 | 1.5ｇ/㎡ | 収穫45日前まで | 灌注 | 1回 | ﾚﾀｽ |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 2000～3000倍 | 100～300mL/㎡ | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ﾚﾀｽ |
| | | | | | 2000～3000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾚﾀｽ |
| 黒腐病 | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| すそ枯病 | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 1500倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5 | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ液剤 | U18 | | 800倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ粉剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ粉剤 | 29 | | 30kg/10a | | は種又は定植前 | 全面土壌混和 | 1回 | ﾚﾀｽ |
| 軟腐病 | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ｇ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| 灰色かび病 | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | ﾌﾟﾛｼﾐﾄﾞﾝ水和剤 | 2 | | 1000～2000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000～1500倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾚﾀｽ |
| 腐敗病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～800倍 | 100～300ｇ/10a | - | 散布 | - | ﾚﾀｽ |
| べと病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | ﾚﾀｽ |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ｶﾘｯﾄﾙ)当り0.5ｶﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾚﾀｽ |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｶﾙﾎｽ微粒剤F | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉粒剤 | 1B | 劇 | 6kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌表面散布土壌混和 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｲｿｷｻﾁｵﾝ粉剤 | 1B | | 6kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌表面散布土壌混和 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | は種時又は植付時 | 土壌混和 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |
| | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 400倍 | ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾞｰﾊﾞｰﾎﾞｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4ｶﾘｯﾄﾙ)当り0.5ｶﾘｯﾄﾙ | 育苗期後半～定植当日 | 灌注 | 1回 | ﾚﾀｽ |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ｇ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 2回以内 | ﾚﾀｽ |

### 非結球レタス

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ｇ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 軟腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～1000倍 | 100～300ｇ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 腐敗病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～800倍 | 100～300ｇ/10a | - | 散布 | - | 非結球ﾚﾀｽ |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤5 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6kg/10a | | は種時又は定植時 | 全面土壌混和又は作条土壌混和 | 2回以内 | 非結球ﾚﾀｽ |

## （22）にんじん

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒葉枯病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 16倍 | 3.2㍑/10a | - | 無人航空機による散布 | - | にんじん |
| | | | | | 500～800倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | にんじん |
| | ｺｻｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 1000倍 | | - | 散布 | - | にんじん |
| | ｼｸﾞﾅﾑWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 2回以内 | にんじん |
| | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水和剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水和剤 | "「-」(I*) | | 500倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | にんじん |
| 軟腐病 | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｽﾀｰﾅ水和剤 | ｵｷｿﾘﾆｯｸ酸水和剤 | 31 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | にんじん |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | にんじん |
| ｷｱｹﾞﾊ | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | にんじん |
| | | | | | 40倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんじん |
| | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | にんじん |
| ﾈｸﾞｻﾚｾﾝﾁｭｳ | ﾈﾏｷｯｸ粒剤 | ｲﾐｼｱﾎｽ粒剤 | 1B | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | にんじん |
| | ﾈﾏｸﾘｰﾝ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "「-」(I*) | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | にんじん |
| | ﾋﾟｰﾗﾑ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "「-」(I*) | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | にんじん |
| ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | ﾈﾏｸﾘｰﾝ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "「-」(I*) | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | にんじん |
| | ﾋﾟｰﾗﾑ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "「-」(I*) | | 10～20kg/10a | | は種前 | 全面土壌混和 | 1回 | にんじん |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | にんじん |
| | | | | | 40倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんじん |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | にんじん |
| ﾋｮｳﾀﾝｿﾞｳﾑｼ類 | ｱｸｾﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾀﾌﾙﾐｿﾞﾝ水和剤 | 22B | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | にんじん |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 2回以内 | にんじん |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 4000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | にんじん |
| | | | | | 40倍 | 1～2㍑/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | にんじん |
| | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | ﾒｿﾐﾙ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | にんじん |

## （23）未成熟そらまめ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 赤色斑点病 | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | 未成熟そらまめ |
| 輪紋病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 3回以内 | 未成熟そらまめ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | 未成熟そらまめ |
| | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | 未成熟そらまめ |

## （24）えだまめ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 茎疫病 | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| 黒根腐病 | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| 紫斑病 | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| 苗立枯病(ﾋﾞｼｳﾑ菌) | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| ｶﾒﾑｼ類 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | えだまめ |
| | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | えだまめ |
| | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | えだまめ |
| ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | えだまめ |
| | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | えだまめ |
| ﾀﾈﾊﾞｴ | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | えだまめ |
| | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | えだまめ |
| | ｸﾙｰｻﾞｰFS30 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水和剤 | 4A | | 乾燥種子1kg当り原液6mL | | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| | ｸﾙｰｻﾞｰMAXX | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ・ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ・ﾒﾀﾗｷｼﾙM水和剤 | 12,4,4A | | 原液 | 乾燥種子1kg当り8mL | は種前 | 塗沫処理 | 1回 | えだまめ |
| | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | えだまめ |
| ﾏﾒｼﾝｸｲｶﾞ | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | えだまめ |

（25）とうもろこし

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | とうもろこし |
| | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | とうもろこし |
| ｱﾜﾉﾒｲｶﾞ | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | とうもろこし |
| | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | とうもろこし |
| | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | とうもろこし |
| | ベネビアOD | ｼｱﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000～4000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | 未成熟とうもろこ |
| | | | | | 40倍 | 2～3.2L/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | 未成熟とうもろこ |
| ｱﾜﾖﾄｳ | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 4回以内 | とうもろこし |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ｶﾞｰﾄﾞﾍﾞｲﾄA | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ粒剤 | 3A | | 3kg/10a | | 生育初期 | 株元散布 | 4回以内 | とうもろこし |

## （26）ばれいしょ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 疫病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 16倍 | 3.2ｷﾛ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 5回以内 | ばれいしょ |
| | | | | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 5回以内 | ばれいしょ |
| | | | | | 8倍 | 1.6ｷﾛ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 5回以内 | ばれいしょ |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ水和剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ばれいしょ |
| | | | | | 500倍 | 25ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ばれいしょ |
| | | | | | 800倍 | 40ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ばれいしょ |
| 黒あざ病 | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ粉剤DL | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ粉剤 | U18 | | 種いも重量の0.3% | | 植付前 | 種いも粉衣 | 1回 | ばれいしょ |
| | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤 | ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤 | 14 | | 50～100倍 | - | 貯蔵前又は植付け前 | 種いも浸漬(10分以内) | 1回 | ばれいしょ |
| そうか病 | ｱﾀｯｷﾝ水和剤 | ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,25 | | 40～60倍 | - | 植付前 | 5～10秒間種いも浸漬 | 1回 | ばれいしょ |
| | | | | | 40倍 | 種いも100kg当り2.5～3ﾘｯﾄﾙ | 植付前 | 種いも散布 | 1回 | ばれいしょ |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ粉剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ粉剤 | 29 | | 30～40kg/10a | | 植付前 | 全面土壌混和 | 1回 | ばれいしょ |
| 軟腐病 | ｱｸﾞﾘﾏｲｼﾝ-100 | ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ・ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ水和剤 | 25,41 | | 1000～1600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 5回以内 | ばれいしょ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ばれいしょ |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a(1～2g/株) | | 植付時 | 作条散布 | 1回 | ばれいしょ |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a | | 植付時 | 作条散布 | 1回 | ばれいしょ |
| ｹﾗ | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | 植付前 | 土壌混和 | 1回 | ばれいしょ |
| ﾃﾝﾄｳﾑｼﾀﾞﾏｼ幼虫 | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 2回以内 | ばれいしょ |
| ﾃﾝﾄｳﾑｼﾀﾞﾏｼ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 4回以内 | ばれいしょ |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | 植付前 | 土壌混和 | 1回 | ばれいしょ |

## （27）かんしょ

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒斑病 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,M3 | | 200倍 | - | 植付前 | 30分間苗基部浸漬 | 1回 | かんしょ |
| | | | | | 20倍 | - | 植付前 | 1分間苗基部浸漬 | 1回 | かんしょ |
| | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 500～1000倍 | - | 植付前 | 20～30分間苗基部浸漬 | 1回 | かんしょ |
| | | | | | 種いも重の0.4% | - | 植付前 | 種いも粉衣 | 1回 | かんしょ |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | かんしょ |
| ｺｶﾞﾈﾑｼ類幼虫 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤 | 1B | | 5～10kg/10a | | 作付前及び収穫30日前まで | 土壌混和 | 3回以内 | かんしょ |
| ﾅｶｼﾞﾛｼﾀﾊﾞ | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | かんしょ |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | かんしょ |
| ﾊﾘｶﾞﾈﾑｼ類 | ﾌｫｰｽ粒剤 | ﾃﾌﾙﾄﾘﾝ粒剤 | 3A | 劇 | 9kg/10a | | 植付前 | 全面土壌混和又は作条土壌混和 | 1回 | かんしょ |

## （28）さといも

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 疫病 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | さといも |
| | | | | | 18倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | さといも |
| | ｶﾝﾊﾞﾈﾗ水和剤<br>ﾍﾞﾈｾｯﾄ水和剤 | ﾍﾞﾝﾁｱﾊﾞﾘｶﾙﾌﾞｲｿﾌﾞﾛﾋﾞﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),40 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | さといも |
| | | | | | 16倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | さといも |
| | ｼﾞｰﾌｧｲﾝ水和剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ・銅水和剤 | M1,NC | | 1000倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | さといも |
| | | | | | 15倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | - | さといも |
| | ﾀﾞｲﾅﾓ顆粒水和剤 | ｱﾐｽﾙﾌﾞﾛﾑ・ｼﾓｷｻﾆﾙ水和剤 | 21,27 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 3回以内 | さといも |
| | | | | | 20倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | さといも |
| | | | | | 40倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | さといも |
| | ﾋﾞｼﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞｶﾙﾌﾞﾄﾗｿﾞｸｽ水和剤 | U17 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | さといも |
| | ﾌｼﾞﾄﾞｰL ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | さといも |
| | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ水和剤 | 21 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 2回以内 | さといも |
| | | | | | 16倍 | 1.6ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | さといも |
| | | | | | 32倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | さといも |
| 黒斑病 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | ﾁｳﾗﾑ・ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1,M3 | | 20倍 | - | 植付前 | 1分間種いも浸漬 | 1回 | さといも |
| | | | | | 種いも重量の0.4～0.5% | - | 植付前 | 種いも粉衣 | 1回 | さといも |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ1粒剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 4kg/10a | | 植付時 | 植溝土壌混和 | 1回 | さといも |
| | | | | | 4kg/10a | | 植付時 | 植溝土壌混和 | 1回 | さといも(葉柄) |
| | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 1回 | さといも |
| ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ | ﾋﾞﾗﾆｶEW | ﾃﾌﾞﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*) | 劇 | 2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 1回 | さといも |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 1回 | さといも |
| | ｴﾙｻﾝ粉剤2 | PAP粉剤 | 1B | | 3kg/10a | | 収穫7日前まで | 散布 | 1回 | さといも |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し、収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | さといも |
| | | | | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 3回以内 | さといも(葉柄) |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 散布 | 2回以内 | さといも |
| | | | | | 32倍 | 1.6～3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | さといも |
| | | | | | 64倍 | 3.2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫7日前まで | 無人航空機による散布 | 2回以内 | さといも |
| | ﾌﾞﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | 3回以内 | さといも |
| | | | | | 20倍 | 1～2ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 無人航空機による散布 | 3回以内 | さといも |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫3日前まで | 散布 | 1回 | さといも |
| ﾈｸﾞｻﾚﾈﾝﾁｭｳ | ﾈﾏｷｯｸ粒剤 | ｲﾐｼｱﾎｽ粒剤 | 1B | | 20kg/10a | | 植付前 | 全面土壌混和 | 1回 | さといも |
| | ﾈﾏｸﾘｰﾝ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "「-」(I*) | | 20kg/10a | | 植付前 | 全面土壌混和 | 1回 | さといも |
| | ﾋﾟｰﾗﾑ粒剤 | ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ粒剤 | "「-」(I*) | | 20kg/10a | | 植付前 | 全面土壌混和 | 1回 | さといも |

## （29）やまのいも

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青かび病 | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 200倍 | - | 植付前 | 1～10分間種いも浸漬 | 1回 | やまのいも |
| 炭疽病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 4回以内 | やまのいも |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 6回以内 | やまのいも |
| 葉渋病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400～600倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫21日前まで | 散布 | 4回以内 | やまのいも |
| | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫30日前まで | 散布 | 6回以内 | やまのいも |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | やまのいも |
| ﾔﾏﾉｲﾓﾕｶﾞ | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫14日前まで | 散布 | 3回以内 | やまのいも |

## （30）野菜類

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ｲｵｳﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類(すいか、かぼちゃ、ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄ、ねぎ、わけぎ、あさつき、いちごを除く) |
| | ｲﾝﾌﾞﾚｯｼｮﾝｸﾘｱ | ﾊﾞﾁﾙｽ ｱﾐﾛﾘｸｴﾌｧｼｴﾝｽ水和剤 | BM2 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄを除く) |
| | ｼﾞｰﾌｧｲﾝ水和剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ・銅水和剤 | M1,NC | | 750～1000倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なすを除く) |
| | ﾊｰﾓﾒｲﾄ水溶剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800～1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾎﾞﾄｷﾗｰ水和剤 | ﾊﾞﾁﾙｽ ｽﾞﾌﾞﾁﾘｽ水和剤 | BM2 | | 1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(いちご、ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄ、きゅうり、なすを除く) |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 300～600倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なす、ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄ、しゅんぎくを除く) |
| 褐斑細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| 黒斑細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 黒腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| さび病 | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄを除く) |
| | ﾊｰﾓﾒｲﾄ水溶剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| 白さび病 | ｼﾞｰﾌｧｲﾝ水和剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ・銅水和剤 | M1,NC | | 1000倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なすを除く) |
| 軟腐病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｼﾞｰﾌｧｲﾝ水和剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ・銅水和剤 | M1,NC | | 1000倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なすを除く) |
| | ﾊﾞｲｵｷｰﾊﾟｰ水和剤 | 非病原性ｴﾙﾋﾞﾆｱ ｶﾛﾄﾎﾞｰﾗ水和剤 | 「-（生）」 | | 500～2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類(かぼちゃ、ｽﾞｯｷｰﾆを除く) |
| 灰色かび病 | ｲﾝﾌﾞﾚｯｼｮﾝｸﾘｱ | ﾊﾞﾁﾙｽ ｱﾐﾛﾘｸｴﾌｧｼｴﾝｽ水和剤 | BM2 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄを除く) |
| | ﾊｰﾓﾒｲﾄ水溶剤 | 炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ﾎﾞﾄｷﾗｰ水和剤 | ﾊﾞﾁﾙｽ ｽﾞﾌﾞﾁﾘｽ水和剤 | BM2 | | 1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | - | 野菜類 |
| | | | | | 300g/10a | 6～10ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 常温煙霧 | - | 野菜類 |
| | | | | | 10～15g/10a/日 | | 発病前～発病初期 | ﾀﾞｸﾄ内投入 | - | 野菜類(トマトを除く) |
| 斑点細菌病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類 |
| べと病 | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | 野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| ﾋﾞｼｳﾑ・ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害（苗立枯病等） | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M04 | | 種子重量の0.2～0.4% | | は種前 | 種子処理機による種子粉衣 | 1回 | 野菜類(いも類を除く) |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 作物名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等) | ﾊﾟｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾞﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 乾燥種子重量の0.4% | | は種前 | 種子処理機による種子粉衣 | 1回 | 野菜類 |
| ｱｵﾑｼ | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾟｾﾘ、えごま(葉)を除く) |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(いちご､ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ､きゅうり、なすを除く) |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 300倍 | 150～500g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なす、ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ、しゅんぎくを除く) |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化ﾘﾝ酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| ｺﾅｶﾞ | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾟｾﾘ、えごま(葉)を除く) |
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100～200倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(いちご､ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ､きゅうり、なすを除く) |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 300倍 | 150～500g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なす、ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ、しゅんぎくを除く) |
| | ﾗﾉｰﾃｰﾌﾟ | ﾋﾞﾘﾌﾞﾛｷｼﾌｪﾝ剤 | 7C | | 10～50㎡/10a | | 栽培期間中 | 作物体の付近に設置する。 | 1回 | 野菜類(施設栽培) |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化ﾘﾝ酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| ﾊﾞﾀﾞﾆ類 | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100倍 | 100～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(いちご､ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ､きゅうり、なすを除く) |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 300～600倍 | 150～500g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(なす、ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ、しゅんぎくを除く) |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化ﾘﾝ酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300g/10a | 収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| ﾖﾄｳﾑｼ | ｴｽﾏﾙｸDF | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類 |
| | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 但し､収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(キャベツ、はくさいを除く) |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 500～1000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 但し収穫前日まで | 散布 | - | 野菜類(ﾊﾟｾﾘ、えごま(葉)を除く) |

## ＜参考１＞　土壌病害虫

（殺菌剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| オーソサイド水和剤80 | 苗立枯病 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 黒斑病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白斑病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 炭疽病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 軟腐病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 褐斑病 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | つる枯病 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | べと病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白色疫病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 疫病 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 葉かび病 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 灰色かび病 | | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 芽枯病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | すすかび病 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タチガレン液剤 | 立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | ○（みずなのみ） | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 苗立枯病（ﾌｻﾞﾘｳﾑ菌） | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病（ﾋﾟｼｳﾑ菌） | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ﾋﾟｼｳﾑ腐敗病 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ﾊﾞｰﾃｨｼﾘｳﾑ萎凋病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| タチガレン粉剤 | 苗立枯病 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| ダコソイル | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根くびれ病 | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |

（殺菌剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ネビジン粉剤 | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○(なばな類を除く) | | | | | | | | | | | | | | |
| | そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 粉状そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 菌核病 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| バシタック水和剤７５ | 黒あざ病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | すそ枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 黒穂病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病（ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌） | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | リゾクトニア菌による病害（苗立枯病等） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 亀裂褐変症（ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌） | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フロンサイド粉剤 | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○(ｹｰﾙを除く) | | | | | | | | | | | | | | |
| | そうか病 粉状そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | すそ枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | ビッグベイン病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 苗立枯病（ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌） | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○(こまつな立枯病) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黄化病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 菌核病 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒腐菌核病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 紅色根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | べと病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 亀裂褐変症（ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌） | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 基腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 白絹病 小菌核腐敗病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |

（殺菌剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ランマンフロアブル | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○(なばな類のみ) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 茎疫病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | べと病 | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| | さび病 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 疫病 | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ |
| | 白色疫病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| | ﾋﾟｼｳﾑ腐敗病 | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ワッカ症 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白さび病 | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 褐色腐敗病 | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オラクル粉剤 | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | ﾋﾟｼｳﾑ腐敗病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 粉状そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| オラクル顆粒水和剤 | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 疫病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 粉状そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |

（殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 葉菜非結球あぶらな科類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | エダマメ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ダイアジノン粒剤３ | コガネムシ類幼虫 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | |
| | ケラネキリムシ類 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ケラ | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | |
| | タネバエ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| | ウリハムシ幼虫 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | コオロギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | タマネギバエ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| デナポン５％ベイト | ネキリムシ類 | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ハスモンヨトウ | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | コオロギダンゴムシ | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ネキリエースＫ | コオロギ類 | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ハスモンヨトウ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ネキリムシ類 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○(なばな) | | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ |
| カルホス粉剤 | ネキリムシ類 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| | タネバエ | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | ヨトウムシ類 | | | | | | | | | | | | | | | ○(なばな類のみ) | | | | | | | | | | | | | | |
| | コガネムシ類幼虫 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カルホス微粒剤Ｆ | ネキリムシ類 | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| | タネバエ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | コガネムシ類幼虫 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ネマトリンエース粒剤 | ネコブセンチュウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | |
| | ネグサレセンチュウ | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | テンサイシストセンチュウ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ジャガイモシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ジャガイモシロシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ミナミキイロアザミウマ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ネダニ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |

（殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 葉菜類 | 非結球あぶらな科 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | エダマメ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| バイデートL粒剤 | ジャガイモシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ジャガイモシロシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ダイズシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | ネコブセンチュウ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ミナミキイロアザミウマ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | ネグサレセンチュウ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| ネマキック粒剤 | ネグサレセンチュウ | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ネコブセンチュウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | テンサイシストセンチュウ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | ダイズシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | ジャガイモシロシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ジャガイモシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ネダニ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用<br>病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ガスタード微粒剤<br>バスアミド微粒剤 | 苗立枯病（ピシウム菌） | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病（リゾクトニア菌） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| | 青枯病 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 尻腐病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根くびれ病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黄化病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○<br>↑ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 半身萎凋病 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | （非結球メキャベツを除く） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 褐色根腐病 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 褐色腐敗病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | 根腐萎凋病 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | しみ腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| | フザリウム立枯病 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒点根腐病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒変根腐症 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒腐菌核病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| | 黒あざ病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 黒穂病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | べと病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | そうか病<br>粉状そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | バーティシリウム黒点病 | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バーティシリウム萎凋病 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | すそ枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 黒根病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | コルキールート病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 萎凋病 | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | |
| | 立枯病（ヒ゜シウム菌） | | | | | | | | | | | | | | | ○(みずなのみ) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 葉非結球あぶらな科菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ガスタード微粒剤<br>バスアミド微粒剤 | 芽枯病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 疫病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 葉腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | 茎腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 基腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 株腐病 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | | | | | | ○ | |
| | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○(こまつな、非結球はくさいのみ) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 炭疽病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | つる割病 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 乾腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | ○ |
| | 白絹病 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | | |
| | 小菌核腐敗病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 紅色根腐病 | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| | えそモザイク病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | ネグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | ネコブセンチュウ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | テンサイシストセンチュウ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ダイズシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | 紫紋羽病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | ホウレンソウケナガコナダニ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | あぶらな科野菜（キャベツを除く） | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん |未成熟そらまめ | 豆類（未成熟） | とうもろこし | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| クロールピクリン | 苗立枯病 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 疫病 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ |
| | 青枯病 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | 萎凋病 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白絹病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | つる割病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | |
| | 半身萎凋病 | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 紋羽病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | |
| | しみ腐病<br>こぶ病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 黒点根腐病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 褐色腐敗病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | 炭疽病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黄化病<br>根くびれ病<br>軟腐病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 株腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 亀裂褐変症 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ケラ<br>ネキリムシ類<br>ハリガネムシ類<br>センチュウ類 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | フザリウム立枯病 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ビッグベイン病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | ホモプシス根腐病 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | ホウレンソウケナガコナダニ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | あぶらな科野菜（キャベツを除く） | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | 豆類（未成熟） | とうもろこし | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ドロクロール | フザリウム立枯病 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白絹病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | つる割病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○↑ | ○↑ | ○↑ | ○↑ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病 | | | | | ○ | | | | | | | (アブラナ科野菜) | (アブラナ科野菜) | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 青枯病 | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 萎凋病 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | |
| | 疫病 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | 半身萎凋病 | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 炭疽病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒点根腐病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黄化病<br>軟腐病<br>根くびれ病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 紋羽病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 亀裂褐変症 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 褐色腐敗病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ビッグベイン病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | ホモプシス根腐病 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ホウレンソウケナガコナダニ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | ネキリムシ類<br>センチュウ類<br>ハリガネムシ類 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○↑ | ○ | ○ | ○↑ | ○↑ | ○↑ | ○↑ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | | | | (かぼちゃ科野菜) | (かぼちゃ科野菜) | | | (アブラナ科野菜) | (アブラナ科野菜) | | | | | | | | | | | | | | | | | |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | あぶらな科野菜（キャベツを除く） | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | 豆類（未成熟） | とうもろこし | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| クロルピクリン錠剤 | 青枯病 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 萎凋病 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 疫病 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○<br>↑（ウリ科野菜） | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | |
| | 白絹病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○<br>↑（ウリ科野菜） | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| | 紋羽病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | |
| | つる割病 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○<br>↑（ウリ科野菜） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○<br>↑ | ○<br>↑<br>（アブラナ科野菜） | ○<br>↑ | ○<br>↑ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黄化病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒点根腐病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ホモプシス根腐病 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | 炭疽病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 半身萎凋病 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | センチュウ類 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○<br>↑（ウリ科野菜） | ○ | ○ | ○<br>↑ | ○<br>↑<br>（アブラナ科野菜） | ○<br>↑ | ○<br>↑ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| クロピクフロー | 萎凋病 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○<br>↑<br>（アブラナ科野菜） | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青枯病 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 半枯病 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根腐萎凋病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ホモプシス根腐病 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | つる割病 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○<br>↑（育床） | | |
| | ネコブセンチュウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ネグサレセンチュウ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ソイリーン | つる割病 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青枯病 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | えそ斑点病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒点根腐病 | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ホモプシス根腐病 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 黄化病<br>根くびれ病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バーティシリウム黒点病 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | しみ腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 苗立枯病（リゾクトニア菌） | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白絹病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 炭疽病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根腐病<br>褐色腐敗病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| | 萎凋病 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ネコブセンチュウ<br>ネグサレセンチュウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○<br>コマツナのみ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| D－D<br>テロン | 青枯病<br>そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | ジャガイモシストセンチュウ<br>ジャガイモシロシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | テンサイシストセンチュウ | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | ダイズシストセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| | ネダニ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ネグサレセンチュウ<br>ネコブセンチュウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○<br>↑豆類(未成熟) | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | コガネムシ類幼虫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ |

（殺菌・殺虫剤）

| 薬剤名 | 適用病害虫名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | えだまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| キルパー | 萎黄病 | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○チンゲンサイのみ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒点根腐病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 乾腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | ○ |
| | 萎凋病 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | しみ腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| | つる割病 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| | 白絹病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| | すそ枯病<br>ビッグベイン病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 立枯病 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | そうか病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| | 根腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | 根腐萎凋病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 株腐病 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 根くびれ病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 根こぶ病 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 半身萎凋病 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 半枯病 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 苗立枯病<br>（リゾクトニア菌） | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | ○みずなのみ | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 黒腐菌核病 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 黄化病 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バーティシリウム黒点病 | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バーティシリウム萎凋病 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 炭腐病 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ホウレンソウケナガコナダニ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | イモグサレセンチュウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | ネグサレセンチュウ | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | ネコブセンチュウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | ○チンゲンサイのみ | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | |

## ① 焼土による土壌消毒法

| 主な病害虫名 | 防除時期 | 処理方法および留意点 |
|---|---|---|
| 各　種　病　害　虫 | 床土消毒 | ・焼土<br>70～80℃で20分間程度<br>・作り方<br>鉄板上に砕土した床土を15～20㎝の高さに盛り、かん水して水分を飽和状態にする。この上にぬれたむしろを覆い下から加熱する。約50分間で温度が得られ、その後は、上の土が中央になるように積みあげて、 温度を保つようにする。<br>・留意点<br>① 土を手で握って崩れない程度の水分にする。<br>② 土が半乾きになる程度まで熱する。焼きすぎると成分や物理性が悪くなるので良く攪拌する。 |

## ② 太陽熱利用による土壌消毒法（ハウス内土壌病害虫）

| 主な病害虫名 | 防除時期 | 処理方法および留意点 |
|---|---|---|
| 【イチゴ】萎黄病<br>【ナス】<br>半身萎凋病、 半枯病<br>【キュウリ】つる割病<br>【ホウレンソウ】<br>立枯病、センチュウ類<br>（雑草種子） | 7　月　下　旬<br>～<br>8　月　中　旬 | ・処理方法<br>① 汚染源となる残さを除去する。<br>② ７月中～下旬に、稲わらなどの粗大有機物を1~2kg/㎡施用する。<br>③ 石灰窒素0.1kg/㎡施用する。<br>④ 耕耘機でわらをなるべく深くすき込み、畦立てを行う。畦巾60～70 ㎝、高さ30 ㎝として土の表面積を大きくし、太陽熱が深層に伝わりやすくする。<br>⑤ ビニールもしくはポリエチレンフィルムで完全に被覆し、土の表面を密閉したのちハウスも密閉する。<br>⑥ 直ちに畦間に水を入れ、全体を湿潤にして、そのまま１か月程度放置する。<br>・留意点<br>① 安定して高温（目安：地中30cmで40°C以上）を保つことが期待できる夏場に限る。<br>② 精密機器、塩ビパイプ、石油類などは、処理期間中ハウス外に出しておく。<br>③ 本法は、ウイルス、青枯病など地中深くに生存できる病原に対しては効果が劣る。<br>④ 被覆のつなぎ目は、水枕や土のうなどにより密閉する。<br>⑤ 土を手で握って、土塊がひび割れる程度の水分量（圃場容水量の60%程度）とする。<br>⑥ 消毒後は深耕せず、土壌撹拌は最小限にする（未消毒土壌による再汚染防止）。 |

## ③ 土壌還元消毒法（太陽熱と水とフスマまたは米糠などの有機物を用いた防除法）

| 主な病害虫名 | 防除時期 | 処理方法および留意点 |
|---|---|---|
| 【スイカ】急性萎凋病<br>【ホウレンソウ】<br>萎凋病、ケナガコナダニ<br>【ネギ】根腐萎凋病<br>【イチゴ】萎黄病<br>【トマト】<br>ネコブセンチュウ、<br>根腐萎凋病、褐色根腐病、<br>萎凋病など | 平　均　気　温<br>20　℃　以　上<br>※30°C以上推奨<br>（６月 ～９月） | ・準備するもの<br>フスマまたは米糠1kg/㎡以上、透明マルチ、かん水チューブ、水100ℓ/㎡以上<br>・処理方法<br>① 残さを除去する。土壌が乾いている場合は２～３日前までに深耕し、かん水しておく。<br>② 消毒は晴天が続く日を選ぶ（晴天が３日以上続く日が望ましい）。<br>③ フスマまたは米糠を１kg／㎡均一に散布する。<br>④ 散布後すぐに、土壌とフスマを深さ15～20cmに混和し、均平にする。<br>⑤ かん水チューブを約60cm間隔で均一に配置し、透明なシートを全面に敷く。<br>⑥ 100ℓ/㎡以上均一にかん水する。<br>⑦ ハウスを密閉する 。<br>⑧ ２～３日するとドブ臭がする 。<br>⑨ 地温30°C以上を20日間保つ。または、外気の最高気温30°C以上の日が７日以上あれば土壌消毒は完了する。<br>⑩ ハウスを開放し、シートを除去する。 数日間土壌を乾燥させ、乾いたら、改良資材・基肥を施用し、耕起、畦立て、作付けする。<br>・留意点<br>① 消毒によってアンモニア態窒素、硝酸態窒素が増加するので、施肥前に土壌中の無機態窒素量を測定して、施肥量を決める。<br>② 青枯病など地中深くに生存できる病原に対して効果が劣る（糖蜜を用いる場合を除く）。<br>※ その他留意点は、太陽熱利用による土壌消毒法の④～⑥に準じる |

## ④ 熱水土壌消毒（圃場に熱水を注入して滅菌する効果の安定的した土壌消毒法）

| 主な病害虫名 | 防除時期 | 処理方法および留意点 |
|---|---|---|
| 【ホウレンソウ】萎凋病<br>【ダイコン】<br>萎黄病、ネグサレセンチュウ<br>【ハクサイ】根こぶ病<br>【イチゴ】<br>ネグサレセンチュウ<br>【トマト】<br>青枯病、萎凋病、<br>褐色根腐病、<br>根腐萎凋病、<br>ネコブセンチュウ<br>【スイカ・メロン】<br>黒点根腐病、 つる割病<br>ネコブセンチュウ<br>【ダイズ】<br>黒根腐病、シストセンチュウ | 厳寒期を除き<br>通　年 | ・準備するもの<br>熱水土壌消毒装置、 A重油または灯油、200V三相電源、水100ℓ/㎥以上、ビニールマルチ、かん水チューブ<br>・処理方法<br>① 残さを除去する。できるだけ深くまで耕起し、均平にする。<br>② かん水チューブを25～40cm間隔で設置し、ビニールマルチまたは耐熱シートをする。<br>③ 熱水土壌消毒装置を設置する。<br>④ 80～95°Cの熱水を注入する。注入量は深さ20cmまで消毒する場合には100ℓ/㎥、30cmまで消毒する場合には150ℓ/㎥、40cmまで消毒する場合には200ℓ/㎥、ホウレンソウの不耕起栽培では60 ℓ/㎥とする。<br>⑤ 翌日にはビニールマルチやシートを除去できる。<br>⑥ 数日間土壌を乾燥させ、乾いたら、改良資材・基肥を施用し、耕起、畦立て、作付けする。<br>・留意点<br>① 透水性を良くするために普段から土づくりをしておく。<br>② 消毒後は深耕せず、土壌撹拌は最小限にする。<br>③ 消毒によってアンモニア態窒素、硝酸態窒素が増加するので、施肥前に土壌中の無機態窒素量を測定して、施肥量を決める。 |

表1　処理温度と加温時間が病原菌の生存に及ぼす影響（1996・福井園試）

◎：生存　●：死滅

| 供試菌 | | 被加温時間（hr.） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 処理温度 | 12 | 24 | 36 | 48 | 60 | 72 | 84 | 96 | 108 | 120 | 132 |
| 株腐病菌 | 25°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 40°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| *R.solani* | 45°C | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| | 50°C | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| 萎凋病菌 | 25°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| | 40°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| *F.oxysporum* | 45°C | ◎ | ◎ | ● | ◎ | ● | ● | ● | ● | | | |
| | 50°C | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 立枯病菌 | 25°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 40°C | ◎ | ◎ | ◎ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| *P.ultimum* | 45°C | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| | 50°C | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| 立枯病菌 | 25°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 40°C | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| *P.aphanidermatum* | 45°C | ◎ | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| | 50°C | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |

1）各処理温度で12時間、 残りの12時間は15°Cの変温処理とした。（25°Cは終日）

## ⑤ 低濃度エタノールを利用した土壌還元作用による土壌消毒法

| 主な病害虫名 | 防除時期 | 処理方法および留意点 |
|---|---|---|
| 【イチゴ】<br>萎黄病、炭疽病<br>【トマト】<br>褐色根腐病、青枯病<br>【ホウレンソウ】萎凋病<br>【ウリ科野菜】<br>ホモプシス根腐病、つる割病<br><br>つる枯病、黒点根腐病<br>【ウリ科野菜、トマト、<br>イチゴ、花き類、葉菜類】<br>ネコブセンチュウ<br>(一年生雑草) | 7 月 下 旬<br>～<br>8 月 中 旬<br><br><br><br><br><br>地下20 cmの平均地温が30 °Cを超えること | ・処理方法<br>① 土壌はできるだけ細かくし、圃場は均平にしておく。但し、土が柔らかすぎると作業性が悪くなるので、処理前に鎮圧する。<br>② フィルムを土壌に密閉させるため、処理前に除草しておく他、残さも除去する。<br>③ 散水チューブを設置し、十分かつ均一に散布できることを確認する。<br>④ ハウス内を密閉し定期的に散水する(土壌が湿っている方が深くまで地温が上がる)。<br>⑤ 処理数日前に散水するとエタノールが均一に浸透し、消毒ムラが少なくなって効果が安定する。また、処理日から３日間晴天が続く日を気象予報を参考に選定する。<br>⑥ 希釈用大型タンク500ℓを準備し、土壌還元消毒用エタノールを50～200倍に希釈する。広い面積の場合、液肥混入器による処理（用水の直接導入や頭上灌水）も可能。<br>⑦ 対象病害に応じた希釈水を準備する（表２参照）。<br>⑧ 散水チューブは、散布口の数が多い方が均一に短時間で処理できる。土壌全体が均等に湿るように散水口の向きを調整する。<br>⑨ 土壌を一定期間湛水または湿潤状態に維持するため、透明フィルムで散水チューブごと被覆する。<br>⑩ 地温が高いほど効果が高まるため、土壌はフィルムで密閉し、ハウス内は気密性を高める。被覆のつなぎ目は、水枕や土のうなどにより密閉する。<br>⑪ ２～３週間はそのままの状態を保つ。<br>⑫ 土壌還元が進むと、エタノール消毒特有の発酵臭がする。<br>⑬ 還元処理終了後、透明フィルムを取り外す。<br>⑭ 圃場の耕起を行う。ただし、事前に再び病害虫等に汚染されないようにトラクタのタイヤ、耕起部、胴体をよく洗浄しておく。<br>⑮ 通常の土壌水分や土壌温度、還元状態が元に戻れば、作付けする。<br>（は種等までに、１週間以上の期間をあける。）<br>・留意点<br>① 水はけが良すぎる土壌での利用は避ける。地下水位が高い圃場では効果が劣るため、ハウス外縁に排水穴を設置するなどにより圃場外からの流入を防ぐ。<br>② 対象となる病害虫の処理前後密度測定を行い、効果を判定する。<br>③ 土壌の還元状態は、ジピリジル反応や酸化還元電位（Eh）の測定で確認する。<br>④ 土壌や処理後の環境条件によっては、消毒の程度が十分でないことがあるので、事前に試してから実施するか、事前に経験者に相談してから実施する。 |

表2　低濃度アルコール消毒の濃度と施用量

| 作物 | 対象病害虫名 | エタノール濃度[1)] | 1m$^2$あたり液量[2)] |
|---|---|---|---|
| イチゴ[3)] | 萎黄病・炭疽病 | 0.5～1.0% | 30～110ℓ |
| トマト | 褐色根腐病・青枯病[4)] | 0.5～1.0% | 30～110ℓ |
| ホウレンソウ | 萎凋病・つる割病他 | 0.5～1.0% | 30～110ℓ |
| ウリ科野菜[5)] | ホモプシス根腐病 | 0.5～1.0% | 30～110ℓ |
| ウリ科野菜、トマト他 | ネコブセンチュウ[6)] | 0.5～1.0% | 30～110ℓ |

（参照）　低濃度エタノールを利用した土壌還元作用による土壌消毒技術　実施マニュアル（農業環境科学研究所HP）ほか

https://www.naro.affrc.go.jp/archive/niaes/techdoc/ethanol/#manual2

1) 地温が低いほど高濃度が必要。
2) 砂地（ある程度水持ちがあること）では少ない液量でよい。また、液量が多いほど土中深くまで還元による消毒効果が現れるので、作物の根域の深さや病害の種類に応じて液量を調整する。
3) 高畝栽培や土耕栽培などの栽培方法により、処理濃度が異なる。
4) 青枯病菌は、土壌深くまで分布しているため、エタノール濃度と液量は範囲内の高めに設定すること。
5) カボチャ、キュウリ、スイカ、メロンなど。
6) ウリ科やナス科作物は、初期密度が低い場合でも線虫被害が生じやすいので、エタノール濃度と液量は範囲内の高めに設定すること。

## 〈参考２〉ウイルス病

**野菜のウイルス病と伝染方法**

| 野菜名 | 病名 | 病原ウイルス | 伝染方法 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 汁液 | 接触 | 土壌 | 種子・種イモ・種球 | アブラムシ類 | 他媒介虫等 |
| なす | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| ピーマン | モザイク病 | PMMoV（トウガラシ微斑ウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| トマト | モザイク病 | ToMV（トマトモザイクウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | PVX（ジャガイモXウイルス） | ○ | ○ | | | | |
| | 黄化えそ病 | TSWV（トマト黄化えそウイルス） | ○ | | | | | アザミウマ類 |
| | 黄化葉巻病 | TYLCV（トマト黄化葉巻ウイルス） | | | | | | タバココナジラミ |
| | 黄化病 | ToCV（トマト退緑ウイルス） | | | | | | コナジラミ類 |
| きゅうり | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| | | WMV（スイカモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | ZYMV（ズッキーニ黄斑モザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| | 緑斑モザイク病 | KGMMV（キュウリ緑斑モザイクウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 黄化病 | BPYV（ビートシュードイエロースウイルス） | | | | | | オンシツコナジラミ |
| すいか | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| | | WMV（スイカモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| | 緑斑モザイク病 | CGMMV（スイカ緑斑モザイクウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | えそ斑点病 | MNSV（メロンえそ斑点ウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | オルピディウム菌 |
| かぼちゃ | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| | | WMV（スイカモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| メロン | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | △ | | | ○ | |
| | | WMV（スイカモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| | 緑斑モザイク病 | CGMMV（スイカ緑斑モザイクウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | えそ斑点病 | MNSV（メロンえそ斑点ウイルス） | ○ | ○ | ○ | ○ | | オルピディウム菌 |
| いちご | ウイルス病 | SMoV（イチゴ斑紋ウイルス） | | | | | ○ | 栄養繁殖 |
| | | SMYEV（イチゴマイルドイエローエッジウイルス） | | | | | ○ | 栄養繁殖 |
| | | SVBV（イチゴベインバンディングウイルス） | | | | | ○ | 栄養繁殖 |
| | | SCV（イチゴクリンクルウイルス） | | | | | ○ | 栄養繁殖 |

| 野菜名 | 病名 | 病原ウイルス | 伝染方法 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 汁液 | 接触 | 土壌 | 種子・種イモ・種球 | アブラムシ類 | 他媒介虫等 |
| だいこん | モザイク病 | TuMV（カブモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | CaMV（カリフラワーモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | ひだ葉ﾓｻﾞｲｸ病 | RaMV（ダイコンモザイクウイルス） | ○ | | | | | キスジノミハムシ |
| ねぎ | 萎縮病 | SYSV（シャロット黄色条斑ウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | えそ条斑病 | IYSV（アイリス黄斑ウイルス） | ○ | | | | | ネギアザミウマ |
| たまねぎ | 萎縮病 | SYSV（シャロット黄色条斑ウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | えそ条斑病 | IYSV（アイリス黄斑ウイルス） | ○ | | | | | ネギアザミウマ |
| らっきょう | ウィルス病 | SYSV（シャロット黄色条斑ウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| ほうれんそう | モザイク病 | BtMV（ビートモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | TuMV（カブモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| | えそ萎縮病 | BBWV（ソラマメウイルトウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| レタス | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | LMV（レタスモザイクウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |
| | ビッグベイン病 | MiLBVV（レタスビッグベインミラフィオリウイルス） | ○ | | ○ | | | オルピディウム菌 |
| しゅんぎく | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | TuMV（カブモザイクウイルス） | ○ | ○ | | | ○ | |
| にんじん | モザイク病 | CeMV（セルリーモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| ばれいしょ | モザイク病 | PVX（ジャガイモXウイルス） | ○ | ○ | | ○ | | |
| | | PVY（ジャガイモYウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |
| | 黄斑モザイク病 | PAMV（ジャガイモ黄斑モザイクウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |
| | 葉巻病 | PLRV（ジャガイモ葉巻ウイルス） | | | | ○ | ○ | |
| さといも | モザイク病 | CMV（キュウリモザイクウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | DsMV（サトイモモザイクウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |
| そらまめ | モザイク病 | BYMV（インゲンマメ黄斑モザイクウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | BBWV（ソラマメウイルトウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| | | PSbMV（エンドウ種子伝染モザイクウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |
| にんにく | モザイク病 | LYSV（リーキ黄色条斑ウイルス） | ○ | | | | ○ | |
| トウモロコシ | えそモザイク病 | MDMV（トウモロコシ萎縮モザイクウイルス） | ○ | | | ○ | ○ | |

△：伝染しやすい条件で起こる

## 〈参考３〉野　　そ

| 殺　そ　剤 | 適用作物 | 防　除　方　法 | 注　意　事　項 |
|---|---|---|---|
| ヤソヂオン | 野ソが加害する農作物等 | 200～300g/10a<br>手まきによる防除<br>a)本剤10～20gをそのまま､あるいは10～20gの小袋詰をそ穴（ネズミの生息する穴）に投入するか､野その通路に配置する。又､休耕地等は10m×10mの格子状に本剤をそのまま､あるいは10～30gの小袋詰を1個所20～30gの割合で適宜配置する。<br>b)本剤5gをそのまま、あるいは5gの小袋詰をそ穴に投入するか野その通路に配置する。 | ･子供や家畜が毒餌を誤って食べる恐れが ある場所での使用は避ける。<br>･作業後は顔、手足など石鹸でよく洗い、薬剤を除去する。 |

## 〈参考４〉器具、資材消毒

| 適用（場所） | 対　　象 | 防　除　方　法 | | | 注　意　事　項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬　剤　名 | 使用濃度 | 使用方法 | |
| 農業資材 | 育苗箱（木箱、プラスチック箱）<br>育苗用ポット・支柱等資材 | イチバン | 500～1,000倍 | 瞬時浸漬又はジョロ散布<br>水10ℓ当たり<br>10～20ml | ･収穫用コンテナ・かごを除く。<br>･軟質塩化ビニル、ポリスチレンおよび発泡スチロール製の容器などには材質が劣化するおそれがあるので使用しない。 |
| 農業資材 | 催芽箱、育苗箱、育苗トレイ・ポット、植木鉢、果実類貯蔵箱、温室用資材、収穫用かご等農具の消毒 | ケミクロンG | 500倍 | 瞬間浸漬またはジョウロ散布<br>水10ℓ当たり<br>20g | ･金属類や木箱に使用した場合、必ずその後水洗する。<br>･育苗トレイ、ポットを消毒する場合薬害（生育障害）を生じるおそれがあるので必ず水洗する。 |
| | | | 1,000倍 | 10分間浸漬<br>水10ℓ当たり<br>10g | |

資材は残渣や土を落としてから消毒すること。

## 〈参考５〉コオロギ、カタツムリ類、ナメクジ類、ケラ

| 病害虫名 | 防除時期 | 防　除　方　法 | | | | 注　意　事　項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬　剤　名 | 使用方法 | 10ａ当たり使用量 | 使用回数 | |
| コオロギ | キャベツ：収穫14日前まで<br>ハクサイ：収穫21日前まで | デナポン5%ベイト | 株元散布 | ３～４kg | ３回以内 | 適用作物：キャベツ、 ハクサイ<br>･圃場を波板（50㎝ぐらいの高さ）などで囲むと侵入防止になる。<br>･ダンゴムシ、ネキリムシ類、ハスモンヨトウにも登録あり。 |
| カタツムリ類<br>ナメクジ類 | 発生時 | スラゴ | ナメクジ類、カタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置 | １～５g/㎡ | － | 適用作物：ナメクジ類、カタツムリ類が加害する農作物等<br>適用場所：温室、ハウス、圃場<br>･作物体上に剤がかからないように作物周辺あるいは株元の土壌表面に処理する。 |
| ケラ | 作物により異なる | ダイアジノン粒剤3 | 土壌混和 | 作物により異なる | 作物により異なる | ･適用作物毎に時期や使用回数が異なるので、土壌病害虫の項参照。<br>･家庭菜園用ダイアジノン粒剤３とは登録内容が異なる。 |

## 〈参考６〉　主要野菜のチョウ目害虫の防除薬剤

| IRACコード | 系統 | 薬剤名 | 害虫名 | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | ねぎ | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1A | カーバメート | ランネート45DF | アオムシ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | | | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | | | | ○ | | | |
| 1B | 有機リン | エルサン乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | オルトラン粒剤<br>ジェイエース粒剤 | アオムシ | ○ | ○(オルトラン) | ○ | ○ | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | オルトラン水和剤<br>ジェイエース水溶剤 | アオムシ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | | | | | |
| | | トクチオン乳剤 | アオムシ | ○ | | | | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | | | | | |
| | | | コナガ | ○ | | | | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | | | | | ○ | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | マラソン乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 3A | ピレスロイド | トレボン乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | | | | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | アグロスリン乳剤 | アオムシ | | | | | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | | | | | | | |
| | | | ヨトウムシ | | | | | | | |
| | | | コナガ | | | | | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | タマナギンウワバ | | | | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| 1B<br>3A | 有機リン・<br>ピレスロイド | ハクサップ水和剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | ○ | | | | |
| 4A | ネオニコチノイド | モスピラン粒剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | | | | |

| IRACコード | 系統 | 薬剤名 | 害虫名 | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | ねぎ | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4E | メソイオン系 | フィールドマストフロアブル | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | ○ | | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | カブラハバチ類 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ナモグリバエ | ○ | | | | | | |
| | | | キスジノミハムシ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ダイコンハムシ | | | ○ | ○ | | | |
| 5 | スピノシン | スピノエース顆粒水和剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | ○(ウワバ類) | | | | |
| | | ディアナSC | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | ○ | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ<br>ネギコガ<br>セスジスズメ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | | | ウワバ類 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 6 | アベルメクチン | アニキ乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ<br>ネギコナガ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | | | | | |
| 6<br>15 | アベルメクチン<br>ベンゾイル尿素 | アファームエクセラ顆粒水和剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | | | | ○ | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | | | | | |
| 11A | BT | トアロー水和剤CT<br>野菜類 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | トアローフロアブルCT<br>野菜類 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | オオタバコガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | エスマルクDF<br>野菜類 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | オオタバコガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | ○ | ○ | | |

| IRACコード | 系統 | 薬剤名 | 害虫名 | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | ねぎ | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11A | BT | エコマスターBT | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 野菜類 | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | オオタバコガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | ○ | | | | |
| | | ゼンターリ顆粒水和剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 野菜類 | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | (きゃべつ、はくさいを除く) | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | オオタバコガ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | ピロール | コテツフロアブル | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | | | | | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| 14 | ネライストキシン | パダンSG水溶剤 | アオムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | | | | |
| 15 | ベンゾイル尿素 | マッチ乳剤 | アオムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | | | | | |
| | | | コナガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | | | | |
| | | アタブロン乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | | | | |
| | | ノーモルト乳剤 | アオムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | | | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | ○ | | | | |
| | | カスケード乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | | | | | |
| | | | タマナギンウワバ | ○ | | | | | | |

| IRACコード | 系統 | 薬剤名 | 害虫名 | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | ねぎ | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 18 | ジアシルーヒドラジン | マトリックフロアブル | ハスモンヨトウ | ○ | | | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | ○ | | | |
| 21A | METI剤 | ハチハチ乳剤 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| 22A | オキサジアジン | トルネードエースDF | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | ウワバ類 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 22B | セミカルバゾン | アクセルフロアブル | アオムシ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | | | | | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | | | | | |
| 28 | ジアミド | プレバソンフロアブル5 | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | | | | | |
| | | フェニックス顆粒水和剤 | アオムシ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | | | | | |
| | | ベリマークSC | アオムシ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | | | | | |

| IRACコード | 系統 | 薬剤名 | 害虫名 | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | ねぎ | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 28 | ジアミド | ベネビアOD | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | ○ | | | | |
| | | プリロッソ粒剤オメガ | アオムシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | | | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | キスジノミハムシ | | | | ○ | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| | | | カブラハバチ | | | | ○ | | | |
| 28 | ジアミド・ | ジュリボフロアブル | アオムシ | ○ | ○ | | | | | |
| 4A | ネオニコチノイド | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | | | | | |
| 30 | イソオキサゾリン | グレーシア乳剤 | アオムシ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | | | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | | | | |
| | | | コナガ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○ | ○ | | |
| | | | オオタバコガ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○ | | | |
| | | | ウワバ類 | ○(結球あぶらな科葉菜類) | ○(はなやさい類) | ○(結球あぶらな科葉菜類) | | | | |
| | | | ネギコガ | | | | | | ○ | |
| UN | ピリダリル | プレオフロアブル | アオムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | ハスモンヨトウ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ |
| | | | ヨトウムシ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | コナガ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | シロイチモジヨトウ | ○ | ○ | | | | ○ | |
| | | | ハイマダラノメイガ | ○ | | | | | | |
| | | | オオタバコガ | ○ | | ○ | | | | |
| | | | ウワバ類 | ○ | | | | | | |
| | | | スズメガ類 | | | | | | | ○ |

## 〈参考７〉チョウ目害虫の防除のポイントと殺虫剤の特性

**【防除のポイント】**

1.モニタリングと発生予察
・フェロモントラップや巡回観察による成虫・卵塊・若齢幼虫の早期発見を行う。また、病害虫発生予察情報をもとに飛来ピークを把握し、防除のタイミングを予測する。
2. 物理的防除
・フェロモン剤や黄色蛍光灯を活用し、圃場への成虫の飛来を抑制する。施設栽培では、開口部に防虫ネットを設置し圃場・施設への侵入を防止する。
・発生源となる圃場内外の除草を徹底する。
・栽培圃場を観察し、卵塊・幼虫類を見つけ次第捕殺・除去し、侵入巣実などは圃場外で処分する等、被害拡大を防止する。
3. 化学的防除
・チョウ目害虫は老齢幼虫になると薬剤感受性が著しく低下するため、若齢幼虫期に照準を合わせた薬剤散布を実施する。
・IRACコードに基づく薬剤ローテーションを行い、作用機作が異なる薬剤を交互に使用することで抵抗性発達を抑制する。
・BT剤やIGR剤(チョウ目に対して特に効果的)を含めた複合的な防除計画を立てる。

**【殺虫剤の特性】**

| IRAC コード | 系統名 | 農薬の名称 | 特徴 | 浸透移行性[1] | 効果の発現[2] | 残効性[3] | 食毒[4] | 接触毒[4] | 忌避[4] | 使用上のポイント |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1A | カーバメート系 | ランネート45DF | ・極めて速効的な効果<br>・幅広い適用害虫<br>・幅広い生育ステージへの効果<br>(コナガで抵抗性の発達が見られる) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | | ・施設(ハウス)内での散布は絶対しない |
| 1B | 有機リン系 | エルサン乳剤<br>オルトラン水和剤<br>トクチオン乳剤<br>マラソン乳剤 | ・非選択的吸収毒である<br>・抵抗性が発達しやすい<br>(コナガで抵抗性の発達が見られる) | ○<br>○<br><br>○ | ○<br>△<br>△<br>○ | △<br>○<br>○<br>× | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | | ・広範囲の害虫に有効<br>・食害性害虫や吸汁性害虫に効果<br>・チョウ目害虫、ハダニ類等に効果<br>・吸汁性害虫に効果 |
| 3A | 合成ピレスロイド系 | トレボン乳剤<br>アグロスリン乳剤 | ・産卵抑制、忌避効果がある<br>・抵抗性が発達しやすい<br>(一部地域のコナガで抵抗性発達が見られる) | | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ・広範囲の害虫に効果 |
| 1B<br>3A | 有機リン系<br>＋合成ピレスロイド系 | ハクサップ水和剤 | ・産卵抑制、摂食阻害あり | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・大型鱗翅目害虫に効果 |
| 4A | ネオニコチノイド系 | モスピラン粒剤<br>モスピラン顆粒水溶剤 | ・定植時の処理により害虫の発生を長期間抑制<br>・粒剤は天敵にやさしい | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | ・コナガ、アオムシ、アブラムシ類に有効 |
| 4E | メソイオン系 | フィールドマストフロアブル | ・抵抗性コナガを含むチョウ目害虫、キスジノミハムシに対して高い活性<br>・コナガ、ハスモンヨトウ幼虫の全ステージに大して安定した効果 | △ | ○ | ○ | ○ | △ | | ・チョウ目害虫のうち、オオタバコガへの活性は劣る<br>・(結球前に)葉裏に掛かるように散布する |
| 5 | スピノシン系 | スピノエース顆粒水和剤<br>ディアナSC | ・チョウ目、アザミウマ目害虫に卓効 | | ○<br>○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | | ・天然物由来殺虫剤<br>・広い殺虫スペクトラム |
| 6 | ミルベメクチン系 | アニキ乳剤 | ・チョウ目、ハモグリバエ類、コナジラミ類、アザミウマ類に殺虫活性 | △ | ○ | | ○ | ○ | | ・既存薬剤に抵抗性を示す害虫にも効果 |
| 6<br>15 | アベルメクチン系<br>＋IGR脱皮阻害 | アファームエクセラ顆粒水溶剤 | ・幅広い生育ステージで殺虫効果を発揮<br>・殺卵効果を有す | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ・浸透移行性はないが、優れた進達性を有する |
| 11A | BT(kurstaki)死菌 | トアロー水和剤CT<br>トアローフロアブルCT | ・チョウ目害虫の幼虫に対し、選択的に作用し安定した効果を発揮 | × | △ | △ | ○ | | | ・若齢幼虫期に時機を失せず散布する |
| 11A | BT(aizawai)生菌 | エスマルクDF<br>ゼンターリ顆粒水和剤 | ・食毒効果のみで、接触毒効果はない<br>・幼虫の食害がとまる | × | △ | △ | ○ | | | ・若齢幼虫期に時機を失せず散布する |
| 13 | ピロール系 | コテツフロアブル | ・殺虫スペクトルが広い<br>・害虫のいずれの加害ステージにも効果を示す | × | ○ | | ○ | | | ・結球前に使用し、かけむらのないよう十分量を散布する |
| 14 | ネライストキシン系 | パダンSG水溶剤 | ・特に食害性害虫に有効 | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | | ・コナガに対し、強い殺卵作用、殺成虫作用、幼虫に対する長い残効性がある |
| 15 | ベンゾイル尿素系<br>IGR(キチン合成阻害) | マッチ乳剤<br>アタブロン乳剤<br>ノーモルト乳剤<br>カスケード乳剤 | ・キチン生合成阻害<br>・脱皮阻害 | × | × | ○ | ○ | | | ・幼虫主体の発生初期に散布する<br>・幼虫期のなるべく早くに散布する<br>・殺卵作用がある<br>・産下卵ふ化抑制 |
| 18 | ジアシルヒドラジン系<br>IGR(脱皮促進) | マトリックフロアブル | ・チョウ目害虫に高い効果<br>・脱皮変態の促進<br>・摂食阻害作用 | | △ | | ○ | | | ・チョウ目以外に脱皮促進効果はない |
| 21A | METI剤 | ハチハチ乳剤 | ・殺虫スペクトルが広い<br>・難防除害虫に高い効果を示す<br>・殺菌作用を有する | × | ○ | | | ○ | | ・かけ残しのないように葉の表裏に十分散布する |
| 22A | オキサジアジン系 | トルネードエースDF | ・大型チョウ目害虫にも、高い効果<br>・中齢・老齢幼虫にも有効<br>・食害をすぐに止める | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ・ねぎのシロイチモジヨトウを防除する場合は、食入前の若令幼虫期に散布する |
| 22B | セミカルバゾン系 | アクセルフロアブル | ・接触阻害効果<br>・齢期の進んだチョウ目害虫の幼虫にも高い効果 | × | ○ | | ○ | | | ・かけ残しのないように葉の表裏に十分散布する。 |
| 28 | ジアミド系 | プレバソンフロアブル5 | ・幼虫に対する効果が高い<br>・速やかに摂食行動を停止させる | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ・灌注と散布のいずれでも使用可能 |
| | | ベリマークSC | ・幅広い殺虫スペクトラム<br>・速やかな摂食行動阻害 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ・灌注処理 |
| | | ベネビアOD | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ・OD製剤は展着剤の機能も同時に兼ね備える |
| | | フェニックス顆粒水和剤 | ・チョウ目害虫に効果が高い<br>・害虫の筋肉を収縮させる | × | ○ | ○ | ○ | | | ・かけ残しのないように葉の表裏に十分散布する |
| | | プリロッソ粒剤オメガ | ・チョウ目以外の、幅広い害虫に効果<br>・根からすばやく吸収し、葉裏に潜む害虫も、経口とりこみで、効果(摂食阻害)を発揮<br>・3～4週間の高い効果 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ・アルカリ性肥料との同時施用はさける |
| 28<br>4A | ジアミド系<br>＋ネオニコチノイド系 | ジュリボフロアブル | ・チョウ目から吸汁性害虫まで幅広い殺虫効果を示す | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 30 | イソオキサゾリン系 | グレーシア乳剤 | ・広範囲の害虫に効果<br>・耐雨性が高い | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ・浸透移行性はないが、浸達性は高い |
| UN | ピリダリル系 | プレオフロアブル | ・既存の殺虫剤とは異なる作用性を有する<br>・散布後の降雨による効果の低下が少ない | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

注1)浸透移行性:○強い　△弱い　×なし　　2)効果の発現:○速い　△やや遅い　×遅い　　3)残効性:○長い　△やや長い　×短い　　4)食毒、接触毒、忌避:○あり　　HP等による

## 〈参考８〉フェロモン剤による防除法

### １ コナガコン-プラス（コナガ・オオタバコガ・ヨトウガ交信攪乱剤）

| 作物名 | 適用場所 | 使用目的 | 適用病害虫 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| アロニア | アロニア栽培地帯 | 交尾阻害 | リンゴヒメシンクイ | 100本/10a<br>(22g/100本製剤) | 対象作物の栽培全期間 | ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する |
| コナガ、オオタバコガ、ヨトウガが加害する農作物等 | コナガ、オオタバコガ、ヨトウガの加害作物栽培地帯 | | コナガ<br>オオタバコガ<br>ヨトウガ | 100～120本/10a<br>(22g/100本製剤) | | 作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て、支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する |
| コナガ、オオタバコガが加害する農作物等 | コナガ、オオタバコガの加害作物栽培地帯 | | コナガ<br>オオタバコガ | 20～40m/10a<br>(55g/50m製剤) | | 支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部に張り渡す |

### ２ コンフューザーV（交信攪乱剤）

| 作物名 | 使用目的 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 野菜類<br>いも類<br>豆類(種実)<br>花卉類・観葉植物 | 交尾阻害 | コナガ<br>オオタバコガ<br>ハスモンヨトウ<br>タマナギンウワバ<br>イラクサギンウワバ<br>ヨトウガ | 100～200本/10a<br>(41g/100本製剤) | 対象作物の栽培全期間 | 作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する |
| | | シロイチモジヨトウ | 100本/10a<br>(41g/100本製剤) | | |

※キャベツでは100本/10a＋BT剤（30a圃場）でも効果が期待できる。（H19普及に移す技術）

### ３ フェロディンSL（ハスモンヨトウ大量誘殺剤）

| 作物名 | 適用場所 | 使用目的 | 適用病害虫 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| いも類<br>豆類<br>なす科野菜<br>あぶらな科野菜<br>レタス<br>れんこん<br>にんじん<br>ねぎ類<br>いちご<br>たばこ<br>まめ科牧草<br>など | ハスモンヨトウ加害作物栽培地帯 | 誘引 | ハスモンヨトウ<br>雄成虫 | 2～4個/ha | 成虫発生初期から発生終期まで | 本剤をトラップ１台当り１個を取付けて配置する<br>取付けた薬剤は1.5～２ヶ月間隔で更新する |

### ３ その他の防除用フェロモン剤

ヨトウコンーＳ：交尾阻害：シロイチモジヨトウ　20～100m/10a(20cmﾁｭｰﾌﾞの場合100～500本)(露地)
100～140m/10a(20cmﾁｭｰﾌﾞの場合500～700本)(施設)
ヨトウコンーＨ：交尾阻害：ハスモンヨトウ　20～200m/10a(20cmﾁｭｰﾌﾞの場合100～1000本)(露地･施設)

## 〈参考９－１〉微生物由来の薬剤(殺菌剤)

| 作物名 | 適用病害虫 | 農薬種類名 | 商品名 |
|---|---|---|---|
| 野菜類 | うどんこ病 | タラロマイセス フラバス水和剤 | タフパール |
| | | ボーベリア バシアーナ乳剤 | ボタニガードＥＳ |
| | うどんこ病<br>灰色かび病 | バチルス アミロリクエファシエンス水和剤 | インプレッションクリア |
| | | バチルス ズブチリス水和剤 | ボトキラー水和剤 バイオワーク水和剤 セレナーデ水和剤<br>アグロケア水和剤(ニラ灰色かび病を除く) |
| | | 銅・バチルス ズブチリス水和剤 | クリーンカップ |
| | 灰色かび病 | バチルス ズブチリス水和剤 | バチスター水和剤 |
| | 灰色かび病 | バチルス ズブチリス水和剤 | エコショット |
| | 菌核病 | コニオチリウム ミニタンス水和剤 | ミニタンＷＧ |
| | 軟腐病 | ラクトバチルス プランタラム水和剤 | ラクトガード水和剤 |
| 野菜類<br>(かぼちゃ､ｽﾞｯｷｰﾆ､しょうがを除く) | 軟腐病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| 野菜類(施設栽培) | うどんこ病 | ペキロマイセス テヌイペス乳剤 | ゴッツＡ |
| | | バーティシリウム レカニ水和剤 | マイコタール |
| いも類 | うどんこ病<br>灰色かび病 | バチルス ズブチリス水和剤 | セレナーデ水和剤 |
| | 軟腐病 | ラクトバチルス プランタラム水和剤 | ラクトガード水和剤 |
| だいこん | 黒斑細菌病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| にんじん | 黒葉枯病 | 銅・バチルス ズブチリス水和剤 | クリーンカップ |
| にんにく | 黒腐菌核病 | コニオチリウム ミニタンス水和剤 | ミニタンＷＧ |
| ねぎ | | | |
| きゅうり | 褐斑病<br>斑点細菌病<br>べと病 | 銅・バチルス ズブチリス水和剤 | クリーンカップ |
| | ｽﾞｯｷｰﾆ黄斑ﾓｻﾞｲｸｳｲﾙｽの感染によるﾓｻﾞｲｸ症及び萎凋症 | ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株水溶剤 | キュービオZY-02 |
| かぼちゃ | うどんこ病 | バチルス ズブチリス水和剤 | セレナーデ水和剤(無人ヘリコプターによる散布) |
| | 軟腐細菌病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| トマト<br>ミニトマト | 疫病<br>すすかび病<br>葉かび病 | 銅・バチルス ズブチリス水和剤 | クリーンカップ |
| | 茎えそ細菌病<br>かいよう病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| | 灰色かび病<br>葉かび病 | タラロマイセス フラバス水和剤 | タフパール |
| | 葉かび病<br>すすかび病 | バチルス アミロリクエファシエンス水和剤 | インプレッションクリア |
| | 葉かび病 | バチルス ズブチリス水和剤 | バイオワーク水和剤 エコショット　　アグロケア水和剤<br>バチスター水和剤 セレナーデ水和剤 |
| | 青枯病 | 青枯病菌感染性バクテリオファージＲＫＰ１８１液剤 | 青枯革命 |
| ミニトマト | 斑点病 | バチルス ズブチリス水和剤 | アグロケア水和剤 |
| なす | すすかび病 | タラロマイセス フラバス水和剤 | タフパール |
| | | バチルス アミロリクエファシエンス水和剤 | インプレッションクリア |
| | | バチルス ズブチリス水和剤 | アグロケア水和剤 |
| ピーマン | 黒枯病 | バチルス アミロリクエファシエンス水和剤 | インプレッションクリア |
| | | バチルス ズブチリス水和剤 | アグロケア水和剤 |
| ブロッコリー | 花腐腐敗病<br>黒斑細菌病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| キャベツ | 黒腐病<br>黒斑細菌病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| はくさい | 黒斑細菌病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| レタス<br>非結球レタス | 斑点細菌病<br>腐敗病 | シュードモナス ロデシア水和剤 | マスタピース水和剤 |
| ほうれんそう | 白斑病 | バチルス ズブチリス水和剤 | アグロケア水和剤 |
| いちご | 炭疽病 | タラロマイセス フラバス水和剤 | タフパール |

## 〈参考9－2〉微生物由来の薬剤【BT：バチルス・チューリンゲンシス】（殺虫剤）

| 薬剤名 | 死菌 | 生菌 | 使用倍率 | 10a当り使用量 | 野菜類 コナガ | アオムシ | ヨトウムシ | ハスモンヨトウ | シロイチモジヨトウ | オオタバコガ | ウリノメイガ | タマナギンウワバ | ハイマダラノメイガ | その他の品目等 | 使用時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トアロー水和剤CT | ○ | | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | ○ | ○ | | | | | | | | 果樹類：ハマキムシ類（500～1,000倍：200～700L/10a）<br>ストック：コナガ(1,000倍) | 発生初期、ただし収穫前日まで |
| | | | 500～1,000倍 | | | | ○ | | | | | | | | |
| トアローフロアブルCT | ○ | | 1,000～2,000倍 | | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| | | | 500～1,000倍 | | | | | | | ○ | | | | | |
| ゼンターリ顆粒水和剤 | | ○ | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | ○※ | ○※ | ○※ | | | | | | | はくさい※：ｱｵﾑｼ、ｺﾅｶﾞ、ﾖﾄｳﾑｼ(2,000倍)<br>うり科野菜類：ウリノメイガ(1,000倍)<br>いも類：ハスモンヨトウ(1,000倍)<br>とうもろこし：オオタバコガ(1,000倍)<br>トマト、ミニトマト：トマトキバガ(1,000倍)<br>キャベツ：ネギアザミウマ(1,000倍) | |
| | | | 1,000倍 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| エスマルクDF | | ○ | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | ○ | ○ | | | | | | | | ｷｬﾍﾞﾂ、だいこん、かぶ：ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ(1,000倍)<br>トマト、ミニトマト：トマトキバガ(1,000倍)<br>キャベツ：ネギアザミウマ(1,000倍) | |
| | | | 1,000倍 | | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| バシレックス水和剤 | | ○ | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | ○ | ○ | | | | | | | | かき：イラガ類、カキノヘタムシガ(1,000倍)<br>＊家庭菜園用バシレックス水和剤とは登録が異なるので注意する | |
| | | | 1,000倍 | | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 500倍 | | | | ○ | ○ | | | | | | | |
| デルフィン顆粒水和剤 | | ○ | 1,000倍 | 100～300ℓ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | やまのいも：シロイチモジﾖﾄｳﾞ(1,000倍)<br>いも類：ハスモンヨトウ、オオタﾊﾞｺｶﾞ(1,000倍)<br>とうもろこし：オオタバコガ(1,000倍)<br>トマト、ミニトマト：トマトキバガ(1,000倍) | |
| チューンアップ顆粒水和剤 | | ○ | 2,000～3,000倍 | 100～300ℓ | ○ | ○ | | | | ○ | | | ○ | 水稲：ニカメイチュウ（1,000～2,000倍）、フタオビコヤガ、コブノメイガ、イネツトムシ(2,000～4,000倍)<br>ストック：コナガ(2,000倍)<br>トマト、ミニトマト：トマトキバガ(2,000倍) | |
| | | | 3,000倍 | | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 2,000倍 | | | | ○ | | | | | | | | |
| フローバックDF | | ○ | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | にんにく：ネギコガ(1,000～2,000倍)<br>ｷｬﾍﾞﾂ、だいこん、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、はくさい：ハイマダラノメイガ(1,000倍)<br>ｷｬﾍﾞﾂ、はくさい：ウワバ類(1,000～2,000倍) | |
| | | | 1,000倍 | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| クオークフロアブル | | ○ | 400～800倍 | 150～300ℓ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | きゅうり：ウリノメイガ(400倍) | |
| | | | 400倍 | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| サブリナフロアブル | | ○ | 1,000～1,500倍 | 100～300ℓ | ○ | | | | | | | | | はくさい：ｺﾅｶﾞ(1,000～1,500倍)，ｱｵﾑｼ、ﾖﾄｳﾑｼ(1,000倍) | |
| | | | 1,000倍 | | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | 500～750倍 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | | | 500倍 | | | | | | | ○ | | | | | |

死菌：バチルス　チューリンゲンシス菌の産生する結晶毒素(7.0%)

生菌：バチルス　チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素(10.0%)

〈参考９－３〉微生物由来の薬剤(殺虫剤)

| 作物名 | 適用病害虫 | 農薬種類名 | 商品名 |
|---|---|---|---|
| 野菜類 | アザミウマ類 | ボーベリア バシアーナ乳剤 | ボタニガードES |
| | アブラムシ類 | | |
| | コナガ | | |
| | コナジラミ類 | | |
| | ハダニ類 | | |
| | ネコブセンチュウ | パスツーリア ペネトランス水和剤 | パストリア水和剤 |
| 野菜類(施設栽培) | アザミウマ類 | ボーベリア バシアーナ水和剤 | ボタニガード水和剤 |
| | コナジラミ類 | | |
| | アブラムシ類 | | |
| | ワタアブラムシ | ペキロマイセス フモソロセウス水和剤 | プリファード水和剤 |
| | コナジラミ類 | | |
| | アブラムシ類 | ペキロマイセス テヌイペス乳剤 | ゴッツA |
| | コナジラミ類 | | |
| | コナジラミ類 | バーティシリウム レカニ水和剤 | マイコタール |
| いも類 | ネコブセンチュウ | パスツーリア ペネトランス水和剤 | パストリア水和剤 |
| トマト | コナジラミ類 | ボーベリア バシアーナ水和剤 | ボタニガード水和剤 |
| ミニトマト | | ボーベリア バシアーナ乳剤 | ボタニガードES |
| キャベツ | アオムシ | ボーベリア バシアーナ乳剤 | ボタニガードES |
| レタス | オオタバコガ | ボーベリア バシアーナ乳剤 | ボタニガードES |
| いちご(施設栽培) | ハダニ類 | ペキロマイセス フモソロセウス水和剤 | プリファード水和剤 |

## 〈参考１０〉天敵昆虫剤

| 作物名 | 適用病害虫 | 商品名 | |
|---|---|---|---|
| 野菜類 | ハダニ類 | スパイカルEX | スパイカルプラス |
| | | スパイカルプラスUM | |
| 野菜類(施設栽培) | チャノホコリダニ | スワルスキープラス | リモニカ |
| | ハダニ類 | ミッチトップ | チリトップ |
| | | スパイデックスバイタル | チリガブリ |
| | | チリパック | チリカ・ワーカー2 |
| | | ミヤコトップ | ミヤコスター |
| | | システムミヤコくん | ミヤコ・ワーカー |
| | アザミウマ類 | アカメ | アリガタ |
| | | メリトップ | ククメリスEX |
| | | スワルスキープラス | オリスターA |
| | | タイリク | トスパック |
| | | リクトップ | ヒメハナエース |
| | | リモニカ | |
| | アブラムシ類 | アフィパール | コレトップ |
| | | コレパラリ | チャバラ |
| | | ナミトップ20 | テントップ |
| | | カメノコS | カゲタロウ |
| | コナジラミ類 | エンストリップ | ツヤパラリ |
| | | エルカード | サバクトップ |
| | | スワルスキープラス | リモニカ |
| | オンシツコナジラミ | ツヤトップ25 | |
| | タバココナジラミ類<br>(シルバーリーフコナジラミを含む) | ベミパールEX | |
| | ハモグリバエ類 | ヒメトップ | イサパラリ |
| | | ミドリヒメ | |
| 野菜類(施設栽培、<br>ただし、トマト、ミニトマトを除く) | チャノホコリダニ | システムスワルくん | システムスワルくんロング |
| | アザミウマ類 | システムスワルくん | システムスワルくんロング |
| | コナジラミ類 | スワマイト | |
| 野菜類(露地栽培) | ハダニ類 | システムミヤコくん | |
| | アザミウマ類 | スワルスキープラス | スワルスキー |
| きゅうり(施設栽培) | アザミウマ類 | バコトップ | |
| トマト・ミニトマト(施設栽培) | コナジラミ類 | バコトップ | |
| なす(施設栽培) | アザミウマ類 | キイトップ | |
| | アブラムシ類 | ギフパール | |
| なす(露地栽培) | チャノホコリダニ | スワルスキー | |
| ピーマン(施設栽培) | アブラムシ類 | ギフパール | |
| とうがらし類(施設栽培) | | | |
| ほうれんそう(施設栽培) | ケナガコダナニ | ククメリスEX | |
| いちご(施設栽培) | ホコリダニ類 | ククメリスEX | |
| いちご(施設栽培・露地栽培) | ハダニ類 | ミヤコスター | システムミヤコくん |

## 〈参考１１〉　展着剤

| 分類 | 薬剤名 | 作物名 | 散布液10ℓ当たり使用量 | 使用方法 | 適用農薬名 | 湿展性 | 浸透性 | 分散性 | 可溶化力 | 固着性 | 懸垂性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機能性展着剤（ｱｼﾞｭﾊﾞﾝﾄ） | アプローチBI | 野菜類 | 10mℓ | 添加 | 殺虫剤、殺菌剤 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| | | 野菜類、いも類 | 5mℓ | | | | | | | | |
| | スカッシュ | 野菜類、いも類 | 5～10mℓ | | 殺虫剤、殺菌剤 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| | ドライバー | 野菜類 | 2～10mℓ | | 殺虫剤、殺菌剤 | ○<br>◎ | ○ | △ | ○ | | △ |
| | ミックスパワー | キャベツ、ハクサイ、キュウリ等 | 3.3mℓ | | 有機リン剤、カーバメート剤等の殺虫剤。無機銅剤、有機銅剤等の殺菌剤 | ◎ | ○<br>◎ | ○<br>△ | ○<br>◎ | ○ | ○ |
| 一般展着剤（ｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ） | グラミンＳ | キャベツ等の薬液のつきにくい作物 | 1～3mℓ | | 有機ﾘﾝ剤、ｶｰﾊﾞﾒｰﾄ剤などの殺虫剤。殺ﾀﾞﾆ剤。銅剤、硫黄剤、抗生物質剤などの殺菌剤 | ○<br>◎ | ○ | △<br>○<br>◎ | ○ | ○ | △<br>○<br>◎ |
| | | はくさい、きゅうり、ばれいしょ等の薬液のつきやすい作物 | 0.5～1mℓ | | | | | | | | |
| | ダイコート | 薬液のつきにくい農作物等 | 5mℓ | | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝ酢酸塩剤、有機銅剤、ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ剤等の殺菌剤 | ◎ | ○<br>◎ | △<br>○ | ○ | ○ | △<br>○ |
| | ベタリンーＡ | キャベツ、ねぎ等で展着しにくい作物 | 2～4mℓ | | 有機ﾘﾝ剤、ｶｰﾊﾞﾒｰﾄ剤等の殺虫剤。ﾎﾞﾙﾄﾞｰ液、銅剤、硫黄剤、抗生物質剤等の殺菌剤 | ◎ | ○ | ○<br>△ | ○ | ○ | ○ |
| | | 野菜等で薬剤のつきやすい作物 | 1～2mℓ | | | | | | | | |
| | マイリノー | キャベツ、ねぎ等の薬液のつきにくい作物 | 1～2mℓ | | 抗生物質剤、銅剤などの殺菌剤。有機ﾘﾝ剤、ｶｰﾊﾞﾒｰﾄ剤などの殺虫剤 | ○ | △ | △ | ○ | ○<br>△ | (△) |
| | | 野菜等で薬液のつきやすい作物 | 0.5～1mℓ | | | | | | | | |
| | アグラー | 野菜類、その他の一般畑作物 | 5000～10000倍 | | 硫黄剤、銅剤などの殺菌剤。塩素剤、リン剤などの殺虫剤。植物成長調整剤、除草剤 | ◎ | ○ | ○<br>△ | ○ | ○ | ○ |
| | まくぴか | 野菜類、いも類 | 1～3.3mℓ | | 殺菌剤・殺虫剤 | ◎ | ○<br>△ | ○<br>△ | ○ | | |
| | ブレイクスルー | 野菜類、いも類 | 1～2mℓ | | 殺菌剤・殺虫剤 | ◎ | ○<br>△<br>◎ | ○<br>△ | ○<br>◎ | ○ | ○ |

※ 作物によっては薬害が出やすいことがあるので、必ず使用する展着剤に関する情報を確認し、初めて使用する際は小面積で使用する。

1 クミアイ農薬総覧より引用。

2 表に示した湿展性～懸垂性等の6項目の性質は、界面活性剤単成分の一般的性質で、使用場面では相手の農薬との相性があるので、必ずしもこの表のとおりになるとは限らない。また、浸透性はろ紙法による結果であり、必ずしも動植物体への浸透性を示すものではない。

3 濡れやすい作物では、展着剤を加えすぎると薬液が流亡し、かえって付着量が少なくなることがあるので注意する。

4 表に示した性質以外に、泡立ちがある。

5 展着剤の特性
(1) 湿展性：植物や病害虫の表面にぬれて広がり、薬液を均一に付着させる性質
(2) 浸透性：薬剤が植物組織体へ浸透し、効果を高める性質
(3) 分散性：懸濁や乳化により、水に不溶性または難溶性の薬剤を均一に拡散させ、薬剤粒子間の凝集を防ぐ性質
(4) 可溶化力：ミセルを形成することより、不溶性または難溶性の薬剤を水に均一に溶解させる性質
(5) 固着性：薬剤の付着量を増すとともに、風雨などによる流亡を防ぐ性質
(6) 懸垂性：水和剤粒子が水に均一に分散した状態を維持させて、沈降を遅らせる性質

| 濡れの程度 | 該当作物名 |
|---|---|
| 良い | キュウリ、インゲンマメ、トウモロコシ、カンショなど |
| 中程度 | ナス、トマト、メロン、イチゴなど |
| 悪い | キャベツ、ネギ類、サトイモなど |

6 農薬を溶かす手順
・混用により卓越した薬効の増強が期待できるが、薬害の発生しやすい条件や薬害の出やすい農薬との混用時には注意が必要である。
・一般的に、界面活性剤を多く含む製剤を先に入れた方が、後から加える薬剤の撹散を助ける。
・水→展着剤→乳剤→フロアブル剤→水和剤の順番に加える。
・乳剤は、加えた後均一に白くなるまで撹拌する。
・フロアブル剤は、前日に容器を反転させておく。調整時は容器をよく振って、ビンの中の薬剤を均一にしてから加える。
・水和剤は、調製した薬液を静置すると少しずつ沈殿するので、できるだけ早く散布する（撹拌しながら散布することが望ましい）。

## 〈参考１２〉発生予察用資材

不要な農薬使用による環境負荷を減らし、病害虫の防除要否の検討や適期防除を行うためには、発生時期や量を把握することが重要である。そのため、圃場で利用できる発生予察用資材を以下に紹介する。

### １　発生予察用フェロモン剤

発生予察用フェロモン剤によるモニタリング調査可能な害虫一覧

| 対象作物名 | 対象害虫名 | 利用可能トラップ | | | 誘引シート | 有効期間 | 調査 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 粘着式 | 乾式 | ファネル | | | |
| 野菜類 | ハスモンヨトウ用 | ○ | ○ | ○ | | １ヶ月 | 毎日 |
| | シロイチモジヨトウ用 | ○ | | ○ | | | |
| | ヨトウガ用 | ○ | | | | | |
| | オオタバコガ用 | ○ | | ○※ | | | |
| | タバコガ用 | ○ | | | | | |
| | カブラヤガ用 | ○ | | | | | |
| | タマナヤガ用 | ○ | | | | | |
| | タマナギンウワバ用 | ○ | | | | | |
| | コナガ用 | ○ | | | | | |
| | アワノメイガ用 | ○ | | | | | |
| | ホウレンソウケナガコナダニ用 | | | | ○ | | |
| | トマトキバガ用 | ○ | | | | | |

（使用方法）
- 粘着式…フェロモン剤を粘着トラップの中央に接着し、圃場内に地面から離した状態で設置する。
- 乾式、ファネル…フェロモン剤を内部に入れ、圃場内に地面から離した状態で設置する。
- 誘引シート…シートを圃場の地表面に設置する。

（注意事項）
- 有効期間内にフェロモン剤を交換し、使用済みのフェロモン剤は回収後破棄する。
- 発生予察用フェロモン剤は、防除目的に使用できない。
- ホウレンソウケナガコナダニ「コナダニ見張番」は長期間放置すると、発生源となる恐れがあるので、遅くても１週間以内に回収する。
- 対象作物・害虫によって、トラップの設置高が異なるので注意する。（コナガは20cm）
- オオタバコガは、ファネルトラップでは誘殺数がやや少なくなる。

【参考】

一般社団法人　日本植物防疫協会　発生予察用資材フェロモンとその利用
https://jppa.or.jp/wpsite/wp-content/uploads/pheromones.pdf

### ２　カラー粘着板

粘着板の色彩と誘引される害虫

| 粘着板の色彩 | 対象害虫名 | 調査 |
|---|---|---|
| 黄色 | アブラムシ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類、アザミウマ類（ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ、ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏなど） | ７日ごと |
| 青色 | アザミウマ類（ﾋﾗｽﾞﾊﾅｱｻﾞﾐｳﾏ、ﾐｶﾝｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ、ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏなど） | |

- 野菜類を加害する上記の微小昆虫を誘引・捕殺する粘着板を利用することで、圃場内での発生状況を知ることができる。
- 粘着板は圃場内に数ヵ所設置し、７日ごとに調査を行い、圃場への侵入時期・発生量の目安とする。
- 一般に微小昆虫は成虫の発生から１週間前後で次世代幼虫が増加してくるので、害虫の生育ステージに効果的な薬剤を選定する。
- 要防除水準は、作目、害虫の種類により異なるが、ウイルス病の媒介が懸念される場合には、粘着板への誘引、捕殺を確認次第、薬剤防除を実施する。

## ２　野菜・いも類除草剤

### (1) 使用上の注意事項

① 使用薬量は散布実面積当たりの量であり、畝内散布面積を前もって算出し、その面積当たりの薬量を厳守する。
② 土壌処理剤は、雑草の発芽期に土壌表面を細かく砕いて散布する。
③ 残効害防止のために、除草剤は均一に散布すること。
④ 土壌処理は適当な湿度が必要で、乾燥状態では効果が少なく湿潤すぎると薬害の恐れがある。
⑤ 水量は、土の湿り具合で増減する。 噴霧器は、低圧～中圧で下向き噴口のものを使用する。
また、風が強いときなどは、散布を避けること。
⑥ マルチ、トンネル、ハウスなどは薬害が出やすいので、極端な高温、乾燥状態では使用せず、薬量を少なめにする。

### (2) 農薬使用基準 （各農薬の使用時期・使用回数は適用作物毎に異なるので確認の上使用する）

### (3) 使用方法

| 除草剤名 | なす | ピーマン | トマト | ミニトマト | きゅうり | すいか | メロン | かぼちゃ | いちご | キャベツ | ブロッコリー | はくさい | だいこん | かぶ | 非結球あぶらな科葉菜類 | ほうれんそう | ねぎ | たまねぎ | らっきょう | にんにく | レタス | にんじん | 未成熟そらまめ | スイートコーン | ばれいしょ | かんしょ | やまのいも | さといも |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トレファノサイド乳剤 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ |
| トレファノサイド粒剤2.5 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ナブ乳剤 | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ㋾ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| バスアミド微粒剤<br>ガスタード微粒剤 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ゲザプリムフロアブル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ㋣ | | | | |
| ラッソー乳剤 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | ㋣ | ○ | ○ | | |
| クレマート乳剤 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| クレマートＵ粒剤 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ゴーゴーサン乳剤 | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ㋣ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ゴーゴーサン細粒剤Ｆ | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ㋣ | ○ | | | ○ |
| フィールドスターＰ乳剤 | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | ㋣ | ○ | | | |
| クロロＩＰＣ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| ロロックス | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ラウンドアップマックスロード | ○ | ○ | ○ | ㋮ | ○ | ㋮ | ㋮ | ㋮ | ㋮ | ○ | ㋮ | ○ | ○ | ㋮ | ㋮ | ○ | ○ | ○ | ㋮ | ○ | ○ | ○ | ㋮ | ㋣ | ㋑ | ○ | ㋑ | ㋑ |

※㋑はいも類での登録、㋣はとうもろこしでの登録、㋾は豆類(未成熟)での登録、㋮は野菜類での登録を示す。

# Ⅳ　果　樹

## 1　果樹病害虫

### 果樹病害虫重点防除指導方針

本県の主要樹種としてウメ・ナシ・カキがあり、その他にブドウやイチジクが比較的多く栽培されている。

果樹では病害虫の発生動向に注意し、病害虫の生態や薬剤の性質を踏まえた防除を指導するとともに、栽培環境の整備や栽培上の工夫・改善によって安全で効率的な防除方法の普及をはかる。さらに、農薬の適正使用を徹底し、果物の安全性・農業者の健康保持・環境保全に努める。

1　耕種的防除の推進

(1) 病害虫抵抗性品種・台木を利用する。

(2) 新規に果樹品目を導入する場合は、品目の中で早生種とされる品種を優先し、病害虫の罹病・加害リスクを下げる。

(3) 有機物の投入や土壌の深耕など土づくりを行い、樹体生育の健全化により、病害虫への抵抗性を高める。

(4) 果樹園およびその周辺において被害部位は焼却や地中埋設により迅速に処分し、病害虫の発生源や越冬場所の減少を通して、栽培環境の改善をはかる。

2　主要病害虫の防除技術

(1) 薬剤による防除は、予防散布および病害虫の発生初期散布を基本とする。

(2) 防除効果を高めるため、組織による効率的な防除を推進する。

## （1） ウ メ 〔果樹類＞落葉果樹＞核果類＞小粒核果類＞うめ〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘 要 |
|---|---|---|
| 黒 星 病 | 生 育 期（開花終了～５月） | ・果実への感染から発病までの潜伏期間は30日以上ある。<br>・4月中旬～5月上旬の天候が低温多雨になると発生が多くなる可能性がある。<br>・風通しや日照の悪い園で多発する。多発園では散布間隔を10日以内にする。 |
| | 収 穫 後（８～９月） | ・翌年の発生源になる枝病斑を減らすとともに、花枝生産をする場合はその品質向上をはかるため、収穫後から9月末までに薬剤を散布する。 |
| かいよう病 | 葉芽発芽前まで（休眠期） | ・常発地では休眠期防除が不可欠だが、強風を受けやすい園では防風垣や防風ネットによる防風対策が必須である。 |
| | 果実肥大期（4月上旬～5月上旬） | ・強風や降雹等で傷害を受けた場合は、治療効果のある抗生物質剤を速やかに散布する。<br>・かいよう病の防除対策は欄外参照。 |
| 灰色かび病 | 生 育 期（開花終了直後～4月中旬） | ・開花後のガクや雄しべで発病が始まり、幼果では多くの場合、果梗周辺にやや窪んだ病斑を生じる。好適な条件が揃うと、果実全体が菌糸で覆われ落果する。<br>・開花盛期から開花終期までの日数が10日以上に長引くと発生が多くなる傾向にある。 |
| すす斑病 | 生 育 期（5月下旬～6月上旬） | ・5、6月に雨の多い年や収穫期が遅い谷あいの園で多発しやすい。<br>・ネット収穫を行う場合は、収穫開始時期を考慮して最終薬剤散布の時期を調整する。 |
| 環紋葉枯病<br>葉炭疽病 | 収 穫 後（７～８月） | ・発生前の予防散布または発生初期に薬剤散布を行う。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・切り口にトップジンMペーストを適量塗布する。 |
| アブラムシ類 | 生 育 期（４月～５月中旬） | ・幼木や窒素過多で生育旺盛な樹に発生が多い。<br>・展葉期から5月に高温、乾燥が続くと多発しやすい。<br>・展葉直後の新梢や幼果に寄生して吸汁する。新梢に寄生すると葉は萎縮する。 |
| ノコメトガリキリガ（モモノハナムシ） | 開花終了直後～幼果期 | ・花蕾および幼果に貫入・食害する。 |
| コスカシバ | 休 眠 期（落葉後～萌芽前） | ・この時期にガットキラー乳剤を用いる場合、樹幹部および主枝に十分散布する。新芽の薬害を避けるため、萌芽前に散布を終える。 |
| | 幼虫発生期（5月～10月） | ・生物農薬を用いる場合は、効果を高めるため晴天時の散布は避け、曇天または少雨時に散布するのが望ましい。<br>・虫糞が見られるところを中心に主幹部全体に散布する。 |
| | 成虫発生期（5月上中旬） | ・この時期は成虫の交尾阻害により密度低下をはかる性フェロモン剤を用いる。<br>・ディスペンサーを枝に巻き付け固定する。効果は1シーズン限りなので毎年付け替える。<br>・効果を高めるために、広範囲一斉設置と併せて防風垣の設置を行う。 |
| ケムシ類 | 幼虫発生期 | ・ウメを食害するケムシ類としては、春季に発生するマイマイガ、オビカレハ、夏秋季に発生するモンクロシャチホコ等がある。 |
| | ［耕種的防除］ | ・せん定時に越冬卵塊を取り除く。<br>・卵は1か所に固めて産み付けられ、若齢幼虫のうちは狭い範囲に群がる性質がある。分散前の若齢幼虫のうちに発見し、捕殺する。 |
| ハマキムシ類<br>アメリカシロヒトリ | 収 穫 後（８～９月） | ・害虫の早期発見に努める。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| カイガラムシ類<br><br>カイガラムシ類幼虫<br><br>ウメシロカイガラムシ | 第1世代発生期（４月下旬～5月中旬）<br>第2世代発生期（7月中下旬）<br>第3世代発生期（８月下旬～9月上旬） | ・ウメシロカイガラムシ、タマカタカイガラムシの防除対策は欄外参照。<br>・成虫のカイガラをめくって、産卵～幼虫ふ化時期を把握し、発生初期に散布する。<br>・ウメシロカイガラムシは幼虫発生初期および7～10日後の2回防除すると効果が高い。<br>・休眠期防除参照。 |
| ケシキスイ類<br><br>アカマダラケシキスイ | 収　穫　前 | ・ウメ果実を食害するのはアカマダラケシキスイであり、落果後、数時間で幼虫が果実へ侵入し始める。<br>・成虫は5月中旬～秋まで発生し、幼虫は6月上旬～8月上旬まで発生する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・園内に落ちている梅が増殖源となるため、早急に園外へ撤去する。<br>・落下果実をなるべく地面に接触させないよう、ネット収穫では朝夕2回以上こまめに果実の回収を行う。 |

## ② かいよう病の防除

本病は、果実に病斑を作り商品価値を低下させるだけでなく、開花期に花梗付近に感染したものは後に黒変して、落花（落果）につながることが多い。また、感染した枝は、病斑部分で亀裂を生じたり、折れたりすることがある。しかし、本病に対して卓越した効果のある防除体系は確立されていないので、次の各項目により総合的な対応を行う。

**・防風垣・防風ネットの設置**

風雨によってできた傷口が主な感染経路となるので、樹園地の周囲に防風垣や防風ネットを整備して、風当たりを和らげることが薬剤散布よりも重要である。なお、防風対策は、ミツバチなどの訪花昆虫の活動にも良い影響をもたらす。

**・抗生物質薬剤の散布**

暴風雨や降雹があった場合、天候回復後すみやかに散布する。また、常発園では4月中旬に散布すると発生抑制効果が高い。

**・ボルドー剤の散布**

防風対策が不十分な場合、果実肥大期の薬剤散布だけでは、十分な効果が認められない事例が多い。葉芽発芽までのボルドー剤散布によって、かいよう病の越冬菌密度を低下させることができ、果実肥大期に散布する薬剤の効果を高めることができる。

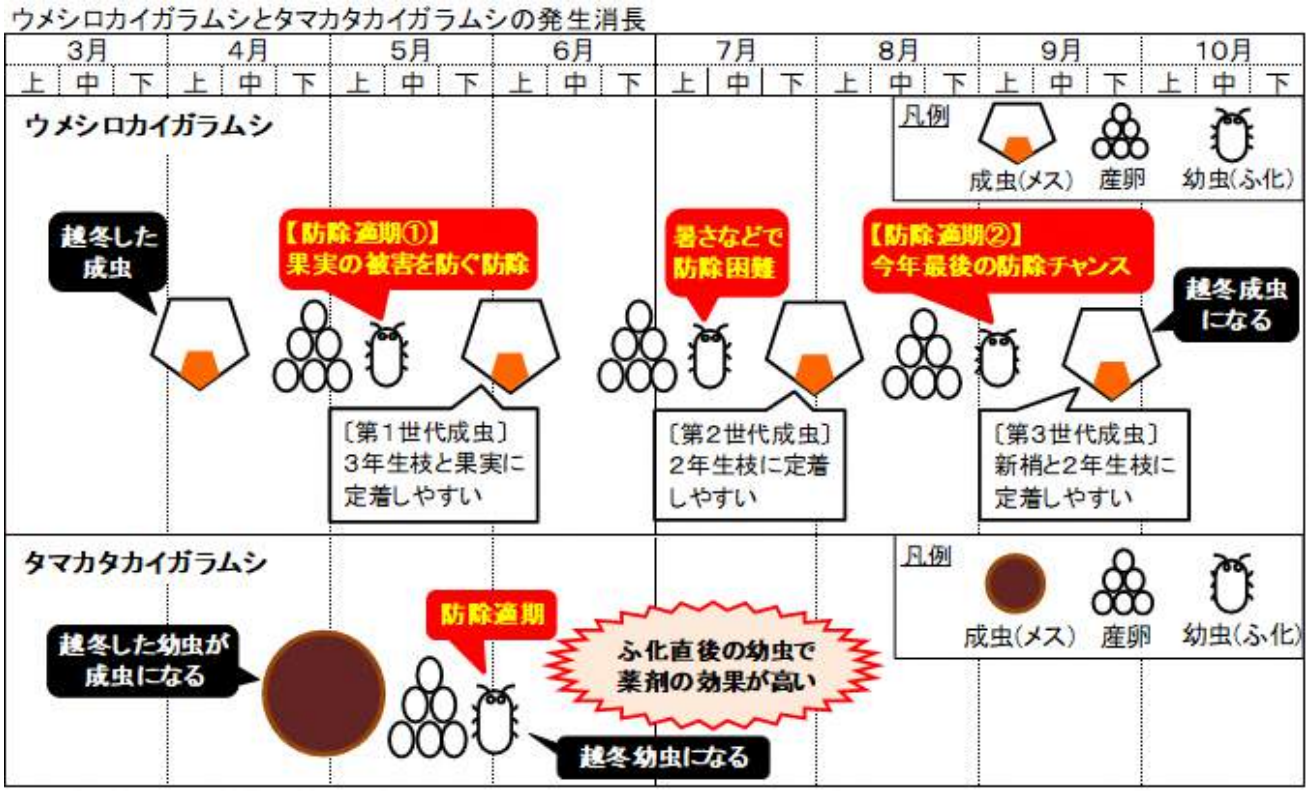
## ③ カイガラムシ類の防除

**ウメシロカイガラムシ**

・年３回発生し、５月上旬に発生する第１世代が果実にも加害する（次頁図）。
・多数の幼虫や成虫が集団でウメ樹に寄生するため、樹勢の低下やこうやく病の発生原因になる。
・ふ化から２週間程度でカイガラを形成するため、ふ化直後に薬剤散布しないと防除効果が著しく低下する。
・薬剤の効果を得るためには、雌成虫のカイガラをめくって産卵時期を把握しながら、ふ化時期を正しく判断し、ふ化最盛期に適切な薬剤を用いて防除を行う。

**タマカタカイガラムシ**

・幼虫と雌成虫が寄生して、吸汁加害する。多発すると落葉が早まったり、枝が枯死する恐れがある。
・年１回発生する。２齢幼虫で越冬し、５月下旬～６月上旬にふ化する（次頁図）。
・もっとも有効な防除時期はふ化直後の５月末頃であり、日陰部を好んで定着するため、樹の下から吹き上げて薬剤を散布すると効果が安定する（平成29年度実用化技術）。




### ④ モモヒメヨコバイの生態と防除

本県でのモモヒメヨコバイの発生は、令和６年に初めて確認（同定）された。成虫は、体長3～3.5㎜で、体色は黄緑色から緑色。幼虫は若齢の時は薄い黄色で、老齢になるにつれて濃くなり、成虫と同じ緑色になる。複眼は黒く、頭頂部に特徴的な黒点がある。詳しい生態は明らかにされていないが、成虫で越冬する可能性があり、１年に複数の世代が発生すると考えられる。

幼虫・成虫が葉を吸汁することで加害し、葉がかすり状に白く脱色し、やがて黄化する。被害量が多いと早期落葉し、翌年の樹勢、収量への影響があると考えられる。被害葉の裏側には、幼虫の白い脱皮殻が付着していることが多い。

国内ではウメ、モモ、ハナモモ等のバラ科の果樹や花木への加害が確認されており、海外ではナシ、リンゴ、ポポー等への加害も報告されている。

春先から圃場内をよく見回り、発生、被害の早期発見に努める。防除の際には、必ず登録のある薬剤を散布する。通常の薬剤防除を行っている生産園地では、本種による大きな被害は確認されていないが、放棄園など管理不足の園地では急速な増殖が見られることから、地域で連携した防除対策が重要である。

### ⑤ スプリンクラー防除

薬剤散布の作業を省力化できるが、薬液量は手散布の約２倍必要になる。また、枝葉が繁茂した状態では枝幹への薬液の付着が劣るため、カイガラムシ等の枝幹害虫に対する防除や５月中旬以降のすす斑病防除は、従来どおり手散布で行う必要がある。

**ウメ【殺菌剤・その他】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | かいよう病 | すす斑病 | すす斑病（うめ） | 灰色かび病 | 環紋葉枯病 | 黒星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 葉炭疽病 | 銅水和剤による薬害の軽減 |
| うめ | ICﾎﾞﾙﾄﾞ-66D | 銅水和剤 | M1 | | 葉芽発芽前まで | - | 200～700ｇ/10a | 散布 | 50倍 | | | | | | | | |
| うめ | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | 葉芽発芽前まで | - | 200～700ｇ/10a | 散布 | 500倍 | | | | | | | | |
| うめ | ｲｵｳﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 発病前～発病初期 | - | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | | | | 500倍 | | | |
| うめ | ｲﾝﾀﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 5000倍 | | | | 5000倍 | | | |
| うめ | ｶｽﾐﾝ液剤 | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ液剤 | 24 | | 収穫30日前まで | 2回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | 500倍 | | | | | | | | |
| うめ | ｻﾙﾌｧｰｿﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 発病前～発病初期 | - | | 散布 | | | | | | 500倍 | | | |
| うめ | ｽｺｱ顆粒水和剤 | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 2000～3000倍 | | | | 2000～3000倍 | | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 3回以内 | 4ｇ/10a | 【Z】 | | 20倍 | | | | 20倍 | | | |
| うめ | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 2000～3000倍 | | 2000倍 | 2000倍 | 2000～3000倍 | | | |
| うめ | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ水和剤 | M9 | 劇 | 収穫14日前まで | 2回以内 | 10ｇ/10a | 【Z】 | | 40～50倍 | | | | 40～50倍 | | | |
| | | | | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 1500～2000倍 | | | | 1500～2000倍 | | | |
| うめ | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 2000倍 | | | 2000倍 | 2000倍 | | | |
| うめ | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ液剤5 | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ液剤 | U18 | | 収穫7日前まで | 4回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | 500倍 | | | | | | | | |
| うめ | ﾍﾟﾗﾝﾃｨｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 8000倍 | | 8000倍 | | 8000倍 | | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 3回以内 | 10ｇ/10a | 【Z】 | | 200倍 | | 200倍 | | 200倍 | | | |
| うめ | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 2000倍 | | 2000倍 | | 2000倍 | | | |
| うめ | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | | | | | | | | | 2000倍 | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | | |
| うめ | ﾏｲｺｼｰﾙﾄﾞ | ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ水和剤 | 41 | | 収穫21日前まで | 4回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | 1500倍 | | | | | | | | |
| うめ | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 収穫45日前まで | 2回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | | | |
| うめ | ﾛﾝｾﾗｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 3000倍 | | 3000倍 | | 3000倍 | | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 3回以内 | 10ｇ/10a | 【Z】 | | 75倍 | | 75倍 | | 75倍 | | | |
| 小粒核果類 | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | 800倍 | | | | 800～1000倍 | | | |
| 小粒核果類 | ｶﾅﾒﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾋﾟﾙﾌﾙｷｻﾑ水和剤 | 7 | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | 4000倍 | | | 4000倍 | | | |
| 小粒核果類 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | | | 原液 | | |
| 小粒核果類 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | |
| 小粒核果類 | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾋﾟﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | | | | 1500倍 | | | |
| 小粒核果類 | ﾊﾟﾚｰﾄﾞ15ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | 2000倍 | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | | | |
| 小粒核果類 | ﾌﾙｰﾂｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | | | | 1500～2000倍 | | | |
| 小粒核果類 | ﾏｽﾀﾋﾟｰｽ水和剤 | ｼｭｰﾄﾞﾓﾅｽ ﾛﾃﾞｼｱ水和剤 | 「-（生）」 | | 収穫前日まで | - | 200～700ｇ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | | | | | |
| 小粒核果類 | ﾐｷﾞﾜ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾟﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | | | | | | 2000倍 | | | |
| 小粒核果類(すももを除く) | ｽﾀｰﾅ水和剤 | ｵｷｿﾘﾆｯｸ酸水和剤 | 31 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ｇ/10a | 散布 | 1000倍 | | | | | | | | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | かいよう病 | すす斑病 | すす斑病（うめ） | 灰色かび病 | 環紋葉枯病 | 黒星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 葉炭疽病 | 銅水和剤による薬害の軽減 |
| 小粒核果類(すももを除く) | ﾑｯｼｭﾎﾞﾙﾄﾞｰDF | 銅水和剤 | M1 | | 葉芽発芽前まで | - | 200～700ｸﾞﾗﾑ/10a | 散布 | 500倍 | | | | | | | | |
| うめ | ｸﾚﾌﾉﾝ | 炭酸ｶﾙｼｳﾑ水和剤 | - | | | - | | 【Z】 | | | | | | | | | 200倍 |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後
使用方法：【Z】無人航空機による散布、【Y】銅水和剤に混用して散布

**ウメ【殺虫剤・その他】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱｶﾏﾀﾞﾗｹｼｷｽｲ | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾒﾘｶｼﾛﾋﾄﾘ | ｳﾒｼﾛｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｹｼｷｽｲ類 | ｹﾑｼ類 | ｺｽｶｼﾊﾞ | ﾉｺﾒﾄｶﾞﾘｷﾘｶﾞ | ﾊﾏｷﾑｼ類 |
| うめ | ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤 | 4A | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～3000倍 | | | | | | | | | |
| うめ | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 3000倍 | | | | | | | | | |
| うめ | ｱﾌﾞﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 1000倍 | | | | | |
| | ｱﾌﾞﾛｰﾄﾞ水和剤 | | | | 収穫後～落葉前 | | | | | | | | | 1000倍 | | | | | |
| うめ | ｶﾞｯﾄｷﾗｰ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 休眠期(落葉後～萌芽前) | 2回以内 | | 【Z】 | | | | | | | | | 100倍 | | |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | | | | 収穫14日前まで | | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000～2000倍 | 1000倍 | | | | | | | | 1000倍 |
| うめ | ﾀﾞﾝﾂﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～4000倍 | | | | | 2000倍 | 2000～4000倍 | | | |
| うめ | ﾊﾞﾘｱｰﾄﾞ顆粒水和剤 | ﾁｱｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 4000倍 | 2000～4000倍 | | | | | | | | | |
| うめ | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾟﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 開花期まで | 1回 | 5～200ﾘｯﾄﾙ/10a | 【Z】 | | | | | | | | | 200倍 | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | 4000倍 | 4000倍 | | |
| うめ | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫21日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 4000倍 | | | | | | 4000倍 | | | |
| うめ | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～6000倍 | | | 2000倍 | | 2000倍 | | | | |
| 小粒核果類 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | | | | | | | | | |
| 小粒核果類 | ｳﾗﾗDF | ﾌﾛﾆｶﾐﾄﾞ水和剤 | 29 | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～4000倍 | | | | | | | | | |
| 小粒核果類 | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000倍 | | | | | | | |
| 小粒核果類 | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～4000倍 | | | 2000倍 | | | | | | |
| 小粒核果類 | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | | | | | | | | | |
| 小粒核果類 | ﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾑﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾙﾎｷｻﾌﾛﾙ水和剤 | 4C | | 収穫3日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 1000～2000倍 | | | | | | |
| 小粒核果類 | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | | | 2000倍 | | | | | | |
| 小粒核果類(すももを除く) | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤34 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤 | 1B | 劇 | 収穫21日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | | | | | | | 1000～1500倍 |
| 果樹類 | ﾊﾞｲｵｾｰﾌ | ｽﾀｲﾅｰﾈﾏ ｶｰﾎﾞｶﾌﾟｻｴ剤 | 「-（生）」 | | 幼虫発生期 | - | 25ﾘｯﾄﾙ | 【Y】 | | | | | | | | | | 2500万頭(約10g) | |
| 果樹類 | ｽｶｼﾊﾞｺﾝL | ｼﾅﾝｾﾙｱ剤 | | | 成虫発生初期から終期 | | | 【X】 | | | | | | | | | 8g/100本製剤 | | |

使用方法：【Z】樹幹部及び主枝に散布、【Y】虫糞が見られる所を中心に主幹部全体に散布、【X】ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け設置する

## （2） ナ　シ　〔果樹類＞落葉果樹＞仁果類＞なし〕

### ① 防除のポイント・注意点

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 黒斑病 | 幼果期 | ・「二十世紀」では袋かけ直前に薬剤を散布し、防除後は時間を空けないで袋かけを行う。<br>・5月下旬～6月は感染最盛期なので、7日おきに防除し、梅雨時期には展着剤を必ず使用する。 |
| 黒星病 | 脱萼期～開花前 | ・りん片がずれ始めた頃に薬剤を散布すると効果が高い。 |
| | 幼果期～果実肥大期および収穫期 | ・春先に降雨が多く、低温の年は多発する。<br>・防除が必要なときは、雨の止み間や少雨でも防除する。<br>・9～10月は秋季発生期であり、収穫期間中でも使用基準を守って薬剤散布する。 |
| | 収穫後 | ・休眠期防除参照 |
| | ［耕種的防除］ | ・病斑がついている枝や芽は切り取り、園外で焼却処分する。<br>・欄外参照 |
| 赤星病 | ・開花直前～5月上旬 | ・多発園では、初発期とさらにその1週間後に散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・中間宿主であるビャクシン類を周辺(1㎞程度)から取り除く。 |
| 輪紋病（いぼ皮病） | 剪定整枝時及び病患部削り取り直後 | ・枝幹部のいぼにトップジンMペーストを塗布して、いぼからの胞子飛散を封じ込める。 |
| | 6月上旬～7月下旬 | ・摘果直後・梅雨期・果実肥大後期が、防除適期である。 |
| 胴枯病 | 剪定(整枝)時及び病患部削り取り直後 | ・せん定直後の切り口にトップジンMペースト、またはバッチレートを塗布する。<br>・特に、「幸水」は予防効果が高い。<br>・生育期にも病患部の早期発見に努め、見つけ次第、病患部を大きめに完全に削りとり、その傷あとおよび周辺部に十分塗布する。 |
| 白紋羽病 欄外参照 | 収穫30日前まで | ・休眠期処理では、根を露出させ病患部切除後に薬剤をかん注する。<br>・生育期処理では、土を掘り返さず、かん注器により土壌に注入する。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| カメムシ類 | 5月中旬～9月上旬 | ・成虫が山林から果樹園に飛来し、幼果期から収穫期まで加害するため、常に発生動向に注意する。 |
| ナシグンバイ | 5月下旬～6月中旬 | ・夏から秋にかけて高温、乾燥が続く年は発生に注意する。 |
| ヤガ類（果実吸汁蛾類） | [被害時期]7月中旬～収穫期 | ・幼虫が山林原野で発育し、成虫が夜間のナシ園に飛来して果実を吸汁する。近くに山林原野があると被害を受けやすい。<br>・ナシを加害するヤガとしてアケビコノハ、フクラスズメ、ナシケンモンがある。 |
| | [耕種的防除] | ・<br>薬剤による防除法はなく、多目的防災網等でナシ園全体を被覆し、成虫の侵入防止をはかる。<br>・忌避効果のある黄色灯を設置し、夜間に点灯する。 |
| アブラムシ類 | 5月上旬～7月下旬 | ・展葉期には葉の薬害が発生しやすいので注意する。 |
| カイガラムシ類<br>クワコナカイガラムシ | 5月上旬～7月中旬 | ・特に春先の発生に注意する。<br>・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に防除する。<br>・休眠期防除参照 |
| コナカイガラムシ類若齢幼虫 | 7月上旬～中旬 | |
| | [コナカイガラムシ類の耕種的防除:バンド誘殺法] | ・9月下旬までに主枝や亜主枝にクラフト紙を巻きつけ、12月～2月に取り外して焼却、駆除する。 |
| ナシホソガ（ナシノカワモグリ） | 6月下旬～7月上旬 | ・6月下旬から7月上旬頃の越冬世代成虫発生最盛期を中心に防除する。 |
| シンクイムシ類 | 7月上旬～中旬 | ・「豊水」では、さらに8月中～下旬の間に薬剤防除を行う。 |
| ナシヒメシンクイ | 成虫発生初期 | ・性フェロモン剤は、ディスペンサーを細枝などに巻き付け、圃場内で均一になるように設置する。晩生品種には残効が及ばないことがあるので、8月中旬に50本/10aを追加で設置する。 |
| | [耕種的防除] | ・被害枝、被害芽は切除後に焼却する。 |
| ハマキムシ類 | 5月中旬～6月下旬 | ・発生状況を見ながら、ふ化幼虫の最盛期に防除する。 |
| ハダニ類<br>欄外参照<br>休眠期防除参照 | [耕種的防除] | ・雑草中で増殖を繰り返すので、草刈りを励行する。なお、草刈りに合わせて薬剤を散布する。<br>・9月中旬に樹幹部にコモ等をまきつけ、バンド誘殺する。 |
| ニセナシサビダニ<br>欄外参照 | 5月上旬～6月上旬 | ・本種は、ナシの徒長枝先端部の新葉に寄生して吸汁加害するほか、増殖すると葉にさび症状を呈する被害を発生させる。被害葉は褐変、変形し、被害が進行すると早期に落葉する。<br>・被害の発生程度には品種間差があり、「二十世紀」など葉に繊毛の多い品種で著しい。<br>・休眠期防除参照 |

## ② 黒星病防除

### 発生の特徴

・9月以降の罹病落葉とりん片病斑が伝染源となり、翌年の3月中旬頃から5月下旬頃にかけて降雨のたびに胞子が飛散し、伝染する。その後、病斑上に形成された分生子は、降雨時に分散して伝染を繰り返す。
・開花直前から開花後約2週間までに、降雨日が多いと感染が増大する。
・葉・葉柄・りん片・花そう基部・果実・新梢に、発病する。もっとも感受性が高い「幸水」では、満開40日後頃には感受性がいったん低下するが、その後再び徐々に高まり、満開75～90日後に最盛期に達する。

### 防　除　法

・もっとも重要な防除時期は、開花直前から開花後2週間までであり、この時期の薬剤防散布を徹底する。
・落葉は、集めて土中に埋めるか焼却する。乗用草刈機での粉砕、ロータリーでの粉砕、すき込みも効果がある。
・りん片および芽基部の病斑は、開花直前までに切除する。
・施肥量の適正化とともに、風通し・日当たりを良くして、健全な樹に育てる。

## ③ 白紋羽病防除

### 発生の特徴

・春季の発芽が遅れ、新梢伸長が悪くなる。葉色はやや淡くなり、果実は小玉傾向となる。
・花芽の数が多くなり、秋季の紅葉、落葉が早くなる。
・地上部にこのような症状が出た樹の根を掘り上げてみて、根に真っ白い菌糸が扇状に密着している場合は、白紋羽病と診断される。

### 防　除　法

・上記のような特徴が一見して分かる場合は、防除が困難な場合が多いので、園内をよく見回り早期発見、防除に努める。
・重症の樹では休眠期処理とし、樹の周囲の半径1m、深さ15㎝程度の土を掘り上げ、根を露出させる。病根を除去した後、薬剤かん注し、埋め戻す土と薬液がよく混ざるようにしながら埋め戻す。
・軽症樹や重症樹の隣接樹では、生育期に土壌かん注器を用いて、薬剤をかん注処理する。

## ④ ハダニ類、ニセナシサビダニの防除

### ダニ剤の特性と使用上のポイント

・前年多発した園では、休眠期防除とともに展葉後なるべく早い時期に防除する。
・ハダニ類は繁殖が早く、高密度になると防除が困難になるので、発生初期に薬剤散布する。
・多発園では、5～6日おきに系統の異なる薬剤で2～3回防除する。
・浸透移行性がない薬剤は、かけ残しのないように葉の表裏に丁寧に散布する。
・成虫に対する防除効果がない薬剤は、薬剤の効果発現には10日程度を要する。

**ナシ【殺菌剤】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 黒星病 | 黒斑病 | 傷口のゆ合促進 | 赤星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 胴枯病 | 白紋羽病 | 輪紋病 |
| なし | ICﾎﾞﾙﾄﾞｰ48Q | 銅水和剤 | M1 | | 収穫後～開花前 | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 30倍 | | | | | | | |
| なし | ｱｸｻｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾌﾙｷｻﾋﾞﾛｷｻﾄﾞ水和剤 | 3,7 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | | | | 2000倍 |
| なし | ｱﾘｴｯﾃｨC水和剤 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ・ﾎｾﾁﾙ水和剤 | M4,P7 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 400～800倍 | | | | | | 400～800倍 |
| なし | ｱﾝﾄﾗｺｰﾙ顆粒水和剤 | ﾌﾟﾛﾋﾞﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 休眠期 | 1回 | 300～400ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 250倍 | | | | | | |
| | | | | | 収穫45日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | 500倍 | | 500倍 | | | | |
| なし | ｲﾝﾀﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾌﾟｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 5000～12000倍 | | | 8000～12000倍 | | | | 5000倍 |
| なし | ｵｰｼｬｲﾝ水和剤 | ｵｷｽﾎﾞｺﾅｿﾞｰﾙﾌﾏﾙ酸塩水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000～4000倍 | 2000倍 | | 3000～4000倍 | | | | |
| なし | ｵｷｼﾗﾝ水和剤 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ・有機銅水和剤 | M1,M4 | | 収穫3日前まで | 9回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500～600倍 | 500～600倍 | | | | | | 500～600倍 |
| なし | ｵﾝﾘｰﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 2000倍 | | 2000～4000倍 | | | | 2000倍 |
| なし | ｶﾅﾒﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾋﾞﾙﾌﾙｷｻﾑ水和剤 | 7 | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 4000～8000倍 | 4000倍 | | 4000～8000倍 | | | | 4000倍 |
| なし | ｷﾉﾝﾄﾞｰ水和剤80 | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫3日前まで | 9回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1200～2000倍 | 1200～2000倍 | | | | | | 1200倍 |
| なし | ｷﾉﾝﾄﾞｰ顆粒水和剤 | | | | 収穫3日前まで | 9回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | 1000倍 | | | | | | 1000倍 |
| なし | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 400～600倍 | 400～600倍 | | 400～600倍 | | | | 400～600倍 |
| なし | ｽｸﾚｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾏﾝﾃﾞｽﾄﾛﾋﾟﾝ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | | | | | 2000～3000倍 |
| なし | ｽｺｱ顆粒水和剤 | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 2000倍 | | 2000～4000倍 | | | | 2000倍 |
| なし | ｽﾄﾛﾋﾟｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000倍 | 2000～3000倍 | | | | | | 2000～3000倍 |
| なし | ｾﾙｶﾃﾞｨｽDﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ・ﾌﾙｷｻﾋﾞﾛｷｻﾄﾞ水和剤 | 7,M9 | 劇 | 収穫60日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500倍 | 1500倍 | | 1500倍 | | | | |
| なし | ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | 500倍 | | 500倍 | | | | |
| なし | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ水和剤 | M9 | 劇 | 収穫60日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | 1000倍 | | 1000倍 | | | | 1000倍 |
| なし | ﾄﾞｷﾘﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫3日前まで | 9回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | 1000倍 | | | | | | 1000倍 |
| なし | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | 原液 | | | |
| | | | | | 【B】 | | | | | 原液 | | | | 原液 | | 原液 |
| なし | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | 2000～3000倍 | | | | |
| なし | ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | 500倍 | | 500倍 | | | | |
| なし | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾟﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | | | | | | 2000倍 |
| なし | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾋﾞﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500～3000倍 | 1500倍 | | 1500～3000倍 | | | | 1500倍 |
| なし | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾞﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 収穫60日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 500～1000倍 | | | | |
| なし(西洋なしを除く) | ﾊﾞｽﾎﾞｰﾄ顆粒水和剤 | TPN水和剤 | M05 | | 収穫後～落葉終了まで | 3回以内 | 200～700L/10a | 散布 | 1000倍 | | | | | | | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 黒星病 | 黒斑病 | 傷口のゆ合促進 | 赤星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 胴枯病 | 白紋羽病 | 輪紋病 |
| なし | ﾊﾞｯﾁﾚｰﾄ | 有機銅塗布剤 | M1 | | 【C】 | 3回以内 | | 【Z】 | | | 原液 | | | 原液 | | |
| なし | ﾊﾞﾚｰﾄﾞ15ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | 2000倍 | | 2000～3000倍 | | | | 2000～3000倍 |
| なし | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000～4000倍 | 3000～4000倍 | | | | | | 3000～4000倍 |
| なし | ﾌﾙｰﾂｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500～3000倍 | | | 1500～3000倍 | | | | |
| なし | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞSC | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 収穫30日前まで | 1回 | 100～200ﾘｯﾄﾙ/樹 | 土壌灌注 | | | | | | | 1000倍 | |
| | | | | | | | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～2500倍 | 2000～2500倍 | | | | | | 2000倍 |
| | | | | | | | 50～100ﾘｯﾄﾙ/樹 | 土壌灌注 | | | | | | | 500倍 | |
| なし | ﾍﾞﾗﾝﾃｨｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 8000倍 | | | | | | | |
| なし | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫14日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500倍 | 1500倍 | | | | | | 1500倍 |
| なし | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | | | | 収穫14日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | | | | | 1000～1500倍 |
| なし | ﾐｷﾞﾜ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾌﾞﾌﾙﾌｪﾉｷﾝ水和剤 | 52 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | | | | | |
| なし | ﾕﾆｯｸｽ顆粒水和剤47 | ｼﾌﾟﾛｼﾞﾆﾙ水和剤 | 9 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 1000～2000倍 | | | | | | |
| なし | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 収穫14日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000～1500倍 | | | | | | |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後
【B】剪定整枝時及び病患部削り取り直後
【C】剪定時及び病患部削り取り直後
使用方法：【Z】剪定枝の切口、病患部の削除あとに塗布

**ナシ【殺虫剤・その他】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶﾒﾑｼ類 | ｸﾜｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類若齢幼虫 | ｼﾝｸｲﾑｼ類 | ﾅｼｸﾞﾝﾊﾞｲ | ﾅｼﾎｿｶﾞ | ﾆｾﾅｼｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 |
| なし | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | 1000倍 | | | 1000倍 | | | | 1000倍 | |
| なし | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | 2000倍 | | | 2000～3000倍 | | | | | 2000倍 |
| なし | ｳﾗﾗDF | ﾌﾛﾆｶﾐﾄﾞ水和剤 | 29 | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | | | | | | | | |
| なし | ｵﾘｵﾝ水和剤40 | ｱﾗﾆｶﾙﾌﾟ水和剤 | 1A | 劇 | 収穫3日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | 1000倍 | | | | 1000倍 | | | | | 1000倍 |
| なし | ｺﾛﾏｲﾄ水和剤 | ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ水和剤 | 6 | | 収穫前日まで | 1回 | 400～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | |
| なし | ｻﾑｺﾙﾌﾛｱﾌﾟﾙ10 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 2500～5000倍 | | | | | 2500～5000倍 |
| なし | ｻﾝﾏｲﾄ水和剤 | ﾋﾟﾘﾀﾞﾍﾞﾝ水和剤 | 21A | 劇 | 収穫21日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | | | | | | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | |
| なし | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500～2000倍 | | 1500倍 | | | 2000倍 | | | | ↑ミカンハダニを除くハダニ類 | |
| なし | ｽﾀｰﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｼｴﾉﾋﾟﾗﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | |
| なし | ﾀﾞﾆｺﾝｸﾞﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾋﾟﾌﾙﾌﾟﾐﾄﾞ水和剤 | 25B | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | |
| なし | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～2000倍 | |
| なし | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤 | 21A | | 収穫14日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | |
| なし | ﾃﾞｨｱﾅWDG | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 5000～10000倍 | | | | | 5000～10000倍 |
| なし | ﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾑﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｽﾙﾎｷｻﾌﾛﾙ水和剤 | 4C | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 1000～2000倍 | | | | | | | | | |
| なし | ﾆｯｿﾗﾝ水和剤 | ﾍｷｼﾁｱｿﾞｸｽ水和剤 | 10A | | 収穫7日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000～3000倍 | |
| なし | ﾊﾟｰﾏﾁｵﾝ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・MEP水和剤 | 1B,3A | 劇 | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | | | 1000～2000倍 | 1000倍 | 1000倍 | 1000～2000倍 | | 1000倍 |
| なし | ﾊﾁﾊﾁﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 収穫30日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | 2000倍 | | | | | 2000倍 | | |
| なし | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | |
| なし | ﾋﾟﾗﾆｶ水和剤 | ﾃﾌﾟﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 収穫14日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1000倍 | 1000～2000倍 | |
| なし | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ﾌﾙﾍﾟﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 4000倍 | | | | | 4000～6000倍 |
| なし | ﾍﾟｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤 | 4A | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | | | | | | | | |
| なし | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾟﾙ | ｸﾛﾏﾌｪﾉｼﾞﾄﾞ水和剤 | 18 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000～2000倍 |
| なし | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 | | 4000倍 | | | |
| なし(無袋栽培) | ｽﾐﾁｵﾝ水和剤40 | MEP水和剤 | 1B | | 収穫21日前まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 800～1200倍 | | 800～1000倍 | 800～1200倍 | | 800～1200倍 | 800～1000倍 | | | | 800～1200倍 |
| なし(有袋栽培) | | | | | 収穫14日前まで | | | | 800～1200倍 | | 800～1000倍 | 800～1200倍 | | 800～1200倍 | 800～1000倍 | | | | 800～1200倍 |
| なし(無袋栽培) | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 収穫21日前まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | 1000倍 | 1500倍 | | 1000倍 | 1000倍 | 1000倍 | | | 1000倍 |
| なし(有袋栽培) | | | | | 収穫14日前まで | | | | 1000～2000倍 | | 1000倍 | 1500倍 | | 1000倍 | 1000倍 | 1000倍 | | | 1000倍 |
| 日本なし | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤34 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤 | 1B | 劇 | 収穫14日前まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | | | | 1000～1500倍 | 1000倍 | 1000～1500倍 | | | | 1000～1500倍 |
| 果樹類 | ﾅｼﾋﾒｺﾝ | ｵﾘﾌﾙｱ剤 | -(ﾌｪ) | | 成虫発生初期から終期 | | 50～100本/10a | 【A】 | | | | | | 50～100本/10a(23g/100本製剤) | ←ﾅｼﾋﾒｼﾝｸｲ | | | | |

使用方法：【A】ﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。

## （3） カ　　キ　　〔果樹類＞落葉果樹＞かき〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 炭　疽　病 | 生　育　期 | ・一般に甘柿品種群で発生が多い。<br>・若木や強せん定により新梢伸長の旺盛な樹で発生が多い。 |
| | ［耕種的防除］ | ・炭疽病が発生している枝は切り取って、焼却する。 |
| 落　葉　病 | 生　育　期 | ・円星落葉病と角斑落葉病があり、著しい落葉によって、果実が早期に軟化して落果する被害となる。<br>・落葉病は5～7月に防除を行う。発病後の薬剤防除は効果がない。 |
| | ［耕種的防除］ | ・落葉病に罹病した落葉は、埋設または焼却処分を行う。 |
| うどんこ病 | 生　育　期 | ・初発を抑制する5月および病徴が見え始める8月の薬剤散布が有効である。<br>・窒素肥料過多の樹に発病しやすいので、肥培管理を適切に行う。 |
| すす点病 | 生　育　期 | ・カキ以外の宿主植物が多い山間部で発生が増加しやすい。 |
| | ［耕種的防除］ | ・密植や過繁茂を避け、通風を良好にする。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・切り口に適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| アザミウマ類 | 生　育　期 | ・カキクダアザミウマおよびチャノキイロアザミウマがカキを加害する。 |
| カキクダアザミウマ | 展　葉　期～幼　果　期 | ・4月中旬頃から越冬成虫がカキに飛来する。未展開葉の中を加害し、被害葉の葉縁は内側にカールする。6月上旬頃から幼果を加害する。 |
| チャノキイロアザミウマ | 開　花　始　期～幼　果　期 | ・一般に「平核無」等の渋柿で発生が多く、甘柿での発生は少ない。<br>・多様な植物に寄生し年間5～8回発生する。カキでは着果期を通して加害するが、開花から1か月間の薬剤散布が重要である。 |
| | ［耕種的防除］ | ・光の乱反射により飛来量が減少し被害が軽減されるので、地面に反射シート等を敷設する。<br>・雑草が繁殖場所になるので、圃場内外の除草を行う。また、除草に合わせて防除を行う。 |
| カキノヘタムシガ（カキミガ） | 生　育　期 | ・発芽盛期から1週間後（4月中旬頃）が防除適期である。 |
| | ［耕種的防除］ | ・粗皮下において前蛹態で越冬するので、休眠期に粗皮削りを行う。 |
| イラガ類（イラガ） | 生　育　期 | ・雑食性で、園地以外の樹でも発生するため、園周辺の樹も見回り、適宜、発生幼虫を駆除する。 |
| カイガラムシ類 | 生　育　期 | ・排泄物に発生するカビが「すす病」となって果実を汚染する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・粗皮下で越冬するので、休眠期に粗皮削りを行う。 |
| フジコナカイガラムシ | 生　育　期 | ・第1世代（7月上旬～中旬頃）の薬剤散布が効果的である。 |
| カメムシ類 | 6　月　上　旬～8　月　上　旬 | ・カメムシは夜間活動性なので、日暮れ前の薬剤散布が効果的である。 |
| ハマキムシ類 | 開　花　後～8　月　上　旬 | ・ハマキムシの幼虫は巻葉の中にいて薬剤がかかりにくいため、加害部に薬剤がよくかかるよう注意して散布する。 |

**カキ【殺菌剤】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | うどんこ病 | すす点病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 炭疽病 | 落葉病 |
| かき | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫45日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 400～800倍 | 400～800倍 |
| かき | ｽｺｱ顆粒水和剤 | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000倍 | | | 3000倍 | 3000倍 |
| | | | | | 収穫前日まで | 3回以内 | 8ﾘｯﾄﾙ/10a | 無人航空機による散 | | | | | 40倍 |
| かき | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000倍 | | | 3000倍 | 3000倍 |
| かき | ﾃｰｸ水和剤 | ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*),3 | | 収穫45日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 600倍 | | | 600倍 | 600倍 |
| かき | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ水和剤 | M9 | 劇 | 収穫90日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | 2000倍 | 2000倍 |
| かき | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | 原液 | | |
| かき | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 |
| かき | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 |
| かき | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾋﾟﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500倍 | | | | 1500倍 |
| かき | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 |
| かき | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 6回以内 | 200～700mL/㎡ | 散布 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

## カキ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱｻﾞﾐﾏﾏ類 | ｲﾗｶﾞ | ｲﾗｶﾞ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｷｸﾀﾞｱｻﾞﾐﾏﾏ | ｶｷﾉﾍﾀﾑｼｶﾞ | ｶﾒﾑｼ類 | ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐﾏﾏ | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ﾌｼﾞｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ |
| かき | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ水和剤 | ｼﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | | |
| かき | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 収穫7日前まで【A】 | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | | | 1000倍 | | | |
| かき | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 収穫45日前まで | 2回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | | | | | 1500倍 | 1500倍 | | 1500倍 | | 1500倍 |
| かき | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | | | | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | | |
| かき | ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾁﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 2B | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | 2000倍 | | | |
| かき | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 | | | | |
| かき | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | | | | 2000～3000倍 | | | | 2000～3000倍 | | |
| かき | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 収穫45日前まで | 2回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | | | | | 1500倍 | 1500倍 | | 1500倍 | | |
| かき | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | 1500～2000倍 | 1500倍 | | | |
| かき | ｽﾐﾁｵﾝ水和剤40 | MEP水和剤 | 1B | | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | | | 800～1000倍 | | | 800～1200倍 | 800～1000倍 | | | 800～1200倍 |
| かき | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | |
| かき | ﾄｸﾁｵﾝ乳剤 | ﾌﾟﾛﾁｵﾎｽ乳剤 | 1B | | 収穫75日前まで | 2回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 1000倍 | | | | | 1000倍 | | | 1000倍 | 1000倍 |
| かき | ﾊﾞｰﾏﾁｵﾝ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・MEP水和剤 | 1B,3A | 劇 | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | 1000倍 | | | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | |
| かき | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 収穫45日前まで | 4回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | | 1500倍 | | | | 1500～3000倍 | | 1500倍 | | |
| かき | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700㍑/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | |

使用時期：【A】（ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く。）

## （4） ブ ド ウ 〔果樹類＞落葉果樹＞ベリー類等の小粒果実類＞ぶどう〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘要 |
|---|---|---|
| 褐斑病 | 休眠期 | ・発芽前から、予防散布する。 |
| | 幼果期<br>生育期 | ・病原菌は葉裏から侵入するので、薬液が葉裏に十分かかるように散布する。<br>・葉で発病し、多発すると黄変して早期落葉する。<br>・米国系品種で、発生が多い。 |
| | ［耕種的防除］ | ・古くなった粗皮をはがし、落葉を回収して、いずれも園外で処分する。<br>・巻きヒゲや病斑のある結果母枝を除去して、園外で処分する。 |
| 晩腐病 | 休眠期 | ・萌芽直前、新梢伸長期、開花期、落花期～小豆粒期、袋かけ直前、袋かけ後～梅雨期が、防除適期である。 |
| | 生育期 | ・6月初めから7月中旬まで、降雨が多いと越冬源からの一次伝染が多くなる。また、成熟期に降雨が多いと二次伝染が助長され、激発する。<br>・摘粒を迅速に終わらせて、袋かけ・笠かけ前の薬剤散布後は薬液が乾き次第、袋かけをすみやかに行う。 |
| | ［耕種的防除］ | ・袋かけでは、袋の中に雨滴が入らないように、止め金をしっかり果軸に巻く。<br>・病原菌は結果母枝・果梗・巻きヒゲなどで越冬するため、果梗・巻きヒゲ・不要な結果母枝は取り除く。また、二番成り果房は格好の発生源になるので、見つけ次第、除去する。<br>・露地栽培で発生が多く、多湿条件でより発病しやすいが、ハウスや簡易雨よけなどの施設栽培により、発生の減少をはかることができる。 |
| 黒とう病 | 休眠期 | ・萌芽直後、新梢伸長期、開花期、落花期～小豆粒期、袋かけ直前、袋かけ後～梅雨期が、防除適期である。 |
| | 幼果期<br>生育期 | ・萌芽直前から梅雨明けまでの感染期に降雨が多いと多発し、特に4～5月の連続降雨は、発病を著しく助長する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・巻きヒゲや病斑のある結果母枝を除去して、園外で処分する。<br>・落花後の花冠(花カス)を落とす。 |
| 灰色かび病 | 開花期～幼果期 | ・病原菌は低温・多湿条件を好むため、春に天候不順の時に突発的に発病する。<br>・開花期前後から、予防散布を行う。 |
| | ［耕種的防除］ | ・密閉した湿度が高いハウスで発病しやすいので、換気により湿度を低下させる。<br>・発病した花穂や果房は、見つけ次第取り除き、園外（ハウス外）に埋設する。 |
| べと病 | 開花期～果実肥大期 | ・欧州系品種は罹病性が高く、米国系品種は耐病性である。<br>・梅雨や秋雨により病徴が急速にまん延するので、必ず予防的な薬剤散布を行う。<br>・病原菌は気孔から侵入するので、薬液が葉裏に十分かかるように散布する。 |
| さび病 | 幼果期～果実肥大期 | ・病原菌は葉裏から侵入するので、薬液が葉裏に十分かかるように散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・アワブキ属植物が中間宿主となるので、可能な限り周辺のアワブキを伐採する。<br>・被害葉が伝染源となるので、発生園では落葉を収集し、園外で処分する。 |
| うどんこ病 | 開花期～果実肥大期 | ・欧州系品種は罹病性が高く、米国系品種は耐病性である。<br>・通風不良園やハウス栽培で、発生しやすい。<br>・適度な湿度が保持され、4～5月の日照時間が長いほど発病が多くなる傾向がある。<br>・開花前後から予防散布を行う。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘要 |
|---|---|---|
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・切り口に、適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| カイガラムシ類<br>コナカイガラムシ類 | 開花前<br>または<br>袋かけ以降 | ・薬剤防除は、ふ化直後の幼虫をねらって行う。<br>・粗皮の間隙やせん定切り口など、暗くて狭いところに好んで寄生する習性があるので、枝幹にも薬液がたっぷりかかるように散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・雌成虫が粗皮下で越冬するので、粗皮削りを行う。 |
| アザミウマ類<br>チャノキイロアザミウマ | 開花前<br>落花後<br>袋かけ直前 | ・チャノキイロアザミウマでは、穂軸の褐変や果皮のコルク化が発生する。<br>・幼果になってからでは防除効果が低いため、開花前から袋かけ直前まで防除につとめる。<br>・袋かけ直前に薬剤を散布し、袋内への害虫侵入を防ぐため隙間がないように留め金を巻き付ける。<br>・成虫の発生予察には、黄色粘着トラップが有効である。 |
| フタテンヒメヨコバイ | 生育期 | ・幼虫・成虫ともに葉裏から吸汁することで、葉の表面に灰白色のカスリ症状を示す。<br>・ハウス内での発生が多く、激発すると排泄物で果粒を汚染する。<br>・5～6月に防除すると、その後の発生は少なくなる。 |
| スカシバ類<br>ブドウスカシバ<br>クビアカスカシバ | 5月中旬<br>収穫直後 | ・ブドウを食害するスカシバ類として、ブドウスカシバおよびクビアカスカシバがある。<br>・ブドウスカシバは、5月下旬～6月に幼虫が主に新梢の髄（中心部）を食害する。<br>・クビアカスカシバは、スズメバチに擬態した成虫が6～8月に発生し、7月下旬以降に幼虫食害部から虫糞木くずが目立つ。<br>・クビアカスカシバに対しては、枝幹部や株元に薬剤を散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・クビアカスカシバは、虫糞の噴出部を見つけ、捕殺する。<br>・薬剤付着および虫糞発見の効率を高めるため、粗皮はがしを行う。 |
| ブドウトラカミキリ | 休眠期 | ・越冬幼虫を対象に、休眠期防除は樹全体に薬剤を散布する。<br>・新芽・新葉に薬害を生じる恐れがあるので、萌芽前に散布を終える。 |
| ハダニ類<br>カンザワハダニ<br>ナミハダニ<br>ブドウサビダニ | 生育期<br>または<br>休眠期 | ・ハウス内での発生が多く、吸汁により葉が黄褐色や赤褐色に変色する。<br>・緑系品種で、収穫期に加害されると果粒表面に茶褐点を生じる。<br>・ナミハダニが激発すると、クモの巣状の糸張りが見られる。<br>・発生初期に、薬剤を葉裏まで散布する。また、発生が多い場合は、散布間隔を短くする。<br>・雑草中で繁殖するので、草刈りに合わせて薬剤を散布する。<br>・抵抗性を発達させないように、同じ（系統）薬剤の連用はしない。<br>・休眠期防除参照 |
| | ［耕種的防除］ | ・粗皮の下で越冬するため、休眠期に粗皮削りを行い、園外に持ち出す。 |
| コガネムシ類<br>コガネムシ類成虫 | 生育期 | ・主にドウガネブイブイ、ヒメコガネの成虫が葉を食害し、発生が多くなると果実も食害される。 |
| | ［耕種的防除］ | ・成虫は衝撃を与えると落下するので、反応の鈍い早朝に捕殺する。 |
| ハマキムシ類 | 生育期 | ・チャノコカクモンハマキが花穂では蕾、花、花梗を綴り合せて食害し、果穂では果粒と果梗の間に糸を張り、果皮や果肉を食害する。 |
| モンキクロノメイガ | 生育期 | ・施設栽培に、寄生が多い傾向がある。<br>・6～8月除捲葉被害の発生初期が、防除適期である。 |

**ブドウ【殺菌剤・その他】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | うどんこ病 | さび病 | べと病 | 灰色かび病 | 褐斑病 | 黒とう病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 晩腐病 | 銅水和剤による薬害の軽減 |
| ぶどう | ICボルドー66D | 銅水和剤 | M1 | | 発病前～発病初期 | - | 200～700g/10a | 散布 | | 50倍 | 25～200倍 | | | | | 100倍 | |
| | | | | | | | 20g/10a | 無人航空機による散布 | | 2倍 | 2倍 | | | | | 2倍 | |
| | | | | | | | 40g/10a | | | 4倍 | 4倍 | | | | | 4倍 | |
| | | | | | | | 60g/10a | | | 6倍 | 6倍 | | | | | 6倍 | |
| ぶどう | Zボルドー | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700g/10a | 散布 | | 500～800倍 | 500～800倍 | | 500～800倍 | | | | |
| ぶどう | アリエッティ水和剤 | ホセチル水和剤 | P7 | | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | | 800倍 | | | | | | |
| ぶどう | オーソサイド水和剤80 | キャプタン水和剤 | M4 | | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | | 800倍 | 800倍 | 800倍 | 800倍 | | 800倍 | |
| ぶどう | オンリーワンフロアブル | テブコナゾール水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | |
| ぶどう | キノンドー水和剤80 | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫45日前まで | 4回以内(開花後は1回) | 200～700g/10a | 散布 | | | 1200倍 | | | 1200～1600倍 | | | |
| ぶどう | ゲッター水和剤 | ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤 | 1,10 | | 収穫45日前まで | 1回 | 200～700g/10a | 散布 | | | | 1000～1500倍 | | | | | |
| ぶどう | コサイド3000 | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700g/10a | 散布 | | 2000倍 | 2000倍 | | | | | | |
| ぶどう | ジマンダイセン水和剤 | マンゼブ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫45日前まで | 2回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | 1000倍 | 1000倍 | | 1000倍 | 1000倍 | | 1000倍 | |
| ぶどう | ストロビードライフロアブル | クレソキシムメチル水和剤 | 11 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | 3000倍 | 3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | |
| ぶどう | デランフロアブル | ジチアノン水和剤 | M9 | 劇 | 休眠期 | 1回 | 200～700g/10a | 散布 | | | | | | 200倍 | | 200倍 | |
| | | | | | 【A】 | 2回以内 | | | | | 1000倍 | | | 1000倍 | | 1000倍 | |
| ぶどう | ドキリンフロアブル | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫45日前まで | 4回以内(開花後は1回) | 200～700g/10a | 散布 | | | 600倍 | | | 600倍 | | | |
| ぶどう | トップジンMペースト | チオファネートメチルペースト剤 | 1 | | 【B】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | | | 原液 | | |
| ぶどう | トップジンM水和剤 | チオファネートメチル水和剤 | 1 | | 収穫45日前まで | 1回 | 200～700g/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | 1000倍 | |
| ぶどう | トリフミン水和剤 | トリフルミゾール水和剤 | 3 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | | | 2000倍 | | | |
| ぶどう | フルーツセイバー | ペンチオピラド水和剤 | 7 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | 1500倍 | 1500倍 | | 1500倍 | 1500倍 | 1500倍 | | 1500倍 | |
| ぶどう | フルピカフロアブル | メパニピリム水和剤 | 9 | | 収穫30日前まで | 2回以内 | 200～700g/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | 2000～3000倍 | | | | | |
| ぶどう | ベンレート水和剤 | ベノミル水和剤 | 1 | | 休眠期 | 1回 | 200～700g/10a | 散布 | | | | | | 200～500倍 | | 200～500倍 | |
| | | | | | 収穫45日前まで | 3回以内 | | | 2000～3000倍 | | | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000倍 | | 2000～3000倍 | |
| ぶどう | ホライズンドライフロアブル | シモキサニル・ファモキサドン水和剤 | 11,27 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | | 2500～5000倍 | | 2500倍 | 2500倍 | | 2500倍 | |
| ぶどう | ミギワ20フロアブル | イプフルフェノキン水和剤 | 52 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | | | | | 2000倍 | | 2000～4000倍 | |
| ぶどう | ムッシュボルドーDF | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700g/10a | 散布 | | 500倍 | 500倍 | | | | | | |
| ぶどう | ランマンフロアブル | シアゾファミド水和剤 | 21 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | | 1000～2000倍 | | | | | | |
| ぶどう | ロブラール水和剤 | イプロジオン水和剤 | 2 | | 【C】 | 3回以内 | 200～700g/10a | 散布 | | | | 1000～1500倍 | | 1000倍 | | | |
| | | | | | | | 6g/10a | 常温煙霧 | | | | 200g/10a | | | | | |
| ぶどう | クレフノン | 炭酸カルシウム水和剤 | | | | - | | 【a】 | | | | | | | | | 100倍 |

使用時期：【A】落弁期まで 但し、収穫75日前まで、【B】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後、【C】開花期～幼果期、但し、収穫60日前まで

使用方法：【a】銅水和剤に混用して散布

## ブドウ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ | ｸﾋﾞｱｶｽｶﾝﾊﾞ | ｺｶﾞﾈﾑｼ類 | ｺｶﾞﾈﾑｼ類成虫 | ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｽｶｼﾊﾞ類 | ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ﾅﾐﾊﾀﾞﾆ | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ﾌﾀﾃﾝﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ | ﾌﾞﾄﾞｳｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ﾌﾞﾄﾞｳｽｶﾝﾊﾞ | ﾌﾞﾄﾞｳﾄﾗｶﾐｷﾘ | ﾓﾝｷｸﾛﾉﾒｲｶﾞ |
| ぶどう | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫7日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | | | | | | | | | 1000倍 | | 1000倍 | | | | |
| ぶどう | ｱﾃﾞｨｵﾝ水和剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 2000～3000倍 | | | | 2000～4000倍 | | | | 2000倍 | | | | |
| ぶどう | ｶﾞｯﾄｷﾗｰ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 休眠期(落葉後～萌芽前) | 2回以内 | | 【a】 | | | | | | | | | | | | | | | | 100倍 | |
| ぶどう | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 収穫14日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | | | | |
| ぶどう | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 収穫14日前まで | 2回以内 | 6ﾘｯﾄﾙ/10a | 常温煙霧 | | | | | | | | | 150mL/10a | | | | | | | | |
| | | | | | 収穫60日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000倍 | | 2000倍 | | | | 2000～4000倍 | 2000倍 | | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | 2000倍 |
| ぶどう | ｺﾛﾏｲﾄ水和剤 | ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ水和剤 | 6 | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 2000倍 | | | | | | |
| ぶどう | ｻﾑｺﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ10 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 5000倍 | | | | | | | | 5000倍 | | | | 5000倍 |
| ぶどう | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 2000倍 | | | 2000～3000倍 | | | 2000倍 | 2000～3000倍 | | | | |
| ぶどう | ﾀﾞﾆｺﾝｸﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾌﾙﾌﾞﾐﾄﾞ水和剤 | 25B | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 2000倍 | | | | | | |
| ぶどう | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤 | 21A | | 収穫30日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000～2000倍 | | | 2000倍 | | | |
| ぶどう | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | | | | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 | |
| ぶどう | ﾄﾗｻｲﾄﾞA乳剤 | ﾏﾗｿﾝ・MEP乳剤 | 1B | | 発芽前(休眠期) | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | | | | | | 200～300倍 | |
| ぶどう | ﾆｯｿﾗﾝ水和剤 | ﾍｷｼﾁｱｿﾞｸｽ水和剤 | 10A | | 収穫7日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 2000～3000倍 | | | | | | |
| ぶどう | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾟﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 開花期まで | 1回 | 5～200ﾘｯﾄﾙ/10a | 【a】 | | | | | | | | 500倍 | | | | | | | | | |
| | | | | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | 4000倍 | | | | 4000倍 | | | | | 4000倍 |
| ぶどう | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 収穫21日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | 1000倍 | | | |
| ぶどう | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 収穫7日前まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000～2000倍 | | | | | | | | | 1000～3000倍 | 1000～2000倍 | | | | | |
| ぶどう | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | | 2000～4000倍 | | | | | | | 2000～4000倍 | | | | |
| | | | | | 収穫後秋期 | | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | | | | | | | | | | | | | | | | | 2000倍 | |
| 小粒種ぶどう | ｽﾐﾁｵﾝ水和剤40 | MEP水和剤 | 1B | | 収穫90日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 800～1000倍 | | | | | | | 800～1000倍 | | 800～1000倍 | 800～1000倍 | |
| 大粒種ぶどう | | | | | 収穫21日前まで | | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | | | | | | | 800～1000倍 | | | | | | | 800～1000倍 | | 800～1000倍 | 800～1000倍 | |
| ぶどう | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 収穫21日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | 1500倍 | 1500倍 | | | | 1500倍 | | | | |

使用方法：【a】樹幹部及び主枝に散布

## （5） ミ カ ン 〔果樹類＞かんきつ＞みかん〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘 要 |
|---|---|---|
| そうか病 | 展葉初期<br>落弁期<br>梅雨期 | ・まん延すると防除困難になるので、発生初期に防除する。<br>・展葉初期および落弁期の薬剤散布が、重要である。 |
| | [耕種的防除] | ・り病している枝や葉は、せん定時に取り除く。<br>・湿度が高いと多発するので、谷間での栽培や密植・過繁茂状態を避ける。 |
| 黒点病 | 果実肥大期 | ・枯れ枝や園内に残したせん定枝が伝染源となり、降雨のたびに枯れ枝等から病原菌が飛散する。このため、多雨年や老木園で発生が多い。<br>・幼果期・梅雨期・秋雨期前(8月中下旬)の防除効果が高い。 |
| | [耕種的防除] | ・枯れ枝はせん定で常時除去し、枯れ枝・せん定枝は園外で処分する。<br>・ミカンの切り株がある場合には、肥料袋等をかぶせて病原菌の飛散を防ぐ。<br>・適切なせん定により樹冠内部への採光を図り、枯れ枝の発生を抑える。 |
| 貯蔵病害<br>(青かび病<br>緑かび病) | 収穫の10～30日前 | ・病原菌は土壌中にあり、秋季に土ぼこりとともに胞子が飛散して、果実に付着する。<br>・果実表面の傷口から感染し、貯蔵中に発病する。 |
| | [耕種的防除] | ・着果期間中は、枯れ枝をこまめに除去し、果実の傷つきを防止する。収穫以後の果実では、収穫・運搬・選別などで果実に傷をつけないよう取扱いに注意する。<br>・降雨時や降雨後または朝露など果実に水滴がある状態での収穫は、絶対に避ける。<br>・貯蔵中は過湿にならないよう換気するとともに、腐敗果は見つけ次第除去する。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時､病患部削り取り直後､及び病枝切除後 | ・切り口に、適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| カイガラムシ類<br><br>カイｶﾞラムシ類幼虫<br><br>ヤノネカイｶﾞラムシ<br>(幼虫～未成熟成虫) | 生育期 | ・ヤノネカイガラムシ越冬雌成虫の産卵は2か月にわたるため、第1世代幼虫は5～6月にかけて発生する。第2世代幼虫は、7月下旬頃に発生する。幼虫のふ化最盛期～ふ化直後に、薬剤散布する。<br>・休眠期のマシン油乳剤の効果が高い。休眠期防除参照 |
| | [耕種的防除] | ・天敵寄生蜂の生息を保護するため、寄生蜂産卵期(7月・9月)の殺虫剤散布はなるべく控える。<br>・整枝せん定によって、通風、採光を良好に保つ。 |
| ミカンハダニ<br><br>ミカンサビダニ | 防寒被覆除去後 | ・越冬虫に対しては、マシン油乳剤の効果が高い。休眠期防除参照 |
| | 落花直後(5月下旬～6月下旬) | ・晴天で乾燥が続くと、発生が増加しやすい。<br>・そうか病および黒点病との同時防除を行う。 |
| | 梅雨明け後(7月中旬～9月上旬) | ・梅雨明け後から盛夏期にかけてダニ類は急激に増殖するので、初期発生に注意し、かけ残しのないように丁寧に散布する。 |
| アザミウマ類<br><br>チャノキイロアザミウマ | 生育期 | ・チャノキイロアザミウマは、年7～8回も発生を繰り返す。ミカン園内での繁殖は少なめで、周辺の中間宿主で繁殖した個体が、繰り返しミカン園に飛来する。 |
| | [耕種的防除] | ・イヌマキ、サンゴジュ等の生垣、茶樹は中間宿主となるので、防風対策は防風ネットを用いる。<br>・忌避効果のあるタイベックシートを樹冠下に敷設する。 |
| アブラムシ類 | 生育期 | ・温州ミカンは、カンキツトリステザウイルス耐病性であるが、アブラムシの吸汁によって温州ミカンから伝播したウイルスが中晩柑類で発病するため、温州ミカンと中晩柑類の混植園などでは、アブラムシ類の発生に注意する。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| カミキリムシ類 | 生　育　期<br>（６～７月） | ・成虫は、枝や葉を食害する。幼虫は地際部から主幹部に食入し、樹勢低下や樹体枯死を引き起こす。<br>・成虫は、6月中旬頃から発生し、6月下旬～8月上旬頃に主幹部へ産卵する。<br>・成虫防除は、樹冠全体へ散布し、幼虫防除は主幹部等へ散布または塗布する。 |
| ゴマダラカミキリ<br><br>ゴマダラカミキリ成虫 | ［耕種的防除］ | ・主幹部の雑草を除去し、隠れ家を減らす。<br>・園内を見回って、成虫を捕殺する。<br>・幼虫は、枝幹部の穴やひび割れを観察して、捕殺する。幼虫の食害痕には、トップジンMペースト等を塗布して、傷口のゆ合促進をはかる。<br>・通風、採光を良好にする。 |
| ミカンハモグリガ | 生　育　期<br>（７月下旬～９月上旬） | ・7月以降に発生する夏秋梢に発生しやすい。<br>・幼虫は、葉の内部を食害しながら進むため、不規則な曲がりくねった食害痕となる。<br>・被害葉は、葉肉内に雨水が入ることで、かいよう病の発生が多くなる。<br>・多発すると葉奇形となり、新梢生育が抑制される。 |
| | ［耕種的防除］ | ・食害された新梢は、せん定で除去する。 |

**ミカン【殺菌剤】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | そうか病 | 灰色かび病 | 黒点病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 貯蔵病害(青かび病) | 貯蔵病害(緑かび病) |
| みかん | ｴﾑﾀﾞｲﾌｧｰ水和剤 | ﾏﾝﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 収穫60日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 600～800倍 | | | |
| みかん | ｷﾉﾝﾄﾞｰ水和剤40 | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | | 400～500倍 | | | |
| みかん | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫30日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 400倍 | | 400～800倍 | | | |
| | | | | | | | 4ﾘｯﾄﾙ/10a | 無人航空機による散布 | | | 5倍 | | | |
| | | | | | | | 8ﾘｯﾄﾙ/10a | | | | 10倍 | | | |
| | | | | | | | 16ﾘｯﾄﾙ/10a | | | | 20倍 | | | |
| みかん | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 |
| | | | | | 4～6月 | | 8ﾘｯﾄﾙ/10a | 空中散布 | 30倍 | | | | | |
| みかん | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | | 4000～6000倍 | 4000～6000倍 |
| | | | | | | | 5ﾘｯﾄﾙ/10a | 無人航空機による散布 | | | | | 30倍 | 30倍 |
| | | | | | | | 10ﾘｯﾄﾙ/10a | | | | | | 60倍 | 60倍 |
| かんきつ | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | | |
| かんきつ | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | 原液 | | |
| かんきつ | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞSC | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 収穫30日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～2500倍 | 2000～2500倍 | 2000倍 | | | |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

**ミカン【殺虫剤】**

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱｹﾞﾊ類 | ｱｻﾞﾐﾏﾏ類 | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｶﾐｷﾘﾑｼ類 | ｺﾞﾏﾀﾞﾗｶﾐｷﾘ | ｺﾞﾏﾀﾞﾗｶﾐｷﾘ成虫 | ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ﾐｶﾝｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ﾐｶﾝﾊﾀﾞﾆ | ﾐｶﾝﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞ |
| みかん | ｱﾌﾞﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 1000倍 | | | | | | | |
| みかん | ｱﾌﾞﾛｰﾄﾞ水和剤 | | | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | | | | | |
| みかん | ｶﾞｯﾄｻｲﾄﾞS | MEP乳剤 | 1B | | 【A】 | 1回 | - | 【X】 | | | | | | 1(原液)～1.5倍 | | | | | | |
| | | | | | | | 100～1000mL/樹 | 【Y】 | | | | | | 1.5倍 | | | | | | |
| みかん | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫3日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 |
| みかん | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | | | | | | 1000～2000倍 |
| みかん | ﾋﾞﾆｶ水和剤 | ﾃﾌﾟﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000～2000倍 | |
| みかん | ﾏｯﾁ乳剤 | ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤 | 15 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | | | | | | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 |
| みかん | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫21日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000～4000倍 | | | | | | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 |
| かんきつ | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000～6000倍 | | |
| かんきつ | ｻﾝﾏｲﾄ水和剤 | ﾋﾟﾘﾀﾞﾍﾞﾝ水和剤 | 21A | 劇 | 収穫3日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 2000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | |
| かんきつ | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤 | 21A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | 1000～2000倍 | |
| かんきつ | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | | 2000～4000倍 | | | | | 2000～4000倍 |
| | | | | | 収穫150日前まで | | 100mL/樹 | 樹幹散布 | | | | | | | 20倍 | | | | | 20倍 |
| | | | | | 収穫前日まで | | 4～8ｸﾞﾗﾑ/10a | 無人航空機による散布 | | 24倍 | 24倍 | | | | 24倍 | | | | | 24倍 |
| | | | | | 収穫前日まで | | 4～16ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 48倍 | 48倍 | | | | 48倍 | | | | | 48倍 |
| かんきつ | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 2000倍 | | | 1000～2000倍 |
| かんきつ | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | | 2000～4000倍 | | | | 2000～4000倍 |
| | | | | | | | 30～75ｸﾞﾗﾑ/10a | 【Z】 | | | | | | | 200～400倍 | | | | | |
| かんきつ | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾄﾗﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | | | | | 2000倍 | ←ｻﾋﾞﾀﾞﾆ類 | |
| | | | | | | | 4～6ｸﾞﾗﾑ/10a | 無人航空機による散布 | | 32倍 | 32倍 | 32倍 | | | | | | 32倍 | | |
| | | | | | | | 6～8ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 40倍 | 40倍 | 40倍 | | | | | | 40倍 | | |
| | | | | | | | 8～10ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 50倍 | 50倍 | 50倍 | | | | | | 50倍 | | |
| | | | | | | | 10～15ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 80倍 | 80倍 | 80倍 | | | | | | 80倍 | | |
| | | | | | | | 15～20ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 100倍 | 100倍 | 100倍 | | | | | | 100倍 | | |
| | | | | | | | 20～30ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 160倍 | 160倍 | 160倍 | | | | | | 160倍 | | |
| | | | | | | | 30～40ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 250倍 | 250倍 | 250倍 | | | | | | 250倍 | | |
| | | | | | | | 40～50ｸﾞﾗﾑ/10a | | | 320倍 | 320倍 | 320倍 | | | | | | 320倍 | | |

使用時期：【A】6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)但し収穫90日前まで

使用方法：【X】樹幹の地際部から約30～40cmの高さまで塗布、【Y】樹幹の地際部から約30～40cmの高さまで散布、【Z】主幹から株元に散布

## （6） イチジク 〔果樹類＞落葉果樹＞いちじく〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 病害全般 | [耕種的防除] | ・圃場全体の排水改善を図り、なるべく高いうねに植栽する。また、ハウス栽培を行う。<br>・株元にマルチや敷き藁を行い、水滴による病原菌のはね上がりを防ぐ。<br>・通風、採光の改善を図る。<br>・発病部位（主に葉、果実、時には株全体）はすみやかに除去し、園外で焼却か土中深く埋める。<br>・せん定によって切り取った枝や落葉も、園外で粉砕、焼却または土中深く埋める。 |
| 炭疽病 | 生育期 | ・果実だけに発病する。最初は暗褐色の小斑点が形成され、内部が淡褐色で周辺が濃褐色のへこんだ病斑に進展する。病徴が進むと鮭肉色の粘液を分泌する。<br>・薬剤による防除法は確立していないため、耕種的防除を徹底する。 |
| 疫病 | 6 ～ 9 月 | ・地際から根に発病し株全体を枯死させる「立枯れタイプ」、および葉、果実、新梢に発病する「樹上タイプ」がある。立枯れタイプは、株枯病との判別がつきにくい。<br>・疫病による立枯れでは、地下部の表皮が溶けるように腐敗し、軟化する。<br>・土壌中の病原菌が雨滴やかん水ではね上がり感染することから、露地栽培で発生が多い。 |
| 黒かび病 | 8 ～ 9 月 | ・酵母菌腐敗病と初期症状が似ているが、酵母菌腐敗病では発酵臭がある。<br>・発病後の防除では、効果が上がりにくい。収穫開始までに、薬剤を予防散布する。 |
| | [耕種的防除] | ・ハウス栽培でも発生するので、晴天時には換気して湿度低下を図る。 |
| そうか病 | 新梢伸長期 | ・葉・新梢・果実に発病し、降雨によって拡散するため、露地栽培で5～6月に降雨が多いと発生しやすい。<br>・「蓬莱柿」、「カドタ」は発生しやすく、「ドーフィン」は発病が少ない。<br>・新梢伸長初期および最下段の着果確認時が、薬剤散布の重点時期である。 |
| さび病 | 7 ～ 8 月 | ・葉だけに発病し、葉裏に黄褐色や赤褐色の微細な病斑を形成する。<br>・著しい発病により落葉し、果実肥大に悪影響を及ぼす。<br>・盛夏期に、2週間間隔で薬剤を散布する。 |
| | [耕種的防除] | ・ハウス栽培でも発生するので、晴天時には換気して湿度低下を図る。 |
| 株枯病 | 定植時及び生育期 | ・最初は地際部の表皮が濃褐色のあざ症状になり、ひび割れが観察される。<br>・上記症状は上部へ拡大し、主幹や主枝の内部が褐変腐敗し、株が枯死する。<br>・土壌に病原菌が残存しやすく、改植しても高率で再発する。<br>・定植時および5～10月に、月1回ずつ株元に薬剤を灌注する。 |
| | [耕種的防除] | ・保菌した挿し穂や苗木が感染源となるので、苗木や穂木は未発病地に由来するものを用いる。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・切り口に適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| ショウジョウバエ類（酵母腐敗病） | 果実成熟期 | ・ショウジョウバエ等の昆虫が酵母腐敗病を媒介する主な原因となるので、ショウジョウバエに対して薬剤を散布する。 |
| | [酵母腐敗病の耕種的防除] | ・過熟果がショウジョウバエを誘引するので、適期収穫を行う。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| アザミウマ類 | 生　育　期<br>（7月末まで） | ・除草に合わせて、薬剤を散布する。<br>・圃場内に粘着板を設置し、発生状況を把握する。<br>・収穫初期(低節位の着果)に被害が多く、中～高節位では被害は減少する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・光の乱反射により飛来量が減少し、被害が軽減されるので、地面に反射シート等を敷設する。<br>・雑草が繁殖場所になるので、圃場内外の除草を徹底する。 |
| カイガラムシ類<br>（幼虫） | 幼虫発生期 | ・6月上～中旬が、防除適期である。<br>・休眠期防除参照 |
| カミキリムシ類 | 4　～　7　月 | ・噴射式缶入り殺虫剤を用い、食入孔にノズルを差し込んで薬剤を噴射する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・成虫は、見つけ次第捕殺する。幼虫は、食入痕に針金を差し込み、刺殺する。<br>・ハウス栽培により、害虫の侵入を防ぐことができる。 |
| キボシカミキリ幼虫 | 産卵期～幼虫喰入期 | ・生物農薬を使用する。生物農薬は、昆虫に寄生する性質を持ったセンチュウを製剤化した天敵農薬であり、効果を高めるため晴天時の散布は避け、曇天または少雨時に散布するのが望ましい。 |
| クワカミキリ | 4　～　7　月 | ・噴射式缶入り殺虫剤を用い、食入孔にノズルを差し込んで薬剤を噴射する。 |
| ネコブセンチュウ | 5月または収穫終了後 | ・樹勢低下がみられたら、根こぶの有無を確認する。 |
| ハダニ類 | 5月～9月 | ・白い紙で葉裏をこすった時に付く赤い汁の有無で、発生を診断する。<br>・前年多発した園では、休眠期防除とともに展葉後なるべく早い時期に防除する。<br>・高密度に発生すると各薬剤とも効果を発揮しにくくなるので、発生初期にかけ残しのないよう丁寧に散布する。<br>・多発園では、5～6日おきに系統の異なる薬剤で2～3回防除する。<br>・休眠期防除参照 |

## イチジク【殺菌剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | さび病 | そうか病 | 疫病 | 株枯病 | 黒かび病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 |
| いちじく | Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000倍 | | | |
| いちじく | ｱﾐｽﾀｰ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱﾌﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | 1000倍 | 1000倍 | | | |
| いちじく | ｵﾝﾘｰﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 生育期 但し、収穫前日まで | 3回以内 | 5～10ﾘｯﾄﾙ/樹 | 灌注 | | | | 2000倍 | | |
| いちじく | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000倍 | | | |
| いちじく | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | 2000倍 | | 2000倍 | |
| いちじく | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ水和剤 | M9 | 劇 | 収穫75日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000倍 | | | | |
| いちじく | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | | 原液 |
| いちじく | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000～1500倍 | | | 1000～1500倍 | |
| | | | | | 収穫前日まで | 6回以内 | 1～10ﾘｯﾄﾙ/株 | 灌注 | | | | 500倍 | | |
| いちじく | ﾄﾘﾌﾙﾐｼﾞｰﾙ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | | | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 4回以内 | 1～10ﾘｯﾄﾙ/株 | 灌注 | | | | 500倍 | | |
| いちじく | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 1～10ﾘｯﾄﾙ/樹 | 株元灌注 | | | | 1000倍 | | |
| いちじく | ﾗﾘｰ水和剤 | ﾐｸﾛﾌﾞﾀﾆﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | |
| いちじく | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ水和剤 | 21 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000倍 | | | |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

## イチジク【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｶﾐｷﾘﾑｼ類 | ｷﾎﾞｼｶﾐｷﾘ | ｷﾎﾞｼｶﾐｷﾘ幼虫 | ｸﾜｶﾐｷﾘ | ｼｮｳｼﾞｮｳﾊｴ類 | ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | ﾊﾀﾞﾆ類 |
| いちじく | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | 1000倍 | | 1000倍 |
| いちじく | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | | | | |
| いちじく | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000倍 | | | | | | | |
| いちじく | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 収穫45日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | | | | |
| いちじく | ｶﾞｯﾄｻｲﾄﾞS | MEP乳剤 | 1B | | 【Z】 | 3回以内 | - | 【a】 | | | | 原液 | | | | | | |
| いちじく | ｺﾛﾏｲﾄ水和剤 | ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ水和剤 | 6 | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 |
| いちじく | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 収穫45日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | | | | |
| いちじく | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | | | | |
| いちじく | ﾀﾞﾆｺﾝｸﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾌﾙﾌﾞﾐﾄﾞ水和剤 | 25B | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 |
| いちじく | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～2000倍 |
| いちじく | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤 | 21A | | 収穫3日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～2000倍 |
| いちじく | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫3日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | 2000倍 | | | | | | |
| いちじく | ﾃﾞｨｱﾅWDG | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 5000倍 | | | | | | | 10000倍 | | |
| いちじく | ﾆｯｿﾗﾝ水和剤 | ﾍｷｼﾁｱｿﾞｸｽ水和剤 | 10A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000～3000倍 |
| いちじく | ﾈﾏﾄﾘﾝｴｰｽ粒剤 | ﾎｽﾁｱｾﾞｰﾄ粒剤 | 1B | | 収穫60日前まで | 1回 | | 樹冠下処理 | | | | | | | | | 20kg/10a | |
| いちじく | ﾊﾞｲｵｾｰﾌ | ｽﾀｲﾅｰﾈﾏ ｶｰﾎﾞｶﾌﾟｻｴ剤 | 「-（生）」 | | 産卵期～幼虫喰入期 | - | 2.5ﾘｯﾄﾙ | 【b】 | | | | | | 2500万頭(約10g) | | | | |
| いちじく | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 |
| いちじく | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000倍 |
| いちじく | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | | | 2000倍 | | | | | |
| いちじく | 園芸用ｷﾝﾁｮｰﾙE | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝｴｱｿﾞﾙ | 3A | | 収穫前日まで | 2回以内 | | 【c】 | | | | | | | 原液 | | | |
| 果樹類 | ｽﾊﾟｲｶﾙEX | ﾐﾔｺｶﾌﾞﾘﾀﾞﾆ剤 | 「-（生）」 | | 発生初期 | - | | 放飼 | | | | | | | | | | 2.4～12mL/樹(約48～ |
| 果樹類(施設栽培) | ｽﾊﾟｲﾃﾞｯｸｽ | ﾁﾘｶﾌﾞﾘﾀﾞﾆ剤 | 「-（生）」 | | 発生初期 | - | | 放飼 | | | | | | | | | | 100～300mL/10a(約2000～ |
| 【A】 | ロビンフッド | ﾌｪﾝﾌﾞﾛﾊﾞﾄﾘﾝｴｱｿﾞﾙ | 3A | | 収穫前日まで | 5回以内 | | 【d】 | | | | 原液 | | | | | | |

作物名：【A】果樹類(かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、すもも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、オリーブを除く)

使用時期：【Z】4～7月但し収穫7日前まで

使用方法：【a】株元から結果母枝まで塗布

【b】主幹及び主枝の産卵箇所に薬液が滴るまで塗布又は散布

【c】食入部にﾉｽﾞﾙを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射

【d】樹幹・樹枝の食入孔にﾉｽﾞﾙを差し込み噴射

## (7)　キウイフルーツ　〔果樹類＞落葉果樹＞キウイフルーツ〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 花腐細菌病 | 休眠期 | ・樹皮や休眠芽で越冬した細菌が雨滴で蕾に飛散し、がくの裂開とともに花蕾の中へ侵入し、花では不受精や奇形果・落果を生じる。<br>・開花期に、雨が多いと発生が増加する。 |
| | 生育期（4月中旬～下旬） | |
| | ［耕種的防除］ | ・強風が吹き抜ける場所での栽培を避け、防風対策を行う。<br>・せん定枝は、園外に持ち出して処分する。<br>・通風・採光・排水を改善し、多肥を避けて、落ち着いた樹勢で管理する。<br>・開花の1か月前(3月下旬～4月中旬頃)に、主幹部を5㎜幅で、環状はく皮する。 |
| かいよう病 | 【共通】 | ・品種によって2倍体・4倍体・6倍体に分かれるが、2倍体品種(「紅妃」等)は抵抗性が低く、6倍体品種(「ヘイワード」等)は抵抗性が高い傾向にあるので、品種選定で抵抗性(り病性)に注意する。<br>・病原菌にはpsa1～5の系統があり、中でもpsa3で病徴や感染力が著しい。 |
| | 生育期（4月中旬～下旬） | ・罹病した枝幹部から2～4月に暗赤色の細菌液が漏出し、雨滴で飛散する。<br>・気孔や傷口から菌が侵入し、葉での発病は4～6月に最盛期となる。<br>・春や秋の強風雨で、広範囲に伝染する。冬季の低温で、発生が助長される。 |
| | 落葉期～休眠期 | ・せん定による切り口は菌が侵入しやすいので、トップジンMペーストを塗布しておく。 |
| | ［耕種的防除］ | ・強風が吹き抜ける場所での栽培を避け、防風対策を行う。<br>・発病枝のせん定に用いた鋏、鋸は消毒して次の健全樹に用いる。 |
| 灰色かび病 | 開花期～落花期 | ・梅雨期の多雨や過繁茂状態で、発生しやすい。<br>・傷果や濡れ果は、収穫しない。 |
| 果実軟腐病 | 着果期<br>6～7月および9～10月 | ・貯蔵中に発病した果実は、すみやかに除去する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・冬季のせん定および夏季の徒長枝除去により、通風、採光を良好に保つ。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・切り口に、適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| カイガラムシ類<br><br>カイガラムシ類幼虫 | 5月中旬<br>7月上旬<br>9月上旬 | ・休眠期防除参照<br>・休眠期は石灰硫黄合剤またはマシン油乳剤を散布する。 |
| カメムシ類 | 果実肥大期 | ・カメムシ類は夜間活動性なので、日暮れ前の防除が効果的である。 |
| キイロマイコガ | 果実肥大期成熟期 | ・果実接合部やへた部等に糸を張った巣の有無で、発生状況を確認する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・果実が重ならないよう、適正摘果に努める。 |

## キウイフルーツ【殺菌剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | かいよう病 | 果実軟腐病 | 花腐細菌病 | 灰色かび病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ICﾎﾞﾙﾄﾞｰ66D | 銅水和剤 | M1 | | 収穫後～発芽前 | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 25～50倍 | | | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｱｸﾞﾘﾏｲｼｰ100 | ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ・ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ水和剤 | 25,41 | | 落花期まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | 1000倍 | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｱｸﾞﾚﾌﾟﾄ水和剤 | ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ水和剤 | 25 | | 収穫90日前まで | 4回以内 | | 散布 | 1000倍 | | 1000倍 | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤 | 24,M1 | | 休眠期 | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | | 500倍 | | |
| | | | | | 【A】 | | | | 1000倍 | | 1000倍 | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｶｽﾐﾝ液剤 | ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ液剤 | 24 | | 収穫90日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 400倍 | | 400倍 | | |
| | | | | | 収穫後～落葉前まで | 1回 | 【a】 | 樹幹注入 | 200倍 | | | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000～3000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 収穫60日前まで | 7回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 500～1000倍 | | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【B】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | 原液 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000倍 | | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | | 2000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞSC | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 収穫30日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | | 2000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000倍 | | 1000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700mL/㎥ | 散布 | | 2000倍 | | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾑｯｼｭﾎﾞﾙﾄﾞｰDF | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 開花期～落花期 | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000～1500倍 | |
| | | | | | 収穫前日まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | | | 1000～1500倍 | | | |

使用時期：【A】発芽後叢生期(新梢長約10cm)まで、【B】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

使用量：【a】棚上の樹冠面積10㎡当り3ﾘｯﾄﾙ、以降、樹冠面積が10㎡増す毎に1ﾘｯﾄﾙ追加

## キウイフルーツ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｶﾒﾑｼ類 | ｷｲﾛﾏｲｺｶﾞ |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000倍 | 2000～3000倍 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞ水和剤 | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000倍 | | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～2000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1500～2000倍 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～2000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000～4000倍 | |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1500倍 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾟﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 4000倍 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000倍 |
| ｷｳｲﾌﾙｰﾂ | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | |

## （8） モ　モ　〔果樹類＞落葉果樹＞核果類＞もも類＞もも〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 【 全 般 】 | ［耕種的防除］ | ・果実の病害虫被害を予防・軽減するためには、袋かけ栽培が望ましい。 |
| 黒星病 | 開花期～袋かけ前 | ・多くの病気は花感染が原因であり、満開期防除を行うとともに、その後は袋かけまで定期的な防除に努める。<br>・袋かけは、生理落果が終わったのこと確認し、満開60日後を目安に実施する。 |
| 縮葉病 | 開花直前 | ・発病後に治療する方法はないので、必ず3月の発芽前に石灰硫黄合剤を散布する。<br>・休眠期防除参照 |
| | 9～10月 | ・縮葉病の越冬菌は、樹皮に付着して冬期間は増殖しないことから、この時期にボルドー剤を散布すれば、翌年の発芽前防除に代えることができる。 |
| せん孔細菌病 | 【 共 通 】 | ・欄外参照 |
| | 果実肥大期 | ・暴風雨が発生した場合は、速やかに抗生物質薬剤を単剤で散布する。 |
| | 生育期（9月以降） | ・早期落葉や夏型枝病斑の発生が見られる場合の対策は、欄外参照。 |
| | ［耕種的防除］ | ・冬季せん定で罹病した枝は、切除して園外で焼却または埋設処分する。<br>・栽培期間中も、罹病した枝も随時、同様に処分する。 |
| 灰星病 | 開花直後～成熟期 | ・収穫直前の成熟果に発生するが、収穫時に健全に見えても貯蔵中に急激に発病することも珍しくない。<br>・発病果実を見つけたら、園外に持ち出して土中などで処分する。また、発病果実に触れた手で、他の果実に触れないように注意する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・発病果や枯れ枝は、有力な伝染源なので除去に努める。<br>・摘果後は、すみやかに袋かけを行う。 |
| ホモプシス腐敗病 | 成熟期 | ・灰星病とともに果実腐敗を起こす代表的な病害である。灰星病と同様に、樹上果実や収穫後果実にも、急激に発病する。<br>・晩生ほど感染期間が長く、発生が多くなりやすい。 |
| | ［耕種的防除］ | ・枯れ枝は、有力な伝染源なので、せん定で取り除く。<br>・摘果後は、すみやかに袋かけを行う。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時・病患部削り取り直後・及び病枝切除後 | ・切り口に、適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| うどんこ病 | 果実肥大期 | ・病原菌は、被害果実、被害落葉で越冬し、果実は5月～6月にかけて発病する。 |
| 果実赤点病 | 果実肥大期（6月～7月） | ・ウメシロカイガラムシの加害症状と酷似するが、吸汁痕の有無で識別する。 |
| すすかび病 | 果実肥大期（5月～6月） | ・風通しの悪い園や袋掛けが遅れた園、冷夏・長雨が続くと発生が多い。<br>・5月上旬から袋掛け前までに数回、幼果に薬剤が付着するようていねいに散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・収穫時期が遅くなると、発病が多くなるので、適期収穫を心がける。<br>・冬季せん定で罹病した枝は、切除して園外で焼却または埋設処分する。<br>・果実への感染を防ぐため、袋かけを行う。また、密植を避けて、風通しをよくする。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 黒斑病 | 落下後～生育期 | ・この病気は、「清水白桃」に特異的に発生が多く、多発すると大きな被害を生じる。<br>・風通しの悪い園や5月～梅雨期及び9月に気温が高く降雨が多いと発生が多い。<br>・落花後から幼果の肥大期までの散布が重要である。 |
| | [耕種的防除] | ・「清水白桃」以外の品種へ、転換する。<br>・発病樹は伐採し、発病果、発病枝は見つけしだい処分する。<br>・密植、過繁茂、多窒素栽培を避ける。 |
| 白紋羽病 | 植付時 | ・植え付け前に、根部を10分間、殺菌剤で浸漬後植え付ける。 |
| | [耕種的防除] | ・着果過多を避ける。 |
| 炭疽病 | 果実肥大期 | ・4～6月の果実肥大期に降雨が多いと発病が多く、樹勢の劣る樹では発病が助長される。 |
| | [耕種的防除] | ・発病しにくい「白桃」、「大久保」などの品種を植え付ける。 |
| 胴枯病 | [耕種的防除] | ・凍害、着果過多、樹勢の低下、強せん定、排水不良等によって発生が助長される。<br>・胴枯病菌は凍害による傷だけでなく、様々な傷から感染するため、樹体の保護に努める。<br>・せん定後は、切り口を速やかにゆ合剤で塗布し、傷口を保護する。 |
| アブラムシ類 | 展葉期～新梢伸長期 | ・モモでは主にモモアカアブラムシ、モモコフキアブラムシ、ウメコブアブラムシが加害し、常に軟らかな新葉部分から吸汁し、葉巻き症状を引き起こす。<br>・モモの葉が硬化する5月下旬以降は別の植物へ移動し、10～11月にモモ樹に帰ってきて産卵し越冬する。 |
| カメムシ類 | 果実肥大期 | ・モモでは主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシが加害する。<br>・冬季は落葉下で越冬し、年に1～3回発生する。<br>・発生予察情報に注意するとともに、自園での発生状況の把握に努める。発生が見られたら、早期に薬剤を散布する。 |
| モモハモグリガ | 果実肥大期 | ・幼虫が大きくなると効果が低下するため、早期発見して薬剤を散布する。 |
| シンクイムシ類（モモシンクイガ、モモノゴマダラノメイガ、ナシヒメシンクイ） | 果実肥大期～成熟期 | ・モモシンクイガは、土中繭内にて幼虫の形態で越冬し、4～5月になると冬繭から脱出して蛹になり、6～8月に成虫となる。成虫は果実表面に産卵し、ふ化幼虫は果皮を食い破って果肉に侵入し、果実内を縦横に食害する。老熟後は果面に1～2mmの穴をあけて脱出し、地表面近くで夏繭をつくる。<br>・モモノゴマダラノメイガは、果実のみを加害し、有袋果であっても袋の裂け目から侵入する。<br>・ナシヒメシンクイの越冬世代成虫は4月下旬から発生し、新梢先端部に産卵、新梢内を食害して心折れ被害となる。6月下旬以降に産卵、ふ化した幼虫は果実に移動して食入する。<br>・果実の中まで薬剤の効果は届かないので、果実への食入前に薬剤を散布する。 |
| カイガラムシ類 | 休眠期 | ・休眠期防除参照 |
| | 生育期 | ・モモを加害するカイガラムシは、ウメシロカイガラムシ、タマカタカイガラムシが主な種類である。いずれの種類とも、ふ化から1～2週間でカイガラを形成し、薬剤の効果が著しく低下するので、薬剤散布はふ化直後に実施する。<br>・5-1ウメ(4)カイガラムシ類の防除参照 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| コスカシバ | 休眠期（落葉後～萌芽前） | ・幼虫は樹皮下で越冬し、翌春も食害を続け、樹皮下で蛹化する。越冬幼虫の発育は不揃いで、成虫になる時期も揃わないため、成虫の発生期間は5～10月と幅がある。<br>・あらかじめ虫糞を取り除き、樹幹部および主枝に十分散布する。<br>・新芽の薬害を避けるため、萌芽前に散布を終える。 |
| | 幼虫発生期 | ・薬剤は、虫糞が見られるところを中心に、主幹部全体に散布する。<br>・生物農薬は、効果を高めるために、晴天時の散布は避け、曇天または少雨時に散布するのが望ましい。 |
| | 成虫発生初期から終期（5月上～中旬） | ・性フェロモン剤を枝に巻き付け、園内で片寄りのないように設置する。<br>・効果を高めるために、広範囲一斉設置と併せて防風垣や防風ネットを設置する。<br>・効果は1シーズン限りなので、毎年付け替える。 |
| ハダニ類 | 生育期 | ・梅雨明け後～盛夏期に、無降雨が続くと発生しやすい。<br>・高温乾燥期には園内での発生状況に注意し、必ず発生初期に防除する。<br>・収穫間際や収穫期に発生することがあり、その際には薬剤ごとの収穫前日数に十分注意する。 |
| モモサビダニ | 生育期 | ・葉の表面全体の葉緑素が抜けて銀白色に輝いて見え、短期間で樹全体に拡大するため、早期発見に努め発生初期に防除する。 |
| ハマキムシ類 | 生育期 | ・中齢以上の幼虫になると巻いた葉の中で生存するため、葉裏に寄生している若齢期に防除することが効果的である。 |
| ドウガネブイブイ | 果実肥大期 | ・薬剤散布により成虫の忌避効果が高い薬剤を使用する。 |
| モモチョッキリゾウムシ | 落花後 | ・成虫の捕殺に努める。 |
| | [耕種的防除] | ・発病して落下した果実や枯れ枝は有力な伝染源になるため、園外に持ち出し、焼却または処分するか、土中に深く埋める。 |

## ② せん孔細菌病の防除

本病は、果実に病斑を作り商品価値を低下させるだけでなく、早期落葉を引き起こし、果実肥大や糖度が低下する原因になる。周年的な対策が必要なので、次の各項目により総合的な対策を行う。

・防風垣、防風ネットの設置

風雨によってできた植物体表面の微細な傷口が病原菌の侵入口となるので、樹園地の周囲に防風垣や防風ネットを整備して、風当たりを和らげることが薬剤散布以前に重要である。また、新たにモモを植栽する場合は、風当たりの強い場所を避ける。

・ボルドー剤の散布

開花直前のボルドー剤散布によって、せん孔細菌病の越冬菌密度の低下をはかる。

・薬剤のローテーション散布と微生物殺菌剤の利用

薬剤耐性菌の発生を防止するため、異なる系統の薬剤を交互に使用するよう努める。また、化学農薬とは異なる作用機構である微生物殺菌剤により効果的に細菌病害の発生を抑えるため、袋かけまでは防除の際に微生物殺菌剤を混用する。

・果実の袋かけ

5月以降、葉に病斑が見られる園地では、果実の袋かけを行う。袋かけ直前に本冊子に記載した薬剤を散布し、病原菌の果実袋内への包み込みを防止する。

・夏型枝病斑への対応

夏場になって新梢に発生する「夏型枝病斑(サマーキャンカー)」は二次伝染源になるので、見つけ次第切除して、園外へ持ち出して処分する。

・抗生物質薬剤の散布

暴風雨や降雹があった場合には、天候回復後すみやかに抗生物質薬剤を散布する。また、生育期には定期的に薬剤を散布して、発生抑制をはかる。

## モモ【殺菌剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | うどんこ病 | すすかび病 | せん孔細菌病 | ﾎﾓﾌﾟｼｽ腐敗病 | 果実赤点病 | 灰星病 | 黒斑病 | 黒星病 | 縮葉病 | 縮葉病（休眠期） | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 白紋羽病 | 炭疽病 |
| もも | ICﾎﾞﾙﾄﾞ-412 | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 30～50倍 | | | | | | 30倍 | | | | |
| もも | ｲｵｳﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 発病前～発病初期 | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | 500倍 | | | | | |
| もも | ｵﾙﾌｨﾝﾌﾟﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ水和剤 | "「-」(I*),3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000倍 | | | | | | | | | | | | |
| もも | ｻﾙﾌｧｰｿﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 発病前～発病初期 | - | | 散布 | | | | | | | | 400～500倍 | | | | | |
| もも | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 600倍 | | | 600倍 | | | 600倍 | | | | | |
| もも | ｽｺｱ顆粒水和剤 | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 2000倍 | | 2000倍 | | | | | |
| もも | ｽﾀｰﾅ水和剤 | ｵｷｿﾘﾆｯｸ酸水和剤 | 31 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000倍 | | | | | | | | | | |
| もも | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 2000倍 | | 2000倍 | | 2000倍 | | | |
| もも | ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 500倍 | | | 500倍 | | 500倍 | 500倍 | | | | |
| もも | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ水和剤 | M9 | 劇 | 収穫7日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 600～1000倍 | 600倍 | | 600倍 | | 600～1000倍 | 1000倍 | | | | |
| もも | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | | | | | | | 原液 | | |
| もも | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | | | | | |
| もも（苗木） | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 植付前 | 1回 | - | 10分間根部浸漬 | | | | | | | | | | | | 500倍 | |
| もも | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500～2000倍 | | | | | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | | | | | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | うどんこ病 | すすかび病 | せん孔細菌病 | ﾎﾓﾌﾟｼｽ腐敗病 | 果実赤点病 | 灰星病 | 黒斑病 | 黒星病 | 縮葉病 | 縮葉病（休眠期） | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 白紋羽病 | 炭疽病 |
| もも | ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 500倍 | | | 500倍 | | 500倍 | 500倍 | | | | |
| もも | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000倍 | | 2000倍 | | 2000倍 | | | | | 2000倍 |
| もも | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5 | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ液剤 | U18 | | 収穫7日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 500倍 | | | | | | | | | | |
| もも | ﾌﾙｰﾂｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 1500～2000倍 | | 1500～2000倍 | | | | | |
| もも | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | | | | | |
| もも | ﾏｲｺｼｰﾙﾄﾞ | ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ水和剤 | 41 | | 収穫21日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1500～3000倍 | | | | | | | | | | |
| もも | ﾏｽﾀﾋﾞｰｽ水和剤 | ｼｭｰﾄﾞﾓﾅｽ ﾛﾃﾞｼｱ水和剤 | 「-（生）」 | | 収穫前日まで | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～2000倍 | | | | | | | | | | |
| もも | ﾑｯｼｭﾎﾞﾙﾄﾞｰDF | 銅水和剤 | M1 | | 開花前まで | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 500倍 | | | | | | 500倍 | | | | |
| もも | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000倍 | | 1000～1500倍 | | | | | | | |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

## モモ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｳﾒｼﾛｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｶﾒﾑｼ類 | ｺｽｶｼﾊﾞ | ｼﾝｸｲﾑｼ類 | ﾅｼﾋﾒｼﾝｸｲ | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ﾓﾓｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ﾓﾓｼﾝｸｲｶﾞ | ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ |
| もも | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | | | 1000倍 | | 1000倍 | | 1000倍 | | | | | 1000倍 |
| もも | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ水和剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | | | | | | 1000～2000倍 |
| もも | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000倍 | | | | | | | | | | |
| もも | ｵﾘｵﾝ水和剤40 | ｱﾗﾆｶﾙﾌﾞ水和剤 | 1A | 劇 | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | 1000倍 | | | | 1000倍 | | | | | | 1000倍 |
| もも | ｶﾞｯﾄｷﾗｰ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 【A】 | 1回 | | 【Z】 | | | | | | 50～100倍 | | | | | | | |
| もも | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 収穫7日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | | |
| もも | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | | | | | | | 2000倍 | ←ﾅﾐﾊﾀﾞﾆ ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ | 2000倍 | | 2000倍 |
| もも | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 4000倍 | | 2000～3000倍 | | | | | | | | | | |
| もも | ｻﾑｺﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ10 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 5000倍 | 5000倍 | | | | | | 5000倍 |
| もも | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | 2000～3000倍 | | | | | | 2000～3000倍 |
| もも | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 収穫3日前まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | 1000倍 | | | 1000倍 | | 1000倍 | | 1000倍 | 1000～2000倍 |
| もも | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1000～2000倍 | | | | |
| もも | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | | | | | | 2000～4000倍 |
| もも | ﾊﾁﾊﾁﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | 1000～2000倍 | | | | | | 2000倍 |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｳﾒｼﾛｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｶﾒﾑｼ類 | ｺｽｶｼﾊﾞ | ｼﾝｸｲﾑｼ類 | ﾅｼﾋﾒｼﾝｸｲ | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ﾓﾓｻﾋﾞﾀﾞﾆ | ﾓﾓｼﾝｸｲｶﾞ | ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ |
| もも | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 開花期まで | 1回 | 5～200ﾘｯﾄﾙ/10a | 【Z】 | | | | | | 200～500倍 | | | | | | | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 4000倍 | 4000倍 | | | | | | | 4000倍 |
| もも | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | | |
| もも | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫21日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | | | | 2000倍 | | 2000倍 | | | | 2000倍 |
| もも | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | 1B | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～3000倍 | | 1000～2000倍 | | | | | 1000～2000倍 | 1000～3000倍 | | | 1000倍 | |
| もも | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | 2000倍 | | 2000～4000倍 | 2000倍 | 2000～4000倍 | | | | | | 2000～4000倍 |
| もも | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾃﾄﾗﾏﾄ水和剤 | 23 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | 2000倍 | | | | | | 2000倍 | | | | |
| もも | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | | | | | | 1000～2000倍 |
| 果樹類 | ﾊﾞｲｵｾｰﾌ | ｽﾀｲﾅｰﾈﾏ ｶｰﾎﾞｶﾌﾞｻｴ剤 | 「-（生）」 | | 幼虫発生期 | - | 25ﾘｯﾄﾙ | 【Y】 | | | | | | 2500万頭（約10g） | | | | | | | |
| 果樹類 | ｽｶｼﾊﾞｺﾝL | ｼﾅﾝｾﾙｱ剤 | -（ﾌｪ） | | 【B】 | | 40～100本/10a | 【X】 | | | | | | 8g/100本製剤 | | | | | | | |

使用時期：【A】休眠期(落葉後～萌芽前)、【B】成虫発生初期から終期

使用方法：【Z】樹幹部及び主枝に散布

【Y】虫糞が見られる所を中心に主幹部全体に散布

【X】ﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰを対象作物の枝に巻き付け設置

## （9） スモモ 〔果樹類＞落葉果樹＞核果類＞小粒核果類＞すもも〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 【病害全般】 | [耕種的防除] | ・果実の病害虫被害を予防・軽減するために、袋かけ栽培が望ましい。 |
| 灰星病 | 開花期および果実肥大終期 | ・花では、花弁やガクが腐敗して褐変する。成熟期の果実で発病すると褐色に軟腐し、果実全体が灰色の胞子で覆われる。<br>・雨が多いと発生が増加する。<br>・花腐れを防ぐには、開花直前と満開直後に薬剤を散布する。<br>・果実に少しでも発生すると、急激に二次感染が進むので、収穫の1か月前～収穫直前に薬剤を散布する。 |
| ふくろみ病 | 休眠期～開花直前 | ・開花終了後まもなく果実が異常生育し、豆さや状に肥大する。<br>・「ソルダム」系品種は発病しやすいので、対策が必須である。<br>・発生に気付いた時点で手遅れなので、必ず休眠期や発芽前に薬剤を散布する。<br>・休眠期防除参照。 |
| 環紋葉枯病 | 生育期 | ・収穫期～梅雨明けの期間が低温多雨で推移すると、谷合などで発生しやすい。<br>・発生初期に防除する。 |
| 黒斑病かいよう病 | [耕種的防除] | ・スモモに発生する細菌病として、黒斑病（モモのせん孔細菌病と同一の細菌）やかいよう病がある。<br>・枝や果実表面のキズを防ぐため、防風垣や防風ネットを設置する。 |
| | 休眠期 | ・ボルドー剤を散布する。 |
| | 生育期 | ・袋かけが終了するまでの防除には、毎回、生物殺菌剤を混用し、感染予防に努める。ただし、抗生物質薬剤は生物殺菌剤の生菌を死滅させるため、生物殺菌剤と抗生物質薬剤は混用しない。<br>・暴風雨が発生した場合は、速やかに抗生物質薬剤を単剤で散布する。 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・切り口に、適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| アブラムシ類 | 展葉期～新梢伸長期 | ・モモアカアブラムシ、モモコフキアブラムシ等が加害する。<br>・常に軟らかな新葉部分から吸汁し、葉巻き症状を引き起こす。<br>・スモモの葉が硬化する5月下旬以降は別の植物へ移動し、10～11月にスモモ樹に帰ってきて産卵し越冬する。 |
| コスカシバ | 休眠期（開花期まで） | ・幼虫は樹皮下で越冬し、翌春も食害を続け、樹皮下で蛹化する。越冬幼虫の発育は不揃いで、成虫になる時期も揃わないため、成虫の発生期間は5～10月と幅がある。<br>・あらかじめ虫糞を取り除き、樹幹部および主枝に薬剤を散布する。<br>・新芽の薬害を避けるため、萌芽前に散布を終える。 |
| | 幼虫発生期 | ・主幹や主枝、特に虫糞が見られるところを中心に薬剤を散布する。<br>・生物農薬は、効果を高めるために晴天時の散布は避け、曇天または少雨時に散布するのが望ましい。 |
| | 成虫発生初期（5月上～中旬） | ・この時期は、成虫の交尾阻害により密度低下をはかる性フェロモン剤を用いる。効果を高めるために、広範囲一斉設置と併せて、防風垣や防風ネットを設置する。効果は1シーズン限りなので、毎年付け替える。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| カメムシ類 | 果実肥大期 | ・これらの害虫は発生が見られたら、すみやかに薬剤を散布する。 |
| ケムシ類（イラガ） | 生育期 | |
| ハマキムシ類 | 生育期 | |
| シンクイムシ類 | 果実肥大期～成熟期 | ・果実への食入が始まる前に、薬剤を散布する。 |
| カイガラムシ類<br><br>カイガラムシ類幼虫 | （共通） | ・スモモを吸汁加害するカイガラムシ類として、ウメシロカイガラムシやナシマルカイガラムシがある。 |
| | 休眠期 | ・休眠期防除参照 |
| | 生育期 | ・カイガラを形成すると薬剤の効果が著しく低下するので、幼虫のふ化を確認して、ふ化最盛期に薬剤を散布する。 |
| ハダニ類 | 生育期 | ・梅雨明け後～盛夏期に、無降雨が続くと発生しやすい。<br>・手遅れにならないよう、発生初期に防除する。<br>・収穫期と重なることがあるので、収穫前日数に注意する。 |
| スモモミハバチ | 開花期～落弁期 | ・成虫は開花期のがくに産卵し、幼虫は落弁直後に幼果に食入するため、満開期から落弁期に薬剤を散布する。 |

## スモモ【殺菌剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | かいよう病 | ふくろみ病 | 灰星病 | 環紋葉枯病 | 黒斑病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 |
| すもも | ICﾎﾞﾙﾄﾞｰ412 | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 30倍 | |
| すもも | ｱﾐｽﾀｰ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000倍 | | | |
| すもも | ｽｺｱ顆粒水和剤 | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000～3000倍 | | | |
| すもも | ｽﾀｰﾅ水和剤 | ｵｷｿﾘﾆｯｸ酸水和剤 | 31 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 1000倍 | |
| すもも | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000倍 | | |
| すもも | ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 500倍 | | | | |
| すもも | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000倍 | | | |
| すもも | ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 500倍 | | | | |
| すもも | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾞﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | 2000倍 | | | |
| すもも | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5 | ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ液剤 | U18 | | 収穫3日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 500倍 | |
| すもも | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫3日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000倍 | | | |
| すもも | ﾏｲｺｼｰﾙﾄﾞ | ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ水和剤 | 41 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 2000倍 | |
| すもも | ﾑｯｼｭﾎﾞﾙﾄﾞｰDF | 銅水和剤 | M1 | | 葉芽発芽前まで | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 500倍 | | | 500倍 | |
| すもも | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾞﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～1500倍 | | | |
| 小粒核果類 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | | 原液 |
| 小粒核果類 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫21日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | |
| 小粒核果類 | ﾌﾙｰﾂｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1500倍 | 1500倍 | | |
| 小粒核果類 | ﾏｽﾀﾋﾟｰｽ水和剤 | ｼｭｰﾄﾞﾓﾅｽ ﾛﾃﾞｼｱ水和剤 | 「-（生）」 | | 収穫前日まで | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | | |
| 小粒核果類（うめを除く） | ｵﾙﾌｨﾝﾌﾟﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ水和剤 | "「-」(I*),3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 3000倍 | | | |

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

## スモモ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｲﾗｶﾞ類 | ｳﾒｼﾛｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫 | ｶﾒﾑｼ類 | ｹﾑｼ類 | ｺｽｶｼﾊﾞ | ｼﾝｸｲﾑｼ類 | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ｽﾓﾓﾐﾊﾊﾞﾁ |
| すもも | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾟﾛﾁｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 1000倍 | | | | | | | |
| すもも | ｶﾞｯﾄｷﾗｰ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 【A】 | 1回 | | 【Z】 | | | | | | | | 100倍 | | | | |
| すもも | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 収穫3日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | |
| すもも | ｻﾑｺﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ10 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 収穫3日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | 2500～5000倍 | | 2500倍 | | 2500～5000倍 | |
| すもも | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | | | | | | 2000倍 | | | |
| すもも | ﾀﾞｺﾝﾂﾜ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫3日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | | | 2000～4000倍 | | | | | | |
| すもも | ﾊﾁﾊﾁﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | | | | | | | | |
| すもも | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 開花期まで | 1回 | 5～200ﾘｯﾄﾙ/10a | 【Z】 | | | | | | | | 200倍 | | | | |
| | | | | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | 4000倍 | 4000倍 | 4000倍 | | 4000倍 | |
| すもも | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | 2000倍 | | | | | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 |
| すもも | ﾛﾃﾞｨｰ水和剤 | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 2000倍 | | | |
| 果樹類 | ﾊﾞｲｵｾｰﾌ | ｽﾀｲﾅｰﾈﾏ ｶｰﾎﾞｶﾌﾟｾﾙ剤 | 「-（生）」 | | 幼虫発生期 | - | 25ﾘｯﾄﾙ | 【X】 | | | | | | | | 2500万頭（約10g） | | | | |
| 果樹類 | ｽｶｼﾊﾞｺﾝL | ｼﾅﾝｾﾙｱ剤 | | | 【B】 | | 40～100本/10a | 【Y】 | | | | | | | | 8g/100本製剤 | | | | |
| 小粒核果類 | ｱｰﾃﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 2000倍 | 2000倍 | | |
| 小粒核果類 | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000倍 | | |
| 小粒核果類 | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 2000倍 | 2000倍 | | | | | | | 2000倍 | ←ｵｳﾄｳﾊﾀﾞﾆ | |
| 小粒核果類 | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | 2000倍 | | | | | | | | |
| 小粒核果類 | ﾀﾞﾆｹﾞｯﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾋﾟﾛﾒｼﾌｪﾝ水和剤 | 23 | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | | |
| 小粒核果類 | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～2000倍 | | |
| 小粒核果類 | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 収穫3日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | |

使用時期：【A】休眠期(落葉後～萌芽前)、【B】成虫発生初期から終期

使用方法：【Z】樹幹部及び主枝に散布

【Y】ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け設置

【X】虫糞が見られる所を中心に主幹部全体に散布

## (10) リ ン ゴ 〔 果樹類＞落葉果樹＞仁果類＞りんご 〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘 要 |
|---|---|---|
| 【病害全般】 | [耕種的防除] | ・発病部位(主に葉・枝・果実)は発見次第すみやかに除去し、園外で焼却か土中深く埋める。<br>・落葉やせん定によって切り取った枝も、園外で粉砕・焼却または土中深く埋める。 |
| 黒星病 | 開花前～幼果期 | ・一次伝染の防止が重要なので、開花期前後の薬剤散布に重点を置く。 |
| | 果実肥大期 | ・銅水和剤を使用する場合は、サビ果防止のため炭酸カルシウム剤を混用する。 |
| | 収穫後 | ・休眠期防除参照 |
| 斑点落葉病 | 落花期 | ・フロンサイドSCの前後にボルドー剤を散布する場合は、7日以上の間隔をあける。 |
| | 収穫前 | ・収穫までの日数を考慮して、使用時期「前日まで」等、日数が短い薬剤を使用する。 |
| | 収穫後 | ・この時期は、主に有機銅剤を用いる。 |
| 褐斑病 | 梅雨明け前後 | ・低温多雨の年に発生が多くなり、早期落葉につながる。 |
| すす斑病<br>すす点病 | 5月中旬～9月下旬 | ・夏に降雨の多い年に、発生が多い。<br>・有袋栽培で発生が多いので、袋かけ前に防除する。 |
| 赤星病 | 4月下旬～5月中旬 | ・多発園では、初発期とさらにその1週間後に散布する。 |
| | [耕種的防除] | ・中間宿主であるビャクシン類を周辺(1㎞程度)から取り除く。 |
| 輪紋病<br>(いぼ皮病) | 6月中旬～8月上旬 | ・高温多雨条件が続くと、感染頻度が高くなる。 |
| 腐らん病 | 剪定時及び病患部削り取り直後 | ・トップジンMペーストまたはバッチレートを原液のまま使用する。<br>・せん定時には、せん定直後の切り口に塗布する。<br>・病斑を見つけた場合は、すみやかに病患部を大きめに削り取り、傷あと及びその周辺に十分塗布する。<br>・休眠期防除参照 |
| 切り口および傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | ・せん定直後の切り口に、トップジンMペーストまたはバッチレートを塗布する。 |
| アブラムシ類 | 5月上旬～7月下旬 | ・展葉初期の防除を徹底する。 |
| カイガラムシ類 | 【共通】 | ・休眠期防除参照 |
| | 幼虫ふ化直後 | ・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に薬剤を散布する。 |
| | [耕種的防除] | ・9月下旬までに主枝や亜主枝にコモ等を巻き付けて、バンド誘殺を行う。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| コナカイガラムシ類<br>クワコナカイガラムシ(若齢幼虫) | 幼虫ふ化直後 | ・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に防除する。<br>・休眠期防除参照 |
| カメムシ類 | 6月中旬～9月下旬 | ・成虫が山林から果樹園に飛来し、幼果期から収穫期まで加害する。<br>・落果に注意しながら樹を揺すって、成虫の有無を確認する。 |
| ハマキムシ類 | 展葉期 | ・発生状況を見ながら、ふ化幼虫の最盛期に防除する。 |
| | 果実肥大期 | ・果実肥大期間中は、ふ化幼虫最盛期に防除する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・葉と果実の接触部分に生息しやすいので、葉摘みを行う。 |
| ハダニ類<br>(リンゴハダニ)<br>(ナミハダニ) | 6月下旬～9月上旬 | ・ハダニ類は、短期間で増加し、増加すると防除困難になるので、発生初期にかけ残しのないように丁寧に散布する。<br>・高温・乾燥が続くと発生しやすいので、注意する。<br>・休眠期防除参照 |
| シンクイムシ類 | 6月下旬～9月上旬 | ・リンゴを加害するシンクイムシ類として、モモシンクイガおよびナシヒメシンクイがある。<br>・世代間の重なりが大きく、連続的に発生するので、継続的な防除対策が必要である。また、果実への食入前に防除する。 |
| キンモンホソガ | 幼果期 | ・食入虫の防除よりも食入防止に重点を置き、成虫発生期から産卵期にかけての散布が効果的である。 |
| | 果実肥大期 | ・7月下旬から8月上旬の第3世代の卵および無脚幼虫期に散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・冬期に落葉を焼却するか、または土中に埋める。 |
| ギンモンハモグリガ | 4月～9月 | ・老熟幼虫がぶら下がるのを確認し、その10日～2週間後に卵期を迎えるので、その時期に薬剤を散布する。 |
| カミキリムシ類 | 6～7月 | ・産卵初期～産卵最盛期直前に、処理する。<br>・主幹地際部から約50cmの高さまで塗布または散布する。<br>・薬液が果実や葉に付着しないように、注意して散布する。 |

## リンゴ【殺菌剤・その他】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | すす点病 | すす斑病 | 褐斑病 | 黒星病 | 傷口のゆ合促進 | 赤星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 斑点落葉病 | 腐らん病 | 輪紋病 | 銅水和剤による薬害軽減 |
| りんご | ICﾎﾞﾙﾄﾞｰ412 | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 30～50倍 | 30～50倍 | | | | 20～50倍 | | 20～40倍 | |
| りんご | ｱｸｻｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ水和剤 | 3,7 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | | 2000倍 | | | |
| りんご | ｱﾘｴｯﾃｨC水和剤 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ・ﾎｾﾁﾙ水和剤 | M4,P7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 800倍 | 800倍 | 800倍 | 800倍 | | | | 800倍 | | 800倍 | |
| りんご | ｱﾝﾄﾗｺｰﾙ顆粒水和剤 | ﾌﾟﾛﾋﾟﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 収穫45日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | 500倍 | 500倍 | 500倍 | | | | 500倍 | | 500倍 | |
| りんご | ｲﾝﾀﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 5000～10000倍 | 5000～10000倍 | 5000～10000倍 | 5000～12000倍 | | 5000～12000倍 | | | | | |
| りんご | ｵｰｼｬｲﾝ水和剤 | ｵｷｽﾎﾞｺﾅｿﾞｰﾙﾌﾏﾙ酸塩水和剤 | 3 | | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000倍 | 3000倍 | | 3000～4000倍 | | 3000～4000倍 | | 2000～3000倍 | | | |
| りんご | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 収穫前日まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 600～800倍 | 600～800倍 | 600～800倍 | 600～1000倍 | | | | 600～800倍 | | 600～800倍 | |
| りんご | ｵｷｼﾗﾝ水和剤 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ・有機銅水和剤 | M1,M4 | | 収穫14日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500～600倍 | 500～600倍 | 500～600倍 | 500～800倍 | | | | 500～800倍 | | 500～800倍 | |
| りんご | ｵﾙﾌｨﾝﾌﾟﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ・ﾌﾙｵﾋﾟﾗﾑ水和剤 | "「-」(I*),3 | | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | | | |
| りんご | ｷﾉﾝﾄﾞｰ水和剤40 | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫14日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 500～800倍 | | | | 500～800倍 | | | |
| りんご | ｷﾉﾝﾄﾞｰ水和剤80 | | | | | | | | 1200倍 | 1200倍 | 1200倍 | 1200～1600倍 | | | | 1200～1600倍 | | 1200倍 | |
| りんご | ｷﾉﾝﾄﾞｰ顆粒水和剤 | | | | | | | | 1000倍 | 1000倍 | 1000倍 | 1000倍 | | | | 1000倍 | | 1000倍 | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | すす点病 | すす斑病 | 褐斑病 | 黒星病 | 傷口のゆ合促進 | 赤星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 斑点落葉病 | 腐らん病 | 輪紋病 | 銅水和剤による薬害軽減 |
| りんご | ｺｻｲﾄﾞ3000 | 銅水和剤 | M1 | | - | - | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | | | | 2000倍 | | 2000倍 | |
| りんご | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500～600倍 | 500～600倍 | 500～600倍 | 500～600倍 | | 500～600倍 | | 500～600倍 | | 500～600倍 | |
| りんご | ｽｸﾚｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾏﾝﾃﾞｽﾄﾛﾋﾞﾝ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000～3000倍 | | | | | | 2000～3000倍 | |
| りんご | ｽｺｱ顆粒水和剤 | ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫14日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000～3000倍 | 3000～4000倍 | | 3000～4000倍 | | 3000倍 | | | |
| りんご | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 3000倍 | | 1500～3000倍 | | 1500～3000倍 | | 2000～3000倍 | |
| りんご | ｾﾙｶﾃﾞｨｽDﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ・ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ水和剤 | 7,M9 | 劇 | 収穫60日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | |
| りんご | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 収穫45日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000倍 | | | | 1000倍 | | | |
| りんご | ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | 500倍 | 500倍 | 500倍 | | 500倍 | | 500倍 | | 500倍 | |
| りんご | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾞﾁｱﾉﾝ水和剤 | M9 | 劇 | 収穫60日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | | | 1000～2000倍 | | 1000～2000倍 | |
| りんご | ﾄﾞｷﾘﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 有機銅水和剤 | M1 | | 収穫14日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 800～1000倍 | 800～1000倍 | 800～1000倍 | 800～1000倍 | | | | 800～1000倍 | | 800～1000倍 | |
| りんご | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | | | | | | | 原液 | 原液 | |
| | | | | | 【B】 | | | | | | | | | | 原液 | | | | |
| りんご | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 6回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | すす点病 | すす斑病 | 褐斑病 | 黒星病 | 傷口のゆ合促進 | 赤星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 斑点落葉病 | 腐らん病 | 輪紋病 | 銅水和剤による薬害軽減 |
| りんご | ﾄﾘﾌﾙﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | | | |
| りんご | ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 収穫30日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 500倍 | 500倍 | 500倍 | 500倍 | | 500倍 | | 500倍 | | 500倍 | |
| りんご | ﾅﾘｱWDG | ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤 | 11,7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | |
| りんご | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲｿﾋﾟﾗｻﾞﾑ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1500～3000倍 | | 1500倍 | | 1500倍 | | | |
| りんご | ﾊﾞｯﾁﾚｰﾄ | 有機銅塗布剤 | M1 | | 【A】 | 3回以内 | | 【Z】 | | | | | 原液 | | | | 原液 | | |
| りんご | ﾊﾟﾚｰﾄﾞ15ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾗｼﾞﾌﾙﾐﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | 2000倍 | | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | |
| りんご | ﾌｧﾝﾀｼﾞｽﾀ顆粒水和剤 | ﾋﾟﾘﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ水和剤 | 11 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000～4000倍 | 3000倍 | 3000～4000倍 | 3000～4000倍 | | | | 3000～4000倍 | | 3000～4000倍 | |
| りんご | ﾌﾙｰﾂｾｲﾊﾞｰ | ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500～3000倍 | 1500～3000倍 | 1500～2000倍 | 1500～3000倍 | | 1500～3000倍 | | 1500～2000倍 | | | |
| りんご | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞSC | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 収穫45日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～2500倍 | 2000～2500倍 | 2000～2500倍 | 2000～2500倍 | | | | 2000～2500倍 | | 2000倍 | |
| | | | | | 落葉後～展葉期まで | | 100～200ﾘｯﾄﾙ/10a | 落葉に散布 | | | | 1000～2000倍 | | | | | | | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | すす点病 | すす斑病 | 褐斑病 | 黒星病 | 傷口のゆ合促進 | 赤星病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 斑点落葉病 | 腐らん病 | 輪紋病 | 銅水和剤による薬害軽減 |
| りんご | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫前日まで | 6回以内(但し、開花期以降散布は3回以内) | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | | | | 1000～1500倍 | | 1000～1500倍 | |
| りんご | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | | | | | | | | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | 1000～1500倍 | 1000～2000倍 | | | | 1000～2000倍 | | 1000～1500倍 | |
| りんご | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 収穫前日まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | | | | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | |
| りんご | ﾕﾆｯｸｽ顆粒水和剤47 | ｼﾌﾟﾛｼﾞﾆﾙ水和剤 | 9 | | 収穫14日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 2000倍 | 1000～2000倍 | | | | 1000～2000倍 | | | |
| りんご | ｸﾚﾌﾉﾝ | 炭酸ｶﾙｼｳﾑ水和剤 | 「-（植）」 | | | - | | 【Y】 | | | | | | | | | | | 80～100倍 |

使用時期：【A】剪定時及び病患部削り取り直後
【B】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

使用方法：【Z】剪定枝の切口、病患部の削除あとに塗布、【Y】銅水和剤に混用して散布

## リンゴ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶﾐｷﾘﾑｼ類 | ｶﾒﾑｼ類 | ｷﾞﾝﾓﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ | ｷﾝﾓﾝﾎｿｶﾞ | ｸﾜｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｼﾝｸｲﾑｼ類 | ﾅﾐﾊﾀﾞﾆ | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ﾘﾝｺﾞﾊﾀﾞﾆ |
| りんご | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | | | | 1000倍 | | | 1000倍 | | 1000倍 | | |
| りんご | ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤 | 4A | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | | 2000倍 | 2000～3000倍 | 2000～3000倍 | | 2000～3000倍 | 2000倍 | | | | |
| りんご | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ水和剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～2000倍 | | | | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | | 1000～2000倍 | | | 1000倍 | |
| りんご | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤 | 16 | | 収穫30日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | 1000～1500倍 | ←幼虫 | | | | | | | | | | |
| りんご | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | 2000倍 | | | | |
| りんご | ｵﾘｵﾝ水和剤40 | ｱﾗﾆｶﾙﾌﾞ水和剤 | 1A | 劇 | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | 1000倍 | | | 1000倍 | 1000倍 | | | 1000倍 | | | 1000倍 | |
| りんご | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | | 2000倍 | | 2000～6000倍 | 2000倍 |
| りんご | ｶﾞｯﾄｻｲﾄﾞS | MEP乳剤 | 1B | | 【A】 | 3回以内 | - | 【Z】 | | | 1(原液)～1.5倍 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 100～1000mL/樹 | 【Y】 | | | 1.5倍 | | | | | | | | | | |
| りんご | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 収穫7日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | 1000～1500倍 |
| りんご | ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾁﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 2B | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～4000倍 | | | 2000倍 | 1000～2000倍 | 1000～2000倍 | | | | | | | |
| りんご | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 3000～6000倍 | 3000～4000倍 | | | | | | | | | | | |
| りんご | ｺﾛﾏｲﾄ水和剤 | ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ水和剤 | 6 | | 収穫前日まで | 1回 | 400～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 2000倍 | | |
| りんご | ｻﾑｺﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ10 | ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 2500～5000倍 | 2500～5000倍 | | | 2500～5000倍 | | | 2500～5000倍 | |
| りんご | ｻﾝﾏｲﾄ水和剤 | ﾋﾟﾘﾀﾞﾍﾞﾝ水和剤 | 21A | 劇 | 収穫21日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | 1000～3000倍 |
| りんご | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫前日まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1500～2000倍 | | | 1500～2000倍 | 1500～2000倍 | 2000倍 | | | 2000倍 | | | 2000倍 | |
| りんご | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | 2000倍 | | | | |

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｶﾐｷﾘﾑｼ類 | ｶﾒﾑｼ類 | ｷﾞﾝﾓﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ | ｷﾝﾓﾝﾎｿｶﾞ | ｸﾜｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ | ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 | ｼﾝｸｲﾑｼ類 | ﾅﾐﾊﾀﾞﾆ | ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾏｷﾑｼ類 | ﾘﾝｺﾞﾊﾀﾞﾆ |
| りんご | ｽﾐﾁｵﾝ水和剤40 | MEP水和剤 | 1B | | 収穫30日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 800～1200倍 | | | 800～1000倍 | 800～1000倍 | | 800～1200倍 | | | | | 800～1200倍 | |
| りんご | ﾀﾞﾆｺﾝｸﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾌﾙﾌﾞﾐﾄﾞ水和剤 | 25B | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 2000倍 | | |
| りんご | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000倍 | | |
| りんご | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤 | 21A | | 収穫30日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～2000倍 | | | 1000～2000倍 |
| りんご | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤 | 4A | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | | |
| りんご | ﾃﾞｨｱﾅWDG | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 5000～15000倍 | 5000～15000倍 | | | 5000～10000倍 | | | 5000～15000倍 | |
| りんご | ﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾑﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｽﾙﾎｷｻﾌﾛﾙ水和剤 | 4C | | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 1000～2000倍 | | | | | | | | | | | |
| りんご | ﾆｯｿﾗﾝ水和剤 | ﾍｷｼﾁｱｿﾞｸｽ水和剤 | 10A | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000～3000倍 | | | 2000～3000倍 |
| りんご | ﾊﾞﾘｱｰﾄﾞ顆粒水和剤 | ﾁｱｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 4000倍 | | | 2000倍 | 4000倍 | 4000倍 | | 4000倍 | 2000～4000倍 | | | | |
| りんご | ﾊﾟﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 2000倍 | | | 2000～3000倍 |
| りんご | ﾋﾟﾗﾆｶ水和剤 | ﾃﾌﾟﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 収穫14日前まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | | 1000～2000倍 | | |
| りんご | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 4000～6000倍 | 4000～6000倍 | | | 4000倍 | | | 4000～6000倍 | |
| りんご | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | | | | | | | | | | | | 4000倍 | 4000倍 | | | 4000倍 | | | 4000～6000倍 | |
| りんご | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾞﾌｪﾅｾﾞｰﾄ水和剤 | 20D | | 収穫前日まで | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 1000～1500倍 | | | 1000倍 |
| りんご | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫30日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000倍 | | | | 2000倍 | 2000倍 | | | 2000倍 | 2000倍 | | 2000倍 | 2000倍 |
| りんご | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫前日まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～4000倍 | 4000倍 | | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | 2000～4000倍 | | | 2000～4000倍 | | | | |
| りんご | ﾛﾋﾞﾝﾌｯﾄﾞ | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝｴｱｿﾞﾙ | 3A | | 収穫前日まで | 5回以内 | | 【X】 | | | ＊（対象） | | | | | | | | | | |

使用時期：【A】6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)但し収穫30日前まで

使用方法：【Z】主幹地際部から約50cmの高さまで塗布、【Y】主幹地際部から約50cmの高さまで散布、
【X】樹幹・樹枝の食入孔にﾉｽﾞﾙを差し込み噴射

## (11) クリ 〔 果樹類＞落葉果樹＞くり 〕

### ① 防除のポイント・注意事項

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| 【病害共通】 | ［耕種的防除］ | ・空のイガ、発病した毬果、落葉、発病枝、せん定枝は、感染源となるため、可能な限りすみやかに回収して、園外で焼却または地中に埋設する。 |
| 胴枯病 | 病患部削り取り直後 | ・病斑を見つけ次第、病患部を大きめに完全に削り取り、傷あとおよびその周辺にトップジンMペーストを十分塗布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・枝幹害虫の被害跡や凍害による枯死部から病原菌の繁殖が始まるので、害虫防除や凍害対策を行う。 |
| 実炭疽病 | 果実肥大期 | ・薬剤による防除適期は、毬果肥大期～成熟期(7月中旬～8月下旬)である。<br>・10日間隔で2～3回、イガに薬剤が十分かかるように散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・極早生品種および晩生品種は発生が少ないので、品種構成を考慮する。 |
| 切り口及び傷口のゆ合促進 | 剪定整枝時､病患部削り取り直後､及び病枝切除後 | ・切り口に適量のトップジンMペーストを塗布する。 |
| 【害虫共通】 | ［耕種的防除］ | ・空のイガ・食害された毬果・落葉は、生育や越冬の場所となるため、可能な限りすみやかに回収して、園外で焼却または地中に埋設する。 |
| クスサン | ［耕種的防除］ | ・休眠期に卵塊を集めて焼却する。<br>・生育期は早期発見に努め、若齢幼虫期に捕殺する。 |
| カミキリムシ類 | 6月下旬～8月上旬 | ・薬剤は樹幹部に十分量散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・成虫は見つけ次第捕殺する。幼虫は食入痕に針金を差し込み、刺殺する。 |
| コウモリガ | 4～6月 | ・登録薬剤を地際部から約1.5m～2mの高さまでの主幹及び主枝に塗布または散布する。 |
| クリタマバチ | 発芽直前 | ・越冬幼虫を対象に、登録薬剤を休眠期に樹冠全体を散布する。 |
| | 成虫活動期(7月上旬～中旬) | ・成虫が虫こぶから脱出して野外を活動する時期以外は薬剤の効果が低い。<br>・羽化脱出期(特に羽化初期)を見計らって薬剤を散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・新梢の伸びが少ないとクリタマバチが寄生しやすくなるので、やや強めのせん定や適切な施肥によって樹勢を強く維持する。<br>・品種により本虫に対する抵抗性が異なるので、抵抗性品種を選んで栽培する。 |
| アブラムシ類 | 生育期 | ・主なアブラムシ種として、クリイガアブラムシ、クリオオアブラムシがある。<br>・クリオオアブラムシには、ふ化直後に薬剤散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・クリオオアブラムシの樹皮に付着した越冬卵は、見つけ次第すりつぶす。 |
| クリイガアブラムシ | 6月 | ・成虫の移動期に薬剤を散布する。 |
| | ［耕種的防除］ | ・主幹や主枝などに両面テープを巻いて、成虫の移動を阻止する。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 摘　要 |
|---|---|---|
| モモノゴマダラノメイガ | 8月上旬～9月中旬 | ・早生種は8月上旬～中旬、中生種は8月中旬～下旬、晩生種は8月下旬～9月上旬に重点を置き薬剤を散布する。 |
| ネスジキノカワガ | 6月下旬～7月上旬 | ・第2世代成虫による被害がもっとも多いので、第2世代成虫の産卵最盛期(6月下旬～7月上旬)に薬剤を毬果に行き渡るように散布する。 |
| クリシギゾウムシ | 8月下旬～9月中旬 | ・成虫が羽化する時期に薬剤を散布する。 |
| クリミガ | 9月 | ・老熟幼虫で越冬し、8～9月の蛹期を経て、9月から成虫が羽化し産卵するため、9月下旬以降収穫の晩生品種で被害が多い。 |

## クリ【殺菌剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 実炭疽病 | 切り口及び傷口のゆ合促進 | 胴枯病 |
| くり | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 600倍 | | |
| くり | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 【A】 | 3回以内 | | 塗布 | | | 原液 |
| | | | | | 【B】 | | | | | 原液 | |
| くり | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 収穫3日前まで | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000～1500倍 | | |
| くり | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤 | M7 | | 収穫14日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | |
| くり | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤 | 1 | | 【C】 | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 2000～3000倍 | | |

使用時期【A】：病患部削り取り直後

使用時期【B】：剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

使用時期【C】：裂果前 （但し、収穫14日前まで）

## クリ【殺虫剤】

RPA

| 作物名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用時期 | 使用回数 | 使用量 | 使用方法 | 適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率） | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｶﾐｷﾘﾑｼ類 | ｸｽｻﾝ | ｸﾘｲｶﾞｱﾌﾞﾗﾑｼ | ｸﾘｼｷﾞｿﾞｳﾑｼ | ｸﾘﾀﾏﾊﾞﾁ | ｸﾘﾐｶﾞ | ｺｳﾓﾘｶﾞ | ﾈｽｼﾞｷﾉｶﾜｶﾞ | ﾓﾓﾉｺﾞﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ |
| くり | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ水和剤 | ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫7日前まで | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | 1000～3000倍 | 1000倍 | | | | |
| くり | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 【A】 | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 1000～2000倍 | | | | |
| | | | | | 収穫14日前まで | | | | | | | | 2000倍 | | | | | |
| くり | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 【B】 | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 1000倍 | | | | | | | | | |
| くり | ｴﾙｻﾝ乳剤 | PAP乳剤 | 1B | 劇 | | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000倍 | | | | | | 1000倍 |
| くり | ｶﾞｯﾄｻｲﾄﾞS | MEP乳剤 | 1B | | 【C】 | 1回 | - | 【Z】 | | | | | | | | 1(原液)～1.5倍 | | |
| | | | | | | | 100～1000mL/樹 | 【Y】 | | | | | | | | 2倍 | | |
| くり | ｽﾐﾁｵﾝ水和剤40 | MEP水和剤 | 1B | | 【D】 | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 1000倍 | | | | 1000倍 |
| くり | ﾃﾞｨｱﾅWDG | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | | 10000倍 |
| | | | | | | | 2ｷﾛｸﾞﾗﾑ/10a | 【X】 | | | | | | | | | | 100倍 |
| くり | ﾄｸﾁｵﾝ乳剤 | ﾌﾟﾛﾁｵﾎｽ乳剤 | 1B | | 【E】 | 5回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1000倍 | 1000倍 |
| くり | ﾄﾗｻｲﾄﾞA乳剤 | ﾏﾗｿﾝ・MEP乳剤 | 1B | | 発芽直前 | 1回 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | 200倍 | | | | |
| | | | | | 【D】 | 1回 | 0.5～2.0ﾘｯﾄﾙ/樹 | 樹幹部に十分散布 | | 100～200倍 | | | | | | | | |
| くり | ﾊﾟｰﾏﾁｵﾝ水和剤 | ﾌｪﾝﾊﾞﾚﾚｰﾄ・MEP水和剤 | 1B,3A | 劇 | 【D】 | 4回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 1000倍 | 1000倍 | | | | | |
| くり | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤 | 14 | 劇 | 裂果前 | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | | | | | | 1500倍 | 1500倍 |
| くり | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 収穫前日まで | 2回以内 | 2～4ﾘｯﾄﾙ/10a | 【X】 | | | 40倍 | | | | | | | 40倍 |
| | | | | | | | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | 4000倍 | | | | | | | 4000倍 |
| くり | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 収穫7日前まで | 2回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | | | | 2000倍 | 2000倍 | 2000倍 | | | | |
| | | | | | | | 2～4ﾘｯﾄﾙ/10a | 【X】 | | | | | 40倍 | | | | | |
| | | | | | | | 2ﾘｯﾄﾙ/10a | 【X】 | | | | | 20倍 | | | | | |
| くり | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 収穫7日前まで | 3回以内 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 散布 | 4000倍 | | | | 2000～4000倍 | | 2000～4000倍 | | | 2000倍 |

使用時期：【A】羽化脱出期但し収穫14日前まで、【B】収穫7日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)

【C】裂果前まで但し収穫90日前まで、【D】裂果前 但し収穫14日前まで

【E】裂果前まで(但し収穫7日前まで)

使用方法：【Z】樹幹の地際部から約1.5～2mの高さまでの主幹及び主枝に塗布

【Y】樹幹の地際部から約1.5～2mの高さまでの主幹及び主枝に散布

【X】無人航空機による散布

## (12) 休眠期防除

### ① 石灰硫黄合剤

(分類コード F:M02, I:UN*)

| 作物名 | 病害虫名 | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 使用時期 | 使用濃度 | 使用回数 | |
| 果樹類 | サビダニ類<br>ハダニ類 | 冬期 | 20～40倍 | － | |
| 落葉果樹 | カイガラムシ類<br>ハダニ類<br>越冬病害虫 | 発芽前 | 7～10倍 | － | |
| ウメ | 縮葉病 | 発芽前 | 8倍 | － | ・薬害を防ぐため、12月は10倍液を用いる。開花直前は20倍とし、早咲き花が咲き始めた時に散布する。 |
| ナシ | 黒星病 | 発芽前 | 7倍 | － | ・リン片がずれ始めた頃の散布効果が高い。 |
| ミカン | カイガラムシ類<br>ハダニ類 | 冬期 | 20～40倍 | － | ・防寒被覆除去7～10日後に散布する。 |
| モモ | 縮葉病<br>胴枯病<br>黒星病 | 発芽前 | 7倍 | － | ・生育期防除は効果が不十分なので、必ず休眠期に防除する。 |
| スモモ | ふくろみ病 | － | 140倍 | － | ・発病してからは手遅れなので、必ず休眠期に防除する。 |
| リンゴ | 腐らん病 | 休眠期 | 10倍 | － | ・腐らん病の休眠期防除は、枝幹が十分に濡れるように行う。 |
| | 黒星病 | 発芽前 | 7倍 | － | |
| | モニリア病 | － | 40～140倍 | － | |
| クリ | 芽枯病 | 発芽前 | 20～40倍 | － | |

【すべての防除方法に関する注意事項】
・ボルドー剤、銅剤、マシン油乳剤との混用は避ける。
・ボルドー剤は散布後3週間以上、マシン油乳剤は散布後1ヶ月以上の間隔をあける。
**・銘柄(製造会社)によって登録内容が異なるので、商品ごとに登録内容を必ず確認する。**

### ② マシン油乳剤（９５%濃度）

(分類コード F:NC, I:未)

| 作物名 | 病害虫名 | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 使用時期 | 使用濃度 | 使用回数 | |
| 落葉果樹 | カイガラムシ類（ブドウを除く） | － | 12～14倍 | － | ・ウメでは葉芽が動き出す前に散布する。ただし、開花期間中は散布しない。 |
| 落葉果樹（ナシ、リンゴ、カキ、モモ） | カイガラムシ<br>サビダニ<br>ハダニ類及びその越冬卵 | － | 16～24倍 | － | ・ナシ、カキは、原則として隔年散布とする。 |
| モモ | アブラムシ類 | 発芽前 | 25倍 | － | |
| カンキツ | ヤノネカイガラムシ<br>その他カイガラムシ<br>サビダニ<br>ハダニ類の越冬卵 | 冬期 | 30～45倍 | － | ・カンキツでは、葉に油浸斑を生じることがあるが、日数の経過に従って消失する。 |

【すべての防除方法に関する注意事項】
・石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性薬剤との混用は避ける。
**・銘柄(製造会社)によって登録内容が異なるので、商品ごとに登録内容を必ず確認する。**

## ２　果樹除草剤

### (1) 使用上の注意事項

① 散布実面積当たりの使用薬量を厳守し、薬液が栽培樹の枝葉にかからないように注意して散布する。
② 少量散布の場合は、専用ノズルを用い、雑草の葉面が軽く均一に濡れる程度に散布する。
③ 土壌の流亡や法面の崩壊のおそれがあるため、傾斜のある園地では使用しない。
④ 散布後の降雨で効果が低下することがあるので、天気予報を把握したうえで散布する。
⑤ 地力低下を防ぐため、除草剤使用は年間１～２回にとどめ、堆肥などを補給して土づくりに取り組む。

### (2) 使用方法

・ザクサ液剤、バスタ液剤、プリグロックスL、ラウンドアップマックスロードにおいて、ウメ、ナシ、カキ、ブドウ、ミカン(カンキツ) 、イチジク、キウイフルーツ、モモ、スモモ、リンゴ、クリで登録がある。
・使用基準等については、各薬剤のラベル等を十分に確認する。

### (3) イチジクの除草対策

・イチジクは水平方向に根が広く分布する浅根性の樹種であるため、除草剤の使用は極力避けて手取り除草を行う。
・反射シートの敷設は、雑草抑制に加えてアザミウマ類の被害防止対策に効果がある。

## 3　果樹植物成長調整剤

| 樹種 | 薬剤名 | 【対象品種等】<br>使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| ナシ | ジベレリンペースト | 【日本なし】<br>・果実肥大促進<br>・熟期促進 | (原液) | 満開30～40日後 | 幼果1果当たり20～30㎎を果梗部へ塗布 | 1回 | ・薬剤が果面に付着すると薬害が出るので、果実に付着しないように注意して塗布する。<br>・定植後の新梢伸長促進では、全花除去した短果枝の新梢基部に塗布する。<br>・ジベレリンを含む農薬の総使用回数は2回以内(果梗部塗布は1回以内、新梢基部塗布は1回以内)。 |
| | | 【日本なし】<br>・新梢伸長促進 | (原液) | 満開予定日10日前～満開40日後 | 1枝当たり100㎎を新梢基部へ塗布 | 1回 | |
| | | 【日本なし】<br>(苗木)<br>・新梢伸長促進 | | 萌芽期～新梢新長期 | 頂芽基部塗布または新梢基部塗布 | 3回以内 | |
| | ストッポール液剤 | 【赤なし】<br>(ただし、王秋を除く)<br>・収穫前落果防止 | 2,000～3,000倍 | 収穫開始予定日の14～7日前 | 立木全面散布<br>200～300ℓ/10a | 1回 | ・樹勢の弱い樹では、早期落葉する恐れがあるので、樹勢を考慮して使用する。<br>・展着剤は、加用しない。<br>・散布後に降雨があっても、再散布はしない。<br>・ジクロルプロップを含む農薬の使用回数は1回。 |
| | | 【青なし】<br>・収穫前落果防止 | 1,500～2,000倍 | | | | |
| | | 【王秋】<br>・収穫前落果防止 | 2,000～3,000倍 | 収穫開始予定日の30～7日前 | | | |
| ブドウ | アグレプト液剤<br>(ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ液剤)<br>〔RAC F:25〕 | ・無種子化 | 1,000倍<br>(200ppm) | 満開予定日の14日前～開花始期 | 散布<br>200～700ℓ/10a | 1回 | ・本剤は殺菌剤である。<br>・展着剤は、加用しない。<br>・ストレプトマイシンを含む農薬の使用回数は1回。<br><br>・ジベレリン液に添加して使用する場合、第1回ジベレリン処理時に本剤を添加して花房浸漬処理し、第2回ジベレリン処理(単用)を必ず行う。 |
| | | | | | 花房散布<br>30～100ℓ/10a | | |
| | | | | | 花房浸漬 | | |
| | | | | 満開予定日の14日前～満開期 | 花房浸漬<br>(第1回目ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ処理と併用) | | |
| 温州ミカン | フィガロン乳剤 | ・間引摘果 | 1,000～2,000倍 | 満開20～50日後で生理落果のある時 | 立木全面散布<br>葉先からしたたりはじめる程度<br>250～500ℓ/10a | 1回 | ・目的以外の植物に対してもごく微量で影響があるので、周辺の植物にはかからないようにする。<br>・気象や生育の条件によって反応が大きく異なるので、使用に当たっては薬剤に添付された効果・薬害等の注意事項を熟読して理解し、適切に使用する。<br>・エチクロゼートを含む農薬の使用回数は4回以内(1,000倍希釈散布は2回以内)。 |

| 樹種 | 薬剤名 | 【対象品種等】<br>使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| キウイフルーツ | フルメット液剤 | ・果実肥大促進 | ホルクロルフェニュロン<br>1～5ppm | 開花後<br>20～30日 | 果実浸漬<br>又は<br>果実散布 | 1回 | ・処理時期が早い場合には、変形果の発生、生理落果の増加、過剰肥大に伴う糖度低下を生じるおそれがある。<br>・果頂部に薬液がたまると変形果発生につながるので、処理後、棚の針金等をゆすり、過量の薬液を振い落とす。<br>・ホルクロルフェニュロンを含む農薬の使用回数は1回以内。 |
| リンゴ | ストッポール液剤 | ・収穫前落果防止 | 1,000～<br>1,500倍 | 収穫開始予定日の<br>25～7日前 | 立木全面散布<br>300～600ℓ/10a | 2回<br>以内 | ・効果を安定させるために2回散布する場合は、10日程度間隔をあける。<br>・展着剤は、加用しない。<br>・散布後に降雨があっても、再散布はしない。<br>・ジクロルプロップを含む農薬の総使用回数は2回以内。 |

※これ以降のブドウに関する薬剤の登録内容は、本県の推進品種である「シャインマスカット」、「藤稔」、「ブラックビート」、「サニールージュ」、および「巨峰」、「デラウェア」についてのみ記載する。

## ブドウ[無核栽培] ジベレリン粉末

・降雨やフェーン現象などによる異常乾燥の心配が無い日を選んで処理する。
・着粒が安定するとともに果粒の肥大が促進されるので、着果過多（過密着）による裂果発生の恐れがある。

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| サニールージュを除く巨峰系4倍体品種<br><br>**※「藤稔」、「ブラックビート」、「巨峰」が該当** | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | 第1回目：ジベレリン12.5～25ppm | 第1回目：満開時～満開3日後 | 第1回目：花房浸漬 | 2回以内（但し、降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内） | ・ジベレリンを含む農薬の総使用回数は3回以内。但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内。 |
| | | 第2回目：ジベレリン25ppm | 第2回目：満開10～15日後 | 第2回目：果房浸漬 | | |
| | | ジベレリン25ppm | 満開3～5日後（落花期） | 花房浸漬（ホルクロルフェニュロン10ppm液に加用） | 1回（但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内） | |
| | ・無種子化 | ジベレリン12.5～25ppm | 満開時～満開3日後 | 花房浸漬（満開10～15日後にホルクロルフェニュロンによる果粒肥大促進処理を行うこと） | | |
| | ・果房伸長促進 | ジベレリン3～5ppm | 展葉3～5枚時 | 花房散布30～100ℓ/10a | 1回 | |
| サニールージュ | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | 第1回目：ジベレリン12.5～25ppm | 第1回目：満開時～満開3日後 | 第1回目：花房浸漬 | 2回以内（但し、降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内） | |
| | | 第2回目：ジベレリン25ppm | 第2回目：満開10～15日後 | 第2回目：果房浸漬 | | |
| | | ジベレリン25ppm | 満開3～5日後（落花期） | 花房浸漬（ホルクロルフェニュロン10ppm液に加用） | 1回（但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内） | |
| | ・無種子化 | ジベレリン12.5～25ppm | 満開時～満開3日後 | 花房浸漬（満開10～15日後にホルクロルフェニュロンによる果粒肥大促進処理を行うこと） | | |
| | ・果房伸長促進 | ジベレリン3～5ppm | 展葉3～5枚時 | 花房散布30～100ℓ/10a | 1回 | |
| | ・着粒密度低減<br>・果粒肥大促進 | 第1回目：ジベレリン25ppm | 第1回目：満開予定日14～20日前 | 第1回目：花房浸漬（ホルクロルフェニュロン3ppm液に加用） | 2回以内（但し、降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内） | |
| | | 第2回目：ジベレリン25ppm | 第2回目：満開10～15日後 | 第2回目：果房浸漬 | | |

## ブドウ[無核栽培] ジベレリン粉末 （続き）

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| 2倍体欧州系品種<br><br>**※「シャインマスカット」が該当** | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | 第１回目：<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>25ppm | 第1回目：<br>満開時～<br>満開３日後 | 第1回目：<br>花房浸漬 | 2回以内<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計４回以内) | ・ジベレリンを含む農薬の総使用回数は3回以内。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内。 |
| | | 第２回目：<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>25ppm | 第2回目：<br>満開１０～<br>１５日後 | 第2回目：<br>果房浸漬 | | |
| | | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>25ppm | 満開３～<br>５日後<br>（落花期） | 花房浸漬<br>(ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ10ppm液に加用) | 1回<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計２回以内) | |
| | ・果房伸長促進 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>3～5ppm | 展葉３～<br>５枚時 | 花房散布<br>30～100ℓ/10a | 1回 | |
| デラウェア | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | 第１回目：<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>100ppm | 第1回目：<br>満開予定日<br>約１４日前 | 第1回目：<br>花房浸漬 | 2回以内<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計４回以内) | ・ジベレリンを含む農薬の総使用回数は2回。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内。 |
| | | 第２回目：<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>75～<br>100ppm | 第2回目：<br>満開<br>約１０日後 | 第2回目：<br>果房浸漬<br>又は<br>果房散布<br>30～100ℓ/10a | | |
| | | 第１回目：<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>100ppm | 第1回目：<br>満開予定日<br>１８～１４日前 | 第1回目：<br>花房浸漬<br>(ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ1～5ppm液に加用) | | |
| | | 第２回目：<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>75～<br>100ppm | 第2回目：<br>満開<br>約１０日後 | 第2回目：<br>果房浸漬<br>又は<br>果房散布<br>30～100ℓ/10a | | |

## ブドウ[有核栽培] ジベレリン粉末

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| 巨峰 | ・果粒肥大促進 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ<br>25ppm | 満開１０～<br>２０日後 | 果房浸漬 | 1回<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内) | ・ジベレリンを含む農薬の使用回数は1回以内。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計２回以内。 |

※品種や有核、無核など栽培方法によって登録内容が異なるため、製品に添付された取扱説明書の内容を必ず確認する。

## ブドウ[無核栽培] フルメット液剤

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 濃度 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| サニールージュを除く巨峰系4倍体品種<br><br>**※「藤稔」、「ブラックビート」、「巨峰」が該当** | ・着粒安定 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>2～5ppm | 開花始め～満開前<br>又は<br>満開時～満開3日後 | 開花始め～満開前に使用する場合<br>花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目及び第2回目処理は慣行) | 1回<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内) | ・ホルクロルフェニュロンを含む農薬の総使用回数は3回以内。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内。<br>・ジベレリン以外の薬剤との混用は避ける。 |
| | | | | 満開時～満開3日後に使用する場合<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第2回目処理は慣行) | | |
| | ・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>5～10ppm | 満開10～15日後 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用するか又はホルクロルフェニュロン単用で処理 果房浸漬<br>(満開時～満開3日後のジベレリンによる無種子化処理は慣行) | | |
| | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>10ppm | 満開3～5日後<br>(落花期) | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬 | | |
| | ・花穂発育促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>1～2ppm | 展葉6～8枚時 | 花房散布 | | |
| サニールージュ | ・着粒安定 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>2～5ppm | 開花始め～満開前<br>又は<br>満開時～満開3日後 | 開花始め～満開前に使用する場合<br>花房浸漬<br>(ジベレリン第1回目及び第2回目処理は慣行) | | |
| | | | | 満開時～満開3日後に使用する場合<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第2回目処理は慣行) | | |
| | ・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>5～10ppm | 満開10～15日後 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用するか又はホルクロルフェニュロン単用で処理 果房浸漬<br>(満開時～満開3日後のジベレリンによる無種子化処理は慣行) | | |
| | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>10ppm | 満開3～5日後<br>(落花期) | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬 | | |
| | ・着粒密度低減<br>・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>3ppm | 満開予定日14～20日前 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬<br>(ジベレリン第2回目処理は慣行) | | |
| | ・花穂発育促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>1～2ppm | 展葉6～8枚時 | 花房散布 | | |

## ブドウ[無核栽培] フルメット液剤(続き)

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 濃度 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| 2倍体欧州系品種<br><br>**※「シャインマスカット」が該当** | ・着粒安定 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>2～5ppm | 開花始め～満開前<br><br>又は<br><br>満開時～満開3日後 | 開花始め～満開前に使用する場合<br>花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目及び第2回目処理は慣行) | 1回<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内) | ・ホルクロルフェニュロンを含む農薬の総使用回数は3回以内。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内。<br>・ジベレリン以外の薬剤との混用は避ける。 |
| | | | | 満開時～満開3日後に使用する場合<br>ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第2回目処理は慣行) | | |
| | ・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>2～10ppm | 満開10～15日後 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 果房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目処理は慣行) | | |
| | | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>5～10ppm | 満開10～15日後 | 果房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目処理は慣行) | | |
| | ・無種子化<br>・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>10ppm | 満開3～5日後(落花期) | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬 | | |
| | ・花穂発育促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>1～2ppm | 展葉6～8枚時 | 花房散布 | | |
| デラウェア<br><br>(施設栽培) | ・ジベレリン処理適期幅拡大 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>1～5ppm | 満開予定日18～14日前 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第2回目処理は慣行) | | ・ホルクロルフェニュロンを含む農薬の総使用回数は2回以内。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内。<br>・ジベレリン以外の薬剤との混用は避ける。 |
| | ・着粒安定 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>5～10ppm | 開花始め～満開時 | 花房浸漬 | | |
| | ・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>3～5ppm | 満開約10日後 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 果房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目処理は慣行) | | |
| | | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>3～10ppm | | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 果房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目処理は慣行) | | |
| デラウェア<br><br>(露地栽培) | ・ジベレリン処理適期幅拡大 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>1～5ppm | 満開予定日18～14日前 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 花房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第2回目処理は慣行) | | |
| | ・着粒安定 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>2～5ppm | 開花始め～満開時 | 花房浸漬 | | |
| | | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>5ppm | | 花房散布 | | |
| | ・果粒肥大促進 | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>3～5ppm | 満開約10日後 | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 果房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目処理は慣行) | | |
| | | ﾎﾙｸﾛﾙﾌｪﾆｭﾛﾝ<br>3～10ppm | | ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝに加用 果房浸漬<br>(ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ第1回目処理は慣行) | | |

※品種や有核、無核など栽培方法によって登録内容が異なるため、製品に添付された取扱説明書の内容を必ず確認する。

## ブドウ[有核栽培] フルメット液剤

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 濃度 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| 巨峰系4倍体品種<br><br>**※「藤稔」、「ブラックビート」、「サニールージュ」「巨峰」が該当** | ・果粒肥大促進 | ホルクロルフェニュロン<br>5～10ppm | 満開１５～２０日後 | 果房浸漬 | 1回<br>(但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内) | ・ホルクロルフェニュロンを含む農薬の総使用回数は1回。但し、降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。<br>・ジベレリン以外の薬剤との混用は避ける。 |

## ブドウ フラスター液剤

| 品種 | 使用目的 | 使用方法 | | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用方法 | 回数 | |
| 巨峰系４倍体品種[巨峰・ピオーネを除く]<br><br>**※「藤稔」、「ブラックビート」、「サニールージュ」が該当** | ・着粒増加<br>・新梢伸長抑制 | 500～800倍 | 新梢展開葉７～１１枚時<br>(開花始期まで) | 散布<br>100～150ℓ/10a | 2回以内 | ・重複散布にならないように注意する。<br>・他の農薬との混用は避け、単用で使用する。<br>・多品種の混植園やブドウ園同士が近接している場合、登録のない品種に薬液がかからないように注意する。 |
| 巨峰(露地栽培) | | 1,000倍 | | 散布<br>300ℓ/10a | | |
| 巨峰(露地栽培)<br>巨峰(施設栽培) | | 500～800倍 | 新梢展開葉７～１１枚時<br>(開花始期まで) | 散布<br>100～150ℓ/10a | 2回以内 | |
| シャインマスカット | ・新梢伸長抑制 | 500倍 | 満開１０～２０日後<br>但し、収穫60日前まで | 散布<br>150ℓ/10a | | |
| | | 1,000倍 | | 散布<br>300ℓ/10a | | |
| | ・着粒増加<br>・新梢伸長抑制 | 1,000～2,000倍 | 新梢展開葉７～１１枚時<br>(開花始期まで) | 散布<br>100～150ℓ/10a | | |
| デラウエア<br>(施設栽培)<br>(露地栽培) | ・新梢伸長抑制 | 800～1,000倍 | 新梢展開葉７～11枚時<br>(開花始期まで) | 散布<br>100～150ℓ/10a | 1回 | |
| デラウエア<br>(露地栽培) | | 1,500～2,000倍 | | 散布<br>200～250ℓ/10a | | |

# Ⅴ　花　き

## １　花き病害虫

### 花き病害虫重点防除指導方針

本県農業の活性化および農業所得の向上を図るためには、これまで以上に園芸振興への取組みが重要な課題となっている。

このため、数多くの品目の中から戦略的品目、基幹品目と地域特産品目を指定し、生産振興のための各種施策を積極的に実施している。

収量・品質の高位安定化を図るため、防除の指導に当たっては、それぞれの病害虫の生態や薬剤の性質を熟知し、耕種的防除対策に努めるとともに、病害虫の発生動向に注意して適正に防除する。

**１　耕種的防除の推進**

(1) 有機物の施用、深耕等による土づくりを推進し、健全な生育に努める。

(2) 排水対策、整枝剪定等により栽培環境を改善する。

**２　農薬による防除技術**

(1) 主要病害虫の発生消長を明らかにし、適期防除を推進する。

(2) 農薬抵抗性害虫および耐性菌発生による防除効果の低下を回避するため、同一系統農薬の連用を避ける。

(3) 同一成分を含む薬剤には使用回数制限があるので注意する。

> 例. オルトラン水和剤とジェイエース水和剤はそれぞれの薬剤の使用回数制限が 2 回以内とされている。しかし、両方の薬剤は同一成分（アセフェート）を含む農薬に該当しており、使用回数が両方の薬剤を通して 2 回以内でなければならない。

(4) 生育後期には、商品価値を下げないため、葉面や花弁に汚れの少ない薬剤を使用する。

(5) 薬剤によって品種が変わると薬害を起こすことがあるので、小規模散布を行って薬害のないことを確認する。

(6) 多量散布、高温時の散布、極端な連用、近接散布などは薬害の出ることがあるので注意する。

## （1）キク

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 褐斑病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 5回以内 |
| 黒さび病 | ﾏﾈｰｼﾞ 乳剤 | ｲﾐﾍﾞﾝｺﾅｿﾞｰﾙ乳剤 | 3 | | 500～1000倍 | 0.2～0.3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 発病初期 | 散布 | 6回以内 |
| 黒斑病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | 6回以内 |
| さび病 | ｴﾑﾀﾞｲﾌｧｰ水和剤 | ﾏﾝﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 400～650倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 |
| 白絹病 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～5mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ錠剤 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | 1穴当り1錠 | | | 土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| 白さび病 | ｱﾝﾋﾞﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍｷｻｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 7回以内 |
| | ｶﾅﾒﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾝﾋﾞﾙﾌｧﾙｷｻﾑ水和剤 | 7 | 劇 | 4000～8000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ｺﾛﾅﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 水和硫黄剤 | "UN(I*) | | 800倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | | 散布 | - |
| | ｻﾌﾞﾛｰﾙ乳剤 | ﾄﾘﾎﾘﾝ乳剤 | 3 | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 500～800倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 8回以内 |
| | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤 | 11 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ﾁﾙﾄ乳剤25 | ﾌﾟﾛﾋﾟｺﾅｿﾞｰﾙ乳剤 | 3 | | 3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ﾄﾘﾌｼﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾄﾘﾌｼﾐﾝ乳剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ乳剤 | 3 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 5回以内 |
| | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾟﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾋﾞﾘｶｯﾄ乳剤 | ｼﾞﾌﾙﾒﾄﾘﾑ乳剤 | 39 | | 1000倍 | 0.2～0.3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 発病初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ﾏﾈｰｼﾞ 乳剤 | ｲﾐﾍﾞﾝｺﾅｿﾞｰﾙ乳剤 | 3 | | 500～1000倍 | 0.2～0.3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 発病初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ﾗﾘｰ乳剤 | ﾐｸﾛﾌﾞﾀﾆﾙ乳剤 | 3 | | 3000倍 | 200～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| 立枯病 | ｸﾛｰﾙﾋﾟｸﾘﾝ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～5mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ錠剤 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | 1㎡当り6錠 | | | 土壌くん蒸<圃場>「1㎡当り6錠処理」地表面に所定量を散布処理する。 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| | | | | | 1穴当り1錠 | | | 土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| 炭疽病 | ｴﾑﾀﾞｲﾌｧｰ水和剤 | ﾏﾝﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 400～650倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 |
| 灰色かび病 | ｴﾑﾀﾞｲﾌｧｰ水和剤 | ﾏﾝﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 400～650倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 |
| 半身萎凋病 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ錠剤 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | 1穴当り1錠 | | | 土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| べと病 | ｴﾑﾀﾞｲﾌｧｰ水和剤 | ﾏﾝﾈﾌﾞ水和剤 | M3 | | 400～650倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 |
| ｱｻﾞﾐﾝﾏ類 | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ﾄｸﾁｵﾝ乳剤 | ﾌﾟﾛﾁｵﾎｽ乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾊﾁﾊﾁ乳剤 | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*) | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 |
| | ﾌｧｲﾝｾｰﾌﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾛﾒﾄｷﾝ水和剤 | 34 | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 1g/株 | | 生育初期 | 株元散布 | 1回 |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 1000倍 | 150～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｳﾗﾗ50DF | ﾌﾛﾆｶﾐﾄﾞ水和剤 | 29 | | 5000～10000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ｵﾘｵﾝ水和剤40 | ｱﾗﾆｶﾙﾌﾞ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | 6回以内 |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱﾆｷ乳剤 | ﾚﾋﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 |
| ｺｶﾞﾈﾑｼ類幼虫 | D-D | D-D剤 | 8A | 劇 | 15～20㍑/10a(1穴当り1.5～2mL) | | 作付の10～15日前まで | 1) 全面処理　耕起整地後､縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理　は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 | 1回 |
| | ﾃﾛﾝ | D-D剤 | 8A | 劇 | 15～20㍑/10a(1穴当り1.5～2mL) | | 作付の10～15日前まで | 1) 全面処理　耕起整地後､縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理　は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 | 1回 |
| ｾﾝﾁｭｳ類 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ錠剤 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | 1穴当り1錠 | | | 土壌くん蒸<床土･堆肥>床土･堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>｢1穴当り1錠処理｣30×30cm毎に1錠処理する。 | 2回以内(床土1回以内､圃場1回以内) |
| ｾﾝﾁｭｳ類(ﾊｶﾞﾚｾﾝﾁｭｳを除く) | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*)" | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*)" | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 |
| ﾈｸﾞｻﾚｾﾝﾁｭｳ | D-D | D-D剤 | 8A | 劇 | 15～40㍑/10a(1穴当り1.5～4mL) | | 作付の10～15日前まで | 1) 全面処理　耕起整地後､縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理　は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 | 1回 |
| | ﾃﾛﾝ | D-D剤 | 8A | 劇 | 15～40㍑/10a(1穴当り1.5～4mL) | | 作付の10～15日前まで | 1) 全面処理　耕起整地後､縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理　は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 | 1回 |
| | ﾈﾏﾄﾘﾝｴｰｽ粒剤 | ﾎｽﾁｱｾﾞｰﾄ粒剤 | 1B | | 20～25kg/10a | | 定植前 | 全面土壌混和 | 1回 |
| ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | D-D | D-D剤 | 8A | 劇 | 15～20㍑/10a(1穴当り1.5～2mL) | | 作付の10～15日前まで | 1) 全面処理　耕起整地後､縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理　は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 | 1回 |
| | ﾃﾛﾝ | D-D剤 | 8A | 劇 | 15～20㍑/10a(1穴当り1.5～2mL) | | 作付の10～15日前まで | 1) 全面処理　耕起整地後､縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理　は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 | 1回 |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｵﾘｵﾝ水和剤40 | ｱﾗﾆｶﾙﾌﾞ水和剤 | 1A | 劇 | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 150～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ｽﾀｰﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼｴﾉﾋﾟﾗﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 1回 |
| | ﾃﾙｽﾀｰ水和剤 | ﾋﾞﾌｪﾝﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 1000倍 | 150～300㍑/10a | - | 散布 | 3回以内 |
| | ﾋﾞﾗﾆｶEW | ﾃﾌﾞﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*)" | 劇 | 1000～2000倍 | 150～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 1回 |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 1000～2000倍 | 1㍉/㎡ | 発生初期 | 灌注 | 5回以内 |
| | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤 | 4A | | 1000～2000倍 | 1㍉/㎡ | 発生初期 | 灌注 | 5回以内 |
| | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤 | 5 | | 5000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 6～9kg/10a | | 発生初期 | 株元散布 | 5回以内 |
| ﾐｶﾝｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | | 1000倍 | 150～300㍉/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｵﾝｺﾙ粒剤5 | ﾍﾞﾝﾌﾗｶﾙﾌﾞ粒剤 | 1A | | 9kg/10a | | 生育期 | 株元散布 | 3回以内 |
| | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300㍉/10a | 発生初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤 | 4A | | 2g/株 | | 発生初期 | 生育期株元散布 | 4回以内 |
| ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ｵﾝｺﾙ粒剤5 | ﾍﾞﾝﾌﾗｶﾙﾌﾞ粒剤 | 1A | | 6～9kg/10a | | 定植時 | 植溝土壌混和又は株元散布 | 1回 |
| | | | | | 9kg/10a | | 生育期 | 植溝土壌混和又は株元散布 | 3回以内 |
| | ｺﾃｿﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 150～300㍉/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |

## （2）ストック

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 萎凋病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 30～40kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 30～40kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 |
| 苗立枯病 | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) |
| 苗腐病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 |
| ｺﾅｶﾞ | ｵﾝｺﾙ粒剤5 | ﾍﾞﾝﾌﾗｶﾙﾌﾞ粒剤 | 1A | | 0.5g/株 | | 定植時 | 株元散布 | 1回 |
| | | | | | 9kg/10a | | 定植時 | 全面土壌混和 | 1回 |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 150～300g/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 | 散布 | - |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ粒剤 | 4A | | 0.5g/株 | | 育苗期 | 株元散布 | 1回 |

## （3）トルコギキョウ

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 炭疽病 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 400倍 | 100～300g/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 |
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤 | 3A | 劇 | 4000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾞﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 1000倍 | 100～300g/10a | - | 散布 | 6回以内 |

## （4）スターチス

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ﾌﾙﾋﾞｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾞﾆﾋﾞﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000倍 | 100～300g/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| 灰色かび病 | ﾌﾙﾋﾞｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾞﾆﾋﾞﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300g/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤 | 2 | | 1000～1500倍 | 100～300g/10a | - | 散布 | 8回以内 |
| ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 4000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 | 散布 | 3回以内 |
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300g/10a | 発生初期 | 散布 | 3回以内 |

## （5）スイセン

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 球根腐敗病 | ﾎｰﾏｲ水和剤 | ﾁｳﾗﾑ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,M3 | | 200倍 | | 植付前又は貯蔵前 | 30分間球根浸漬 | 1回 |
| | | | | | 球根重量の1.0% | | 植付前又は貯蔵前 | 球根粉衣 | 1回 |

## （6）ユリ

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 球根腐敗病 | ﾎｰﾏｲ水和剤 | ﾁｳﾗﾑ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,M3 | | 200倍 | | 植付前又は貯蔵前 | 30分間球根浸漬 | 1回 |
| | | | | | 球根重量の1.0% | | 植付前又は貯蔵前 | 球根粉衣 | 1回 |
| 茎腐病 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 5回以内 |
| 灰色かび病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ﾌﾙﾋﾟｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| 葉枯病 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | TPN水和剤 | M5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 5回以内 |
| | ﾌﾙﾋﾟｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ水和剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 3回以内 |
| | ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水溶剤 | ﾎﾟﾘｵｷｼﾝ水溶剤 | "「-」(I*) | | 2500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 |
| 鱗茎さび症 | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ水和剤 | ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤 | 29 | | 100～200倍 | - | 植付前 | 球根瞬間浸漬 | 1回 |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｳﾗﾗ50DF | ﾌﾛﾆｶﾐﾄﾞ水和剤 | 29 | | 10000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 |
| | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 6回以内 |

## （7）サクラ

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| てんぐ巣病 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 原液 | | 病枝切除後 | 塗布 | 5回以内 |
| ｱﾒﾘｶﾝｼﾛﾋﾄﾘ | ｱﾄﾗｯｸ液剤 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ液剤 | 4A | | | 胸高直径(樹幹部)、6～10cm 30mL、11～15cm 60mL、16～20cm 90mL、21～25cm 120mL、26～30cm 180mL、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30～60mLを増量する。 | 幼虫発生前～幼虫発生期 | 樹幹注入 | 3回以内 |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1500～2000倍 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1500～2000倍 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾊﾞｼﾚｯｸｽ水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | - |
| ｺｽｶｼﾊﾞ | ｽｶｼﾊﾞｺﾝL | ｼﾅﾝｾﾙｱ剤 | | | 40～100本/10a(8g/100本製剤) | | 成虫発生初期から終期 | ﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰを対象作物の枝に巻き付け設置する。 | |
| ﾓﾝｸﾛｼｬﾁﾎｺ | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水溶剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾊﾞｼﾚｯｸｽ水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 1000倍 | 200～700ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | - |

## （8）花き類・観葉植物

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青枯病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 萎黄病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 萎凋病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 萎黄病(ﾌｻﾞﾘｳﾑ菌) | ｸﾛｰﾙﾋﾟｸﾘﾝ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～5mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| うどんこ病 | ｱﾝﾋﾟﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍｷｻｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 7回以内 | ばら、きくを除く |
| | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100～200倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | - | |
| | ｶﾞｯﾃﾝ乳剤 | ﾌﾙﾁｱﾆﾙ乳剤 | U13 | | 5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | 2回以内 | |
| | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | 炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤 | NC | | 800倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | - | きくを除く |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 600倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | |
| | ﾊﾞﾝﾁｮTF顆粒水和剤 | ｼﾌﾙﾌｪﾅﾐﾄﾞ・ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3,U6 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 2回以内 | |
| | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水溶剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水溶剤 | "「-」(I*) | | 2500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 | |
| | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤 | "UN(I*) | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 10回以内 | ｶｰﾈｰｼｮﾝを除く |
| 株腐病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤 | ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤 | 14 | | 500～1000倍 | 3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 生育期 | 土壌灌注 | 5回以内 | |
| 球根腐敗病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 菌核病 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 5回以内 | ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳを除く |
| 茎腐病 | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤 | ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤 | 14 | | 500～1000倍 | 3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 生育期 | 土壌灌注 | 5回以内 | |
| 黒斑病 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水溶剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水溶剤 | "「-」(I*) | | 2500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 | |
| 根頭がんしゅ病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 首腐病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 白絹病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾓﾝｶｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ40 | ﾌﾙﾄﾗﾆﾙ水和剤 | 7 | | 1000～2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 株元散布 | 3回以内 | |
| | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤 | ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤 | 14 | | 500～1000倍 | 3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | - | 株元灌注 | 5回以内 | |
| 立枯病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤 | ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤 | 14 | | 500～1000倍 | 3ﾘｯﾄﾙ/㎡ | 生育期 | 土壌灌注 | 5回以内 | |
| | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ粉剤 | ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ粉剤 | 14 | | 50kg/10a | | 定植前 | 土壌混和 | 1回 | |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌) | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| 灰色かび病 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾞﾗﾄﾞ水和剤 | 7 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 3回以内 | きく、ゆり、ﾁｭｰﾘｯﾌﾟ、りんどうを除く |
| | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,10 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 5回以内 | ひまわり、ｾﾞﾗﾆｳﾑを除く |
| | ｾｲﾋﾞｱｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ20 | ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ水和剤 | 12 | | 1000倍 | 100～300L/10a | 発病前～発病初期 | 散布 | 4回以内 | きんせんか、ホワイトレースフラワーを除く |
| | ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 500倍 | 100～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 6回以内 | りんどうを除く |
| | ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾁｳﾗﾑ水和剤 | M3 | | 500倍 | 100～500ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 6回以内 | りんどうを除く |
| | ﾌﾙﾋﾞｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾊﾞﾆﾋﾞﾘﾑ水和剤 | 9 | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 | ばら、ｽﾀｰﾁｽ、宿根かすみそう、ゆり、りんどうを除 |
| | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝAL水溶剤 | ﾎﾞﾘｵｷｼﾝ水溶剤 | "「-」(I*) | | 2500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発病初期 | 散布 | 8回以内 | |
| 半身萎凋病 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| ﾋﾞｼｳﾑ・ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等) | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤 | M4 | | 種子重量の0.2～0.4% | - | は種前 | 種子処理機による種子粉衣 | 1回 | |
| ﾌｻﾞﾘｳﾑ・ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等) | ﾎｰﾏｲ水和剤 | ﾁｳﾗﾑ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1,M3 | | 種子重量の1.0% | | は種前 | 種子処理機による種子粉衣 | 1回 | 観葉植物適用外 |
| ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等) | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | ﾒﾌﾟﾛﾆﾙ水和剤 | 7 | | 乾燥種子重量の0.4% | | は種前 | 種子処理機による種子粉衣 | 1回 | 観葉植物適用外 |
| | ﾓﾝｶｯﾄ水和剤 | ﾌﾙﾄﾗﾆﾙ水和剤 | 7 | | 種子重量の0.5～1.0% | | は種前 | 種子処理機による種子粉衣 | 1回 | 観葉植物適用外 |
| ｱｵﾑｼ | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 6回以内 | |
| ｱｻﾞﾐﾏ類 | ｱｸﾞﾘﾒｯｸ | ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | 劇 | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く |
| | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a | | 発生初期 | 株元散布 | 5回以内 | きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く |
| | ｵﾝｺﾙ粒剤5 | ﾍﾞﾝﾌﾗｶﾙﾌﾞ粒剤 | 1A | | 6kg/10a | | 生育期 | 株元散布 | 3回以内 | きく、ｽﾄｯｸを除く |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 6回以内 | |
| | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾞﾉｻﾄﾞ水和剤 | 「-」,5 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | りんどうを除く |
| | ﾊﾁﾊﾁﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤 | "21A(I*) | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | |
| | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | ｽﾄｯｸ、りんどうを除く |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | はぼたんを除く |
| | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤 | 4A | 劇 | 2000倍 | 100～200㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | きくを除く |
| | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | - | |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000～1500倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 3～6kg/10a | | 発生初期 | 株元散布 | 5回以内 | きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く |
| | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 4000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | チューリップ、ばらを除く |
| | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤 | 3A | 劇 | 2000～3000倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | 5回以内 | 宿根かすみそう、ｸﾞﾗｼﾞｵﾗｽ、ﾄﾙｺｷｷｮｳ、りんどうを除く |
| | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤 | 9B | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤 | 4A | | 1000～2000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | ばら、きくを除く |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤 | 4A | | 1～2g/株 | | 発生初期 | 生育期株元散布 | 4回以内 | きく、きんせんかを除く |
| | | | | | 3～5g/培土㍑ | | 定植前 | 培土混和 | 1回 | きく、きんせんかを除く |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝｼﾞｪｯﾄ | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞくん煙剤 | 4A | 劇 | くん煙室容積400立方㍍(床面積200㎡×高さ2m)当り50g | | 発生初期 | くん煙 | 5回以内 | ﾄﾙｺｷｷｮｳを除く |
| | ﾓｽﾋﾞﾗﾝ顆粒水溶剤 | ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤 | 4A | 劇 | 2000～4000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | ｽﾄｯｸ、りんどうを除く |
| | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾞﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000倍 | 100～300㍑/10a | - | 散布 | 6回以内 | |
| ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ | ｱｸｾﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾀﾌﾙﾐｼﾞﾝ水和剤 | 22B | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | きくを除く |
| | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | りんどうを除く |
| | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾟﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | きく、りんどうを除く |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | |
| ｶﾀﾂﾑﾘ類 | ﾅﾒｸﾘｰﾝ3 | ﾒﾀｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ粒剤 | 「-」 | | 1～3kg/10a | | - | 株元散布 | 6回以内 | |
| ｶﾒﾑｼ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | はぼたんを除く |
| ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100～200倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | - | |
| | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤 | 9B | | 4000倍 | 100～300L/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | チューリップ、ばらを |
| | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾋﾞﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤 | 9B | | 5000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | りんどうを除く |
| | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤 | ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤 | 4A | | 1000倍 | 100～300㍑/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | ばら、きくを除く |
| | ﾗﾉｰﾃｰﾌﾟ | ﾋﾟﾘﾌﾟﾛｷｼﾌｪﾝ剤 | 7C | | 50㎡/10a | | 栽培期間中 | 作物体の付近に設置する。 | 1回 | 施設栽培 |
| ｾﾝﾁｭｳ類 | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| ﾅﾒｸｼﾞ類 | ﾅﾒｸﾘｰﾝ3 | ﾒﾀｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ粒剤 | 「-」 | | 1～3kg/10a | | - | 株元散布 | 6回以内 | |
| ﾈｷﾘﾑｼ類 | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| | ﾈｷﾘﾍﾞｲﾄ | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ粒剤 | 3A | | 3g/㎡ | | 生育初期 | 株元散布 | 6回以内 | |
| ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |
| | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤 | "8F(I*) | 劇 | 20～30kg/10a | | は種又は植付前 | 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。 | 1回 | |

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | きく、りんどうを除く |
| | ﾌﾞﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤 | UN | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | |
| | ﾏｯﾁ乳剤 | ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | きくを除く |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ｱｸﾞﾘﾒｯｸ | ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤 | 6 | 劇 | 500倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く |
| | ｴｺﾋﾞﾀ液剤 | 還元澱粉糖化物液剤 | 「-」 | | 100倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | - | |
| | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤 | 20B | | 1000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 1回 | ばら、きく、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ﾃﾞﾙﾌｨﾆｳﾑを除く |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | きく、ｽﾄｯｸを除く |
| | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤 | 「-」 | | 600倍 | 150～500ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | - | |
| | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤 | 25A | | 1000倍 | 100～350ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | |
| | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤 | 21A | | 1000～2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 1回 | |
| | ﾃﾃﾞｵﾝ乳剤 | ﾃﾄﾗｼﾞﾎﾝ乳剤 | 12D | | 500～1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 10回以内 | |
| | ﾆｯｿﾗﾝ水和剤 | ﾍｷｼﾁｱｿﾞｸｽ水和剤 | 10A | | 2000～3000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 2回以内 | |
| | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 1回 | |
| | ﾋﾞﾗﾆｶEW | ﾃﾌﾞﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤 | "21A(I*) | 劇 | 2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 1回 | ｶｰﾈｰｼｮﾝ、きくを除く |
| | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | ﾌｪﾝﾌﾞﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | 劇 | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 6回以内 | |
| | 粘着くん液剤 | ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾞﾛﾋﾟﾙ化ﾘﾝ酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤 | 「-」 | | 100倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | - | |
| ﾊﾞｯﾀ類 | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 6回以内 | |
| ﾊﾏｷﾑﾝ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | はぼたんを除く |
| | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | - | 散布 | 6回以内 | |
| ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 | ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤 | 4A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | 宿根ｱｽﾀｰ、ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ、きくを除く |
| | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤 | 5 | | 2500～5000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | りんどうを除く |
| ﾊﾘｶﾞﾈﾑﾝ類 | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤 | 8B | 劇 | <床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL | | | 土壌くん蒸 | 2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) | |
| ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ | ﾄﾘｶﾞｰﾄﾞ液剤 | ｼﾛﾏｼﾞﾝ液剤 | 17 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 | |
| ﾐｶﾝｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ | ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤 | ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤 | 4A | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | 宿根ｱｽﾀｰ、ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ、きくを除く |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | きく、ｽﾄｯｸを除く |
| ﾖﾄｳﾑﾝ類 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | ﾍﾞﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 6回以内 | はぼたんを除く |
| | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤 | 6 | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 | |
| | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤 | 1B | | 6kg/10a | | 発生初期 | 株元散布 | 5回以内 | きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く |
| | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾞﾙ水和剤 | 13 | 劇 | 2000倍 | 150～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | きく、ｽﾄｯｸを除く |
| | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤 | 15 | | 2000倍 | 100～300ﾘｯﾄﾙ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 | |

## （9）樹木類（木本作物）

RPA

| 病害虫名 | 薬剤名 | 農薬の種類 | RAC | 毒劇 | 使用濃度 | 使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うどんこ病 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000倍 | 200～700ｇ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤 | 3 | | 3000倍 | 200～700ｇ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| 枝枯細菌病 | ﾍﾞﾝｺﾞﾌﾞ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 200～700ｇ/10a | 新梢伸長期～発病初期 | 散布 | 4回以内 |
| 切り口及び傷口のゆ合促進 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤 | 1 | | 原液 | | 剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後 | 塗布 | 5回以内 |
| 炭疽病 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000～2000倍 | 200～700ｇ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾍﾞﾝｺﾞﾌﾞ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 200～700ｇ/10a | 発病初期 | 散布 | 4回以内 |
| 斑点症(ｼｭｰﾄﾞｻｰｺｽﾎﾟﾗ菌) | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | 1000倍 | 200～700ｇ/10a | 発病初期 | 散布 | 5回以内 |
| | ﾍﾞﾝｺﾞﾌﾞ水和剤 | ﾏﾝｾﾞﾌﾞ水和剤 | "UN(I*) | | 600倍 | 200～700ｇ/10a | 発病初期 | 散布 | 4回以内 |
| 輪紋葉枯病 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤 | 1 | | | | | | |
| ｱｻﾞﾐｳﾏ類 | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤 | 1B | | 1000倍 | 200～700ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | 5回以内 |
| ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 200～700ｇ/10a | - | 散布 | 6回以内 |
| ｱﾒﾘｶｼﾛﾋﾄﾘ | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 500～1000倍 | 200～700ｇ/10a | - | 散布 | 6回以内 |
| | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤34 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤 | 1B | 劇 | 1000～1500倍 | 200～700ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | 4回以内 |
| | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | BT水和剤 | 11A | | 1000～2000倍 | 200～700ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | - |
| | ﾆﾄﾙｱｰ<ｱﾒｼﾛ> | ﾌｫｰﾙｳｪﾌﾞﾙｱ剤 | | | 直線使用(街路樹など)40m当り1個以上 | | 成虫発生初期から発生後期 | 本剤をﾄﾗｯﾌﾟ1台当り1個貼付け、地上1～6mの高さに設置する。 | |
| | | | | | 面使用(公園など)10a当り3個以上 | | 成虫発生初期から発生後期 | 本剤をﾄﾗｯﾌﾟ1台当り1個貼付け、地上1～6mの高さに設置する。 | |
| ｵｵﾊﾘｾﾝﾁｭｳ | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 500倍 | - | 移植前 | 30分間根部浸漬 | 1回 |
| ｵﾋﾞｶﾚﾊ | ﾄﾚﾎﾟﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 2000倍 | 100～700ｇ/10a | 幼虫発生期 | 散布 | 6回以内 |
| ｸﾞﾝﾊﾞｲﾑｼ類 | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 200～700ｇ/10a | - | 散布 | 6回以内 |
| ｹﾑｼ類 | ｽﾃｨﾝｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤 | 28 | | 8000倍 | 200～700ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | 2回以内 |
| | ﾄﾚﾎﾟﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 4000倍 | 100～700ｇ/10a | 幼虫発生期 | 散布 | 6回以内 |
| ｹﾑｼ類(若～中齢幼虫) | ﾃﾞﾐﾘﾝ水和剤 | ｼﾞﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ水和剤 | 15 | | 4000～8000倍 | 200～700ｇ/10a | - | 散布 | 3回以内 |
| ｼｬｸﾄﾘﾑｼ類 | ﾄﾚﾎﾟﾝ乳剤 | ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ乳剤 | 3A | | 4000倍 | 100～700ｇ/10a | 幼虫発生期 | 散布 | 6回以内 |
| ﾄﾋﾞﾓﾝｵｵｴﾀﾞｼｬｸ | ﾊﾞｼﾚｯｸｽ水和剤 | BT水和剤 | 11A | | 500～1000倍 | 200～700ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | - |
| ﾊﾀﾞﾆ類 | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤 | 10B | | 2000倍 | 200～700ｇ/10a | 発生初期 | 散布 | 1回 |
| ﾌﾗｰﾊﾞﾗｼﾞｳﾑｼ | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | MEP乳剤 | 1B | | 1000倍 | 200～700ｇ/10a | - | 散布 | 6回以内 |

## 〈参考１〉 花きのアブラムシ類の防除薬剤

浸透移行性：○あり　△弱い　×なし

作目欄:◎防除指針に採用　○登録のあるもの

| 分類 | 分類コード | 薬剤名 一般名 | 薬剤名 商品名 | 人畜毒性 | 浸透移行性 浸達性 | 浸透移行性 移行性 | 作用性 効果発現 | 作用性 効果持続 | キク | ストック | ユリ | トルコギキョウ | 花き類・観葉植物 | キクにおける他の適用害虫名等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有機リン系 | 1B | アセフェート | オルトラン粒剤 | | ○ | ○ | — | 長 | ○ | | | | ◎ | アザミウマ類、ネキリムシ類、ハモグリバエ類、ヨトウムシ類 |
| | | | ジェイエース粒剤 | | ○ | ○ | — | 長 | ○ | | | ○ | ○ | アザミウマ類、◎マメハモグリバエ |
| | | | オルトラン水和剤 | | ○ | ○ | 中 | 長 | | | | | ◎ | ◎マメハモグリバエ、オオタバコガ |
| | | | ジェイエース水溶剤 | | ○ | ○ | 速 | 長 | ○ | | | | ○ | アザミウマ類、マメハモグリバエ、オオタバコガ |
| | | MEP | スミチオン乳剤 | | ○ | × | 速 | 長 | ◎ | | | | | フラーバラゾウムシ、カメムシ類、ヨトウムシ類 |
| | | PAP | エルサン乳剤 | 劇 | ○ | × | 速 | 長 | * | | | | | *キクヒメヒゲナガアブラムシのみ登録あり |
| | | プロチオホス | トクチオン乳剤 | | × | × | 速 | 長 | ○ | | | | | フラーバラゾウムシ、◎アザミウマ類、ハダニ類 |
| カーバメート系 | 1A | アラニカルブ | オリオン水和剤40 | 劇 | ○ | × | 速 | 長 | ◎ | | | | | ◎ハスモンヨトウ、オオタバコガ |
| 合成ピレスロイド系 | 3A | フルバリネート | マブリック水和剤20 | 劇 | × | × | 速 | 長 | ○ | | | | | |
| | | トラロメトリン | スカウトフロアブル | 劇 | ○ | × | 速 | 長 | | | | ○ | ◎ | |
| | | シペルメトリン | アグロスリン乳剤 | 劇 | × | × | 速 | 中 | ○ | | | | | |
| | | ペルメトリン | アディオン乳剤 | | × | × | 速 | 中 | | | | | ◎ | |
| | | アクリナトリン | アーデント水和剤 | | × | × | 速 | 長 | ◎ | | | | | ハダニ類、◎ミカンキイロアザミウマ |
| | | エトフェンプロックス | トレボン乳剤 | | ○ | × | 速 | 中 | ○ | | ◎ | | | |
| | | フェンプロパトリン | ロディー乳剤 | 劇 | × | × | 速 | 中～長 | | | | | ◎ | |
| ネオニコチノイド系 | 4A | アセタミプリド | モスピラン顆粒水溶剤 | 劇 | ○ | ○ | 速 | 長 | | | | | ◎ | |
| | | | モスピランジェット | 劇 | — | — | 速 | 長 | | | | ○ | ◎ | |
| | | イミダクロプリド | アドマイヤーフロアブル（施設栽培のみ） | 劇 | ○ | ○ | 速 | 長 | ○ | | | | ◎ | アザミウマ類 |
| | | ニテンピラム | ベストガード水溶剤 | | ○ | ○ | 速 | 長 | ○ | | | | ◎ | コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ |
| | | | ベストガード粒剤 | | × | ○ | — | 長 | ○ | | | | ◎ | ◎ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ |
| | | チアメトキサム | アクタラ粒剤5 | | ○ | ○ | 中 | 長 | | | | | ○ | |
| | | クロチアニジン | ダントツ水溶剤 | | ○ | ○ | 速 | 中 | ○ | | | | ○ | ナモグリバエ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、カメムシ類 |
| | | ジノテフラン | スタークル顆粒水溶剤<br>アルバリン顆粒水溶剤 | | ○ | ○ | 速 | 長 | ○ | | | | ○ | カメムシ類、◎ハモグリバエ類、コナジラミ類 |
| ピリジンアゾメチン誘導体 | 9B | ピメトロジン | チェス顆粒水和剤 | | ○ | ○ | 中 | 長 | | | | | ◎ | |
| | | ピリフルキナゾン | コルト顆粒水和剤 | | ○ | △ | 中 | 長 | | | | | ◎ | |
| METI剤 | 21A | トルフェンピラド | ハチハチ乳剤 | 劇 | × | × | 速 | 長 | ○ | | | | | ◎アザミウマ類、ハモグリバエ類、白さび病 |
| フロニカミド | 29 | フロニカミド | ウララ50DF | | ○ | ○ | 遅 | 長 | ◎ | | ◎ | | | |
| — | — | 還元澱粉糖化物 | エコピタ液剤 | | × | × | 速 | 短 | | | | | ◎ | ハダニ類 |

**アブラムシ防除薬剤使用上の注意事項**

1 薬剤抵抗性アブラムシの発生を防止するため、同一薬剤、同一系統の薬剤の連用を避ける。
2 合成ピレスロイド系統の薬剤はリサージェンス（虫の増加）に注意する。
3 マブリック水和剤20は高濃度での散布で汚れが残ることがある。

## 〈参考2〉 キクのハダニ類の防除薬剤

対象欄：○効果高い　△効果低い　×効果なし　浸透移行性：○あり　△弱い　×なし　作目欄：◎防除指針に採用　○登録のあるもの

| 分類 | 分類コード | 薬剤名 一般名 | 薬剤名 商品名 | 人畜毒性 | 対象 成虫 | 対象 幼虫 | 対象 卵 | 浸透移行性 浸達性 | 浸透移行性 移行性 | 作用性 効果発現 | 作用性 効果持続 | キク | 花き類・観葉植物 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| テトラジホン | 12D | テトラジホン | テデオン乳剤 | | × | × | ○ | × | × | 遅 | 長 | | ◎ |
| METI剤 | 21A | フェンピロキシメート | ダニトロンフロアブル | | ○ | ○ | △ | × | × | 速 | 長 | | ○ |
| | | テブフェンピラド | ピラニカEW | 劇 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 速 | 長 | ◎ | ◎ |
| 合成ピレスロイド系□ | 3A | ビフェントリン | テルスター水和剤 | | ○ | ○ | △ | × | × | 速 | 長 | ◎ | |
| | | フェンプロパトリン | ロディー乳剤 | 劇 | ○ | ○ | × | × | × | 速 | 長 | | ◎ |
| ピロール | 13 | クロルフェナピル | コテツフロアブル | 劇 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 速 | 長 | ◎ | ◎ |
| エトキサゾール | 10B | エトキサゾール | バロックフロアブル | | × | ○ | ○ | × | × | 遅 | 長 | | ◎ |
| β-ケトニトリル誘導体 | 25A | シフルメトフェン | ダニサラバフロアブル | | ○ | ○ | ○ | × | × | 速 | 長 | | ◎ |
| | | シエノピラフェン | スターマイトフロアブル | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 速 | 長 | ◎ | |
| アベルメクチン系 | 6 | アバメクチン | アグリメック | 劇 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 中 | 長 | | ◎ |
| ヘキシチアゾクス | 10A | ヘキシチアゾクス | ニッソラン水和剤 | | × | ○ | ○ | ○ | × | 遅 | 長 | | ◎ |
| アセキノシル | 20B | アセキノシル | カネマイトフロアブル | | ○ | ○ | ○ | × | × | 速 | 長 | ○ | ◎ |
| ― | ― | デンプン | 粘着くん液剤 | | ○ | ○ | × | × | × | 速 | 短 | | ◎ |
| | ― | 脂肪酸グリセリド | サンクリスタル乳剤 | | ○ | ○ | ○ | △ | × | 速 | 長 | | ◎ |
| | ― | 還元澱粉糖化物 | エコピタ液剤 | | ○ | ○ | × | × | × | 速 | 短 | ○ | ◎ |

## 〈参考3〉 キクのアザミウマ類の防除薬剤

◎防除指針に採用 ○登録のあるもの

| 分類 | 分類コード | 一般名 | 商品名 | 人畜毒性 | キク | | | キクにおける他の適用害虫名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | アザミウマ類 | ミカンキイロ | ミナミキイロ | |
| 有機リン系 | 1B | プロチオホス | トクチオン乳剤 | | ◎ | | | アブラムシ類、フラーバラゾウムシ、ハダニ類 |
| カーバメート系 | 1A | ベンフラカルブ | オンコル粒剤5 | | ○ | ◎ | ◎ | |
| | | カルボスルファン | ガゼット粒剤 | 劇 | | ○ | | ネグサレセンチュウ、アブラムシ類 |
| 合成ピレスロイド系 | 3A | ビフェントリン | テルスターフロアブル | 劇 | | ○ | | ハダニ類 |
| | | アクリナトリン | アーデント水和剤 | | | ◎ | | アブラムシ類、ハダニ類 |
| ベンゾイル尿素系 | 15 | フルフェノクスロン | カスケード乳剤 | | | ◎ | | マメハモグリバエ |
| | | ルフェヌロン | マッチ乳剤 | | ○ | | | マメハモグリバエ、ハスモンヨトウ |
| | | クロルフルアズロン | アタブロン乳剤 | | | | ○ | シロイチモジヨトウ |
| ネオニコチノイド系 | 4A | ニテンピラム | ベストガード水溶剤 | | | ○ | | コナジラミ類、アブラムシ類 |
| | | | ベストガード粒剤 | | | ◎ | | マメハモグリバエ、アブラムシ類 |
| | | アセタミプリド | モスピラン粒剤 | | ◎ | ○ | | アブラムシ類、ハモグリバエ類 |
| | | イミダクロプリド | アドマイヤーフロアブル（施設栽培のみ） | 劇 | ○ | | | アブラムシ類 |
| | | | アドマイヤー1粒剤 | | ○ | | | アブラムシ類 |
| | | チアメトキサム | アクタラ顆粒水溶剤 | | | ○ | | ハモグリバエ類、ウスモンミドリカスミカメ |
| アベルメクチン系ミルベマイシン系 | 6 | エマメクチン安息香酸塩 | アファーム乳剤 | | ◎ | | | |
| ピロール | 13 | クロルフェナピル | コテツフロアブル | 劇 | | ○ | ◎ | ヨウトムシ類、◎ハダニ類、オオタバコガ、アワダチソウグンバイ |
| スピノシン系 | 5 | スピノサド | スピノエース顆粒水和剤 | | ◎ | | | ◎オオタバコガ、◎ハモグリバエ類 |
| METI剤 | 21A | トルフェンピラド | ハチハチ乳剤 | 劇 | ◎ | | | 白さび病、アブラムシ類、ハモグリバエ類 |

## 〈参考4〉 花き類の灰色かび病の防除薬剤

◎防除指針に採用
○登録のあるもの

| 分類 | 分類コード | 一般名 | 商品名 | キク | スターチス | ストック | ユリ | 花き類・観葉植物 | 予防・治療剤別 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ジチオカーバメート（求電子剤） | M3 | マンネブ | エムダイファー水和剤 | ◎ | | | | | 予防 |
| | | チウラム | チオノックフロアブル | | | | | ◎ | 予防 |
| | | | トレノックスフロアブル | | | | | ◎ | 予防 |
| MBC殺菌剤＋N-フェニルカーバメート | 1 10 | チオファネートメチル・ジエトフェンカルブ | ゲッター水和剤 | | | | | ◎ | 予防治療 |
| ジカルボキシイミド | 2 | イプロジオン | ロブラール水和剤 | | ◎ | | | | 予防治療 |
| ポリオキシン | 19 | ポリオキシン | ポリオキシンAL水溶剤 | | | | | ◎ | 予防治療 |
| AP殺菌剤（アニリノピリミジン） | 9 | メパニピリム | フルピカフロアブル | | ◎ | | ◎ | ◎ | 予防 |
| 無機化合物 | M1 | DBEDC | サンヨール | ○ | ○ | | | ○ | 予防 |
| SDHI殺菌剤（コハク酸脱水素酵素阻害剤） | 7 | ペンチオピラド | アフェットフロアブル | ○ | | | ◎ | ◎ | 予防治療 |
| PP殺菌剤（フェニルピロール） | 12 | フルジオキソニル | セイビアーフロアブル20 | | | | | ◎ | 予防 |

1）施設の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。
2）病葉は早めに摘除し、圃場外に持ち出して焼き捨てるか土中に埋め込む。
3）同じ系統に属する農薬の連用は、耐性菌の発現を助長する。

## 〈参考5〉 キクの白さび病の防除薬剤

作用性の欄：　○効果あり

| 分類 | 分類コード | 薬剤名 | | 作用性 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般名 | 商品名 | 浸透性 | 予防 | 治療 |
| 無機化合物（求電子剤） | M2 | 硫黄 | コロナフロアブル | | ○ | |
| ジチオカーバメート（求電子剤） | M3 | マンゼブ | ジマンダイセンフロアブル | | ○ | |
| SDHI殺菌剤（コハク酸脱水素酵素阻害剤） | 7 | メプロニル | バシタック水和剤75 | | ○ | ○ |
| DMI殺菌剤（脱メチル化阻害剤） | 3 | トリフルミゾール | トリフミン水和剤 | ○ | ○ | ○ |
| | | イミベンコナゾール | マネージ乳剤 | | ○ | ○ |
| | | ヘキサコナゾール | アンビルフロアブル | ○ | ○ | ○ |
| | | トリホリン | サプロール乳剤 | ○ | ○ | ○ |
| | | ミクロブタニル | ラリー乳剤 | ○ | ○ | ○ |
| | | プロピコナゾール | チルト乳剤25 | ○ | ○ | ○ |
| QoI殺菌剤(Qo阻害剤) | 11 | クレソキシムメチル | ストロビーフロアブル | ○ | ○ | ○ |
| ピリミジンアミン | 39 | ジフルメトリム | ピリカット乳剤 | ○ | ○ | ○ |

## 〈参考6〉殺菌・殺虫剤使用時の注意事項

キ ク

| 薬剤名 | 注意事項 |
|---|---|
| ガスタード微粒剤 | ・水に触れると有毒なガスが発生するので保管・取扱いには注意する。 |
| バスアミド微粒剤 | |
| ストロビーフロアブル | ・薬害防止のため、他剤との混用や展着剤は加用しない、高温多湿条件下では使用しない。 |
| エムダイファー水和剤 | ・ボルドー液、石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用はさける。 |

花き類(草本植物)・観葉植物

| 薬剤名 | 注意事項 |
|---|---|
| ダニトロンフロアブル | ・花に薬害が生じる場合があるので、注意する。 |
| カリグリーン | ・展着剤を加用する。 |
| ポリオキシンAL水溶剤 | ・キクに使用する場合、薬害が生じる恐れがあるため、着蕾期以降は高温時の散布を避ける。 |
| エコピタ液剤 | ・カーネーションで茎葉のワックス層が溶け、薬害が出やすいので注意する。 |

## 〈参考7〉 ウイルス一覧表

主な花き類のウイルス病と伝染方法

◎は重要ウイルス

| 花き名 | 病名 | 病原ウイルス | 略号 | 伝染方法 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 接触 | 土壌 | 虫媒 | 媒介昆虫等 |
| キク | えそ病 | ◎トマト黄化えそウイルス | TSWV | ＋ | － | ＋ | ミカンキイロアザミウマ他 |
| | 茎えそ病 | キク茎えそウイルス | CSNV | － | － | ＋ | ミカンキイロアザミウマ |
| | ウイルス病 | トマトアスパーミィウイルス | TAV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | キクBウイルス | CVB | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | キュウリモザイクウイルス | CMV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | わい化病 | ◎キクわい化ウイロイド | CSVd | ＋ | － | － | |
| ユリ | ウイルス病 | タバコモザイクウイルス | TMV | ＋ | ＋ | | |
| | | ◎キュウリモザイクウイルス | CMV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | ◎ユリ微斑ウイルス | LMoV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | ◎ユリ潜在ウイルス | LSV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | リンゴステムグルービングウイルス | ASGV | ＋ | － | － | |
| スイセン | モザイク病 | スイセン微斑モザイクウイルス | NMMV | ＋ | － | ＋ | |
| | ウイルス病 | ◎スイセン黄色条斑ウイルス | NYSV | ＋ | － | ＋ | |
| | | スイセンモザイクウイルス | NMV | ＋ | － | － | |
| | | キュウリモザイクウイルス | CMV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | タバコ茎えそウイルス | TRV | ＋ | (＋) | － | センチュウ |
| | | トマト輪点ウイルス | ToRSV | ＋ | ＋ | － | センチュウ |
| | | トマト黒色輪点ウイルス | TBRV | ＋ | (＋) | | センチュウ |
| | | アラビスモザイクウイルス | ArMV | ＋ | (＋) | ＋ | センチュウ |
| | | ソラマメウイルトウイルス | BBWV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| トルコギキョウ | えそモザイク病 | ◎キュウリモザイクウイルス | CMV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | モザイク病 | ◎ソラマメウイルトウイルス | BBWV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | | インゲンマメ黄斑モザイクウイルス | BYMV | ＋ | － | ＋ | アブラムシ類 |
| | えそ病 | トルコギキョウえそウイルス | LNV | ＋ | ＋ | | オルピディウム菌(カビの一種) |
| | えそ輪紋病 | アイリス黄斑ウイルス | IYSV | － | － | ＋ | ネギアザミウマ他 |

＋:伝染する、－:伝染しない

(＋):スイセンでは知られていないが、他の植物では確認されている。

## 2　花き除草剤

### (1) 使用上の注意事項

① 使用薬量は、散布実面積当りの量を厳守する。
② 土壌処理剤は、整地後または畦立後表土を均平にし、土壌表面に均一に散布する。
③ 粘土質の透水の悪い圃場では、薬量を減らす。砂質地は薬効が少なく、薬害が出やすいので注意する。
④ 土壌処理後、敷わら、もみがらマルチの併用は抑草効果を高める。
⑤ マルチ、トンネル、ハウスでは薬害が出やすいので、薬量を少なめにする。また、極端な高温乾燥時は散布しないようにする。
⑥ 散布にあたっては、除草剤専用の散布器具を使用し、噴口は必ずフード付きのものを使用する。
⑦ 散布にあたっては、メガネ、マスク、防除衣、手袋などを必ず着用する。

### (2) 使用方法

| 作物名 | 除草剤名 | 適用雑草名 | 使用基準 | | 10アール当たり使用量 | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 時期 | 回数 | 薬量 | 希釈水量 | |
| ユリ | トレファノサイド乳剤<br>トリフルラリン 44.5%<br>劇 | 一年生雑草<br>(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科除く) | 植付後～萌芽前 | 1 | 200～300 ml | 100 ℓ | ＜全面土壌散布＞<br>・散布は均一に、または夕方や曇った日に実施する。<br>・土壌が乾燥している場合、土壌を適当に湿らせるか、あるいは降雨後に散布する。 |
| スイセン | | | 萌芽前 | 1 | 200～300 ml | 100 ℓ | |
| キク(露地栽培) | | | 定植後 | 1 | 200～300 ml | 100 ℓ | ＜畦間土壌散布＞<br>・露地栽培に限る。<br>・マルチ、トンネル栽培では、薬害の恐れがある。 |
| スイセン | プリグロックスL<br>ジクワット 7.0%<br>パラコート 5.0%<br>毒 | 一年生雑草 | 萌芽前(雑草生育期) | 3 | 600～1,000 ml | 100～150 ℓ | ＜雑草茎葉散布＞<br>・医薬用外毒物。取扱いには、特に注意する。<br>・有用作物に、飛散させない。 |
| | | | 畦間処理:雑草生育期(草丈20cm以下) | | | | |
| 花き類・観葉植物(チューリップ、スイセンを除く) | | | 畦間処理:雑草生育期(草丈20cm以下) | 3 | 600～1,000 ml | 100～150 ℓ | |
| キク | ゴーゴーサン乳剤<br>ペンディメタリン 30.0% | 一年生雑草 | 定植前(雑草発生前) | 1 | 200～400 ml | 70～150 ℓ | ＜全面土壌散布＞<br>・キク科雑草とツユクサには、効果が劣る。<br>・土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、希釈水量を多めにするか降雨後に散布する。 |
| | | | 定植後(雑草発生前) | | | | |

| 作物名 | 除草剤名 | 適用雑草名 | 使用基準 時期 | 使用基準 回数 | 10アール当たり使用量 薬量 | 10アール当たり使用量 希釈水量 | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| キク | ナブ乳剤<br>ｾﾄｷｼｼﾞﾑ 20.0% | 一年生イネ科雑草<br>(ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗを除く) | 雑草生育期<br>イネ科雑草<br>3～5葉期 | 3 | 150～200 ml | 100～150 ℓ | ＜雑草茎葉散布又は全面散布＞<br>･効果が発現するまでに、7～10日を要する。<br>･広葉雑草およびカヤツリグサ科には、効果がない。 |
| 樹木類 | ナブ乳剤<br>ｾﾄｷｼｼﾞﾑ 20.0% | 一年生イネ科雑草<br>(ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗを除く) | 雑草生育期<br>イネ科雑草<br>3～5 葉期 | 3 | 150～200 ml | 100 ℓ | ＜雑草茎葉散布又は全面散布＞ |
| | バスタ液剤<br>ｸﾞﾙﾎｼﾈｰﾄ 18.5% | 一年生雑草 | 雑草生育期 | 3 | 300～500 ml | 通常散布<br>100～150 ℓ<br>少量散布<br>30～40 ℓ | ＜雑草茎葉散布＞ |
| 樹木等(公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・宅地・のり面・鉄道など) | プリグロックスL<br>ｼﾞｸﾜｯﾄ 7.0%<br>ﾊﾟﾗｺｰﾄ 5.0%<br>⛔ | 一年生雑草 | 雑草生育期 | 3 | 800～1,000 ml | 100～150 ℓ | ＜雑草茎葉散布＞<br>･医薬用外毒物。取扱いには、特に注意する。<br>･植栽地を除く樹木等の周辺地。 |
| | | 多年生雑草 | | | 1,500～2,000 ml | | |
| | | スギナ | ｽｷﾞﾅ生育期 | | 1,000～2,000 ml | | |
| | バスタ液剤<br>ｸﾞﾙﾎｼﾈｰﾄ 18.5% | 一年生雑草 | 雑草生育期 | 3 | 500～1,000 ml | 通常散布<br>100～200 ℓ<br>少量散布<br>30～40 ℓ | ＜雑草茎葉散布＞<br>･植栽地を除く樹木等の周辺地。 |
| | | 多年生雑草 | | | 1,000～2,000 ml | | |
| | タッチダウン iQ<br>ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｶﾘｳﾑ塩<br>44.7% | 一年生雑草 | 雑草生育期 | 3 | 250～500 ml | 10～100ℓ | ＜雑草茎葉散布＞<br>･植栽地を除く樹木等の周辺地。 |
| | | 多年生雑草 | | | 500～1,000 ml | | |
| | | スギナ | 雑草生育期 | | 1,500～2,000 ml | 25～100ℓ | |
| | | ススキ、クズ | 雑草生育期 | | 1,000～2,000 ml | 50～100ℓ | |
| | | ササ類 | 雑草生育期 | | | | |
| | | 雑かん木 | 雑草生育期 | | | 25～100ℓ | |
| | ラウンドアップマックスロード<br>ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｶﾘｳﾑ塩<br>48.0% | 一年生雑草 | 雑草生育期 | 3 | 200～500 ml | 通常散布<br>50～100 ℓ<br>少量散布<br>25～50 ℓ | ＜雑草木茎葉散布＞<br>･植栽地を除く樹木等の周辺地。 |
| | | 多年生雑草 | | | 500～1,000 ml | | |
| | | 一年生及び多年生雑草 | | | | 少量散布<br>5～25 ℓ | |
| | | スギナ | | | 1,500～2,000 ml | 通常散布<br>50～100 ℓ<br>少量散布<br>25～50 ℓ | |
| | | ススキ、ヒレハリソウ、クズ等のつる性多年生雑草、ササ類、雑かん木 | | | 1,000～2,000 ml | | |
| | カソロン粒剤 4.5<br>DBN 4.5% | 一年生雑草及び多年生広葉雑草 | 雑草発生前～発生始期 | 3 | 8～12 kg | | ＜全面土壌散布＞<br>･植栽地を除く樹木等の周辺地。 |
| | | スギナ | | | 8～15 kg | | |

# 3　花き植物成長調整剤

### ◎使用上の注意

① 植物成長調整剤の使用にあたっては、登録内容を熟知し、適正に使用する。
極めて微量で作物に作用するので、生育状況、環境条件で効果が異なる。
② 農薬など他の薬剤との混用は避ける。

## (1)　発根促進

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 | | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 時期 | 回数 | |
| オキシベロン液剤<br>インドール酪酸 0.4% | キク | 500～1,000倍<br>100～200倍<br>2倍 | －<br>－<br>－ | 1 | ・さし穂基部:3時間浸漬<br>・さし穂全体:5～10秒浸漬<br>・さし穂基部:10秒浸漬 |
| | カーネーション | 200～400倍<br>2倍 | －<br>－ | 1 | ・さし穂基部:16～24時間浸漬<br>・さし穂基部:5秒浸漬 又はさし穂100本当り10 mlをさし穂基部に散布 |
| | ツツジ類 | 40倍 | 6～7月<br>(夏さし) | 1 | ・さし穂基部:3時間浸漬 |
| | ドウダンツツジ | 40倍<br>2倍 | 6～7月<br>(夏さし) | 1 | ・さし穂基部:3時間浸漬<br>・さし穂基部:20秒浸漬 |
| | 花き類・観葉植物<br>(カーネーション、キク及びチューリップを除く) | 200～400倍<br>2倍 | －<br>－ | 1 | ・さし穂基部:12～24時間浸漬<br>・さし穂基部:5～10秒浸漬 |
| タチガレン液剤<br>ヒドロキシイソキサゾール 41.52% | キク | 1,000倍 | 挿し芽直後 | 1 | ・土壌灌注 5～10 ℓ／$m^2$ |

## (2)　親株栽培における側枝への腋芽の着生促進

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 | | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 時期 | 回数 | |
| ビーエー液剤<br>ベンジルアミノプリン<br>［サイトカイニン剤］ 3.0% | キク | 2,000～4,000倍 | 摘心時 | 6 | ・茎葉散布 100～300 ℓ／10a<br>・無側枝性が強く発現する品種および高温期の栽培では、効果が劣る場合がある。 |

## (3)　伸長抑制

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 | | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 時期 | 回数 | |
| ビーナイン顆粒水溶液<br>ダミノジット 80.0% | キク(ポットマム)(施設栽培) | 200～400倍 | 摘芯後10～7日又は定植3日後から発蕾初期 | 3 | ・節間の伸長抑制<br>・茎葉散布 5～10 ml/5号鉢 |
| | キク(切花用)(施設栽培) | 500～5,000倍 | 生育期 | 4 | ・節間の伸長抑制<br>・茎葉散布 50～150 ℓ/10a |
| | | | 発蕾期～摘蕾期 | 2 | ・花首の伸長抑制<br>・茎葉散布 50～150 ℓ/10a |

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 時期 | 使用基準 回数 | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| ビーナイン顆粒水溶液<br>ダミノジット 80.0% | ハボタン（施設栽培） | 200～400倍 | 子葉展開後<br>鉢上げ後 | 2 | ・節間の伸長抑制<br>・茎葉散布 50～150 ℓ/10a |
| スミセブンP液剤<br>ウニコナゾールP 0.025% | キク（ポットマム） | 25～50倍 | 摘芯10日後頃 | 2 | ・節間の伸長抑制(矮化)<br>・茎葉散布 5～10 ml/5号鉢<br>(原液0.1～0.2 ml/5号鉢) |
| | | 50～100倍 | 摘芯10日後頃 | | ・土壌灌注 50～100 mll/5号鉢<br>(原液1 ml/5号鉢) |
| | パンジー | 50～100倍 | 育苗期<br>本葉2～4葉期 | 1 | ・茎葉の伸長抑制による小型化<br>・茎葉散布 0.5 ml/株 |
| ビビフルフロアブル<br>プロヘキサジオンカルシウム塩[ジベレリン生合成阻害剤]<br>1.0% | キク | 200～500倍 | 摘蕾期 | 1 | ・花首の伸長抑制<br>・茎葉散布 50～100 ℓ/10a<br>・白色系品種で使用する。<br>・有色品種では、花色に影響することがあるので、使用しない。 |
| | | | 発蕾期及び摘蕾期 | 2 | |

## (4) 開花促進、草丈伸長促進

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 時期 | 使用基準 回数 | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| ジベレリン液剤<br>ジベレリン[ジベレリン剤]<br>0.63% | キク | ジベレリン<br>25～100 ppm | 生育期 | 2 | ・茎葉散布 50～100 ℓ/10a |

## (5)開花抑制

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 時期 | 使用基準 回数 | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| エスレル10<br>エテホン[エチレン剤] 10.0% | キク | 500～1,000倍 | 摘芯時または定植後1週間以内及びその後10～14日毎 | 3 | ・全面散布(株全体がぬれる程度)<br>2～10 ml/株<br>・開花抑制 |
| | キク（電照栽培） | 500倍 | 親株摘芯時 | | ・全面散布(株全体がぬれる程度)<br>2～10 ml/株<br>・早期不時発蕾防止 |

## (6)開花促進

| 薬剤名 | 対象作物 | 希釈倍数 | 使用基準 時期 | 使用基準 回数 | 使用方法及び注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| ビビフルフロアブル<br>プロヘキサジオンカルシウム塩[ジベレリン生合成阻害剤]<br>1.0% | ストック | 1,000倍 | 葉数10～14枚時とその7～10日後 | 2 | ・茎葉散布 100 ℓ/10a |

# Ⅵ　飼料作物

## １飼料作物病害虫

## 飼料作物病害虫重点防除指導方針

飼料作物は、安全で栄養価の高い家畜の粗飼料として、また、土地の有効利用を図る上で重要である。

本県では、坂井北部丘陵地、奥越地域（公共牧場を含む）を中心に牧草・飼料作物が栽培されており、飼料自給率の向上が図られている。主要な草種としては、オーチャードグラスを主体とする混播牧草、イタリアンライグラス、ソルガム（スーダン型を含む）となっている。また、水田では、飼料用稲・飼料用米、子実トウモロコシが栽培されている。

これらの牧草・飼料作物の収量・品質の安定を図るため、防除の指導にあたっては、それぞれの病害虫の生態や薬剤の性質を熟知し、耕種的防除対策に努めるとともに、病害虫の発生動向に注意して適正に防除する。

### １　耕種的防除の推進

(1) 適正な有機物施用による土づくりを推進し、健全な生育を図る。
(2) 越冬飼料作物の雪腐病および牧草類の夏枯れ等は、原則として適期は種、適期刈取等耕種的防除に努める。

### ２　主要病害虫の防除技術

(1) 病害虫防除は、原則として残留毒性の少ない農薬の使用に心がける。
(2) 農薬使用に当たっては、刈取時期を十分に考慮して防除に努める。
(3) アワヨトウ等の防除に当たっては、早期発見に努め、耕種的防除を実施する。

### ３　農薬使用基準

ソルガム（殺虫剤）

| 薬　剤　名 | 使用上の注意 | 使用時期（収穫何日前まで） | 使用回数 |
|---|---|---|---|
| オルトラン水和剤 | | 収穫30日前 | 3回以内 |

子実トウモロコシ（殺虫剤）

| 薬　剤　名 | 使用上の注意 | 使用時期（収穫何日前まで） | 使用回数 |
|---|---|---|---|
| スミチオン乳剤 | | 収穫30日前 | 2回以内 |

牧草(殺虫剤)

| 薬　剤　名 | 使用上の注意 | 使用時期（収穫何日前まで） | 使用回数 |
|---|---|---|---|
| スミチオン乳剤 | | 収穫14日前まで | 2回以内 |

イネ 種子消毒～育苗期（殺虫剤、殺虫殺菌剤）

| 薬　剤　名 | 使用上の注意 | 使用時期（収穫何日前まで） | 使用回数 |
|---|---|---|---|
| モミガードＣ水和剤 | | 浸種前 | 1回以内 |
| タチガレン液剤 | | は種時及び発芽後 | 2回以内 |
| ダコニール１０００ | | は種時から緑化期(は種14日後) | 2回以内 |
| ベンレート水和剤 | | は種時又はは種時とは種7日後頃 | 2回以内 |
| デジタルコラトップアクタラ箱粒剤 | | 移植前3日～移植当日 | 1回以内 |
| モンカット粒剤 | | 出穂30~10日前（１４日前） | 3回以内 |
| アミスターエイト | | （１４日前） | 3回以内 |
| スミチオン粉剤3DL | | （２１日前） | 2回以内 |
| スタークル粉剤ＤＬ |  | （７日前） | 3回以内 |

## （1）イタリアンライグラス、 フェスク類

| 病害虫名 | 防除時期 | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| 雪腐病（雪腐褐色小粒菌核病） | 根雪前 | 〔耕種的防除〕<br>・耐雪性の強い奨励品種を選ぶ。<br>・根雪前までに越冬に十分な生育量を確保しておくこと。年内刈が可能な場合、中多雪地帯では根雪20～30日前までに10cm程度の高刈りをし、追肥は控える。<br>・窒素の多肥や堆厩肥施用（10t/10a以上）は避ける。<br>・融雪水の停滞や湿潤化を防ぐため、排水溝を圃場周囲、圃場内に設ける。 | | | |
| さび病類 | － | 〔耕種的防除〕<br>・厚播、窒素過多、生育遅延、風通し不良を避ける。 | | | |

## （2）子実トウモロコシ

| 病害虫名 | 防除時期（使用回数） | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| アブラムシ | 収穫30日前まで（2回以内） | スミチオン乳剤 | 2,000倍 | 100～300 ℓ | |
| | | 〔耕種的防除〕<br>・堆厩肥はは種1ヶ月前までに散布する。 | | | |
| アワノメイガ<br>オオタバコガ<br>ツマジロクサヨトウ | 収穫前日まで（3回以内） | プレバソンフロアブル5 | 20倍 | 1～2 ℓ | |
| | | 無人航空機により散布する。 | | | |

## （3）ソルガム

| 病害虫名 | 防除時期（使用回数） | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| 紋枯病 | － | 〔耕種的防除〕<br>・密植、連作を避ける。被害個体を圃場に残さない。 | | | |
| アブラムシ類<br>ツマジロクサヨトウ | 収穫30日前まで（3回以内） | オルトラン水和剤 | 1,000倍 | 100～300 ℓ | |
| | | 〔耕種的防除〕<br>・堆厩肥はは種1ヶ月前までに散布する。 | | | |

## （4）イネ科牧草

| 病害虫名 | 防除時期(使用回数) | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| (イネ科牧草)<br>アワヨトウ | 収穫14日前まで(2回以内) | スミチオン乳剤 | 1,000倍 | 100～300 ℓ | ・MEPを含む農薬の総使用回数は、2回以内とする。 |
| | | 〔耕種的防除〕<br>・春期、本種の産卵場所となりやすい枯れ葉や刈り株は、産卵期を見計らって除去する。<br>・窒素過多にならないように注意する。<br>・収穫間近で被害が拡大しそうな場合に、早めに刈り取る。 | | | |
| (マメ科牧草)<br>ハスモンヨトウ<br>ゾウムシ類 | ― | 〔耕種的防除〕<br>・ほ場および周辺の雑草を除去する。 | | | |

## （5）レンゲ

| 病害虫名 | 防除時期 | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| 菌核病 | は種前 | ・塩水選（水10 ℓに食塩 1,500g)を行い、浮き上がった菌核を取り除いた後2～3回水洗いし、かげ干しする。又は種子を温湯浸漬(45℃7～8時間)し、種子消毒を行う。 | | | ・早播き、厚播を避ける。<br>・発病株は、早めに抜き取り処分する。<br>・根雪前に、消石灰を10アール当たり70kg以上施用する。 |

## （6）稲発酵粗飼料

### ① 種子消毒

| 病害虫名 | 防除時期(使用回数) | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 使用方法 | |
| ばか苗病<br>いもち病<br>ごま葉枯病<br>もみ枯細菌病<br>褐条病<br>苗立枯細菌病<br>苗立枯病 | 浸種前(1回) | モミガードC水和剤<br>塩基性塩化銅 7.6%<br>フルジオキソニル 2%<br>ペフラゾエート 12% | 乾燥種籾重量の0.5% | 種子粉衣(湿粉衣) | ・種子は、無発病田から採種した健全種子を使用する。<br>・傷籾や脱ぷ籾が混入していないものを使用する。<br>・調製した薬液は、調製当日に使用する。<br>・フルジオキソニルを含む農薬の総使用回数は、1回以内とする。<br>・ペフラゾエートを含む農薬の総使用回数は、1回以内とする。 |
| | | | 7.5倍 | 乾燥種籾1kg当り希釈液30ml吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理 | |

### ② 育苗期間の防除（箱育苗）※育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5リットル

| 病害虫名 | 防除時期(使用回数) | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用濃度 | 使用方法 | |
| 苗立枯病(フザリウム、ピシウム菌) | は種時及び発芽後(2回以内) | タチガレン液剤<br>ヒドロキシイソキサゾール 41.52% | 500～1,000倍 | 500ml/箱灌注 | ・ﾋﾄﾞﾛｷｼｲｿｷｻｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数は、3回以内とする(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)。 |
| 苗立枯病(リゾープス菌) | は種時から緑化期但し、は種14日後まで(2回以内) | ダコニール1000<br>TPN 40% | 500～1,000倍 | 500ml/箱灌注 | ・ <br>・TPNを含む農薬の総使用回数は、2回以内とする。 |
| 苗立枯病(トリコデルマ菌) | は種時1回又は、は種時と、は種7日後頃の2回(2回以内) | ベンレート水和剤<br>ベノミル 50% | 500～1,000倍 | 500ml/箱灌注 | ・ベノミルを含む農薬の総使用回数は、2回以内とする(種子への処理は1回以内、床土への混和は1回以内)。 |
| いもち病<br>イネミズゾウムシ<br>イネドロオイムシ<br>ツマグロヨコバイ<br>ウンカ類<br>ニカメイチュウ<br>イネクロカメムシ | 移植前3日～移植当日(1回) | デジタルコラトップアクタラ箱粒剤<br>チアメトキサム 2%<br>ピロキロン 12% | | 50g/箱 | ・ニカメイチュウ、イネクロカメムシの場合は、移植当日。<br>・育苗箱中の苗の上から均一に散布する。<br>・チアメトキサムを含む農薬の総使用回数は、3回以内とする(育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)。<br>・ピロキロンを含む農薬の総使用回数は、3回以内とする(育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)。 |

### ③ 本田期の防除

| 病害虫名 | 防除時期 | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用回数<br>使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| 紋枯病 | 出穂30～10日前<br>但し収穫14日前まで | モンカット粒剤<br>フルトラニル 7% | 4回以内 | 3～4 kg | ・湛水散布とする。<br>・散布後1週間程度湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。<br>・水深 3cm 以上の湛水状態に使用し、使用後 3～4日間は止水にする。<br>・フルトラニルを含む農薬の総使用回数は、4回以内とす。 |
| いもち病<br>紋枯病<br>穂枯れ<br>(ごま葉枯病菌) | 収穫14日前まで | アミスターエイト<br>アゾキシストロビン 8% | 3回以内<br>1,000～1,500倍 | 100～200 ℓを散布 | ・アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数は、4回以内とする(育苗箱散布は1回以内、本田では3回以内)。 |

| 病害虫名 | 防除時期 | 防除方法 | | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 薬剤名 | 使用回数<br>使用濃度 | 10アール当たり使用量 | |
| ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼｳﾝｶ類<br>ﾆｶﾒｲﾁｭｳ<br>ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ<br>カメムシ類<br>アザミウマ類 | 収穫２１日前まで | スミチオン粉剤3DL<br>MEP 3% | 2回以内<br>（但し出穂前は１回） | 3～4 kg<br>を散布 | ・MEPを含む農薬の総使用回数は、3回以内とする（種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）。 |
| ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼｳﾝｶ類<br>ﾆｶﾒｲﾁｭｳ<br>カメムシ類<br>ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ<br>イナゴ類<br>ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ | 収穫7日前まで | スタークル粉剤DL<br>ジノテフラン 0.5% | 3回以内 | 3 kg<br>を散布 | ・ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、4回以内とする（育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内）。<br>・㊙ |

「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」のうち農薬使用に関する部分の抜粋(令和２年３月)

○病害虫防除

抵抗性品種の導入や病害虫発生予察を活用した的確な防除対策を基本とし、病害虫の発生が周辺の食用イネに影響をおよぼさないように配慮しつつ、航空防除の実施地域では作付の団地化を行うなど、防除対策について地域の関係者で十分な協議を行う必要がある。

その際、コスト低減を図るため、病害虫の発生状況を的確に把握し、必要最小限の防除に努めることが重要である。

なお、稲用に登録されている農薬のうち、①登録時のデータから稲わらへの残留性が十分に低いと認められる農薬や稲わらに残留しても牛の乳汁に検出されないことが確認されている農薬、②平成 15 年度以降に実施した WCS 用イネでの残留性試験や乳汁移行試験により残留性がないと確認された農薬は、以下のとおりである。

農薬による病害虫防除が必要な場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や病害虫の発生動向等を踏まえて選定する。農薬の使用に当たっては、当該農薬のラベルに記載されている「収穫○日前まで」という使用時期の「収穫」を WCS 用イネの収穫（黄熟期）にそのまま適用するため、防除可能な期間が食用イネより 1 週間～10 日程度早まることに留意する必要がある。

また、立毛中の稲を利用した放牧についても、本マニュアルに記載された農薬の種類・使用方法に従うこと。

なお、無人航空機（無人ヘリコプター、ドローン等）の利用に当たっては、「農薬の使用方法の表示及び提出を要する試験の取扱いについて（平成 31 年 2 月 22 日付け 30 消安第 5541 号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)」を参照すること。

**■「殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤・農薬肥料・植物生長調整剤」に関する情報は、**
**下記に掲載のＱＲコードからご確認ください。**

① 「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」(令和２年３月（一社）日本草地畜産種子協会）＜P60～65＞

http://souchi.lin.gr.jp/skill/pdf/manual_vol7.pdf

② 発酵粗飼料用イネ（WCS 用稲）に使用できる農薬
https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/wcsyoine.html

## （７）　飼料用米

飼料用米を籾米のまま家畜に給与することについては、「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」（令和３年１月 14 日付け改正）により、有害物質の低減対策を図る。

多収品種に取り組むに当たって～多収品種の栽培マニュアル～（令和６年４月改訂版）の病害虫防除に関する部分の抜粋

病害虫防除

品種の選定に当たって、病害虫に対する抵抗性を把握して導入しましょう。

抵抗性がない病害や害虫に対しては、その発生状況を注視し、気象条件や周辺環境を踏まえて、適期かつ適切に農薬散布を実施することが重要です。なお、インディカ系統の品種では、多くの場合セジロウンカに対する抵抗性が弱く、被害が発生しやすいので、注意が必要です。

また、飼料用米では外観的な品質が必要とされないため、斑点米カメムシ類の防除が主食用米ほど行われない場合がありますが、適期防除が行われない場合には、斑点米カメムシ類の発生源となる可能性があるため、特に、周辺で主食用米が栽培されている場合は、適期に防除を行うことが必要です。その際、主食用米を栽培している生産者と連携して、地域ぐるみでほ場周辺のイネ科雑草を刈り取り、斑点米カメムシ類の発生密度を抑制すると、防除効果及び生産コスト削減の両面から有効です。

同様に、いもち病等の他の病害虫についても周辺への分散を防ぐため、発生状況を注視し、発生予察情報も参考にして、適切に防除を実施しましょう。

農薬使用基準等について

病害虫・雑草防除に当たっては、「稲」に登録のある農薬を用いることとし、そのラベルに記載されている薬剤の使用方法、使用量等農薬使用基準を遵守することが不可欠です。

籾米は玄米に比べて農薬の残留量が多いことが確認されており、籾米を家畜に給与する場合は、畜産物の安全確保を図るため、出穂以降（ほ場において出穂した個体が初めて確認される時点以降をいう。以下同じ。）の農薬の散布は控えてください。ただし、安全性が確認され、出穂以降に使用できる農薬は次のとおりです。それ以外の農薬を出穂以降に散布する場合は、籾すりをして玄米で家畜に給与しましょう。

**■出穂以降に使用できる農薬一覧「殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤」に関する情報は、**
**下記に掲載のＱＲコードからご確認ください。**

多収品種に取り組むに当たって～多収品種の栽培マニュアル～
令和６年４月　農林水産省　＜P19～20＞

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/attach/pdf/siryouyoumai-2.pdf

## ２　飼料作物・牧草除草剤

### (1) 使用上の注意事項

飼料作物における除草剤の使用は、圃場条件の確保、気象条件、各薬剤の作用特性などを十分に配慮する。

① は種後の土壌処理については、砂質土、低湿地などでは薬害が生じるほか殺草効果も劣るので使用を避ける。
② 土壌処理剤は、細かく砕土して、覆土鎮圧後、雑草の発生期までに土壌表面に均一に散布する。
③ 土壌が乾燥して極端に水分の少ない場合は効果が劣るので、散布水量を多目にしたり（薬剤使用量は基準どおり）、降雨後に散布したりする。
④ 生育期処理は、作物の生育を考慮して雑草発生～初期に散布する。また、散布の際、付近の作物にかからぬように注意する。
⑤ 堆肥の施用に当たっては、十分発酵させ、雑草種子の死滅に努める。
⑥ ギシギシ等強害雑草の防除に当たっては、耕種的防除と併用する。

### (2) 使用方法

**※使用回数については、農薬の使用回数および成分ごとの使用回数（成分内の記載と同じ行に記載される括弧書きの数字）を記載した。**

| 作物名 | 除草剤名 | 対象雑草名 | 使用時期 | 使用回数 | 10アール当たり | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 使用量 | 使用方法 | |
| ソルガム | ゴーゴーサン乳剤<br>ペンディメタリン 30.0% | 一年生雑草 | は種後出芽前（雑草発生前） | 1<br>(1) | 300～400ml | 70～150ℓの水に溶かして全面土壌散布 | ・砕土、整地はできるだけ丁寧にし、覆土は3cm以上とし、散播では使用しない。<br>・水源地、養魚池等に飛散、流入しないよう十分注意する。<br>・雑草の生育がすすむと急激に効果が落ちるので散布時期を失しないようにする。<br>・キク科雑草、ツユクサには効果が劣るので、これらの優先圃場では使用しない。 |
| | | | ソルガム3葉期（雑草発生前～発生始期） | | 300ml | 70～100ℓの水に溶かして雑草茎葉散布又は全面土壌散布 | |
| | ゲザノンゴールド<br>アトラジン 27.8%<br>S-メトラクロール 26.4% | 一年生雑草 | は種直後 | 1<br>(1)<br>(1) | 140～260ml | 70～100ℓの水に溶かして全面土壌散布 | ・アトラジンを含む農薬の総使用回数 1回<br>・メトラクロール及びS－メトラクロールを含む農薬の総使用回数 1回 |

**※使用回数については、農薬の使用回数および成分ごとの使用回数（成分内の記載と同じ行に記載される括弧書きの数字）を記載した。**

| 作物名 | 除草剤名 | 対象雑草名 | 使用時期 | 使用回数 | 10アール当たり | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 使用量 | 使用方法 | |
| 牧草 | アージラン液剤<br>アシュラム 37.0% | ギシギシ類およびキク科雑草 | 秋～春期（9～5月）ギシギシ類の展葉時期但し、採草14日前まで | 1<br>(1) | 400～600ml | 80～100ℓの水に溶かして雑草茎葉散布 | ・適用場所は、「牧野、草地」。<br>・散布時期が遅れると効果が劣るので、散布時期を守る。<br>・夏期の全面散布は、牧草に薬害が生じる恐れあり。<br>・散布後14日間の放牧および採草は行わない。<br>・局所散布、群生地散布は必要に応じて展着剤を用いる。 |
| | | | 早春～秋期（1～11月）ギシギシ類の展葉時期 | | 50～80倍液とし雑草が充分ぬれる量を25ml/株又は100ml/㎡雑草茎葉散布（局所処理） | | |
| | | ワラビ | ワラビ展葉期（更新・造成） | | 1,000～1,500ml | 80～100ℓの水に溶かして雑草茎葉散布 | |
| | ラウンドアップマックスロード<br>グリホサートカリウム塩 48.0% | 一年生および多年生雑草 | 耕起前まで（雑草生育期）<br>耕起整地後～は種当日まで（雑草発生揃期）（更新・造成） | 3<br>(3) | 200～500ml | 25～50ℓの水に希釈して雑草茎葉散布（少量散布） | ・適用場所 牧野、草地（更新・造成）<br>・調製には、必ず清水を使用する。<br>・除草剤など他の農薬や肥料との混用不可。<br>・展着剤不要。<br>・使用後6時間以内の降雨は、効果を低下させるので注意する。<br>・効果が発現するのは1年生雑草で2～4日、多年生雑草で7～14日、さらに効果が完成するまでにはそれ以上の日数を要する。<br>・水源地、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。<br>・少量散布の場合、専用のノズルを用いて葉面に均一散布する。<br>・皮膚に対して刺激性があるので注意する。<br>・グリホサートを含む農薬（ラウンドアップ）の総使用回数は3回以内。 |
| | バンベル－D液剤<br>MDBA ジメチルアミン 50.0% | ギシギシ | 秋期最終刈取後30日以内 | 1<br>(1) | 75～100ml | 100ℓの水に溶かして雑草茎葉散布 | ・適用場所は、「牧野、草地」。<br>・マメ科牧草には薬害が生じるので優先草地での使用は控える。<br>・散布後、一番草刈り取りまでの間放牧および採草はしない。 |

※使用回数については、農薬の使用回数および成分ごとの使用回数（成分内の記載と同じ行に記載される括弧書きの数字）を記載した。

**・稲発酵粗飼料**

「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」第７版のうち農薬使用に関する部分の抜粋(令和２年３月（一社）日本草地畜産種子協会発行)

○雑草防除

WCS用イネにノビエ等の雑草が混入した場合、水分含量の相違等から品質が低下するため、雑草防除を的確に行う必要がある。特に、直播栽培を導入する場合には、雑草が繁茂しやすいので、初期の雑草防除が重要である。

稲用に登録されている農薬のうち、移植水稲もしくは直播水稲に適用があり、①登録時のデータから稲わらへの残留性が十分に低いと認められる農薬や稲わらに残留しても牛の乳汁に検出されないことが確認されている農薬、②平成 15 年度以降に実施したWCS用イネでの残留性試験や乳汁移行試験により残留性がないと確認された農薬は、以下のとおりである。

除草剤の使用に当たっては、病害虫防除と同様に、農薬のラベルに記載されている「収穫○日前まで」という使用時期の「収穫」をWCS用イネの収穫(黄熟期)にそのまま適用するため、防除可能な期間が食用イネより１週間～10 日程度早まることに留意する必要がある。

また、立毛中の稲を利用した放牧についても、本マニュアルに記載された農薬の種類・使用方法に従うこと。

**■「除草剤（直播栽培に適用できるもの）・除草剤（移植栽培に適用できるもの）に関する情報は、下記に掲載のＱＲコードからご確認ください。**

① 「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」（令和２年３月（一社）日本草地畜産種子協会）＜P60～65＞

http://souchi.lin.gr.jp/skill/pdf/manual_vol7.pdf

② 発酵粗飼料用イネ（WCS 用稲）に使用できる農薬
https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/wcsyoine.html

**・飼料用米**

| 作物名 | 除草剤名 | 対象雑草名 | 使用時期 | 使用回数 | 10アール当たり | | 注意事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 使用量 | 使用方法 | |
| 飼料用米 | クリンチャー1キロ粒剤<br>シハロホップブチル 1.8% | ノビエ | 移植後7日～ノビエ4葉期、但し、収穫30日前まで | 2<br>(3) | 1 kg | 湛水散布または無人ヘリコプターによる散布 | ・シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数は3回以内。 |
| | | | 移植後25日～ノビエ5葉期、但し、収穫30日前まで | | 1.5 kg | | |

飼料用米を籾米のまま家畜に給与することについては、「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」（令和３年１月 14 日付け改正）により、有害物質の低減対策を図る。

多収品種に取り組むに当たって～多収品種の栽培マニュアル～
（農林水産省　令和６年４月改訂版）の雑草防除に関する部分の抜粋

雑草防除

直播栽培では苗と雑草の生育が競合しやすく、特に乾田直播では雑草が繁茂しやすいため、適期の除草剤散布が重要です。水田が傾斜していたり、凹凸が多いと除草剤の効果にムラが出ますので、播種前のほ場の均平作業を徹底しておくことが重要です。

農薬使用基準等について

病害虫・雑草防除に当たっては、「稲」に登録のある農薬を用いることとし、そのラベルに記載されている薬剤の使用方法、使用量等農薬使用基準を遵守することが不可欠です。

籾米は玄米に比べて農薬の残留量が多いことが確認されており、籾米を家畜に給与する場合は、畜産物の安全確保を図るため、出穂以降（ほ場において出穂した個体が初めて確認される時点以降をいう。以下同じ。）の農薬の散布は控えてください。ただし、安全性が確認され、出穂以降に使用できる農薬は次のとおりです。

それ以外の農薬を出穂以降に散布する場合は、籾すりをして玄米で家畜に給与しましょう。

**■ 出穂以降に使用できる農薬一覧「除草剤」に関する情報は、**
**下記に掲載のＱＲコードからご確認ください。**

多収品種に取り組むに当たって～多収品種の栽培マニュアル～
令和６年４月　農林水産省　　＜P19～20＞

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/attach/pdf/siryouyoumai-2.pdf

## Ⅶ　参考

## 掲載農薬一覧 ※RPAのページのみ

（殺菌剤・殺虫剤）

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 1 | Cs.ｵﾘｾﾞﾘﾃﾞｨｱEV箱粒剤 | 稲 |
| 2 | D-D | きく |
| 3 | Dr.ｵﾘｾﾞﾌｪﾙﾃﾗ粒剤 | 湛水直播水稲 |
| 4 | ICﾎﾞﾙﾄﾞ-412 | すもも,もも,りんご |
| 5 | ICﾎﾞﾙﾄﾞ-48Q | なし |
| 6 | ICﾎﾞﾙﾄﾞ-66D | うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,ぶどう |
| 7 | Zﾎﾞﾙﾄﾞ- | いちじく,うめ,すいか,ﾄﾏﾄ,にんじん,ぶどう,ﾐﾆﾄﾏﾄ,ﾚﾀｽ,非結球ﾚﾀｽ,野菜類(ｷｬﾍﾞﾂを除く) |
| 8 | Zﾎﾞﾙﾄﾞ-粉剤DL | だいず,稲 |
| 9 | ｱｰﾃﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 小粒核果類 |
| 10 | ｱｰﾃﾞﾝﾄ水和剤 | いちじく,きく,なし,なす,ぶどう,もも,りんご,小粒核果類 |
| 11 | ｱｸｻｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なし,りんご |
| 12 | ｱｸｾﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ,にんじん,花き類・観葉植物(きくを除く) |
| 13 | ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤 | うめ,ｷｬﾍﾞﾂ,りんご,花き類・観葉植物(宿根ｱｽﾀｰ、ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ、きくを除く) |
| 14 | ｱｸﾞﾘﾏｲｼﾝ-100 | ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,ばれいしょ |
| 15 | ｱｸﾞﾘﾒｯｸ | すいか,ﾄﾏﾄ,花き類・観葉植物(ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く) |
| 16 | ｱｸﾞﾚﾌﾟﾄ水和剤 | ｷｳｲﾌﾙｰﾂ |
| 17 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ水和剤 | かき,くり,もも,りんご |
| 18 | ｱｸﾞﾛｽﾘﾝ乳剤 | えだまめ,すいか,だいず,なす,ねぎ,ﾋﾟｰﾏﾝ,とうもろこし |
| 19 | ｱﾀｯｷﾝ水和剤 | ばれいしょ |
| 20 | ｱﾀﾌﾞﾛﾝ乳剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 21 | ｱﾃﾞｨｵﾝ水和剤 | ぶどう |
| 22 | ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤 | いちじく,うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きゅうり,くり,ﾄﾏﾄ,なし,なす,ばれいしょ,ﾋﾟｰﾏﾝ,とうもろこし,花き類・観葉植物(はぼたんを除く),未成熟そらまめ |
| 23 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ1粒剤 | さといも,さといも(葉柄),なす,ﾋﾟｰﾏﾝ |
| 24 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 花き類・観葉植物(きくを除く) |
| 25 | ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ水和剤 | かき,くり,すいか,ﾄﾏﾄ,なす,湛水直播水稲 |
| 26 | ｱﾄﾗｯｸ液剤 | さくら |
| 27 | ｱﾆｷ乳剤 | きく,ｷｬﾍﾞﾂ,ﾄﾏﾄ |
| 28 | ｱﾌｧｰﾑｴｸｾﾗ顆粒水和剤 | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 29 | ｱﾌｧｰﾑ乳剤 | きく,ﾄﾏﾄ,ﾋﾟｰﾏﾝ,ﾐﾆﾄﾏﾄ,花き類・観葉植物 |
| 30 | ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちご,きゅうり,すいか,ﾄﾏﾄ,ねぎ,ゆり,花き類・観葉植物(きく、ゆり、ﾁｭｰﾘｯﾌﾟ、りんどうを除く) |
| 31 | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,うめ,すもも,ねぎ,みかん,もも,りんご |
| 32 | ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞ水和剤 | うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きゅうり,ﾄﾏﾄ,なす,みかん,もも |
| 33 | ｱﾍﾞｲﾙ粒剤 | ﾄﾏﾄ,なす,ねぎ |
| 34 | ｱﾍﾞﾝｼﾞｬｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ねぎ |
| 35 | ｱﾐｽﾀｰ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,すもも |
| 36 | ｱﾐｽﾀｰ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | さといも,だいず,にんにく,ねぎ,らっきょう |
| 37 | ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝSE | だいず,稲 |
| 38 | ｱﾘｴｯﾃｨC水和剤 | なし,りんご |
| 39 | ｱﾘｴｯﾃｨ水和剤 | ぶどう |
| 40 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粉剤DL | だいず,稲 |
| 41 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ粒剤 | 稲,非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| 42 | ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤 | えだまめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きく,ﾄﾏﾄ,ねぎ,りんご,小粒核果類 |
| 43 | ｱﾝﾄﾗｺｰﾙ顆粒水和剤 | いちご,すいか,なし,りんご |
| 44 | ｱﾝﾋﾞﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく,花き類・観葉植物(ばら、きくを除く) |
| 45 | ｲｵｳﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ,ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ,もも,野菜類(すいか、かぼちゃ、ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄ、ねぎ、わけぎ、あさつき、いちごを除く) |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 46 | ｲﾝﾀﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ,なし,りんご |
| 47 | ｲﾝﾌﾟﾚｯｼｮﾝｸﾘｱ | 野菜類 |
| 48 | ｳﾗﾗ50DF | きく,ゆり |
| 49 | ｳﾗﾗDF | すいか,なし,ねぎ,小粒核果類 |
| 50 | ｴｸｼｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 51 | ｴｸｼｰﾄﾞ粉剤DL | 稲 |
| 52 | ｴｺﾋﾟﾀ液剤 | いちご,花き類・観葉植物,野菜類(いちご、ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄ、きゅうり、なすを除く) |
| 53 | ｴｽﾏﾙｸDF | 野菜類 |
| 54 | ｴﾊﾞｰｺﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 稲(乾田直播水稲を除く) |
| 55 | ｴﾐﾘｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 56 | ｴﾑﾀﾞｲﾌｧｰ水和剤 | きく,みかん |
| 57 | ｴﾙｻﾝ乳剤 | あずき,ｷｬﾍﾞﾂ,くり,さといも,だいこん,だいず,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,ほうれんそう,ﾚﾀｽ,とうもろこし,稲,未成熟そらまめ |
| 58 | ｴﾙｻﾝ粉剤2 | さといも,稲 |
| 59 | ｵｰｼｬｲﾝ水和剤 | なし,りんご |
| 60 | ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80 | きゅうり,ﾄﾏﾄ,なす,ﾋﾟｰﾏﾝ,ぶどう,りんご,花き類・観葉植物,小粒核果類 |
| 61 | ｵｷｼﾗﾝ水和剤 | すいか,なし,りんご |
| 62 | ｵﾗｸﾙ粉剤 | ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,非結球あぶらな科葉菜類 |
| 63 | ｵﾘｵﾝ水和剤40 | きく,なし,ﾒﾛﾝ,もも,りんご |
| 64 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ1ｷﾛ粒剤 | 稲 |
| 65 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,ねぎ,稲 |
| 66 | ｵﾘｾﾞﾒｰﾄ粒剤20 | 稲 |
| 67 | ｵﾘﾌﾞﾗｲﾄ250G | 稲 |
| 68 | ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤 | いちじく,かき,きく,ｷｬﾍﾞﾂ,さくら,はくさい,ばれいしょ,花き類・観葉植物,樹木類 |
| 69 | ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,だいこん,ﾄﾏﾄ,なす,はくさい,ばれいしょ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,花き類・観葉植物(きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く) |
| 70 | ｵﾙﾌｨﾝﾌﾟﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | もも,りんご,小粒核果類(うめを除く) |
| 71 | ｵﾙﾌｨﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 72 | ｵﾝｺﾙ粒剤5 | きく,ｽﾄｯｸ,花き類・観葉植物(きく、ｽﾄｯｸを除く) |
| 73 | ｵﾝﾘｰﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,なし,ねぎ,ぶどう |
| 74 | ｶﾞｰﾄﾞﾍﾞｲﾄA | とうもろこし |
| 75 | ｶﾞｰﾄﾞﾎｰﾌﾟ液剤 | ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 76 | ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤 | かき,きく,ｷｬﾍﾞﾂ,ｽﾀｰﾁｽ,だいず,ﾄﾏﾄ,にんじん,ねぎ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,ほうれんそう,りんご |
| 77 | ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤 | きく,ｽﾄｯｸ,花き類・観葉植物 |
| 78 | ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,ﾄﾏﾄ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,ﾒﾛﾝ |
| 79 | ｶｽﾐﾝ液剤 | うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,稲(箱育苗) |
| 80 | ｶｽﾐﾝ粒剤 | 稲(箱育苗) |
| 81 | ｶﾞｯﾃﾝ乳剤 | 花き類・観葉植物 |
| 82 | ｶﾞｯﾄｷﾗｰ乳剤 | うめ,すもも,ぶどう,もも |
| 83 | ｶﾞｯﾄｻｲﾄﾞS | いちじく,くり,みかん,りんご |
| 84 | ｶﾅﾒﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく,なし,小粒核果類 |
| 85 | ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちご,すいか,すもも,ぶどう,もも,りんご,花き類・観葉植物(ばら、きく、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ﾃﾞﾙﾌｨﾆｳﾑを除く) |
| 86 | ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ | ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ,花き類・観葉植物(きくを除く),野菜類(ﾄﾏﾄ、ﾐﾆﾄﾏﾄを除く) |
| 87 | ｶﾙﾎｽ微粒剤F | ﾚﾀｽ |
| 88 | ｶﾙﾎｽ粉剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,だいこん,なす,はくさい,ﾚﾀｽ |
| 89 | ｶﾝﾀｽﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾏﾄ,なす |
| 90 | ｶﾝﾊﾟﾈﾗ水和剤 | さといも |
| 91 | ｷﾉﾝﾄﾞｰ水和剤40 | みかん,りんご |
| 92 | ｷﾉﾝﾄﾞｰ水和剤80 | なし,ぶどう,りんご |
| 93 | ｷﾉﾝﾄﾞｰ顆粒水和剤 | なし,りんご |
| 94 | ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ | かき,りんご |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 95 | ｷﾗｯﾌﾟ 粒剤 | 稲 |
| 96 | ｸﾙｰｻﾞ -FS30 | えだまめ,だいず |
| 97 | ｸﾙｰｻﾞ -MAXX | えだまめ,だいず |
| 98 | ｸﾞﾚｰｼｱ乳剤 | 結球あぶらな科葉菜類,ﾄﾏﾄ,ねぎ |
| 99 | ｸﾚﾌﾉﾝ | うめ,ぶどう、りんご |
| 100 | ｸﾛｰﾙﾋﾟｸﾘﾝ | きく,花き類・観葉植物 |
| 101 | ｸﾛｽｱｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 102 | ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ錠剤 | きく |
| 103 | ｹﾞｯﾀｰ水和剤 | だいず,ﾄﾏﾄ,ぶどう,ﾐﾆﾄﾏﾄ,花き類・観葉植物(ひまわり､ｾﾞﾗﾆｳﾑを除く) |
| 104 | ｹﾝｼﾞｬﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 105 | ｺｻｲﾄﾞ 3000 | いちじく,にんにく,ぶどう,りんご,野菜類 |
| 106 | ｺｻｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄﾞｰ | にんじん,野菜類 |
| 107 | ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | かき,かんきつ,きく,ｷｬﾍﾞﾂ,ｽﾄｯｸ,ﾄﾏﾄ,なす,ねぎ,はくさい,ぶどう,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,ほうれんそう,もも,花き類・観葉植物(きく､ｽﾄｯｸを除く),小粒核果類 |
| 108 | ｺﾃﾂﾍﾞｲﾄ | ほうれんそう |
| 109 | ｺﾗﾄｯﾌﾟ 1ｷﾛ粒剤12 | 稲 |
| 110 | ｺﾙﾄ顆粒水和剤 | かき,ﾄﾏﾄ,ねぎ,もも,りんご,花き類・観葉植物（チューリップ、ばらを除く）,小粒核果類 |
| 111 | ｺﾛﾅﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく |
| 112 | ｺﾛﾏｲﾄ水和剤 | いちじく,なし,ぶどう,りんご |
| 113 | ｺﾛﾏｲﾄ乳剤 | なす |
| 114 | ｻｲｱﾉｯｸｽ乳剤 | きゅうり |
| 115 | ｻﾌﾞﾛｰﾙ乳剤 | きく |
| 116 | ｻﾑｺﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ10 | すもも,なし,ぶどう,もも,りんご |
| 117 | ｻﾙﾌｧｰｿﾞﾙ | うめ,もも |
| 118 | ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤 | 花き類・観葉植物,野菜類(なす､ﾄﾏﾄ､ﾐﾆﾄﾏﾄ､しゅんぎくを除く) |
| 119 | ｻﾞﾝﾌﾟﾛDMﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きゅうり,ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 120 | ｻﾝﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾛﾝ |
| 121 | ｻﾝﾏｲﾄ水和剤 | かんきつ,なし,りんご |
| 122 | ｼﾞｰﾌｧｲﾝ水和剤 | さといも,野菜類(なすを除く) |
| 123 | ｼﾞｪｲｴｰｽ水溶剤 | いちじく,かき,ｷｬﾍﾞﾂ,さくら,はくさい |
| 124 | ｼﾞｪｲｴｰｽ粒剤 | きく,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,だいこん,ﾄﾏﾄ,なす,はくさい,ばれいしょ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 125 | ｼﾞｵｾﾞｯﾄ水和剤 | ねぎ |
| 126 | ｼｸﾞﾅﾑWDG | いちご,かぼちゃ,すいか,ﾄﾏﾄ,なす,にんじん,にんにく,ねぎ,はくさい,ﾚﾀｽ |
| 127 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく |
| 128 | ｼﾞﾏﾝﾀﾞｲｾﾝ水和剤 | いちご,かき,かぼちゃ,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,くり,すいか,たまねぎ,ﾄﾏﾄ,ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ,なし,ねぎ,ぶどう,みかん,ﾒﾛﾝ,もも,やまのいも,りんご,未成熟そらまめ |
| 129 | ｼﾞｭﾘﾎﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 130 | ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 小麦,大麦 |
| 131 | ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,かき,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,すもも,なし,ぶどう,みかん,もも,りんご,花き類・観葉植物(宿根かすみそう､ｸﾞﾗｼﾞｵﾗｽ､ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ､りんどうを除く) |
| 132 | ｽｸｰﾃﾞﾘｱES | 稲 |
| 133 | ｽｸﾚｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾏﾄ,なし,りんご |
| 134 | ｽｺｱ顆粒水和剤 | うめ,かき,すもも,なし,もも,りんご |
| 135 | ｽﾀｰｸﾙ液剤10 | だいず |
| 136 | ｽﾀｰｸﾙ豆つぶ | 稲 |
| 137 | ｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | だいず,稲 |
| 138 | ｽﾀｰｸﾙ粒剤 | 稲,非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| 139 | ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤 | えだまめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きく,ﾄﾏﾄ,ねぎ,りんご,小粒核果類 |
| 140 | ｽﾀｰﾅ水和剤 | すもも,だいこん,にんじん,はくさい,もも,小粒核果類(すももを除く) |
| 141 | ｽﾀｰﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく,なし |
| 142 | ｽﾀｳﾄｱﾚｽﾓﾝｶﾞﾚｽ箱粒剤 | 稲 |
| 143 | ｽﾀｳﾄｱﾚｽ箱粒剤 | 稲 |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 144 | ｽﾃｨﾝｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 樹木類 |
| 145 | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ,かき,かんきつ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,すもも,なし,ぶどう,もも,りんご |
| 146 | ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく,きゅうり,すいか,にんにく,ねぎ,小麦,麦類(小麦を除く) |
| 147 | ｽﾊﾟｲｶﾙEX | 果樹類 |
| 148 | ｽﾊﾟｲﾃﾞｯｸｽ | 果樹類(施設栽培) |
| 149 | ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 | きく,ｷｬﾍﾞﾂ,ﾄﾏﾄ,なす,ﾋﾟｰﾏﾝ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 150 | ｽﾐﾁｵﾝ水和剤40 | かき,くり,なし(無袋栽培),なし(有袋栽培),りんご,小粒種ぶどう,大粒種ぶどう |
| 151 | ｽﾐﾁｵﾝ乳剤 | うめ,きく,だいず,たまねぎ,なし(無袋栽培),なし(有袋栽培),なす,ねぎ,もも,稲,花き類・観葉植物,樹木類 |
| 152 | ｽﾐﾁｵﾝ粉剤3DL | だいず,稲 |
| 153 | ｽﾐﾚｯｸｽ水和剤 | いちご,きゅうり,たまねぎ,ﾄﾏﾄ,なす,ﾚﾀｽ |
| 154 | ｾｲﾋﾞｱｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ20 | いちご,ﾄﾏﾄ,花き類・観葉植物(きんせんか、ホワイトレースフラワーを除く) |
| 155 | ｾﾙｶﾃﾞｨｽDﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なし,りんご |
| 156 | ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 | そば,野菜類(ｷｬﾍﾞﾂ,はくさいを除く),ｷｬﾍﾞﾂ |
| 157 | ｿﾞｰﾍﾞｯｸｴﾝﾃｸﾀSE | きゅうり |
| 158 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ水和剤34 | 樹木類,小粒核果類(すももを除く),日本なし |
| 159 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤3 | かぼちゃ,かんしょ,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,すいか,たまねぎ,ねぎ,ばれいしょ,ﾋﾟｰﾏﾝ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,ﾒﾛﾝ,ﾚﾀｽ |
| 160 | ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ粒剤5 | だいず,非結球ﾚﾀｽ |
| 161 | ﾀﾞｲﾅﾓ顆粒水和剤 | さといも |
| 162 | ﾀﾞｺｿｲﾙ | かぶ,はくさい |
| 163 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000 | いちじく,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きく,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,すいか,たまねぎ,ﾄﾏﾄ,にんにく,はくさい,ばれいしょ,ﾋﾟｰﾏﾝ,ﾒﾛﾝ,やまのいも,ゆり,りんご,ﾚﾀｽ,稲(箱育苗) |
| 164 | ﾀﾞｺﾆｰﾙ粉剤 | 稲(箱育苗) |
| 165 | ﾀﾞｺﾚｰﾄ水和剤 | 稲(箱育苗) |
| 166 | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM液剤 | 稲(箱育苗) |
| 167 | ﾀﾁｶﾞﾚｴｰｽM粉剤 | 稲(箱育苗) |
| 168 | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ液剤 | きゅうり,稲(箱育苗) |
| 169 | ﾀﾁｶﾞﾚﾝ粉剤 | 稲(箱育苗) |
| 170 | ﾀﾞﾆｵｰﾃﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なす |
| 171 | ﾀﾞﾆｹﾞｯﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 小粒核果類 |
| 172 | ﾀﾞﾆｺﾝｸﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,なし,ぶどう,りんご |
| 173 | ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちご,いちじく,なし,もも,りんご,花き類・観葉植物,小粒核果類 |
| 174 | ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,かんきつ,なし,ぶどう,りんご,花き類・観葉植物 |
| 175 | ﾀﾌﾌﾞﾛｯｸ | 稲 |
| 176 | ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE | ﾄﾏﾄ,なす,鱗茎類(にら、 にら(花茎)を除く),花き類・観葉植物 |
| 177 | ﾀﾞﾝﾄﾂH粉剤DL | だいず,稲 |
| 178 | ﾀﾞﾝﾄﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 湛水直播水稲 |
| 179 | ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤 | いちじく,うめ,かき,かんきつ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,すいか,すもも,ぶどう,もも,りんご |
| 180 | ﾀﾞﾝﾄﾂ粒剤 | ﾒﾛﾝ,稲 |
| 181 | ﾁｪｽ顆粒水和剤 | ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ,花き類・観葉植物 |
| 182 | ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | すもも,なし,もも,りんご,花き類・観葉植物(りんどうを除く) |
| 183 | ﾁﾙﾄ乳剤25 | きく,小麦,大麦 |
| 184 | ﾃﾞｨ・ﾄﾗﾍﾟｯｸｽ油剤 | ねぎ,らっきょう |
| 185 | ﾃﾞｨｱﾅSC | ｷｬﾍﾞﾂ,ﾄﾏﾄ,ねぎ,花き類・観葉植物(りんどうを除く),非結球あぶらな科葉菜類(こまつな､ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ､なばな類を除く) |
| 186 | ﾃﾞｨｱﾅWDG | いちじく,くり,なし,りんご |
| 187 | ﾃｰｸ水和剤 | かき,すいか,ﾄﾏﾄ,ねぎ |
| 188 | ﾃｸﾘｰﾄﾞ Cﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 189 | ﾃﾃﾞｵﾝ乳剤 | 花き類・観葉植物 |
| 190 | ﾃﾞﾅﾎﾟﾝ5%ﾍﾞｲﾄ | ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん,はくさい |
| 191 | ﾃﾞﾐﾘﾝ水和剤 | 樹木類 |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 192 | ﾃﾞﾗﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,うめ,かき,なし,ぶどう,もも,りんご |
| 193 | ﾃﾙｽﾀｰ水和剤 | きく |
| 194 | ﾃﾛﾝ | きく |
| 195 | ﾄｱﾛｰﾌﾛｱﾌﾞﾙCT | 野菜類 |
| 196 | ﾄｱﾛｰ水和剤CT | ｽﾄｯｸ,樹木類(つばき類を除く),野菜類(ﾊﾟｾﾘ､えごま(葉)を除く) |
| 197 | ﾄﾞｰｼｬｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾏﾄ |
| 198 | ﾄﾞｷﾘﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なし,ぶどう,りんご |
| 199 | ﾄｸﾁｵﾝ細粒剤F | らっきょう |
| 200 | ﾄｸﾁｵﾝ乳剤 | かき,きく,ｷｬﾍﾞﾂ,くり |
| 201 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMｿﾞﾙ | 小麦,麦類(小麦を除く) |
| 202 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ | いちじく,かき,かんきつ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きゅうり,くり,さくら,なし,ぶどう,ﾒﾛﾝ,もも,りんご,樹木類,小粒核果類 |
| 203 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤 | いちじく,かき,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きく,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,くり,ぶどう,みかん,もも,もも(苗木),ゆり,りんご,ﾚﾀｽ,花き類・観葉植物(ﾄﾙｺｷﾞ ｷｮｳを除く),樹木類,小麦,小粒核果類,麦類(小麦を除く) |
| 204 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM粉剤DL | 小麦,麦類(小麦を除く) |
| 205 | ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝｽﾀｰｸﾙ粉剤DL | 稲 |
| 206 | ﾄﾗｲﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 稲 |
| 207 | ﾄﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | だいず,稲 |
| 208 | ﾄﾗｻｲﾄﾞA乳剤 | くり,ぶどう |
| 209 | ﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾑﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾄﾏﾄ,なし,りんご,小粒核果類 |
| 210 | ﾄﾘｶﾞｰﾄﾞ液剤 | 花き類・観葉植物 |
| 211 | ﾄﾘﾌﾐﾝ水和剤 | いちご,いちじく,きく,きゅうり,すいか,すもも,ﾄﾏﾄ,なし,なす,ねぎ,ﾋﾟｰﾏﾝ,ぶどう,ﾐﾆﾄﾏﾄ,ﾒﾛﾝ,もも,らっきょう,りんご,樹木類(しきみを除く),麦類 |
| 212 | ﾄﾘﾌﾐﾝ乳剤 | きく |
| 213 | ﾄﾙﾈｰﾄﾞｴｰｽDF | だいこん,なす |
| 214 | ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | すもも,なし,もも,りんご,花き類・観葉植物(りんどうを除く) |
| 215 | ﾄﾚﾎﾞﾝｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 216 | ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤 | かんきつ,かんしょ,ｷｬﾍﾞﾂ,さといも,さといも(葉柄),だいず,とうもろこし,ﾄﾏﾄ,ﾄﾙｺｷﾞ ｷｮｳ,やまのいも,ゆり,樹木類(つつじ類､ﾎﾟｲﾝｾﾁｱ､ｿﾃﾂを除く) |
| 217 | ﾄﾚﾎﾞﾝ粉剤DL | 豆類(種実),稲 |
| 218 | ﾄﾚﾎﾞﾝ粒剤 | 稲 |
| 219 | ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ | きく,ｽﾄｯｸ,花き類・観葉植物 |
| 220 | ﾅｴﾌｧｲﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲(箱育苗) |
| 221 | ﾅﾒｸﾘｰﾝ3 | 花き類・観葉植物 |
| 222 | ﾅﾘｱWDG | うめ,かき,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,すもも,なし,もも,りんご |
| 223 | ﾆｯｿﾗﾝ水和剤 | いちじく,なし,ぶどう,りんご,花き類・観葉植物 |
| 224 | ﾆﾏｲﾊﾞｰ水和剤 | すいか,ﾄﾏﾄ |
| 225 | ﾈｷﾘｴｰｽK | ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん |
| 226 | ﾈｷﾘﾍﾞｲﾄ | 花き類・観葉植物 |
| 227 | ﾈｸｽﾀｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | かき,ｷｬﾍﾞﾂ,ﾄﾏﾄ,なし,りんご,小粒核果類 |
| 228 | ﾈﾋﾞｼﾞﾝ粉剤 | かぶ,はくさい |
| 229 | ﾈﾏｷｯｸ粒剤 | さといも,にんじん,ﾒﾛﾝ |
| 230 | ﾈﾏｸﾘｰﾝ粒剤 | さといも,だいこん,にんじん |
| 231 | ﾈﾏﾄﾘﾝｴｰｽ粒剤 | いちじく,きく,らっきょう |
| 232 | ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,ｽﾄｯｸ,なす,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,ほうれんそう,みかん,花き類・観葉植物 |
| 233 | ﾊﾟｰﾏﾁｵﾝ水和剤 | かき,くり,だいず,なし |
| 234 | ﾊｰﾓﾒｲﾄ水溶剤 | 野菜類 |
| 235 | ﾊﾞｲｵｷｰﾊﾟｰ水和剤 | 野菜類(かぼちゃ､ｽﾞｯｷｰﾆを除く) |
| 236 | ﾊﾞｲｵｾｰﾌ | いちじく,果樹類 |
| 237 | ﾊｸｻｯﾌﾟ水和剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん,なす,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 238 | ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75 | きく,きゅうり,すいか,だいこん,ﾄﾏﾄ,なし,ほうれんそう,ﾐﾆﾄﾏﾄ,花き類,野菜類 |
| 239 | ﾊﾞｼﾚｯｸｽ水和剤 | さくら,樹木類 |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 240 | ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤 | きく,ｽﾄｯｸ,花き類・観葉植物 |
| 241 | ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ顆粒水和剤 | なし（西洋なしを除く） |
| 242 | ﾊﾞﾀﾞﾝSG水溶剤 | かき,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,ｷｬﾍﾞﾂ,くり,だいこん,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,稲,大粒種ぶどう |
| 243 | ﾊﾟﾀﾞﾝ粒剤4 | 稲 |
| 244 | ﾊﾁﾊﾁﾌﾛｱﾌﾞﾙ | すもも,なし,もも,花き類・観葉植物 |
| 245 | ﾊﾁﾊﾁ乳剤 | かぶ,きく,ねぎ |
| 246 | ﾊﾞｯﾁﾚｰﾄ | なし,りんご |
| 247 | ﾊｯﾊﾟ乳剤 | きゅうり |
| 248 | ﾊﾞﾘｱｰﾄﾞ顆粒水和剤 | うめ,りんご |
| 249 | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ液剤5 | うめ,すもも,はくさい,もも,ﾚﾀｽ,稲 |
| 250 | ﾊﾞﾘﾀﾞｼﾝ粉剤DL | だいこん,ばれいしょ,稲 |
| 251 | ﾊﾟﾙﾐﾉ | なす |
| 252 | ﾊﾟﾚｰﾄﾞ15ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なし,りんご,小粒核果類 |
| 253 | ﾊﾟﾚｰﾄﾞ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ,すいか,ﾄﾏﾄ,ねぎ,ﾒﾛﾝ |
| 254 | ﾊﾞﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,すいか,なし,なす,りんご,花き類・観葉植物,樹木類 |
| 255 | ﾊﾟﾝﾁｮTF顆粒水和剤 | かぼちゃ,きゅうり,すいか,ﾒﾛﾝ,花き類・観葉植物 |
| 256 | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄEXｿﾞﾙ | 稲 |
| 257 | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄｴｸｼｰﾄﾞｿﾞﾙ | 稲 |
| 258 | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄｽﾀｰｸﾙｿﾞﾙ | 稲 |
| 259 | ﾋﾞｰﾑｴｲﾄﾓﾝｶｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 260 | ﾋﾞｰﾑｽﾀｰｸﾙ粉剤5DL | 稲 |
| 261 | ﾋﾞｰﾗﾑ粒剤 | さといも,だいこん,にんじん |
| 262 | ﾋﾟｸｼｵDF | ﾄﾏﾄ |
| 263 | ﾋﾟｼﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | さといも,だいこん,ほうれんそう,鱗茎類 |
| 264 | ﾋﾟﾗﾆｶEW | きく,さといも,花き類・観葉植物(ｶｰﾈｰｼｮﾝ、きくを除く) |
| 265 | ﾋﾟﾗﾆｶ水和剤 | なし,みかん,りんご |
| 266 | ﾋﾟﾘｶｯﾄ乳剤 | きく |
| 267 | ﾌｧｲﾝｾｰﾌﾞ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きく,ねぎ |
| 268 | ﾌｧﾝﾀｼﾞ ｽﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | だいず |
| 269 | ﾌｧﾝﾀｼﾞ ｽﾀ顆粒水和剤 | ﾄﾏﾄ,ねぎ,なし,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,りんご |
| 270 | ﾌｨｰﾙﾄﾞ ﾏｽﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん |
| 271 | ﾌﾞｰﾝｱﾚｽ箱粒剤 | 稲 |
| 272 | ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙC水和剤 | だいず |
| 273 | ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ水和剤 | ほうれんそう |
| 274 | ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,くり,すもも,なし,ぶどう,もも,りんご |
| 275 | ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤 | きく,ｷｬﾍﾞﾂ,すいか,そば,だいこん,りんご,花き類・観葉植物(きく、りんどうを除く) |
| 276 | ﾌｪﾛﾃﾞｨﾝSL | そば |
| 277 | ﾌｫｰｽ粒剤 | かぶ,かんしょ,だいこん,らっきょう,非結球あぶらな科葉菜類(からしなを除く) |
| 278 | ﾌｫﾘｵｺﾞｰﾙﾄﾞ | すいか,らっきょう |
| 279 | ﾌｫﾙﾃﾝｻﾞ FS | 稲 |
| 280 | ﾌｼﾞﾄﾞｰL ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | さといも |
| 281 | ﾌｾｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | だいず |
| 282 | ﾌｾｷﾜｲﾄﾞ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ﾒﾛﾝ |
| 283 | ﾌﾞﾗｼﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 284 | ﾌﾞﾗｼﾝ粉剤DL | 稲 |
| 285 | ﾌﾟﾘﾛｯｿ粒剤ｵﾒｶﾞ | ﾄﾏﾄ,ねぎ,ﾒﾛﾝ |
| 286 | ﾌﾙｰﾂｾｲﾊﾞｰ | なし,ぶどう,もも,りんご,小粒核果類 |
| 287 | ﾌﾙﾋﾟｶくん煙剤 | きゅうり |
| 288 | ﾌﾙﾋﾟｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちご,きゅうり,ｽﾀｰﾁｽ,ﾄﾏﾄ,ぶどう,ゆり,花き類・観葉植物(ばら、ｽﾀｰﾁｽ、宿根かすみそう、ゆり、りんどうを除く) |
| 289 | ﾌﾟﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ,さといも,だいこん,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,花き類・観葉植物 |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 290 | ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ5 | ｷｬﾍﾞﾂ,さといも,だいず,ねぎ,はくさい,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 291 | ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なす |
| 292 | ﾌﾞﾛﾌﾚｱSC | ｷｬﾍﾞﾂ |
| 293 | ﾌﾟﾛﾎﾟｰｽﾞ顆粒水和剤 | きゅうり,ねぎ |
| 294 | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞSC | かんきつ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,なし,りんご |
| 295 | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ水和剤 | ばれいしょ,ゆり,らっきょう |
| 296 | ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞ粉剤 | かぶ,はくさい,ばれいしょ,ﾚﾀｽ |
| 297 | ﾍﾞｼﾞｾｲﾊﾞｰ | きゅうり,ねぎ,ﾒﾛﾝ |
| 298 | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤 | きゅうり,なし,なす,花き類・観葉植物(ばら、きくを除く) |
| 299 | ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤 | きく,すいか,ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ,ﾒﾛﾝ,花き類・観葉植物(きく、きんせんかを除く) |
| 300 | ﾍﾞﾄﾌｧｲﾀｰ顆粒水和剤 | きゅうり,たまねぎ,ﾒﾛﾝ,らっきょう |
| 301 | ﾍﾞﾈｾｯﾄ水和剤 | さといも |
| 302 | ﾍﾞﾈﾋﾞｱOD | ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,だいこん,だいず,ﾄﾏﾄ,にんじん,ねぎ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,未成熟とうもろこし |
| 303 | ﾍﾞﾗﾝﾃｨｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ,なし |
| 304 | ﾍﾞﾘﾏｰｸSC | ｷｬﾍﾞﾂ,ﾄﾏﾄ,ねぎ,はくさい,ﾐﾆﾄﾏﾄ,ﾚﾀｽ |
| 305 | ﾍﾞﾙｸｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ,くり,すもも,なし,もも,やまのいも,りんご |
| 306 | ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤 | うめ,かき,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,すいか,なし,りんご |
| 307 | ﾍﾟﾝｺｾﾞﾌﾞ水和剤 | 樹木類 |
| 308 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄTｺｰﾄ | 小麦,大麦 |
| 309 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄT水和剤20 | かんしょ,さといも,らっきょう,稲,小麦,大麦 |
| 310 | ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤 | いちご,いちじく,かき,かんしょ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きゅうり,くり,はくさい,ぶどう,みかん,らっきょう,りんご,ﾚﾀｽ,稲(箱育苗),非結球あぶらな科葉菜類(みずな、ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く) |
| 311 | ﾎｰﾏｲ水和剤 | すいせん,ゆり,稲,花き類,小麦,麦類(小麦を除く) |
| 312 | ﾎﾞﾄｷﾗｰ水和剤 | 野菜類,野菜類(トマトを除く) |
| 313 | ﾎﾗｲｽﾞﾝﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ | すいか,ぶどう |
| 314 | ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水溶剤 | ゆり,花き類・観葉植物 |
| 315 | ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水和剤 | いちご,ﾄﾏﾄ,にんじん |
| 316 | ﾎﾞﾘﾍﾞﾘﾝ水和剤 | なす |
| 317 | ﾏｲｺｼｰﾙﾄﾞ | うめ,すもも,もも |
| 318 | ﾏｲﾄｺｰﾈﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちご,いちじく,さといも,ぶどう,もも,りんご,小粒核果類 |
| 319 | ﾏｽﾀﾋﾟｰｽ水和剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ,もも,小粒核果類 |
| 320 | ﾏｯﾁ乳剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,ﾄﾏﾄ,みかん,花き類・観葉植物(きくを除く) |
| 321 | ﾏﾄﾘｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん,だいず,ﾄﾏﾄ,なし,なす,ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 322 | ﾏﾈｰｼﾞ乳剤 | きく |
| 323 | ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20 | うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,くり,すいか,ｽﾄｯｸ,ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ,なす,みかん,もも,りんご |
| 324 | ﾏﾗｿﾝ乳剤 | あずき,いちご,かぶ,かぼちゃ,きゅうり,だいこん,だいず,ﾄﾏﾄ,なす,にんじん,はくさい,ﾋﾟｰﾏﾝ,ぶどう,ほうれんそう,ﾒﾛﾝ,もも |
| 325 | ﾏﾗｿﾝ乳剤50 | かぶ |
| 326 | ﾏﾗｿﾝ粉剤3 | あずき,かぼちゃ,だいず |
| 327 | ﾐｷﾞﾜ10ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | きゅうり,ﾄﾏﾄ,ﾐﾆﾄﾏﾄ |
| 328 | ﾐｷﾞﾜ20ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | なし,ぶどう,小粒核果類 |
| 329 | ﾐﾈｸﾄｴｸｽﾄﾗSC | だいず |
| 330 | ﾐﾈｸﾄﾃﾞｭｵ粒剤 | ねぎ |
| 331 | ﾐﾗﾋﾞｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 大麦 |
| 332 | ﾑｯｼｭﾎﾞﾙﾄﾞ-DF | ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,すもも,ぶどう,もも,小粒核果類(すももを除く) |
| 333 | ﾒｼﾞｬｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | ねぎ |
| 334 | ﾓｽﾋﾟﾗﾝｼﾞｪｯﾄ | 花き類・観葉植物(ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳを除く) |
| 335 | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ粒剤 | きく,ｷｬﾍﾞﾂ,すいか,ｽﾄｯｸ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 336 | ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤 | いちじく,うめ,かき,かぶ,かんきつ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きゅうり,くり,すもも,たまねぎ,なし,なす,ぶどう,もも,りんご,花き類・観葉植物(ｽﾄｯｸ、りんどうを除く) |
| 337 | ﾓﾍﾞﾝﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | かんきつ,ｷｬﾍﾞﾂ,すいか,なす,もも,小粒核果類 |
| 338 | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC・DF | 稲 |

| | 殺菌剤・殺虫剤 | 掲載作物名 |
|---|---|---|
| 339 | ﾓﾐｶﾞｰﾄﾞC水和剤 | 稲 |
| 340 | ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤 | いちご,かぼちゃ,きゅうり,すいか,ﾄﾏﾄ,なす,ﾋﾟｰﾏﾝ,ﾒﾛﾝ,花き類・観葉植物(ｶｰﾈｰｼｮﾝを除く) |
| 341 | ﾓﾝｶｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ40 | 花き類・観葉植物 |
| 342 | ﾓﾝｶｯﾄ水和剤 | 花き類 |
| 343 | ﾓﾝｶｯﾄ粒剤 | ねぎ,稲 |
| 344 | ﾓﾝｶﾞﾘｯﾄ粒剤 | ねぎ |
| 345 | ﾕﾆｯｸｽ顆粒水和剤47 | なし,りんご |
| 346 | ﾖｰﾊﾞﾙｼｰﾄﾞFS | 稲(乾田直播水稲を除く) |
| 347 | ﾖｰﾊﾞﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | だいず,ねぎ |
| 348 | ﾖﾈﾎﾟﾝ水和剤 | ｷｬﾍﾞﾂ,たまねぎ,ねぎ,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 349 | ﾗｸﾞﾋﾞｰMC粒剤 | ねぎ |
| 350 | ﾗﾉｰﾃｰﾌﾟ | 花き類・観葉植物(施設栽培),野菜類(施設栽培) |
| 351 | ﾗﾌﾞｻｲﾄﾞK2ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 352 | ﾗﾌﾞｻｲﾄﾞﾀﾞﾝﾄﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 稲 |
| 353 | ﾗﾘｰ水和剤 | いちじく,きゅうり,ねぎ |
| 354 | ﾗﾘｰ乳剤 | きく |
| 355 | ﾗﾝﾈｰﾄ45DF | いちご,ｷｬﾍﾞﾂ,だいこん,たまねぎ,にんじん,ねぎ,はくさい,ﾋﾟｰﾏﾝ(露地栽培),ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 356 | ﾗﾝﾏﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | いちじく,ｷｬﾍﾞﾂ,きゅうり,さといも,はくさい,ぶどう,ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ |
| 357 | ﾘｰﾌｶﾞｰﾄﾞ顆粒水和剤 | ねぎ |
| 358 | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤 | ばれいしょ,花き類・観葉植物 |
| 359 | ﾘｿﾞﾚｯｸｽ粉剤 | 花き類・観葉植物 |
| 360 | ﾘﾄﾞﾐﾙｺﾞｰﾙﾄﾞMZ | きゅうり,たまねぎ,ねぎ |
| 361 | ﾘｮｰｶﾞﾌｪﾙﾃﾗ粒剤 | 稲(箱育苗) |
| 362 | ﾘﾝﾊﾞｰ粒剤 | 稲 |
| 363 | ﾙｰﾁﾝｼｰﾄﾞFS | 稲 |
| 364 | ﾙﾐﾋﾞｱFS | 稲(箱育苗) |
| 365 | ﾚｼｰﾄﾞﾌﾟﾗｽ箱粒剤 | 稲 |
| 366 | ﾛﾃﾞｨｰ水和剤 | すもも |
| 367 | ﾛﾃﾞｨｰ乳剤 | なす,ﾋﾟｰﾏﾝ,もも,花き類・観葉植物 |
| 368 | ﾛﾋﾞﾝﾌｯﾄﾞ | りんご |
| 369 | ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 | いちご,うめ,ｷｳｲﾌﾙｰﾂ,きゅうり,すいか,ｽﾀｰﾁｽ,すもも,たまねぎ,ﾄﾏﾄ,なし,なす,ﾋﾟｰﾏﾝ,ぶどう,ﾒﾛﾝ,もも,らっきょう,ﾚﾀｽ,未成熟そらまめ |
| 370 | ﾛﾑﾀﾞﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | そば |
| 371 | ﾛﾑﾀﾞﾝ粉剤DL | そば |
| 372 | ﾛﾝｾﾗｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | うめ |
| 373 | ﾜｰｸｱｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 麦類 |
| 374 | ﾜｰｸｱｯﾌﾟ粉剤DL | 麦類 |
| 375 | ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾝﾁ豆つぶ | 稲 |
| 376 | 園芸ﾎﾞﾙﾄﾞｰ | ﾄﾏﾄ |
| 377 | 園芸用ｷﾝﾁｮｰﾙE | いちじく |
| 378 | 粘着くん液剤 | 花き類・観葉植物,野菜類 |
| 379 | 箱いり娘粒剤 | 湛水直播水稲 |

## 掲載農薬一覧※RPAページのみ

（除草剤）

| | 除草剤 | 移植/直播 |
|---|---|---|
| 1 | ｱｰｸｴｰｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 2 | ｱｶﾂｷ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 3 | ｱｶﾂｷｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 4 | ｱｶﾂｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 5 | ｱｸｼｽﾞMX1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 6 | ｱｸｼｽﾞMXｴｱｰ粒剤 | 移植,直播 |
| 7 | ｱｸｼｽﾞMXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 8 | ｱｼｭﾗ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 9 | ｱｼｭﾗ400FG | 移植,直播 |
| 10 | ｱｼｭﾗｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 11 | ｱｼｭﾗﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 12 | ｱﾄｶﾗSｼﾞｬﾝﾎﾞ MX | 移植,直播 |
| 13 | ｱﾄﾄﾘ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 14 | ｱﾄﾄﾘ豆つぶ250 | 移植 |
| 15 | ｱﾈｼｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 16 | ｱﾋﾟﾛｸﾞﾛｳMX1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 17 | ｱﾋﾟﾛﾌｧｰｽﾄ1ｷﾛ粒剤 | 直播 |
| 18 | ｱﾚｲﾙSC | 移植,直播 |
| 19 | ｲﾈｷﾝｸﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 20 | ｲﾈｾﾞｯﾄEW | 移植 |
| 21 | ｲﾈﾋｰﾛｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 22 | ｲﾈﾋｰﾛｰｴｱｰ粒剤 | 移植 |
| 23 | ｲﾈﾋｰﾛｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 24 | ｲﾈﾘｰｸﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 25 | ｲﾈﾘｰｸﾞ ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 直播 |
| 26 | ｲﾈﾘｰｸﾞ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 直播 |
| 27 | ｲﾉｰﾊﾞ ﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 28 | ｳｨｰﾄﾞｺｱ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 29 | ｳｨｰﾄﾞｺｱ200SD粒剤 | 移植 |
| 30 | ｳｨｰﾄﾞｺｱｼﾞｬﾝﾎﾞ SD | 移植 |
| 31 | ｳｨﾆﾝｸﾞﾗﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 32 | ｳﾙﾃｨﾓZ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 33 | ｳﾙﾃｨﾓZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 34 | ｳﾙﾃｨﾓZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 35 | ｴﾝﾍﾟﾗｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 36 | ｴﾝﾍﾟﾗｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 37 | ｴﾝﾍﾟﾗｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 38 | ｴﾝﾍﾟﾗｰ豆つぶ250 | 移植,直播 |
| 39 | ｶｲｼMF1ｷﾛ粒剤 | 直播 |
| 40 | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |

| | 除草剤 | 移植/直播 |
|---|---|---|
| 41 | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 42 | ｶｳﾝｼﾙｴﾅｼﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 43 | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 44 | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 45 | ｶｳﾝｼﾙｺﾝﾌﾟﾘｰﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 46 | ｶｳﾝｼﾙﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 47 | ｶｸｼﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 48 | ｶｸｼﾝ楽粒 | 移植 |
| 49 | ｶﾁﾄﾞｷZ楽粒 | 移植 |
| 50 | かねつぐ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 51 | ｶﾗｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 直播 |
| 52 | ｶﾗｯﾄ400FG | 直播 |
| 53 | ｶﾗｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 直播 |
| 54 | ｶﾞﾝｶﾞﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 55 | ｶﾞﾝｶﾞﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 56 | ｷﾗﾘ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 57 | ｷﾗﾘ400FG | 移植,直播 |
| 58 | ｷﾗﾘﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 59 | ｸﾗｰﾙEW | 移植 |
| 60 | ｸﾞﾗﾝｸﾛｽSｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 61 | ｸﾞﾗﾝｸﾛｽZ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 62 | ｸﾘﾝﾁｬｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 63 | ｸﾘﾝﾁｬｰEW | 移植,直播 |
| 64 | ｸﾘﾝﾁｬｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 65 | ｸﾘﾝﾁｬｰﾊﾞｽME液剤 | 移植,直播 |
| 66 | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 67 | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞｷﾞｱ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 68 | ｹﾞﾊﾟｰﾄﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 69 | ｺﾞｴﾓﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 70 | ｺﾞｴﾓﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 71 | ｺﾞｴﾓﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 72 | ｺﾒｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 73 | ｺﾒｯﾄ顆粒 | 移植,直播 |
| 74 | ｻｷｶﾞｹ楽粒 | 移植 |
| 75 | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGO1ｷﾛ粒剤 | 直播 |
| 76 | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGO400FG | 直播 |
| 77 | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGOｼﾞｬﾝﾎﾞ | 直播 |
| 78 | ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄﾞGOﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 直播 |
| 79 | ｼｱｹﾞ MF1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 80 | ｼﾞｪｲｿｳﾙ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |

| | 除草剤 | 移植/直播 |
|---|---|---|
| 81 | ｼﾞｪｲｿｳﾙｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 82 | ｼﾞｪｲｿｳﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 83 | ｼﾞｶﾏｯｸ500ｸﾞﾗﾑ粒剤 | 直播 |
| 84 | ｼｸﾞﾅｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 85 | ｼｸﾞﾅｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 86 | ｼｸﾞﾅｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 87 | ｼﾞｬｽﾀ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 88 | ｼﾞｬﾝﾀﾞﾙﾑMX1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 89 | ｼｭﾅｲﾃﾞﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 90 | ｼﾝｸﾞ乳剤 | 移植 |
| 91 | ｼﾝｹﾞｷ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 92 | ｼﾝｹﾞｷｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 93 | ｼﾝｹﾞｷﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 94 | ｼﾝｽﾞｲZ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 95 | ｼﾝｽﾞｲZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 96 | ｼﾝｽﾞｲZ豆つぶ250 | 移植,直播 |
| 97 | ｽﾀﾒﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 98 | ｽﾀﾒﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 99 | ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 100 | ｾﾞｱｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 101 | ｾﾞｱｽ顆粒 | 移植,直播 |
| 102 | ｾｲﾃﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 103 | ｾｲﾃﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 104 | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 105 | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 直播 |
| 106 | ｾﾞｰﾀｼﾞｬｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 直播 |
| 107 | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 108 | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰ300FG | 移植,直播 |
| 109 | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 110 | ｾﾞｰﾀﾀｲｶﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 111 | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 112 | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽ200FG | 直播 |
| 113 | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 114 | ｾﾞｰﾀﾌﾟﾗｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 115 | ｾｶﾝﾄﾞｼｮｯﾄSｼﾞｬﾝﾎﾞ MX | 移植,直播 |
| 116 | ｾﾝﾒﾂZ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 117 | ｾﾝﾒﾂZ200FG | 移植,直播 |
| 118 | ｿﾙﾈｯﾄ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 119 | ﾀﾞﾌﾞﾙｽﾀｰSB顆粒 | 移植,直播 |
| 120 | ﾀﾞﾝｸｼｮｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ SD | 移植,直播 |

| | 除草剤 | 移植/直播 |
|---|---|---|
| 121 | ﾀﾞﾝｸｼｮｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 122 | ﾂｲｹﾞｷ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 123 | ﾂｲｹﾞｷ豆つぶ250 | 移植,直播 |
| 124 | ﾂﾙｷﾞ 250粒剤 | 移植,直播 |
| 125 | ﾃﾞｨｵｰﾚ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 126 | ﾃﾞｨｵｰﾚｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 127 | ﾃﾞｨｵｰﾚﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 128 | ﾃﾞｨｵｰﾚ顆粒 | 移植,直播 |
| 129 | ﾃｯｹﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 130 | ﾃｯｹﾝｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 131 | ﾃｯｼﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 132 | ﾄﾄﾞﾒMF1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 133 | ﾄﾄﾞﾒMF乳剤 | 移植,直播 |
| 134 | ﾄﾄﾞﾒﾊﾞｽMF液剤 | 移植,直播 |
| 135 | ﾄﾞﾆﾁS1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 136 | ﾄﾘﾆﾃｨ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 137 | ﾄﾘﾆﾃｨｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 138 | ﾄﾘﾆﾃｨﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 139 | ﾄﾞﾘﾌ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 140 | ﾆﾄｳﾘｭｳ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 141 | ﾆﾄｳﾘｭｳｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 142 | ﾉｯｸｱｳﾄ楽粒 | 移植,直播 |
| 143 | ﾉﾌﾞﾚｸﾄ乳剤 | 移植,直播 |
| 144 | ﾉﾐﾆｰ液剤 | 移植 |
| 145 | ﾊﾞｲｽｺｰﾌﾟ 1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 146 | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ・ｴｱｰ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 147 | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ液剤(ﾅﾄﾘｳﾑ塩) | 移植,直播 |
| 148 | ﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ粒剤(ﾅﾄﾘｳﾑ塩) | 移植,直播 |
| 149 | ﾊﾞｯﾁﾘ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 150 | ﾊﾞｯﾁﾘLX1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 151 | ﾊﾞｯﾁﾘLX400FG | 移植,直播 |
| 152 | ﾊﾞｯﾁﾘLXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 153 | ﾊﾞｯﾁﾘｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 154 | ﾊﾞｯﾄｳZ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 155 | ﾊﾞｯﾄｳZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 直播 |
| 156 | ﾊﾞｯﾄｳZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 157 | ﾋｴｸｯﾊﾟ ｴｰｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 158 | ﾋｴｸﾘｰﾝ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 159 | ﾋｴｸﾘｰﾝﾊﾞｻｸﾞﾗﾝ粒剤 | 移植,直播 |
| 160 | ﾋｯｻﾂ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |

| | 除草剤 | 移植/直播 |
|---|---|---|
| 161 | ﾋｯｻﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 162 | ﾋﾞｸﾄﾘｰZ400FG | 移植,直播 |
| 163 | ﾋﾞｸﾄﾘｰZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 164 | ﾋﾞｸﾄﾘｰZﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 165 | ﾋﾟﾗｸﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 166 | ﾌﾞｲｺﾞｰﾙSM1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 167 | ﾌﾙｲﾆﾝｸﾞｽｶｲ500ｸﾞﾗﾑ粒剤 | 移植 |
| 168 | ﾌﾙｽｺｱZ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 169 | ﾌﾙｽｺｱZｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 170 | ﾌﾙﾁｬｰｼﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 171 | ﾌﾙﾊﾟﾜｰMXｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 172 | ﾍﾞｸｻｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 173 | ﾍﾞｯｶｸ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 174 | ﾍﾞｯｶｸｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 175 | ﾍﾞｯｶｸ豆つぶ250 | 移植 |
| 176 | ﾍﾞﾙｰｶﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 177 | ﾍﾞﾙｰｶﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 178 | ﾍﾞﾙｰｶﾞ 豆つぶ250 | 移植,直播 |
| 179 | ﾎｯﾄｺﾝﾋﾞ200粒剤 | 移植 |
| 180 | ﾎｯﾄｺﾝﾋﾞｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 181 | ﾎﾞﾃﾞｰｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾛ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 182 | ﾎﾞﾃﾞｰｶﾞｰﾄﾞﾌﾟﾛｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 183 | ﾏｰｼｪｯﾄｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 184 | ﾏｲﾃｨｰﾜﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 185 | ﾏｽﾗｵ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 186 | ﾏｽﾗｵｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 187 | ﾏｽﾗｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 188 | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 189 | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀ400FG | 移植,直播 |
| 190 | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 191 | ﾒｶﾞｾﾞｰﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 192 | ﾒﾃｵ1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 193 | ﾒﾃｵｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 194 | ﾒﾃｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 195 | ﾓｹﾞﾄﾝ粒剤 | 移植,直播 |
| 196 | ﾗｲｼﾞﾝﾊﾟﾜｰｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 197 | ﾗｵｳ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 198 | ﾚｵｾﾞｰﾀ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 199 | ﾚｵｾﾞｰﾀ300FG | 移植 |
| 200 | ﾚｵｾﾞｰﾀｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |

| | 除草剤 | 移植/直播 |
|---|---|---|
| 201 | ﾚｵｾﾞｰﾀﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 202 | ﾚﾌﾞﾗｽ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 203 | ﾚﾌﾞﾗｽｷﾞｱ1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 204 | ﾚﾌﾞﾗｽｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 205 | ﾛｲﾔﾝﾄ乳剤 | 移植,直播 |
| 206 | ﾜｲﾄﾞｱﾀｯｸSC | 移植,直播 |
| 207 | ﾜｲﾄﾞﾊﾟﾜｰ粒剤 | 移植,直播 |
| 208 | ﾜｻﾞｱﾘ楽粒 | 移植 |
| 209 | ﾜﾝｽﾃｰｼﾞ 1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 210 | 銀河1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 211 | 銀河α1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 212 | 銀河ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 213 | 先陣1ｷﾛ粒剤 | 移植 |
| 214 | 先陣200FG | 移植 |
| 215 | 先陣ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植 |
| 216 | 兆ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植 |
| 217 | 天空1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 218 | 天空ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 219 | 天空ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 220 | 忍1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 221 | 忍ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 222 | 忍ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |
| 223 | 流星1ｷﾛ粒剤 | 移植,直播 |
| 224 | 流星ｼﾞｬﾝﾎﾞ | 移植,直播 |
| 225 | 流星ﾌﾛｱﾌﾞﾙ | 移植,直播 |

# 福井県特別栽培農産物栽培基準において使用回数にカウントしない農薬

福井県特別栽培農産物栽培基準において、節減対象農薬とは化学合成された農薬を示し、使用回数にカウントしない農薬は下記1～3の有機農産物の生産を行う中で使用が認められている「有機農産物の日本農林規格」の表B.1に掲げる農薬、化学合成でないと認められた農薬および展着剤とする。

## １．有機農産物の日本農林規格　表B.1

| 農薬[a)] | 基準 |
|---|---|
| 除虫菊乳剤 | 除虫菊から抽出したものであって，共力剤としてピペロニルブトキサイドを含まないものに限ること。 |
| ピレトリン乳剤 | 除虫菊から抽出したものであって，共力剤としてピペロニルブトキサイドを含まないものに限ること。 |
| なたね油乳剤 | － |
| 調合油乳剤 | － |
| マシン油エアゾル | － |
| マシン油乳剤 | － |
| デンプン水和剤 | － |
| 脂肪酸グリセリド乳剤 | － |
| メタアルデヒド粒剤 | 捕虫器に使用する場合に限ること。 |
| メタアルデヒド剤 | 捕虫器に使用する場合に限ること。 |
| 硫黄くん煙剤 | － |
| 硫黄粉剤 | － |
| 水和硫黄剤 | － |
| 石灰硫黄合剤 | － |
| シイタケ菌糸体抽出物液剤 | － |
| シイタケ菌糸体抽出物水溶剤 | － |
| 炭酸水素ナトリウム水溶剤 | － |
| 銅水和剤 | － |
| 銅粉剤 | － |
| 硫酸銅 | ボルドー剤調製用に使用する場合に限ること。 |
| 生石灰 | ボルドー剤調製用に使用する場合に限ること。 |
| 天敵等生物農薬 | － |
| 性フェロモン剤 | 農作物を害する昆虫のフェロモン作用を有する物質を有効成分とするものに限ること。 |
| 混合生薬抽出物液剤 | － |
| 展着剤 | カゼイン又はパラフィンを有効成分とするものに限ること。 |
| 二酸化炭素くん蒸剤 | 保管施設で使用する場合に限ること。 |
| 燐酸第二鉄粒剤 | － |
| 炭酸水素カリウム水溶剤 | － |
| 炭酸カルシウム水和剤 | 銅水和剤の薬害防止に使用する場合に限ること。 |
| ミルベメクチン乳剤 | － |
| ミルベメクチン水和剤 | － |
| スピノサド水和剤 | － |
| スピノサド粒剤 | － |
| 還元澱粉糖化物液剤 | － |
| カスガマイシン液剤 | － |
| カスガマイシン粉剤 | － |
| カスガマイシン水溶剤 | － |
| カスガマイシン粒剤 | － |
| エチレン | パイナップルの開花誘発に使用する場合に限ること。 |
| 次亜塩素酸水 | － |
| 重曹 | － |
| 食酢 | － |
| その他の農薬[b)] | 有効成分としてこの表の他の農薬に含まれる有効成分のみを2 つ以上含有するものに限ること。 |

注[a)]　組換えDNA 技術を用いて製造されていないものに限る。
注[b)]　硫黄・銅水和剤，炭酸水素ナトリウム・銅水和剤，脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤等が該当する。

**2. 化学合成でないと認められた農薬**

| 農　　薬 |
|---|
| ポリオキシン剤 |
| バリダマイシン剤 |
| ストレプトマイシン剤 |
| オキシテトラサイクリン剤 |

※認証区分①では使用できない。

**3. 展着剤**

展着剤は使用回数に含めないが、化学合成された展着剤は認証区分①では使用できない。

# FRACコード表日本版（2025年5月）

FRACコード表(1)

| 作用機構 | 作用点 | グループ名 | 化学グループ名 | 有効成分名 | 商品名 | 備考 | FRACコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C:呼吸 | 複合体I | キノン阻害剤 | フェナミドン | フェナミドン | リドミル | 水稲のみ登録のある薬剤 | 4 |
| | | | | メプチルジノカップ | メプチルジノカップ | | |
| | 複合体II | 複合体II阻害剤 | ピラゾールカルボキサミド | ピラジフルミド | ルーバリス | 初発前の予防的茎葉散布 | 32 |
| | 複合体III | キノン阻害剤 | ジヒドロジオキサジン | ファモキサドン | スターナ | 予防的茎葉散布 | 31 |
| | 複合体III | キノン阻害剤 | ピリベンカルブ | ピリベンカルブ | ミギワ | 中～高 | 52 |
| | | | ピリミジノアミン | ブピリメート | アイーナ | | |
| C:呼吸 | 複合体II | ベンズアミド系殺菌剤（カルボキサミド） | ベンゾイルピリジン | ベノミル | ベンレート | 茎葉散布は予防的に使用する。ベンレート水和剤は発病後の使用は効果が劣る。 | 1 |
| | | | ベンゾイルピリジン | ベノミル | トップジン M | | |
| | | ピペリジニルチアゾールイソオキサゾリン | ピペリジニルチアゾールイソオキサゾリン | ピカルブトラゾクス | アグリフィット ウィナー アディーブ フロアブル | 茎葉散布は予防的に使用する。初発前の予防的に使用する。 | 10 |
| | | ベンゾフェノン | ベンゾフェノン | エトフィン | エトフィン | 低～中 | 22 |
| | 複合体III | ピペリジニルチアゾールイソオキサゾリン | ピペリジニルチアゾールイソオキサゾリン | オキシンドラゾクス | モンセレン | 予防的茎葉散布 | 20 |
| | 複合体III | ベンゾフェノン | ベンゾフェノン | ピリソキサゾール | ブースター フロアブル | 茎葉散布は予防的に使用する。 | 43 |
| | 複合体III | アミノピラゾリノン | アミノピラゾリノン | ピラゾキシフェン | パンチョTF フロアブル | 初発前の予防的茎葉散布 | 50 |
| | 複合体III | ピリミジノン | ピリミジノン | ピリベンカルブ | フセキ | 高 | 53 |
| C:呼吸 | 複合体II | ピリカルブ系 | ピリカルブ | ピリカルブ | ピリカット | 予防的茎葉散布 | 39 |
| | | トルフェンピラド | トルフェンピラド | トルフェンピラド | ハチハチ | | |
| | 複合体II | ピラゾールカルボキサミド | ピラゾールカルボキサミド | フルトラニル | モンカット | 予防的茎葉散布。 | 7 |
| | | | | メプロニル | メプロニル | | |
| | | | | ケンジャ | ケンジャ | | |
| | | | | ベンゾビンジフルピル | ベンゾビンジフルピル | | |
| | | | | ピラジフルミド | ピラジフルミド | | |
| | | | | フルキサピロキサド | リガード | | |
| | | | | フルキサピロキサド | リンバー | | |
| | | | | ペンフルフェン | ペンフルフェン | | |
| | | | | ペンフルフェン | レバス | | |
| | | | | ペンフルフェン | エバーゴル | | |
| | | | | ペンフルフェン | アディーブ フロアブル | | |
| | | | | ペンフルフェン | ピクシオ | | |
| | | | ピラゾールカルボキサミド | ピラジフルミド | ミラビス | | |
| | | | | ピラジフルミド | カンタス | | |
| | | | | ピラジフルミド | パレード | | |
| | 複合体III | キノン阻害剤 | キナゾリノン | アミノキサゾール | アミスター | 水稲のみ登録のある薬剤 | 11 |
| | | | | メトキシアクリレート | メジャー | | |
| | | | | ピリベンカルブ | スクレア | | |
| | | | | ピリベンカルブ | ピラクロストロビン | | |
| | | | ストロビルリン系 | ピラクロストロビン | ストロビー | | |
| | | | | メトキシアクリレート | フリント | | |
| | | | ピリミジノン | メトミノストロビン | メトミノストロビン | | |
| | | | ピリベンカルブ | ピリベンカルブ | トライミンの成分 | | |
| | | | ピリベンカルブ | ピラクロストロビン | ポンチョ | | |
| | | | ピリベンカルブ | メトミノストロビン | ファンタジスタ | | |
| | | | メトキシアクリレート | ピラクロストロビン | ハーベスター フロアブル | 高/耐性菌発生リスク11のG143A変異菌株が発生しない。 | 11A |
| | 複合体III | 複合体III阻害剤 | シアノイミダゾール | シアゾファミド | ランマン | 水稲のみ登録のある薬剤 | 21 |
| | | | スルファモイルトリアゾール | アミスルブロム | アミスルブロム サンリオ | | |
| | 複合体III | | ジニトロフェニル | ブチオベート | ベンレート | | 29 |
| | 複合体III | 複合体III阻害剤 | ピリジンカルボキサミド | ピカルブトラゾクス | ザンプロ | 水稲のみ登録のある薬剤 | 45 |
| D:アミノ酸及びタンパク質の生合成 | メチオニン生合成 | アニリノピリミジン | アニリノピリミジン | シプロジニル | ユニックス | 予防的茎葉散布 | 9 |
| | | | | メパニピリム | フルピカ | | |
| | タンパク質合成（リボソーム段階） | ヘキソピラノシル抗生物質 | ヘキソピラノシル抗生物質 | カスガマイシン | カスミン | 中/耐性菌発生リスク | 24 |
| | | グルコピラノシル抗生物質 | グルコピラノシル抗生物質 | ブラストサイジンS | アグリマイシン ビオタジ | 茎葉散布は予防的に使用する。 | 25 |
| | タンパク質合成（リボソーム段階） | ムラミック酸様抗生物質 | ムラミック酸様抗生物質 | ポリオキシン | ポリオキシン | 水稲のみ登録のある薬剤 | 41 |
| E:シグナル伝達 | 浸透圧シグナル伝達（組み込み型ヒスチジンキナーゼ os-2, HOG1） | 有機塩素系（フェニルピロール） | フェニルピロール | フェンピクロニル | セイビアー | 低～中 | 12 |
| | 浸透圧シグナル伝達（組み込み型ヒスチジンキナーゼ os-1, Daf1） | ジカルボキシミド | ジカルボキシミド | イプロジオン | ロブラール | 中～高 | 2 |
| | | | | ビンクロゾリン | ナリア | | |
| F:脂質の生合成、細胞膜の構造と機能 | リン脂質生合成 メチルトランスフェラーゼ | ピペリジン | ピペリジン | イソプロチオラン | フジワン | 水稲のみ登録のある薬剤 | 6 |
| | 脂質過酸化 | ジチオラン系殺菌剤 | 芳香族炭化水素 | ジチアノン | ケーサ フロアブル | 水稲のみ登録のある薬剤 | 14 |
| | 脂質過酸化 | カーバメート | カーバメート | プロパモカルブ塩酸塩 | プレバソル | 低～中 | 28 |
| | トリアゾロピリミジルアミン類 | 有機リン系（ホスホロチオレート系） | ホスホロチオレート | ピラゾホス | ホクガード | 水稲のみ登録 | 49 |

※薬剤ローテーションの参考にしてください。耐性菌はFRAC CODEを挿入し、FRACのホームページで確認することも可能です。

FRAC CODE LISTから、国内で使用されているものを抜粋しました。（最新版はFRACホームページ https://www.frac.info/ をご覧ください。）

FRACコード表 (2)

| | 作用点 | | | | | | FRAC コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ピリミジン | フェナリモル | ルビゲン | | |
| | | | | | ヘルシード | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | トリフミン | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | スコア | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | アンビル | | |
| | | | | | マネージ | | |
| | | | | | テクリード | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | ラリー | | |
| | | | | | チルト | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | ベランティー | | |
| | | | | | プロライン | | |
| | | | | | パスワード | 低～中 | 17 |
| | | | | | ピクシオ | | |
| | | | チオカーバメート | | エイゲン | | 18 |
| | | | | ポリオキシン | | 中 | 19 |
| | | | | | | | 40 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | MBI-R | | フサライド | ラブサイド | | 16.1 |
| | | | ピロロキノリノン | ピロキロン | コラトップ | | |
| | | | | | ビーム | | |
| | | MBI-P | | | | | 16.3 |
| | | | | | アクティガード | | P1 |
| | | | | | | | P2 |
| | | | | チアジニル | ブイゲット | | P3 |
| | | | | | | | |
| | | | | ホセチル | アリエッティ | | P7 |
| | | | | | | | P8 |
| | 不明 | | | | | 低～中 | 27 |
| | | | | | | | 36 |
| | | | | | | | U6 |
| | | | | | ガッテン | | U13 |
| | | | | フェリムゾン | | | U14 |
| | | | | テブフロキン | トライ | | U16 |
| | 不明 | | | | | | U17 |
| | | | | | | | U18 |
| | 不明 | 種々 | 種々 | | | | NC |
| | | | | 銅 | | | M1 |
| | | | | 硫黄 | | | M2 |
| | | | | マンゼブ | | | M3 |
| | | | | マンネブ | | | |
| | | | | プロピネブ | | | |
| | | | | チウラム | | | |
| | | | | ジラム | | | |
| | | | | | オーソサイド | | M4 |
| | | | | TPN | | | M5 |
| | | | | | ベフラン | | M7 |
| | | | | | ベルクート | | |
| | | | | ジチアノン | デラン | | M9 |
| | | | キノキサリン | | モレスタン | | M10 |
| | | | マレイミド | フルオルイミド | ストライド | | M11 |

# FRACコード表日本版（2025年5月）生物農薬抜粋

| 作用機構 | 作用点 | グループ名 | 生物グループ名 | 有効成分名 | 農薬名（例） | 殺菌剤の耐性リスク・備考 | FRACコード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BM：複数の作用機構を有する生物製剤、または植物または微生物由来の代謝産物、またはこれらの合成物 | 細胞壁、膜を介したイオン輸送における複数の効果；キレート効果 | 植物抽出物 | ポリペプチド（レクチン） | 発芽スイートルーピン抽出たんぱく質 | プロブラッド | 耐性菌未発生。 | BM1 |
| | 複数の効果の報告がある（例、すべての生物農薬に適用しない）：競合、微生物寄生、抗生作用、殺菌リポペプチドによる細胞膜破壊、溶菌酵素、抵抗性誘導 | 微生物（生菌または抽出物、代謝産物） | 糸状菌 *Trichoderma* spp. | トリコデルマ アトロビリデ SKT-1株 | エコホープ | 耐性菌未発生。 | BM2 |
| | | | 糸状菌 *Coniothyrium* spp. | コニオチリウム ミニタンス CON/M/91-08 株 | ミニタン | 耐性菌未発生。 | |
| | | | 糸状菌 *Talaromyces* spp. | タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01株 | タフパール、タフブロック | 耐性菌未発生。 | |
| | | | 細菌 *Bacillus* spp. | バチルス アミロリクエファシエンス AT-332株 | インプレッションクリア | 耐性菌未発生。 | |
| | | | | バチルス ズブチリス QST-713株* | インプレッション、セレナーデ | 耐性菌未発生。 | |
| | | | | バチルス ズブチリス D747株* | エコショット | 耐性菌未発生。 | |
| | | | | バチルス ズブチリス MBI600株* | ボトキラー、ボトピカ | 耐性菌未発生。 | |
| | | | | バチルス ズブチリス Y1336株 | バイオワーク、バチスター | 耐性菌未発生。 | |
| | | | | バチルス ズブチリス HAI-0404株 | アグロケア | 耐性菌未発生。 | |
| | β(1,3)グルカン合成酵素およびキチン合成酵素の阻害とそれに伴う細胞壁生合成の阻害、膜、膜機能、ミトコンドリアおよび酸化過程の破壊 | 植物または微生物由来の代謝産物、またはこれらの合成物 | 植物(または他の生物）由来の分子または同一分子 | シンナムアルデヒド | 置型しなもん | 耐性菌未発生。 | BM3 |
| 未分類 | 不明 | 微生物 | 細菌 *Lactobacillus* spp. | ラクトバチルス プランタラム BY株 | ラクトガード | 耐性菌未発生。 | NC |
| | | | 細菌 *Pseudomonas* spp. | シュードモナス ロデシアHAI-0804株 | マスタピース | 耐性菌未発生。 | |

記号と一桁の数字による組み合わせで、例えばBM2'に0を挿入して'BM 02'のように標記することもあります。

FRAC CODE LISTに記載の生物農薬を抜粋しました[最新版はJ FRACホームページ(https://www.croplifejapan.org/labo/mechanism.html)に掲載]。

*：現在はバチルス　アミロリクエファシエンスで分類されていますが、登録時の分類で記載しています。

# IRACコード表日本版（ver. 11.3）

IRAC殺虫剤作用機構分類を引用・改変(国内の食用作物登録剤、一部未登録農薬有)。

色分けは、その殺虫剤による発現症状、効果発現の速さおよび他の特性を判別するための一助として、作用機構と影響をうける生理機能のおおまかな分類とを関連付けたもので、抵抗性マネージメントの目的のためではない。抵抗性マネージメントのためのローテーションは、作用機構グループの番号にのみ基づくべきである。

| 主要作用機構グループと一次作用部位 | サブグループ あるいは代表的有効成分 | 有効成分 | 農薬名（例）（剤型省略） |
|---|---|---|---|
| **1**<br>**アセチルコリンエステラーゼ（AChE）阻害剤**<br>神経作用 | **1A カーバメート系** | アラニカルブ | オリオン |
| | | ベンフラカルブ | オンコル |
| | | NAC（カルバリル） | デナポン |
| | | カルボスルファン | アドバンテージ、ガゼット |
| | | メソミル | ランネート |
| | | オキサミル | バイデートL |
| | | チオジカルブ | リラーク |
| | **1B 有機リン系** | アセフェート | オルトラン、ジェイエース、ジェネレート、スミフェート |
| | | カズサホス | ラグビー |
| | | クロルピリホス | ダーズバン |
| | | CYAP（シアノホス） | サイアノックス |
| | | ダイアジノン | ダイアジノン |
| | | ジメトエート | ベジホンの成分 |
| | | MEP（フェニトロチオン） | スミチオン |
| | | ホスチアゼート | ネマトリン、ガードホープ |
| | | イミシアホス | ネマキック |
| | | イソキサチオン | カルホス、カルモック、ネキリエースK |
| | | マラソン(マラチオン) | マラソン |
| | | DMTP（メチダチオン） | スプラサイド |
| | | PAP（フェントエート） | エルサン |
| | | プロフェノホス | エンセダン |
| | | プロチオホス | トクチオン |
| **2**<br>**GABA作動性塩化物イオンチャネルブロッカー**<br>神経作用 | **2A 環状ジエン有機塩素系** | | |
| | **2B フェニルピラゾール系（フィプロール系）** | エチプロール | キラップ |
| | | フィプロニル | プリンス |
| **3**<br>**ナトリウムチャネルモジュレーター**<br>神経作用 | **3A ピレスロイド系 ピレトリン系** | アクリナトリン | アーデント |
| | | ビフェントリン | テルスター |
| | | シフルトリン | バイスロイド |
| | | シハロトリン | サイハロン |
| | | シペルメトリン | アグロスリン、ゲットアウト |
| | | エトフェンプロックス | トレボン |
| | | フェンプロパトリン | ロディー |
| | | フェンバレレート | ハクサップ、パーマチオン、ベジホン等の成分 |
| | | フルシトリネート | ベイオフ |
| | | フルバリネート（τ-フルバリネート） | マブリック |
| | | ペルメトリン | アディオン |
| | | テフルトリン | フォース |
| | | トラロメトリン | スカウト |
| | | ピレトリン | バイペニカVスプレー |
| | **3B DDT メトキシクロル** | | |
| **4**<br>**ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)競合的モジュレーター**<br>神経作用 | **4A ネオニコチノイド系** | アセタミプリド | モスピラン |
| | | クロチアニジン | ダントツ、ワンリード |
| | | ジノテフラン | スタークル、アルバリン |
| | | イミダクロプリド | アドマイヤー |
| | | ニテンピラム | ベストガード |
| | | チアクロプリド | バリアード |
| | | チアメトキサム | アクタラ、クルーザー |
| | **4B ニコチン** | | |
| | **4C スルホキシイミン系** | スルホキサフロル | エクシード、トランスフォーム |
| | **4D ブテノライド系** | フルピラジフロン | シバント |
| | **4E メソイオン系** | トリフルメゾピリム | ゼクサロン、ルミスパンス |
| | | ジクロロメゾチアズ | フィールドマスト |
| | **4F ピリジリデン系** | フルピリミン | リディア、エミリア |
| **5**<br>**ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)アロステリックモジュレーター - 部位 I**<br>神経作用 | **5 スピノシン系** | スピネトラム | ディアナ、デリゲート |
| | | スピノサド | スピノエース |
| **6**<br>**グルタミン酸作動性塩化物イオンチャネル(GluCl)アロステリックモジュレーター**<br>神経および筋肉作用 | **6 アベルメクチン系 ミルベマイシン系** | アバメクチン | アグリメック |
| | | エマメクチン安息香酸塩 | アファーム |
| | | レピメクチン | アニキ |
| | | ミルベメクチン | ミルベノック、コロマイト |
| **7**<br>**幼若ホルモン受容体モジュレーター**<br>成長調節 | **7A 幼若ホルモン類縁体** | | |
| | **7B フェノキシカルブ** | | |
| | **7C ピリプロキシフェン** | ピリプロキシフェン | ラノー、プルート |
| **8**<br>**多様な非特異的（マルチサイト）阻害剤** | **8A ハロゲン化アルキル** | 1,3-ジクロロプロペン | D-D |
| | **8B クロルピクリン** | クロルピクリン | クロルピクリン、ドロクロール、クロピク、ドジョウピクリン、クロピクフロー |
| | **8C フルオライド系** | | |
| | **8D ホウ砂** | | |
| | **8E 吐酒石** | | |
| | **8F メチルイソチオシアネートジェネレーター** | ダゾメット | バスアミド、ガスタード |
| | | カーバム | NCS、キルパー |
| **9**<br>**弦音器官TRPVチャネルモジュレーター**<br>神経作用 | **9B ピリジン アゾメチン誘導体** | ピメトロジン | チェス |
| | | ピリフルキナゾン | コルト |
| | **9D ピロペン系** | アフィドピロペン | セフィーナ |
| **10**<br>**CHS1に作用するダニ類成長阻害剤**<br>成長調節 | **10A クロフェンテジン ヘキシチアゾクス ジフロビダジン** | クロフェンテジン | カーラ |
| | | ヘキシチアゾクス | ニッソラン |
| | **10B エトキサゾール** | エトキサゾール | バロック、ネコナカット |
| **11**<br>**微生物由来昆虫中腸内膜破壊剤** | **11A *Bacillus thuringiensis* と殺虫タンパク質生産物** | *B.t.* subsp. *aizawai*<br>*B.t.* subsp. *kurstaki* | アイザワイ系統； フローバック、ゼンタリ、クオーク、サブリナ、エコマスター、ジャックポット、チューレックス<br>クルスターキ系統； トアローCT、チューリサイド、チューンアップ、エスマルク、デルフィン、ファイブスター、バイオマックス<br>アイザワイ＋クルスターキ系統； バシレックス |
| | **11B *Bacillus sphaericus*** | | |

| 主要作用機構グループと一次作用部位 | サブグループ<br>あるいは代表的有効成分 | 有効成分 | 農薬名（例）<br>（剤型省略） |
|---|---|---|---|
| 12<br>ミトコンドリアATP合成酵素阻害剤<br>エネルギー代謝 | 12A ジアフェンチウロン | ジアフェンチウロン | ガンバ |
| | 12B 有機スズ系殺ダニ剤 | | |
| | 12C プロパルギット | BPPS(プロパルギット) | オマイト |
| | 12D テトラジホン | テトラジホン | テデオン |
| 13<br>プロトン勾配を撹乱する酸化的リン酸化脱共役剤<br>エネルギー代謝 | 13 ピロール<br>ジニトロフェノール<br>スルフルラミド | クロルフェナピル | コテツ |
| 14<br>ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)チャネルブロッカー<br>神経作用 | 14 ネライストキシン類縁体 | カルタップ | パダン |
| | | チオシクラム | エビセクト、リーフガード、スクミハンター |
| | | | |
| 15<br>CHS1に作用するキチン生合成阻害剤<br>成長調節 | 15 ベンゾイル尿素系 | クロルフルアズロン | アタブロン |
| | | ジフルベンズロン | デミリン |
| | | フルフェノクスロン | カスケード |
| | | ルフェヌロン | マッチ |
| | | ノバルロン | カウンター |
| | | テフルベンズロン | ノーモルト |
| 16<br>キチン生合成阻害剤　タイプ1<br>成長調節 | 16 ブプロフェジン | ブプロフェジン | アプロード |
| 17<br>脱皮阻害剤　ハエ目昆虫<br>成長調節 | 17 シロマジン | シロマジン | トリガード |
| 18<br>脱皮ホルモン(エクダイソン)受容体アゴニスト<br>成長調節 | 18 ジアシル-ヒドラジン系 | クロマフェノジド | マトリック |
| | | メトキシフェノジド | ファルコン、ランナー |
| | | テブフェノジド | ロムダン |
| 19<br>オクトパミン受容体アゴニスト<br>神経作用 | 19 アミトラズ | アミトラズ | ダニカット |
| 20<br>ミトコンドリア電子伝達系複合体Ⅲ阻害剤<br>Qo部位<br>エネルギー代謝 | 20A ヒドラメチルノン | | |
| | 20B アセキノシル | アセキノシル | カネマイト |
| | 20D ビフェナゼート | ビフェナゼート | マイトコーネ |
| 21<br>ミトコンドリア電子伝達系複合体Ⅰ阻害剤(METI)<br>エネルギー代謝 | 21A METI剤 | フェンピロキシメート | ダニトロン |
| | | ピリミジフェン | マイトクリーン |
| | | ピリダベン | サンマイト |
| | | テブフェンピラド | ピラニカ |
| | | トルフェンピラド | ハチハチ |
| | 21B ロテノン | | |
| 22<br>電位依存性ナトリウムチャネルブロッカー<br>神経作用 | 22A オキサジアジン | インドキサカルブ | トルネードエース、ファイントリム |
| | 22B セミカルバゾン | メタフルミゾン | アクセル |
| 23<br>アセチルCoAカルボキシラーゼ阻害剤<br>脂質合成、成長調節 | 23 テトロン酸およびテトラミン酸誘導体 | スピロジクロフェン | ダニエモン、エコマイト |
| | | スピロメシフェン | ダニゲッター、クリアザール |
| | | スピロテトラマト | モベント |
| 24<br>ミトコンドリア電子伝達系複合体Ⅳ阻害剤<br>エネルギー代謝 | 24A ホスフィン系 | | |
| | 24B シアニド | | |
| 25<br>ミトコンドリア電子伝達系複合体Ⅱ阻害剤<br>エネルギー代謝 | 25A β-ケトニトリル誘導体 | シエノピラフェン | スターマイト |
| | | シフルメトフェン | ダニサラバ |
| | 25B カルボキサニリド系 | ピフルブミド | ダニコング |
| 28<br>リアノジン受容体モジュレーター<br>神経および筋肉作用 | 28 ジアミド系 | クロラントラニリプロール | プレバソン、サムコル、フェルテラ、ルミピア |
| | | シアントラニリプロール | ベネビア、ベリマーク、エクシレル、パディート、プリロッソ |
| | | シクラニリプロール | テッパン |
| | | フルベンジアミド | フェニックス |
| | | テトラニリプロール | ヨーバル |
| 29<br>弦音器官ニコチンアミダーゼ阻害剤<br>神経作用 | 29 フロニカミド | フロニカミド | ウララ |
| 30<br>GABA作動性塩化物イオンチャネルアロステリックモジュレーター<br>神経作用 | 30 メタジアミド系<br>イソオキサゾリン系 | ブロフラニリド | ブロフレア |
| | | フルキサメタミド | グレーシア |
| | | イソシクロセラム | サイモディス |
| 32<br>ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)アロステリックモジュレーター - 部位Ⅱ<br>神経作用 | 32 GS-オメガ/カッパHXTX- Hv1a ペプチド | | |
| 33<br>カルシウム活性化カリウムチャネル(KCa2)モジュレーター<br>神経作用 | 33 アシノナピル | アシノナピル | ダニオーテ |
| 34<br>ミトコンドリア電子伝達系複合体Ⅲ阻害剤<br>Qi部位 | 34 フロメトキン | フロメトキン | ファインセーブ、アベンジャー |
| 35<br>RNA干渉を介した標的抑制因子<br>タンパク質合成抑制 | 35 レドプロナ | レドプロナ | |
| 36<br>弦音器官モジュレーター 標的部位未特定<br>神経作用 | 36 ピリダジン<br>ピラゾールカルボキサミド | ジンプロピリダズ | エフィコン |
| 37<br>小胞アセチルコリントランスポーター(VAChT)阻害剤<br>神経作用 | 37 オキサゾスルフィル | オキサゾスルフィル | アレス |
| UN<br>作用機構が不明あるいは不確定な剤 | アザジラクチン | | |
| | ベンゾキシメート | | |
| | ベンズピリモキサン | ベンズピリモキサン | オーケストラ |
| | ブロモプロピレート | | |
| | キノメチオナート | キノキサリン系(キノメチオナート) | モレスタン |
| | ジコホル | | |
| | ピリダリル | ピリダリル | プレオ |
| | 硫黄 | 硫黄 | 硫黄 |
| | 石灰硫黄合剤 | 石灰硫黄合剤 | 石灰硫黄合剤 |
| | マンゼブ | マンゼブ | ジマンダイセン、ペンコゼブ |

神経および筋肉　生育および発達　呼吸　中腸　タンパク質合成抑制　未特定または非特異的

（2025年7月現在）